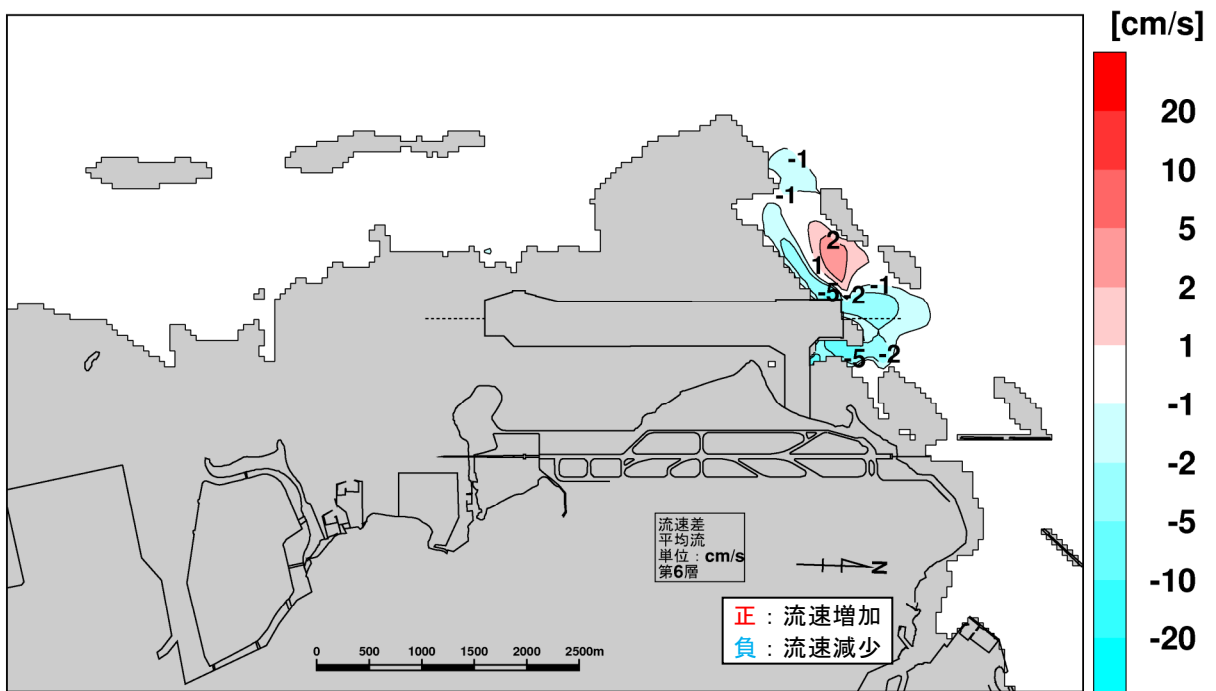
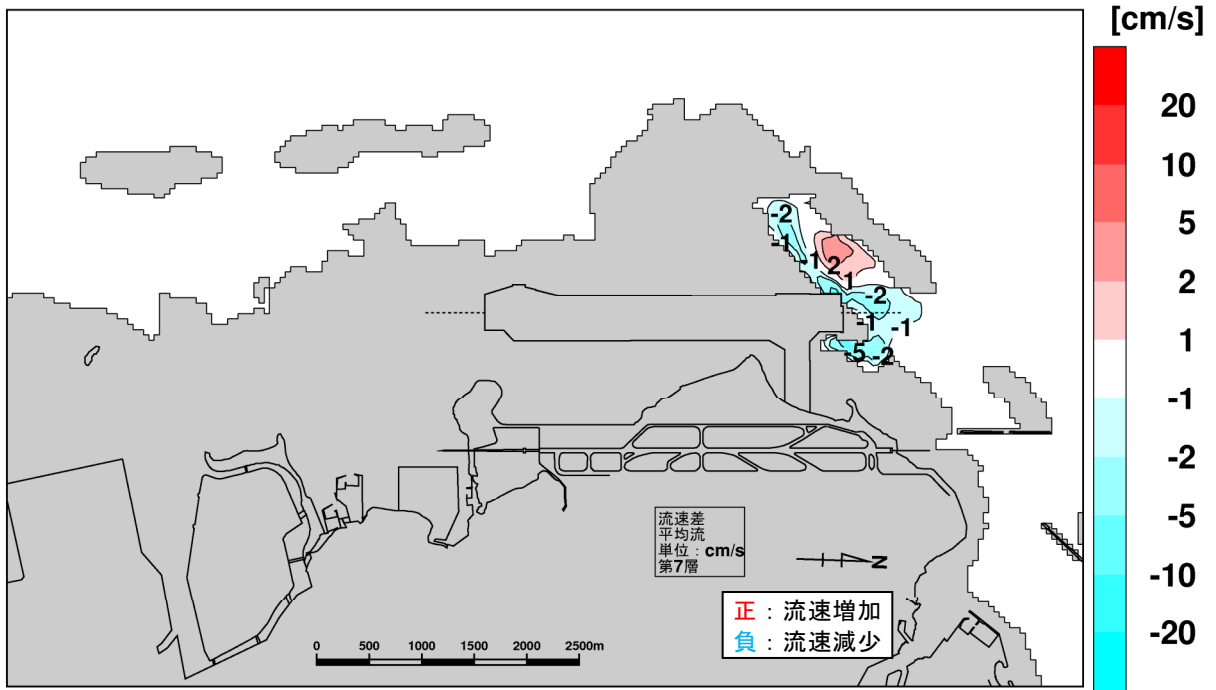


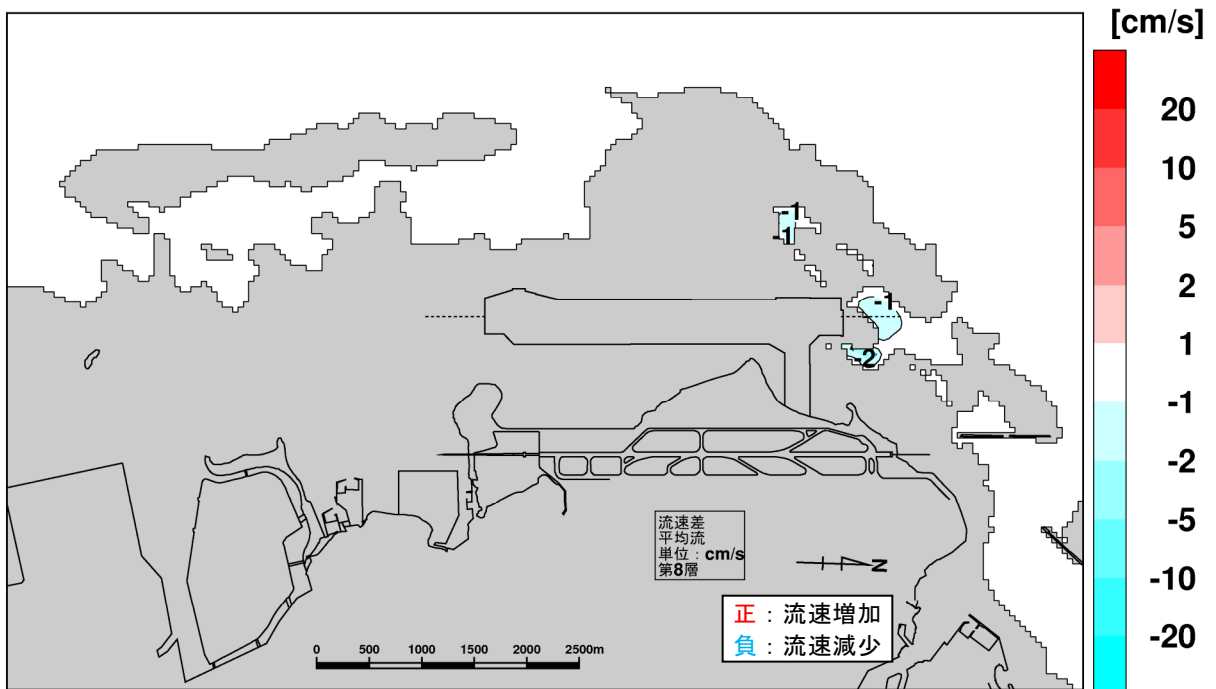
付図一 6.7.14(5) 将来流速変化（冬季, 平常時, 大潮, 平均流, 第5層）計画ありーなし



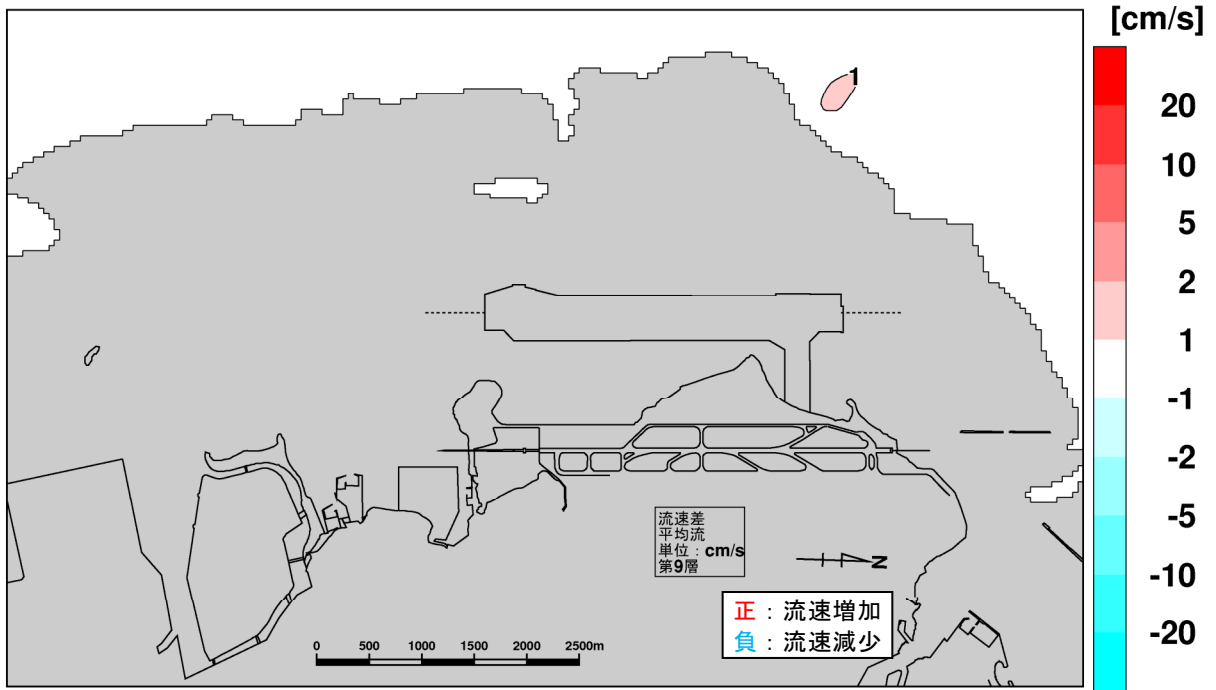
付図一 6.7.14(6) 将来流速変化（冬季, 平常時, 大潮, 平均流, 第6層）計画ありーなし



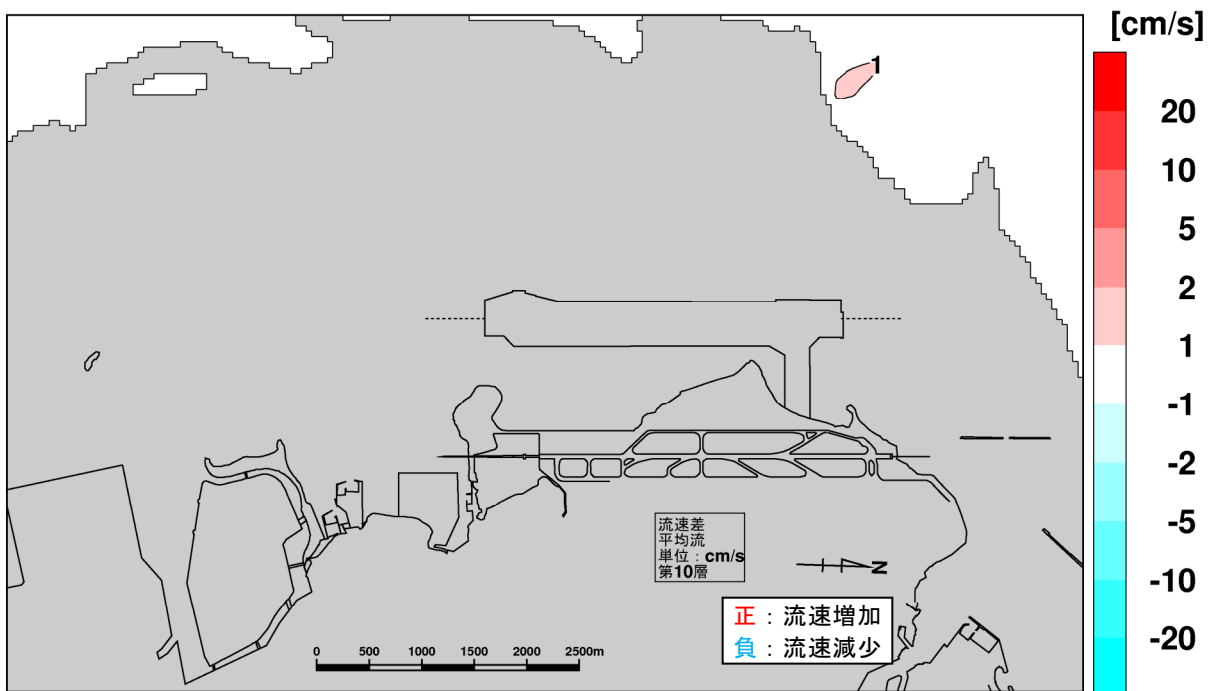
付図一 6.7.14(7) 将来流速変化（冬季, 平常時, 大潮, 平均流, 第7層）計画ありーなし



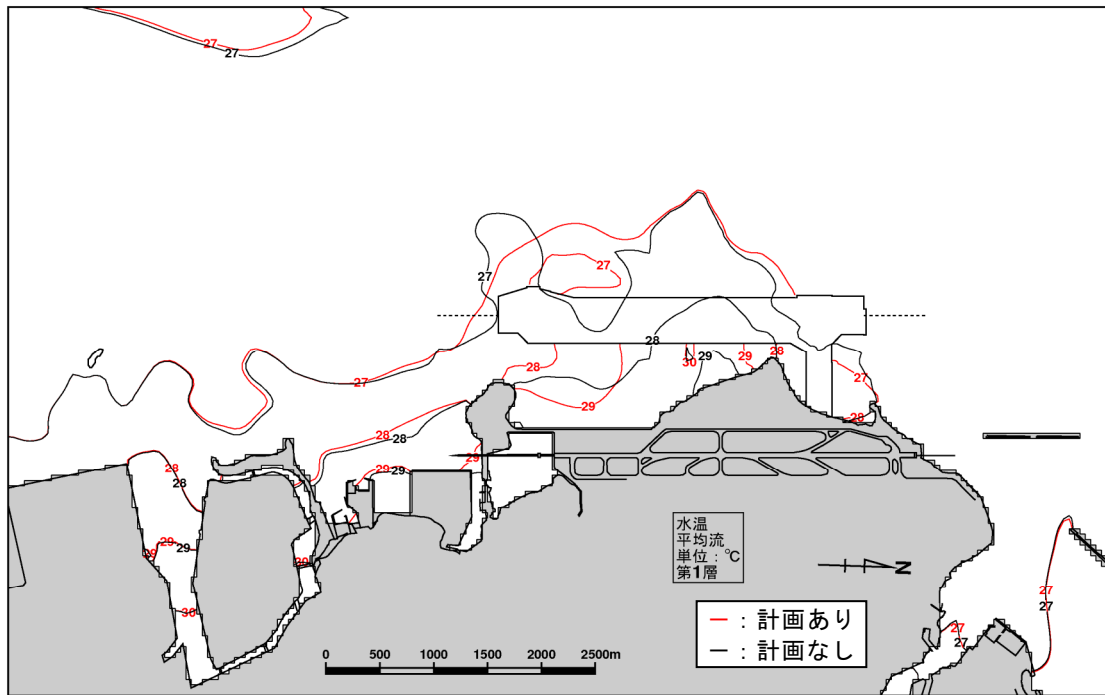
付図一 6.7.14(8) 将来流速変化（冬季, 平常時, 大潮, 平均流, 第8層）計画ありーなし



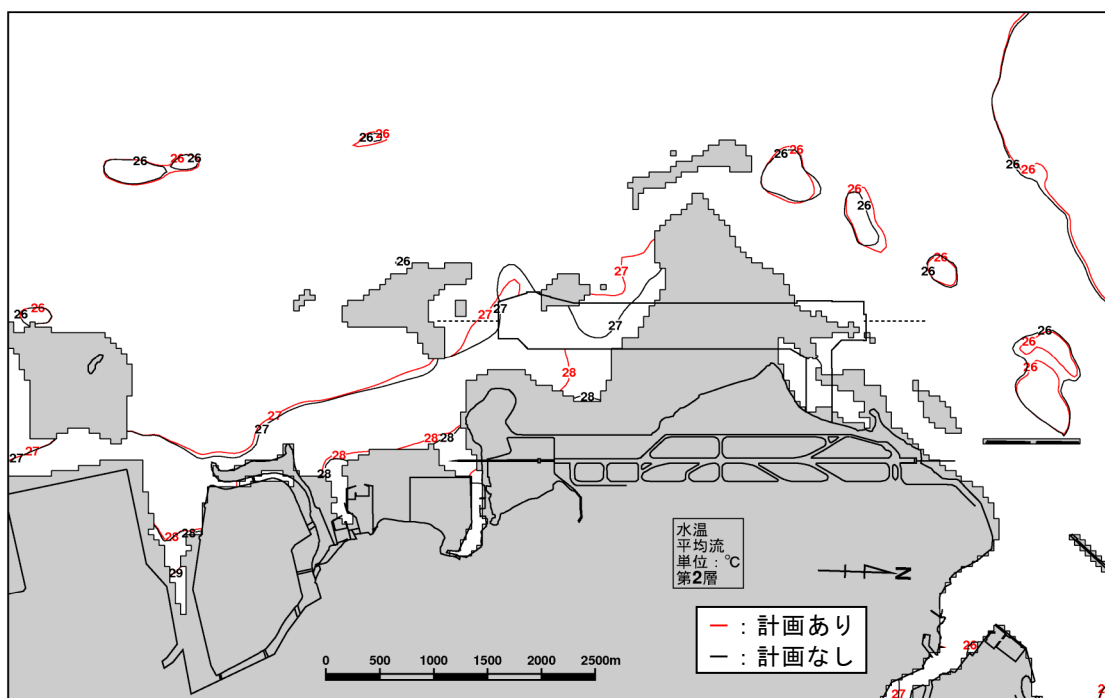
付図一 6.7.14(9) 将来流速変化（冬季, 平常時, 大潮, 平均流, 第9層）計画ありーなし



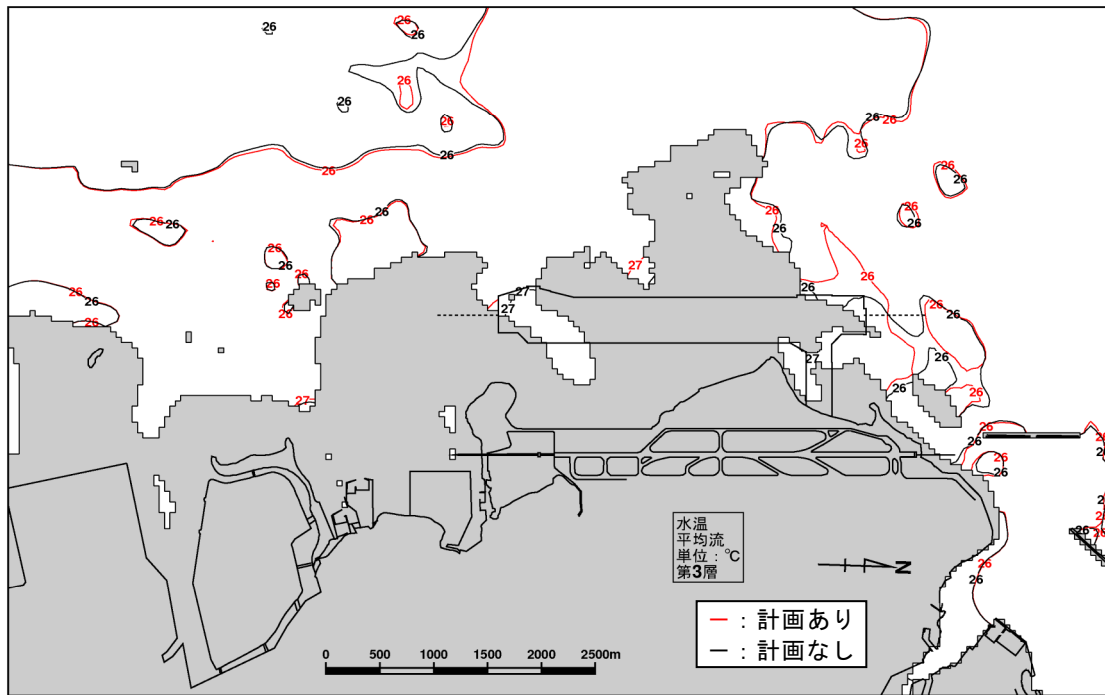
付図一 6.7.14(10) 将来流速変化（冬季, 平常時, 大潮, 平均流, 第10層）計画ありーなし



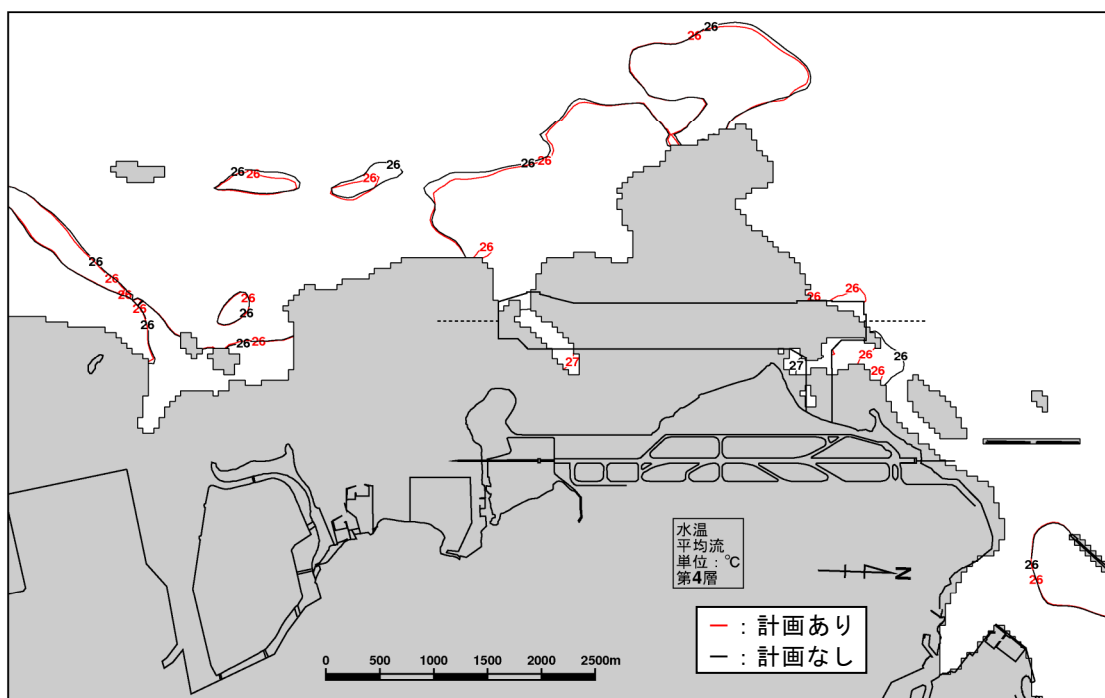
付図－ 6.7.15(1) 将来水温分布 (夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第1層)



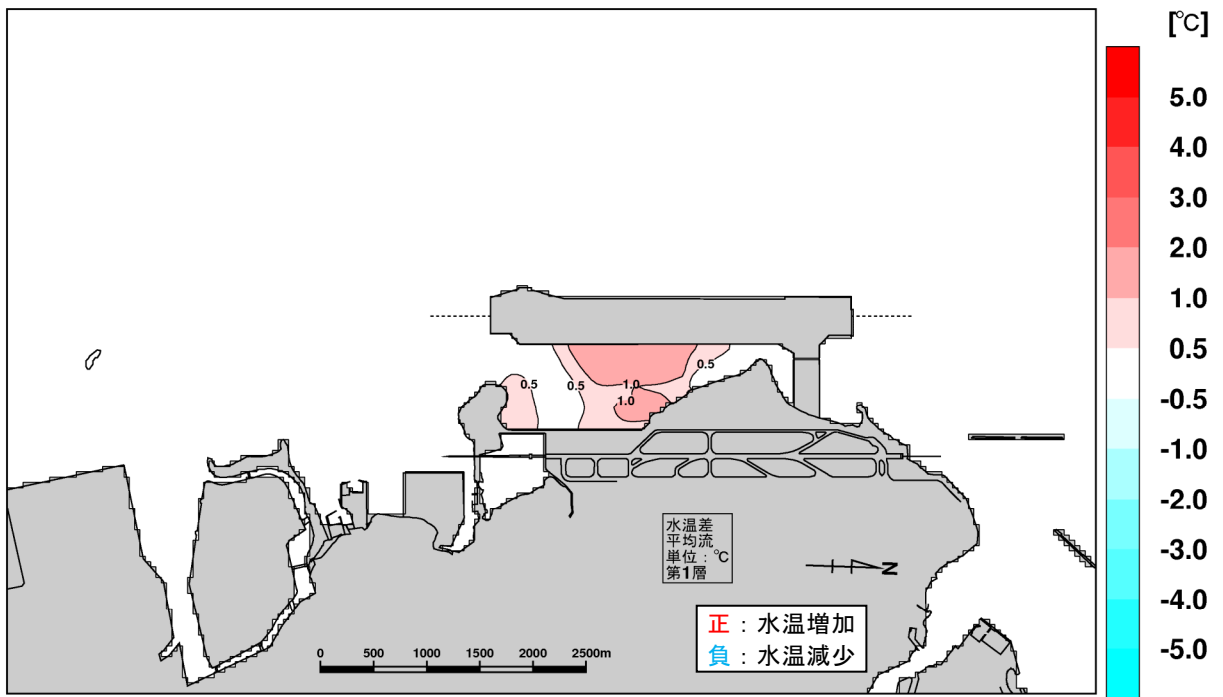
付図－ 6.7.15(2) 将来水温分布 (夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第2層)



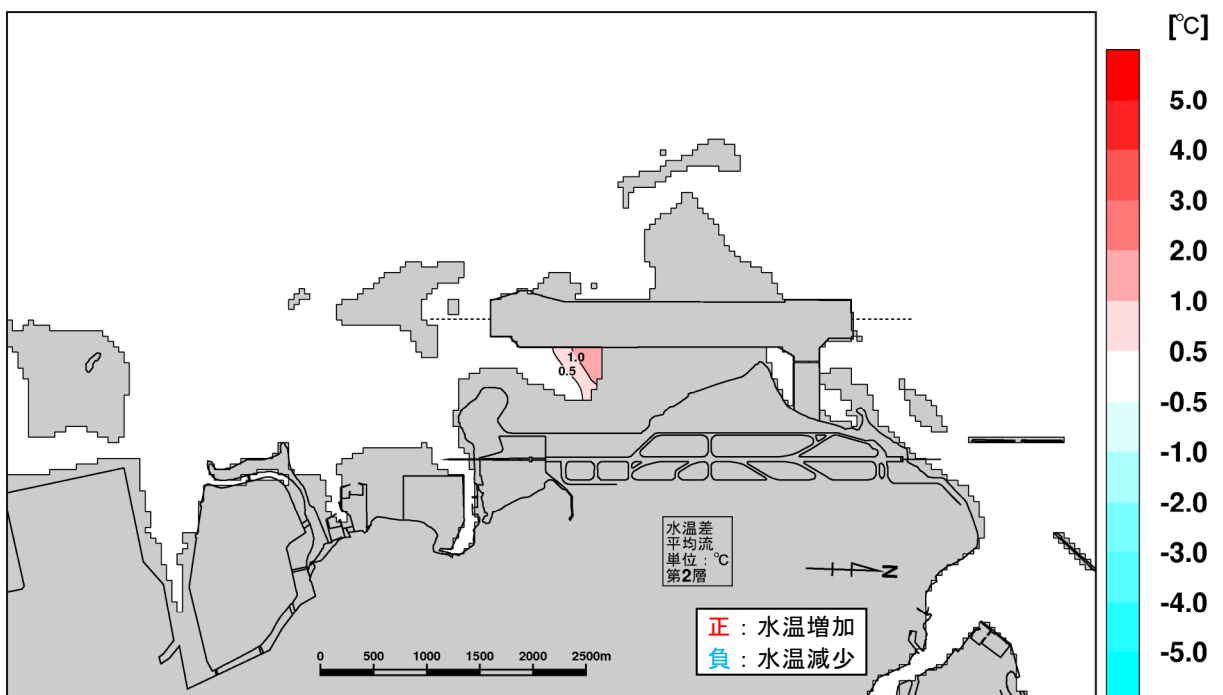
付図－ 6.7.15(3) 将来水温分布（夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第3層）



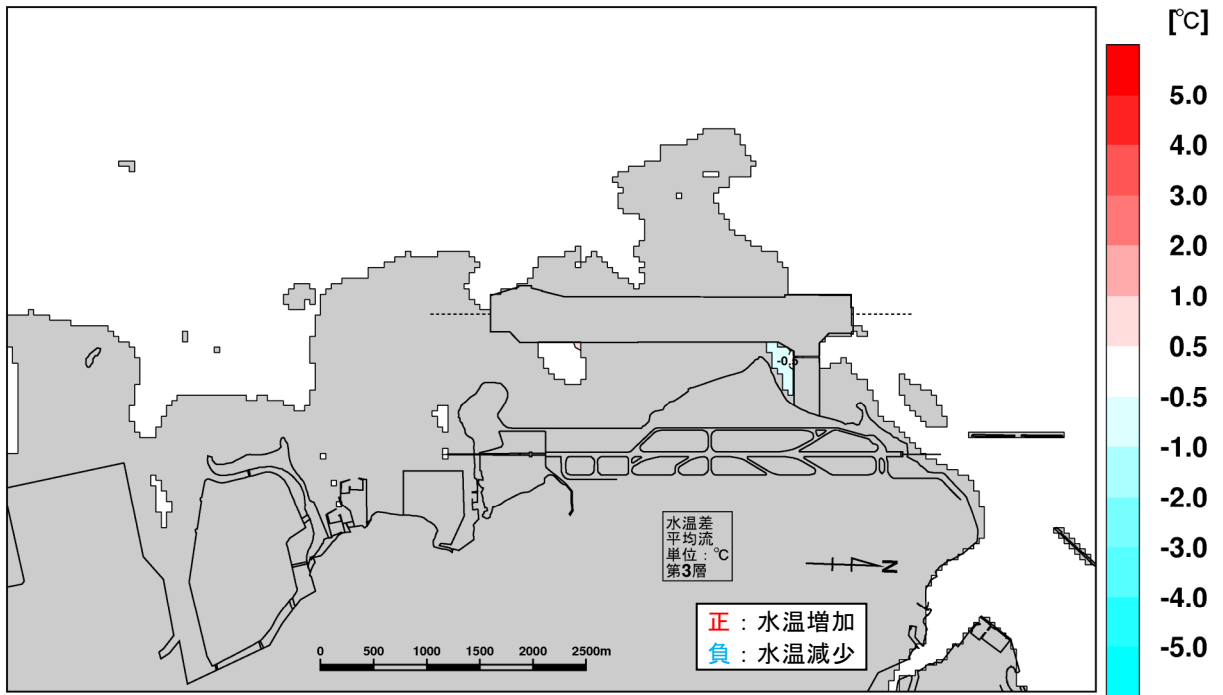
付図－ 6.7.15(4) 将来水温分布（夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第4層）



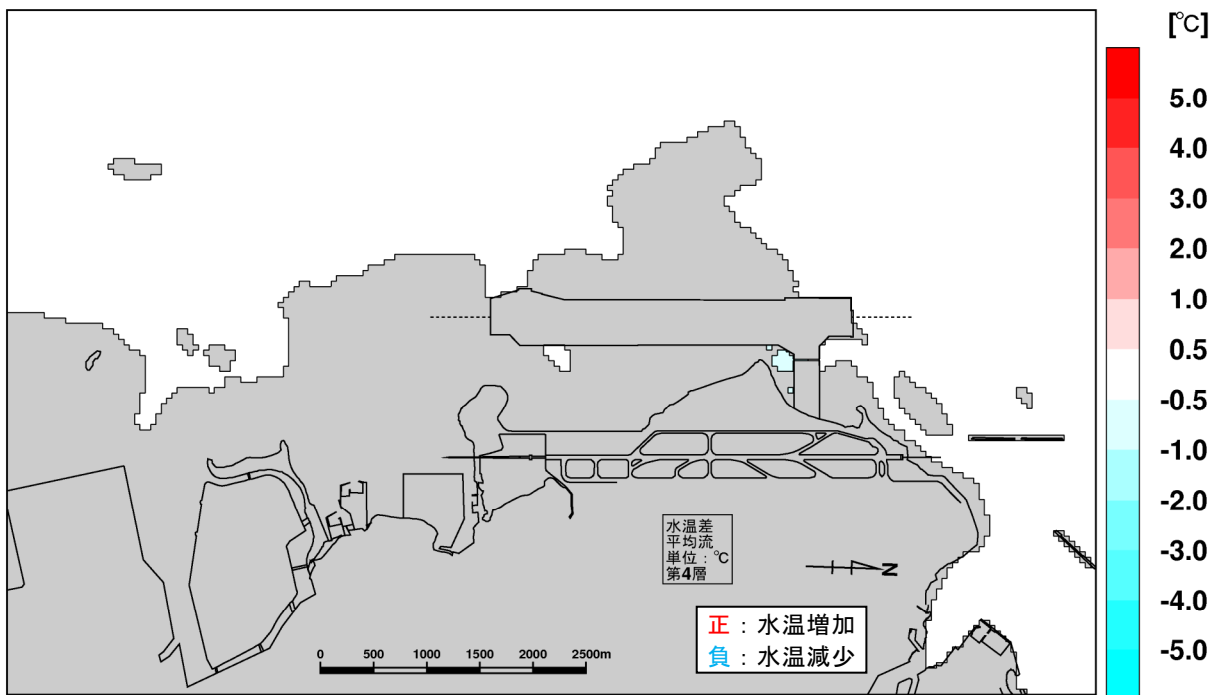
付図－ 6.7.16(1) 将来水温変化（夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第1層）計画ありーなし



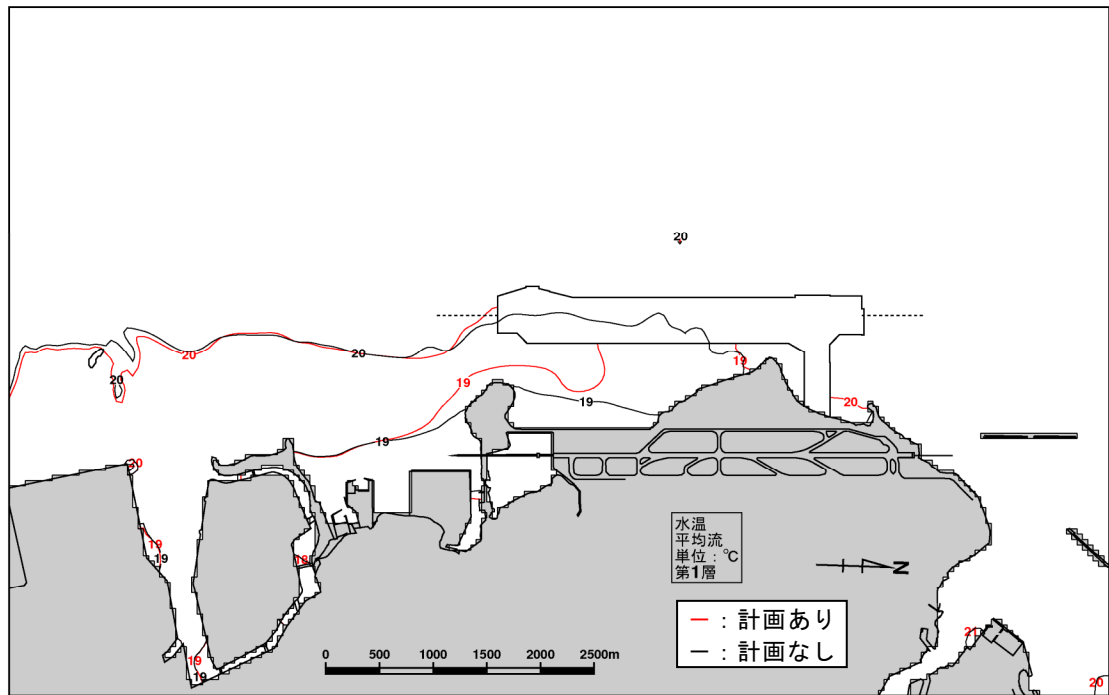
付図－ 6.7.16(2) 将来水温変化（夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第2層）計画ありーなし



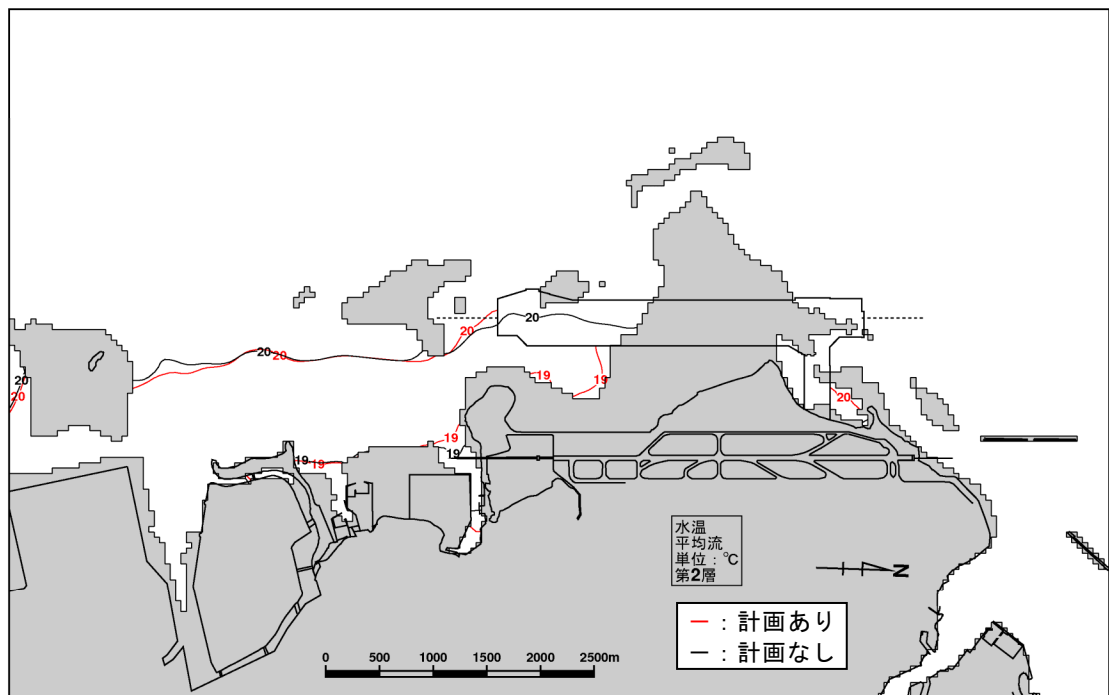
付図－ 6.7.16(3) 将来水温変化（夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第3層）計画ありーなし



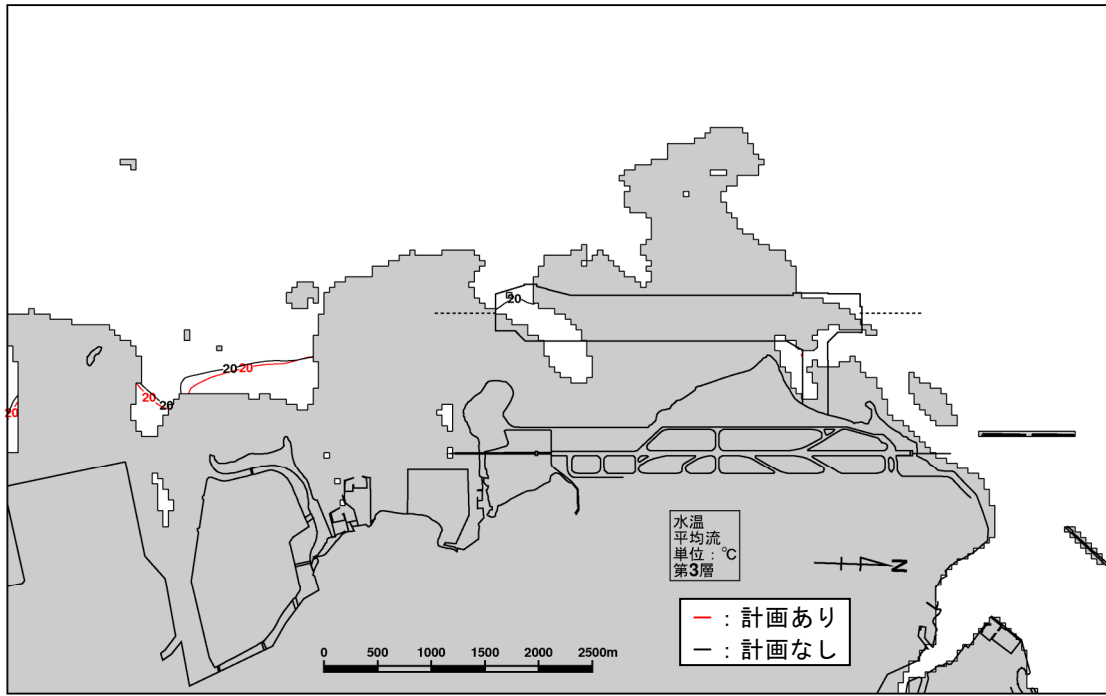
付図－ 6.7.16(4) 将来水温変化（夏季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第4層）計画ありーなし



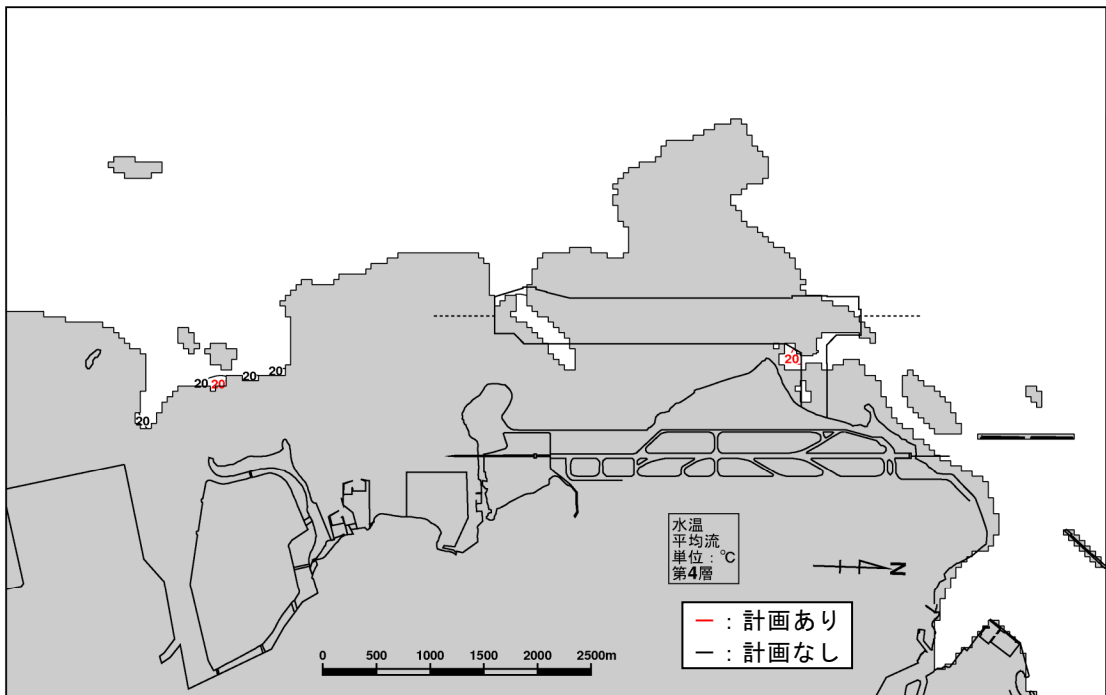
付図－ 6.7.17(1) 将来水温分布（冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第1層）



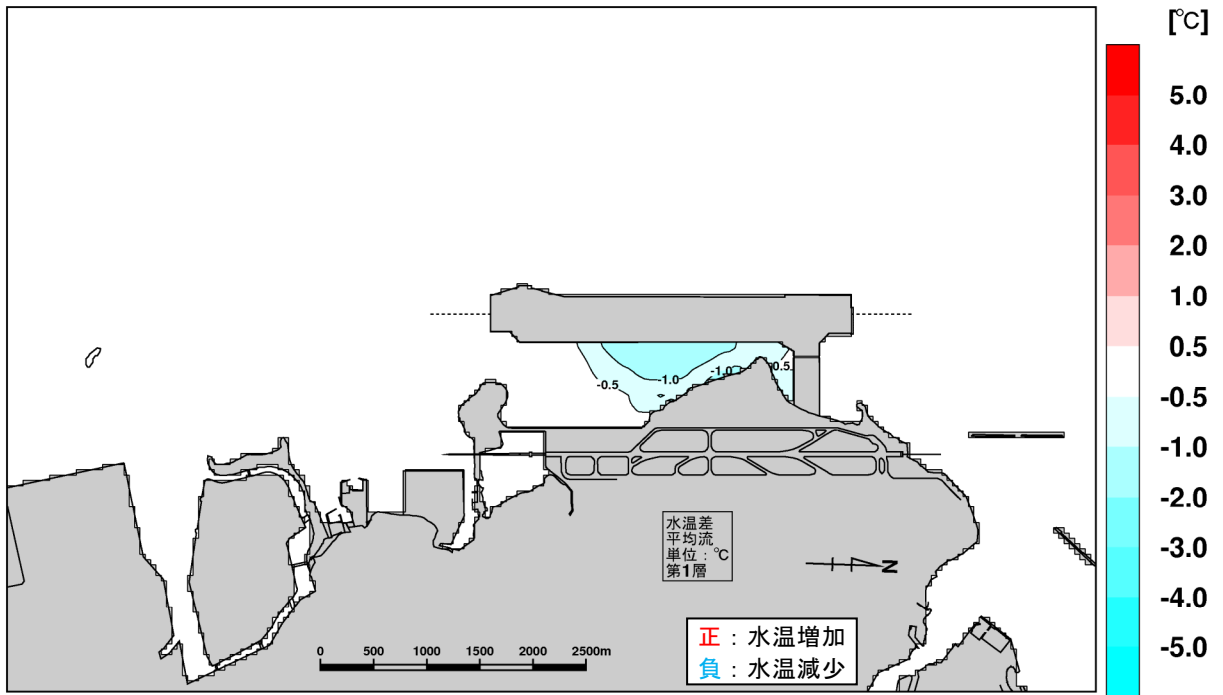
付図－ 6.7.17(2) 将来水温分布（冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第2層）



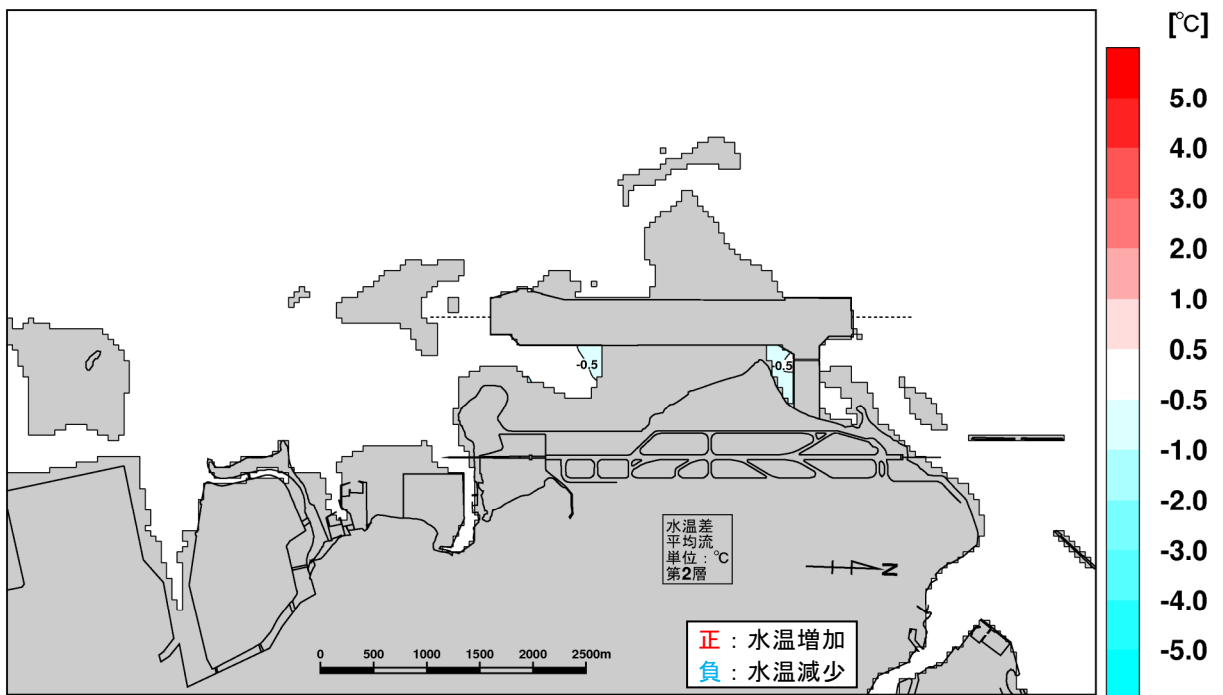
付図－ 6. 7. 17(3) 将来水温分布 (冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第3層)



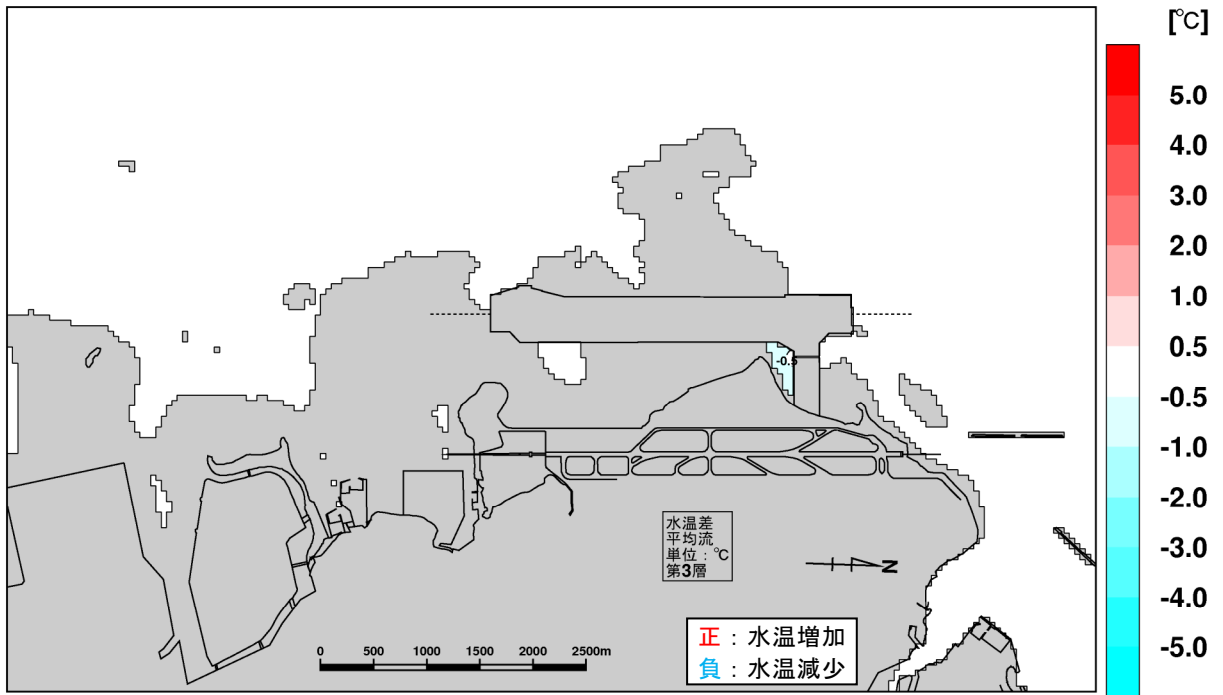
付図－ 6. 7. 17(4) 将来水温分布 (冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第4層)



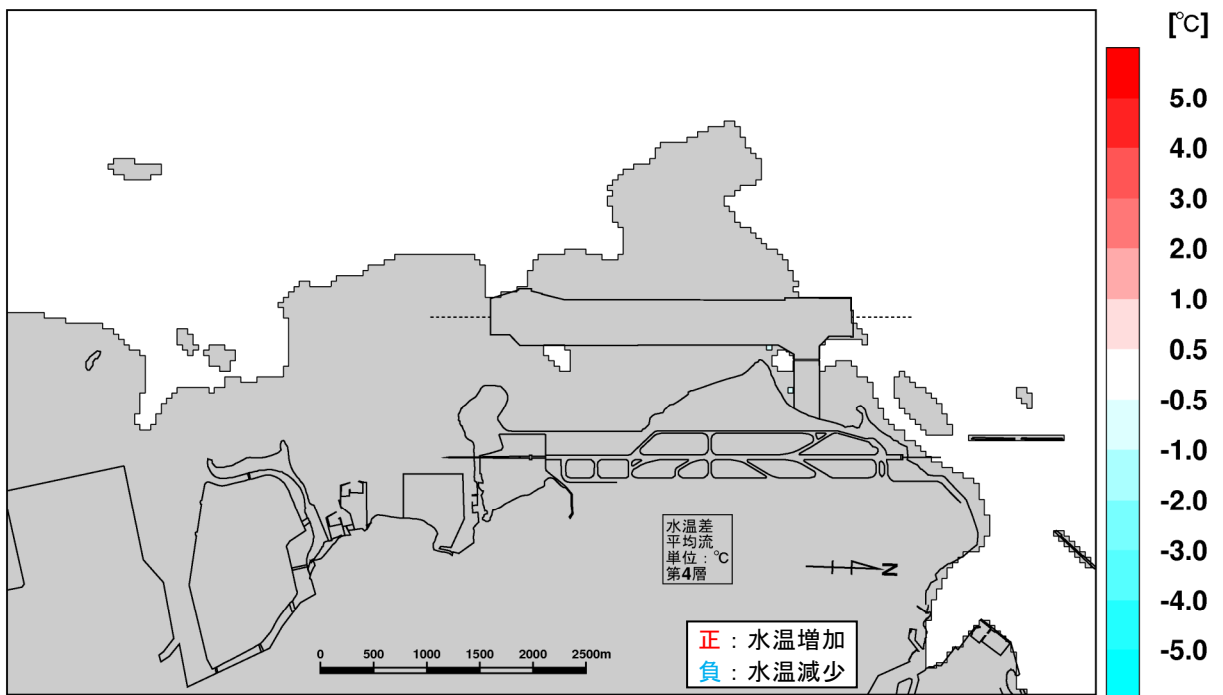
付図－ 6. 7. 18(1) 将来水温変化（冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第1層）計画ありーなし



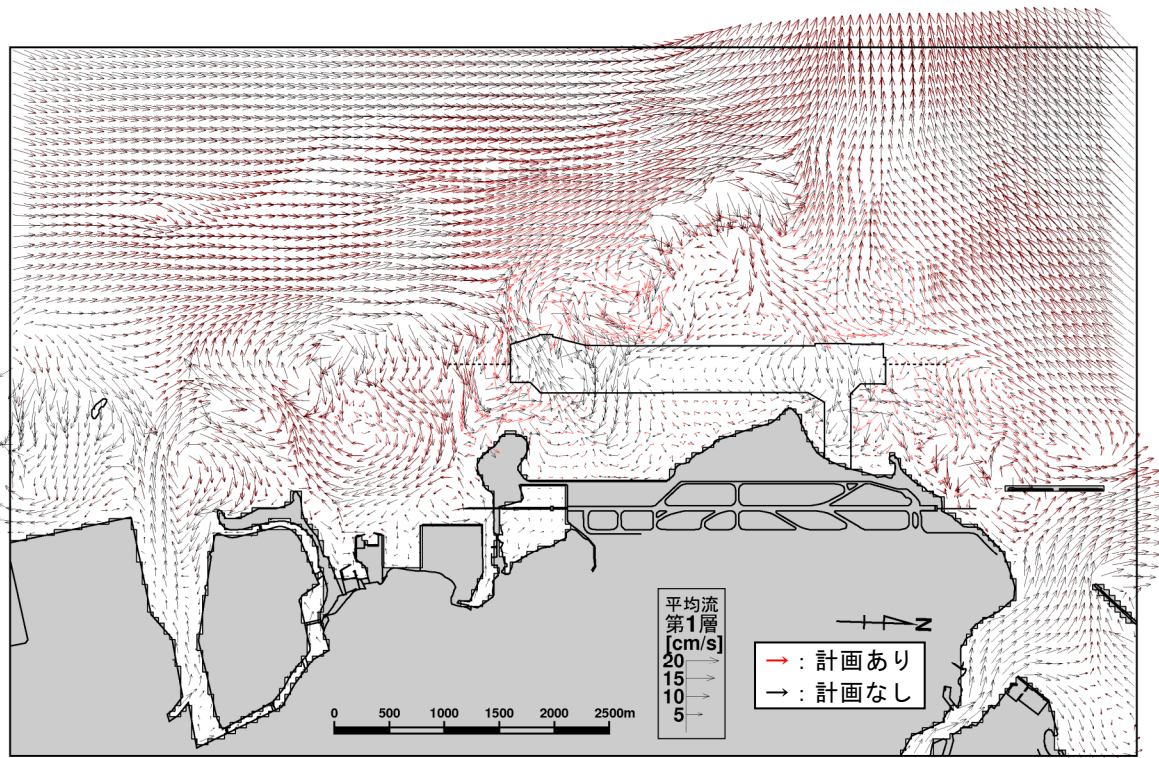
付図－ 6. 7. 18(2) 将来水温変化（冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第2層）計画ありーなし



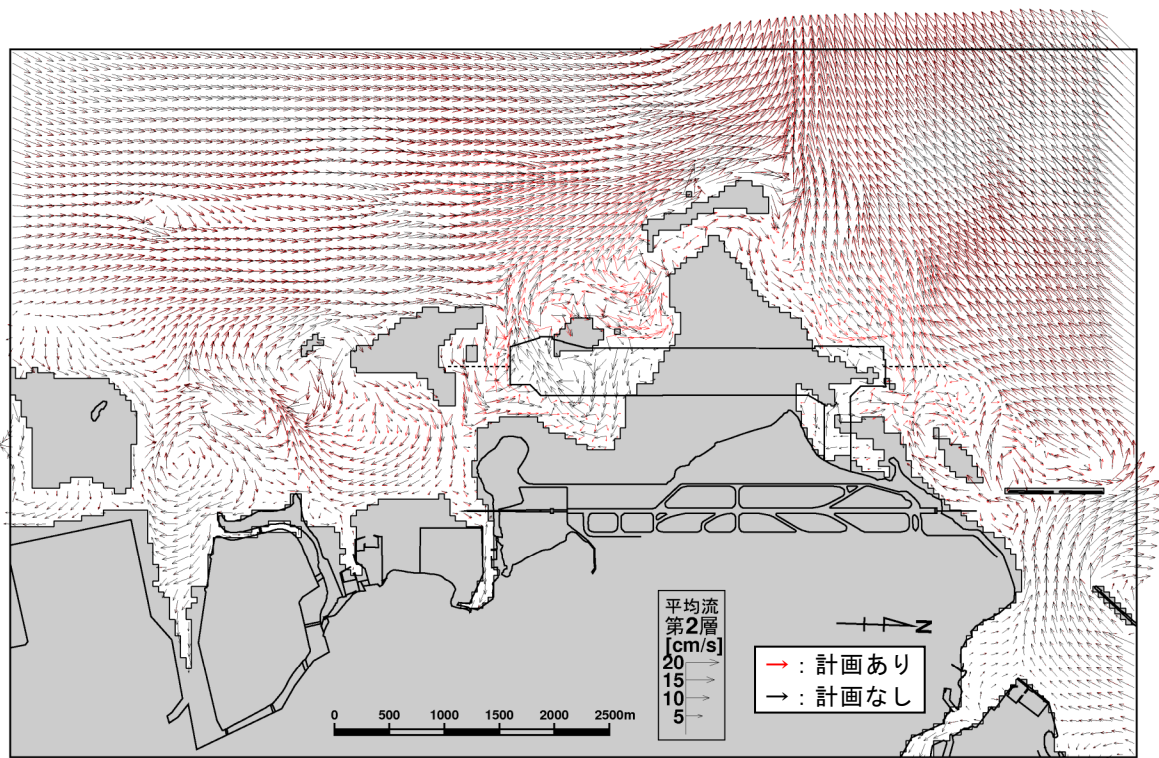
付図－ 6.7.18(3) 将来水温変化（冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第3層）計画ありーなし



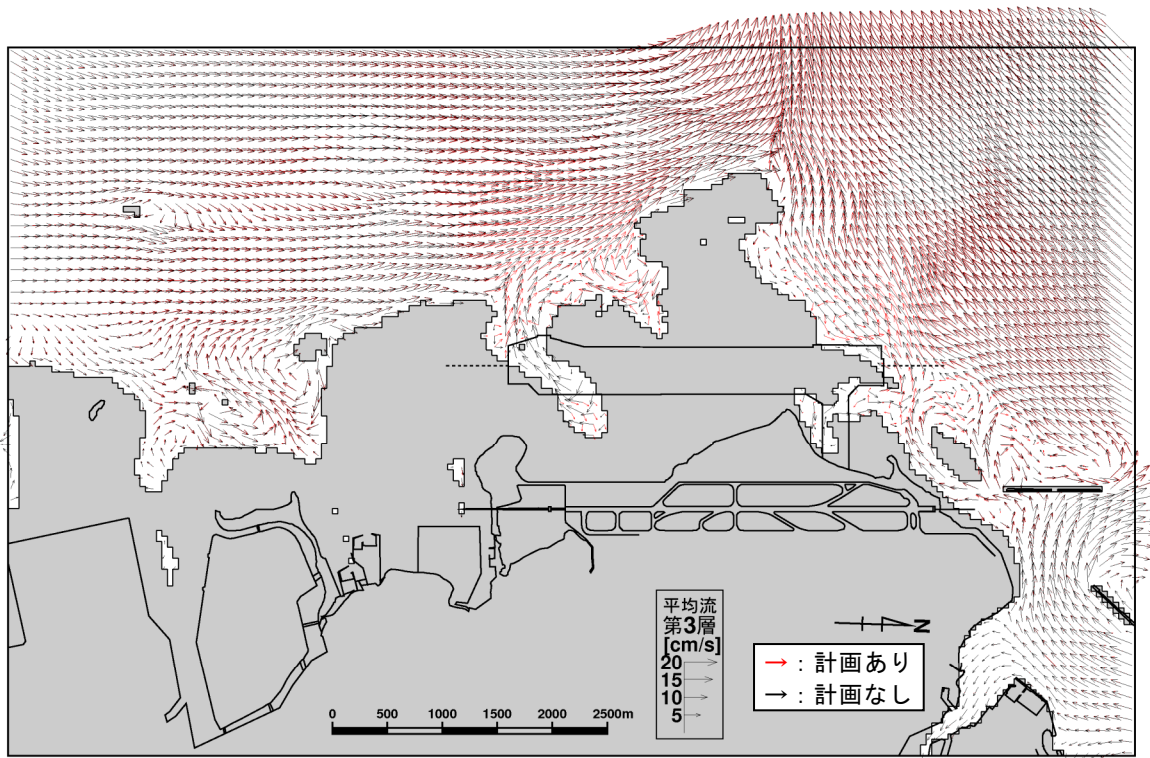
付図－ 6.7.18(4) 将来水温変化（冬季, 平常時, 大潮, 一潮汐平均, 第4層）計画ありーなし



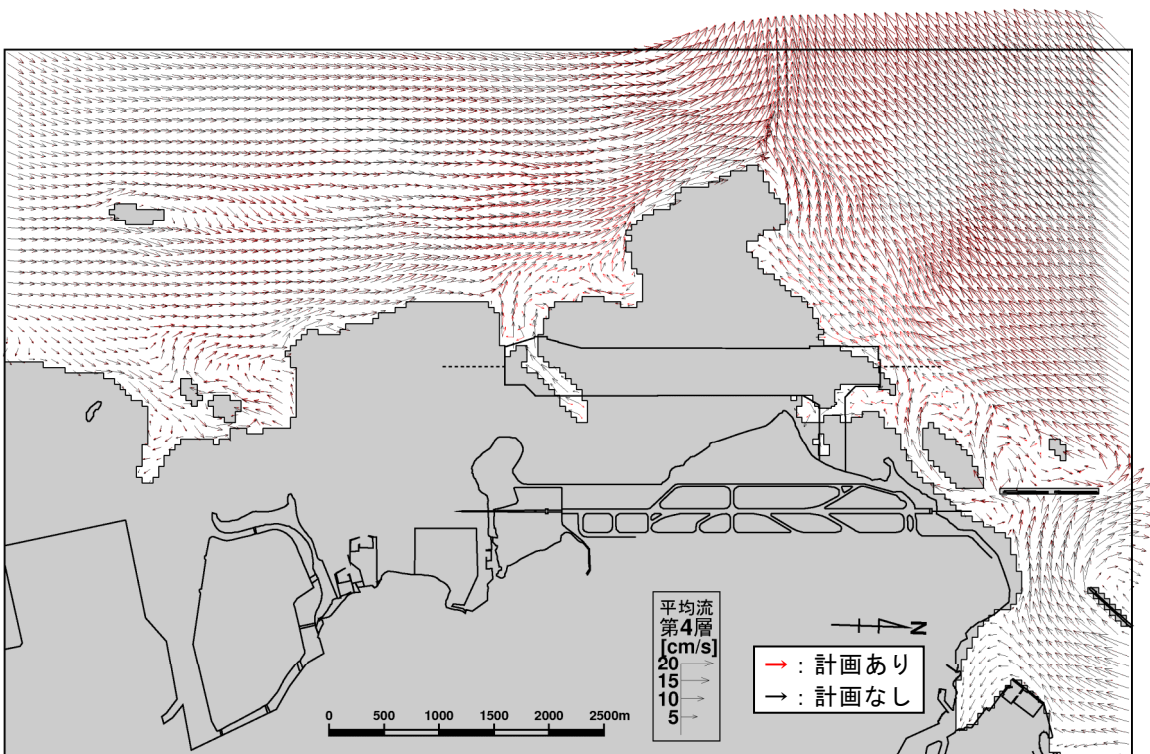
付図ー 6.7.19(1) 将来流速ベクトル (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



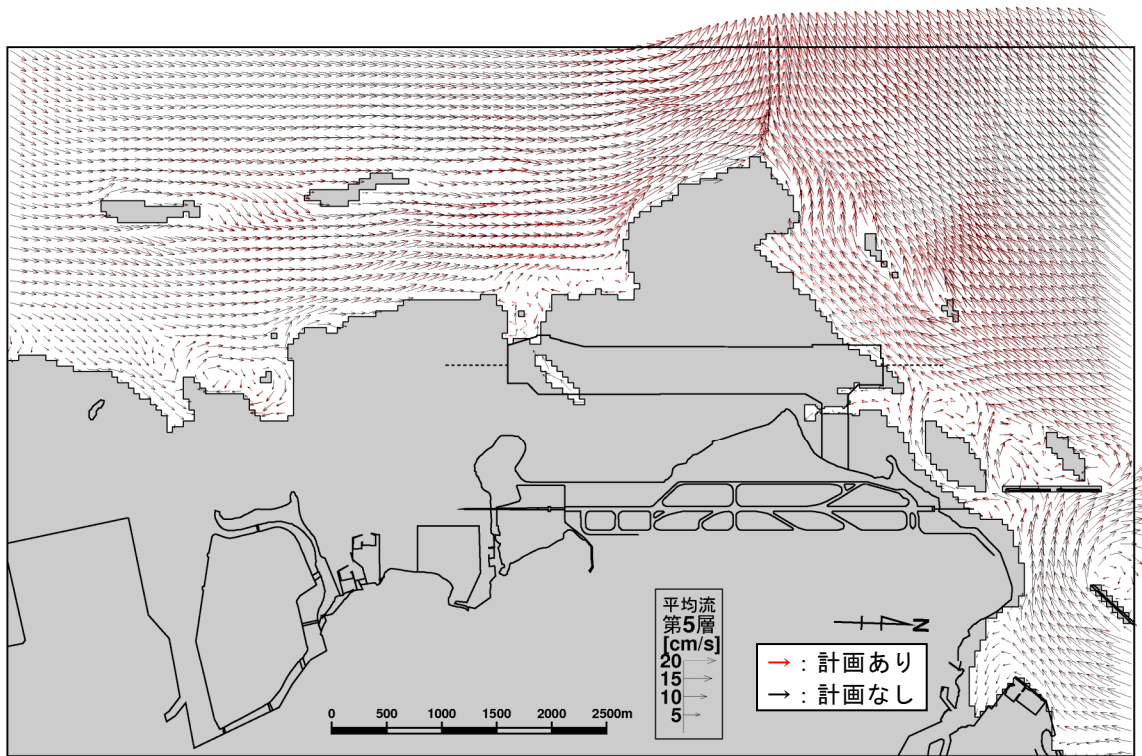
付図ー 6.7.19 (2) 将来流速ベクトル (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



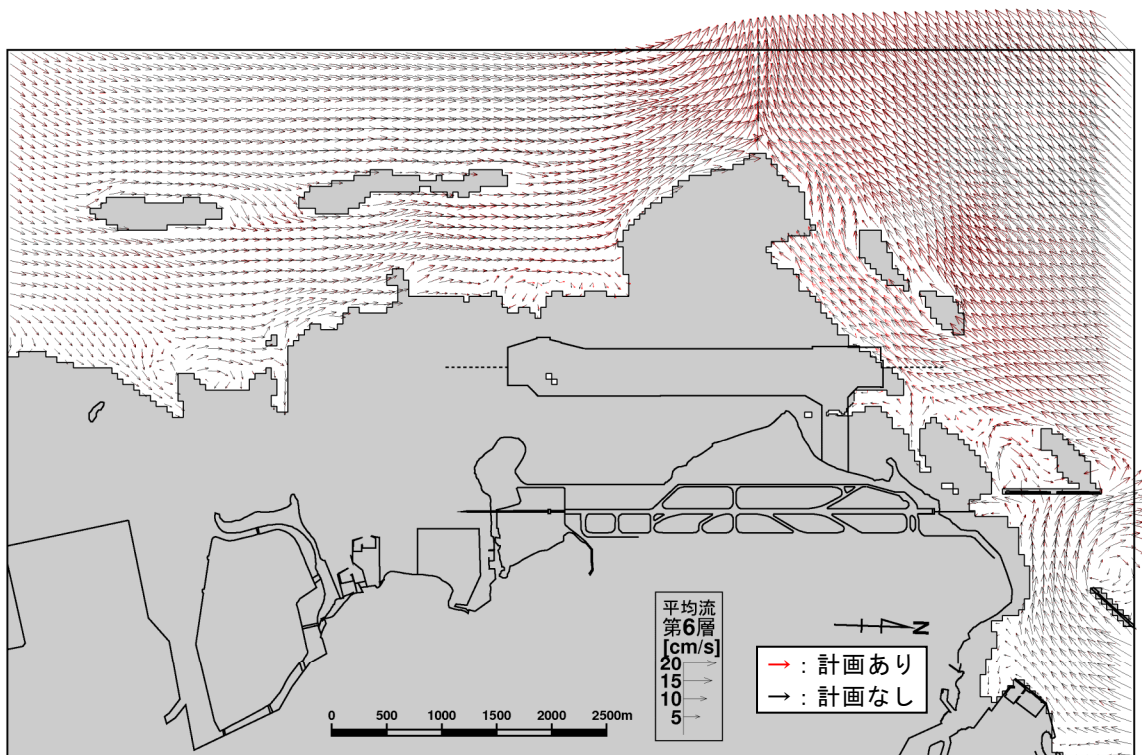
付図－ 6.7.19 (3) 将来流速ベクトル (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



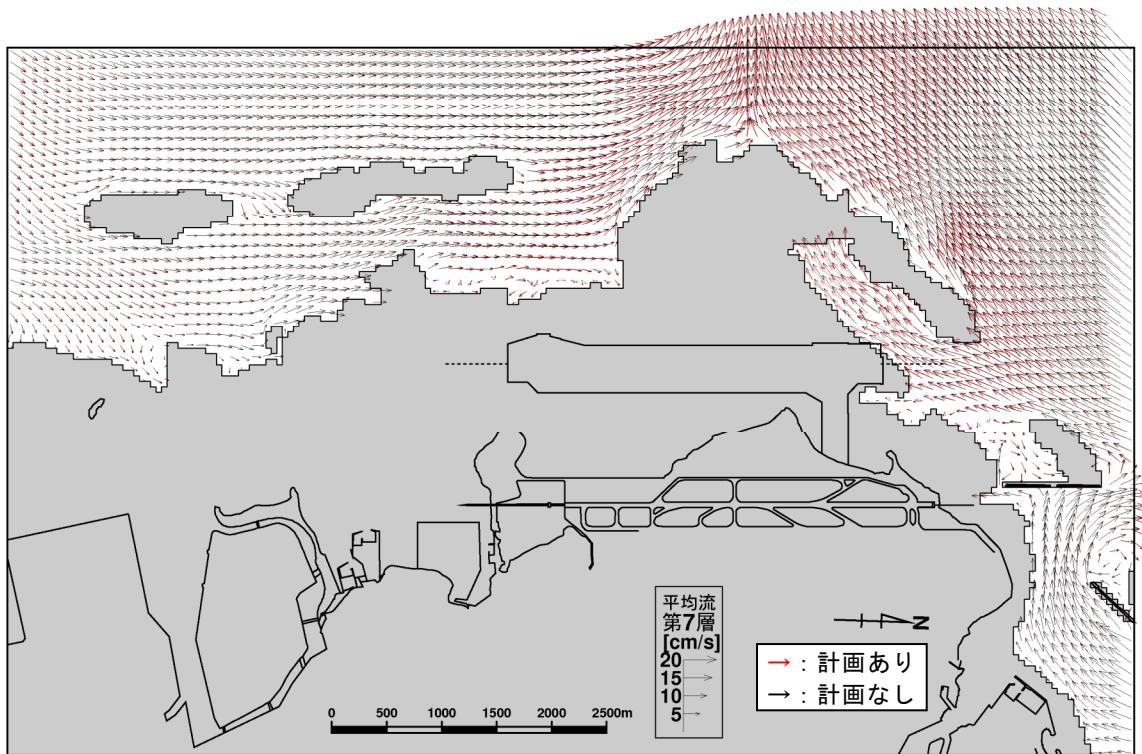
付図－ 6.7.19 (4) 将来流速ベクトル (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



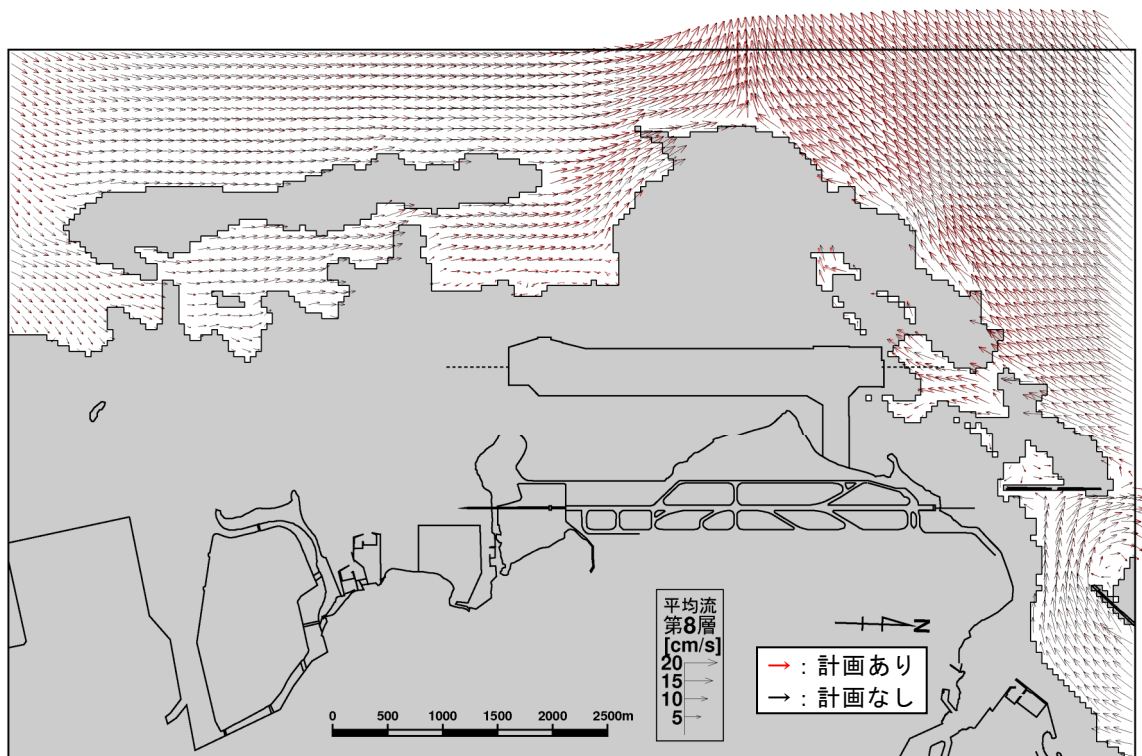
付図－ 6.7.19 (5) 将来流速ベクトル（夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層）



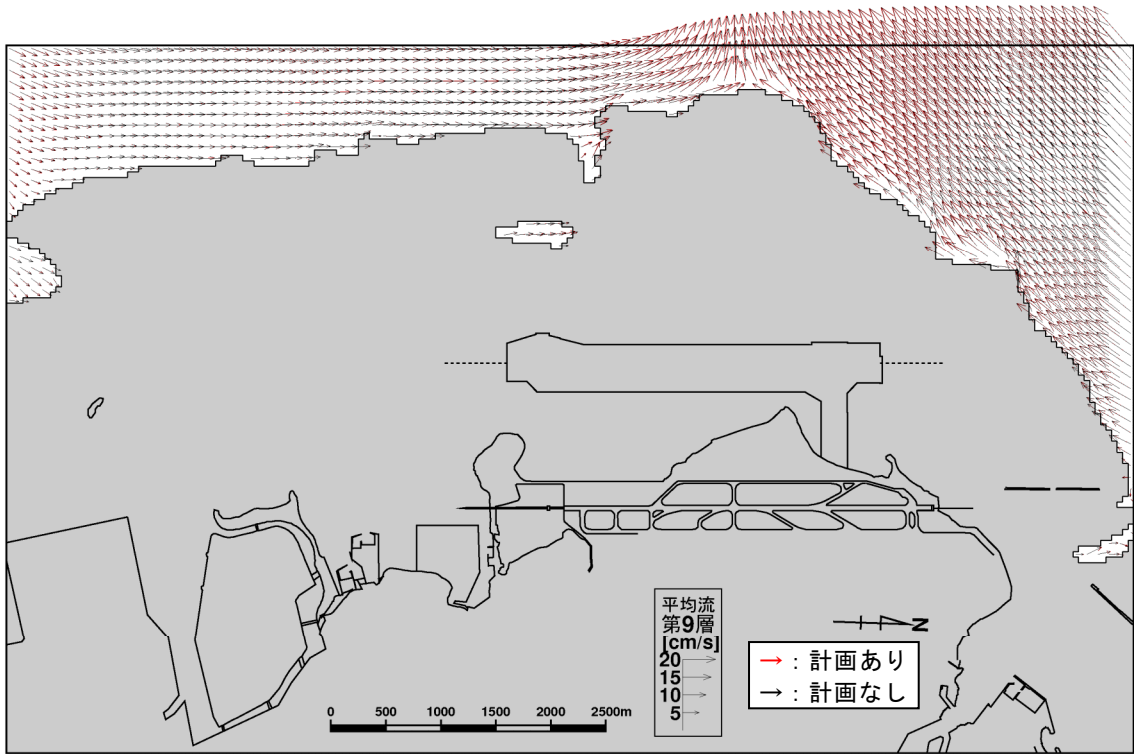
付図－ 6.7.19 (6) 将来流速ベクトル（夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層）



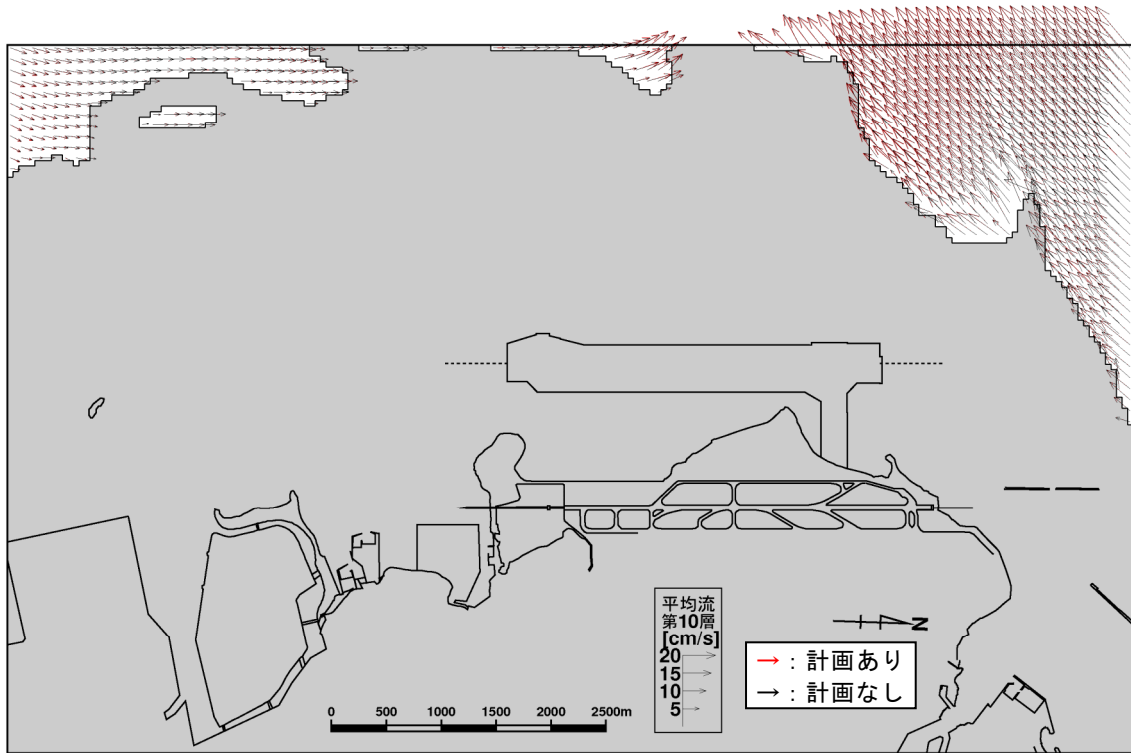
付図－ 6.7.19 (7) 将来流速ベクトル（夏季，平常時，平均潮，平均流，第7層）



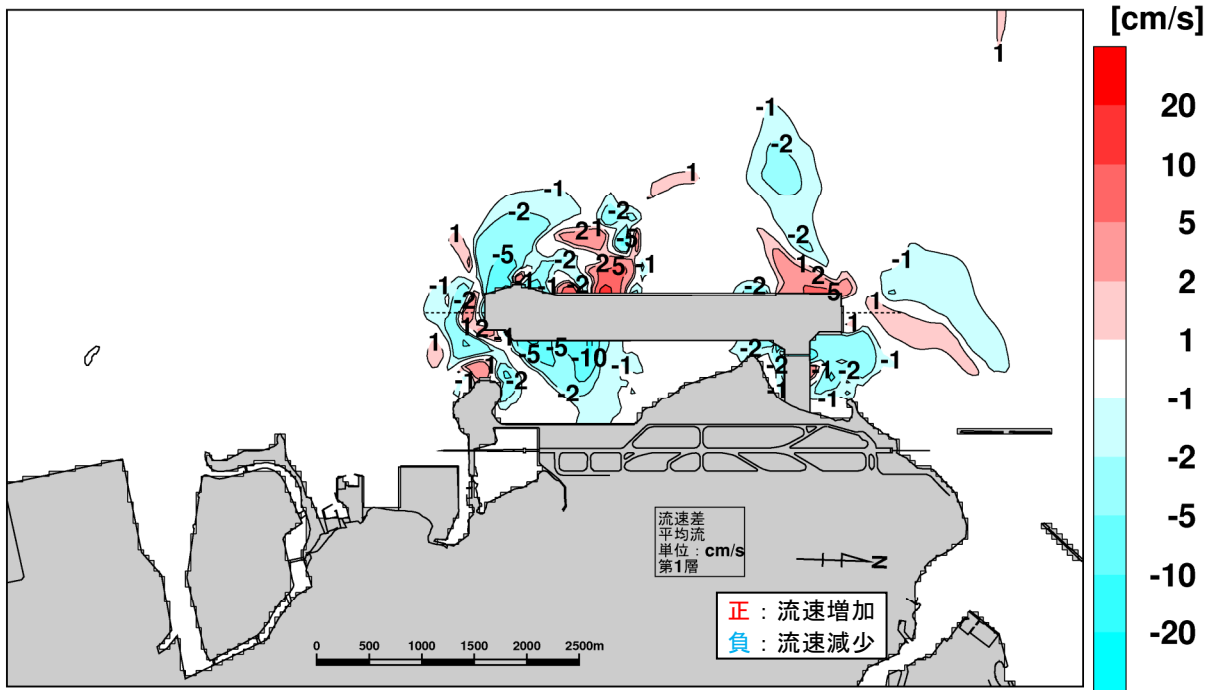
付図－ 6.7.19 (8) 将来流速ベクトル（夏季，平常時，平均潮，平均流，第8層）



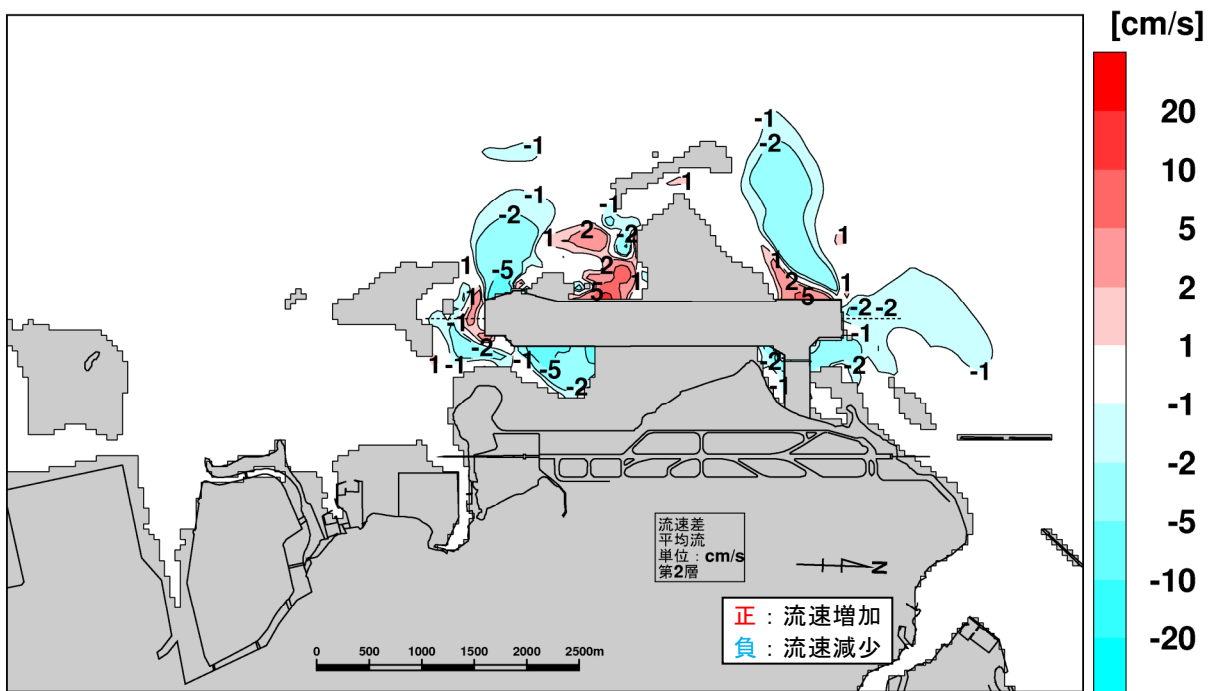
付図－ 6.7.19 (9) 将来流速ベクトル（夏季，平常時，平均潮，平均流，第9層）



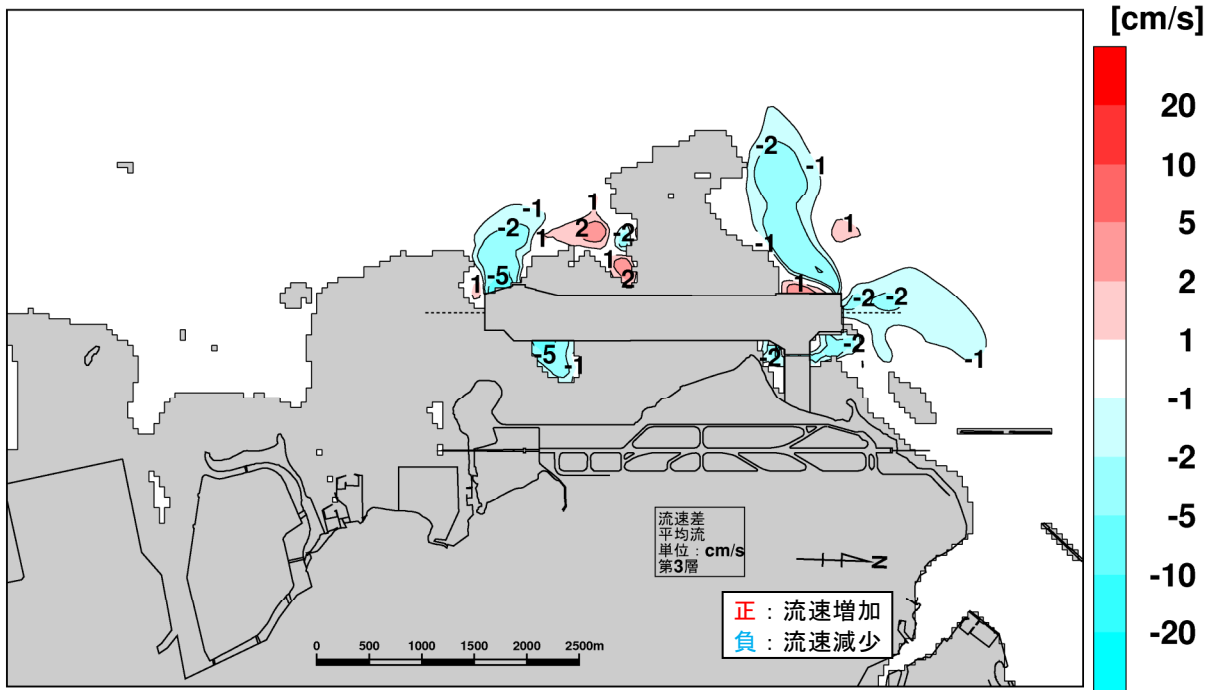
付図－ 6.7.19 (10) 将来流速ベクトル（夏季，平常時，平均潮，平均流，第10層）



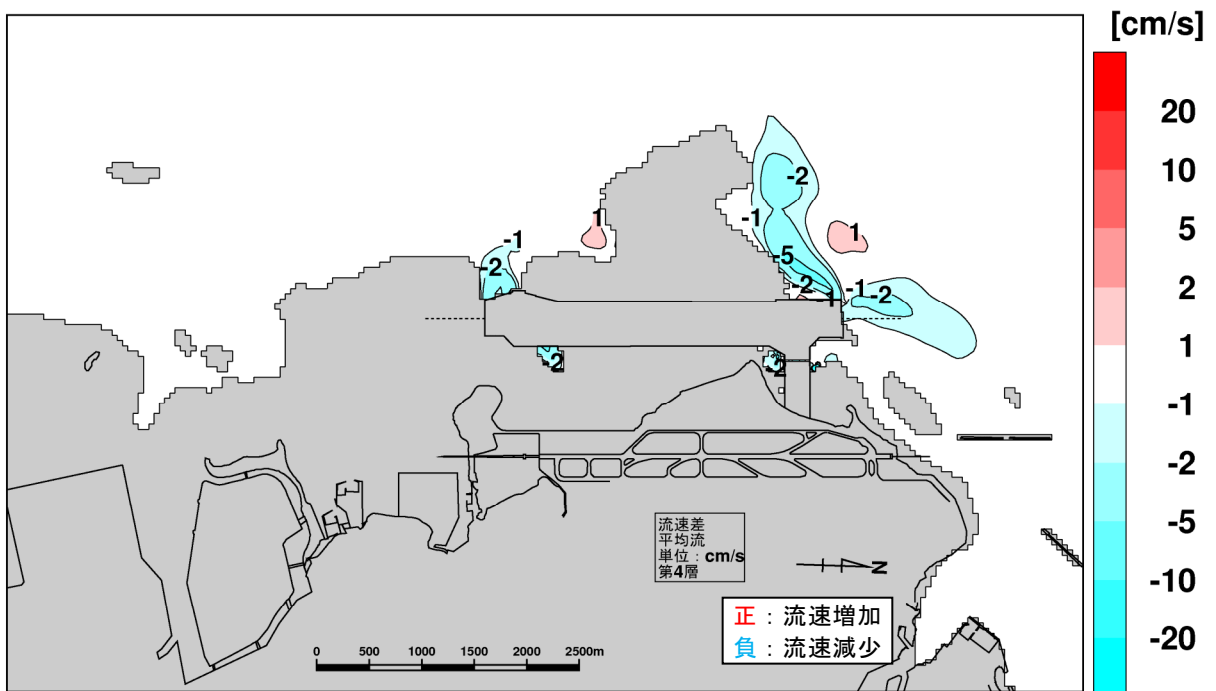
付図－ 6.7.20(1) 将来流速変化（夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層）計画ありーなし



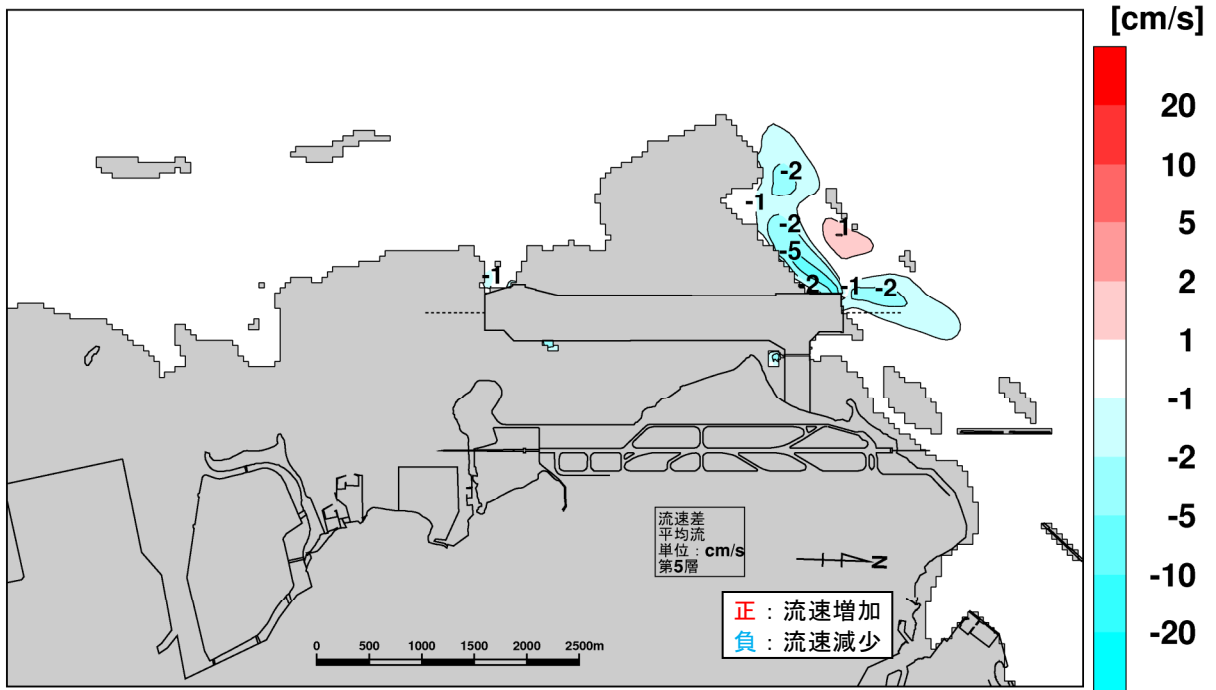
付図－ 6.7.20(2) 将来流速変化（夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層）計画ありーなし



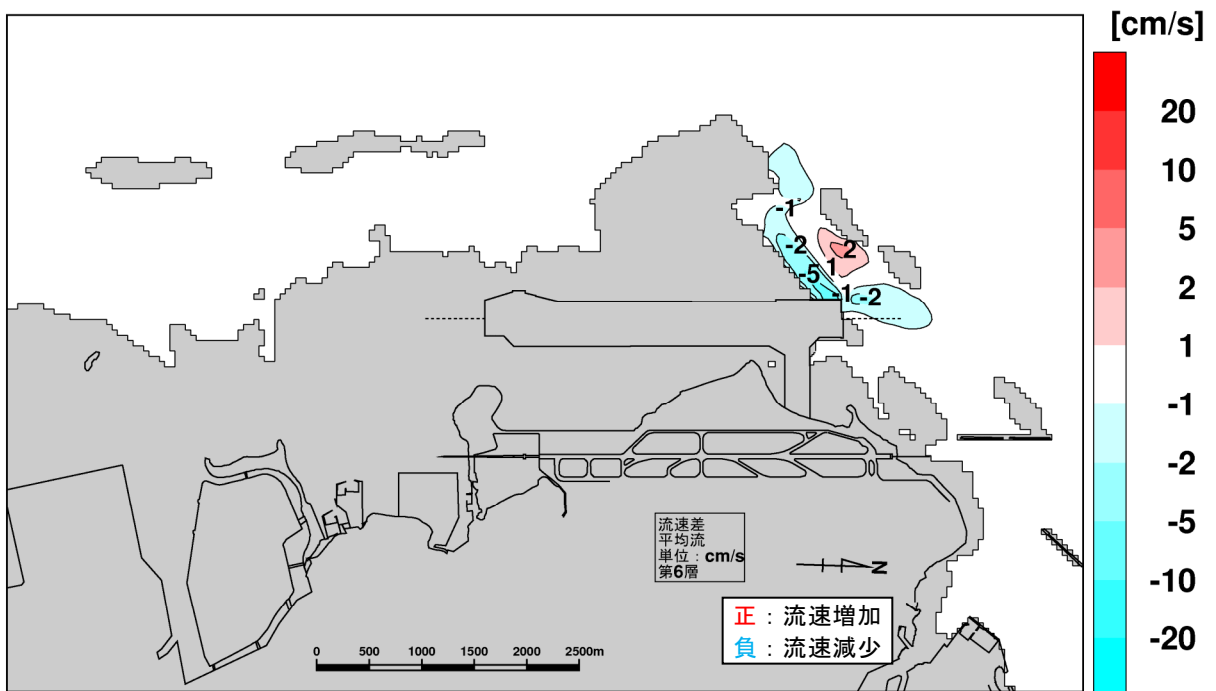
付図－ 6.7.20 (3) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第3層）計画ありーなし



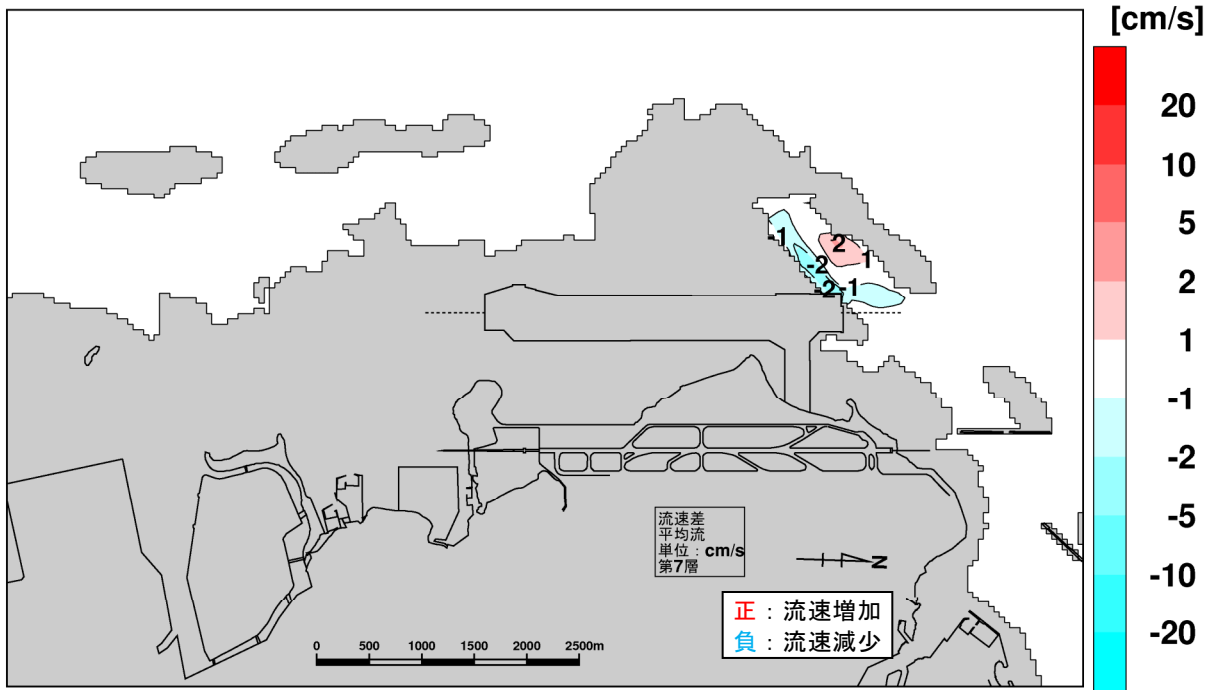
付図－ 6.7.20 (4) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第4層）計画ありーなし



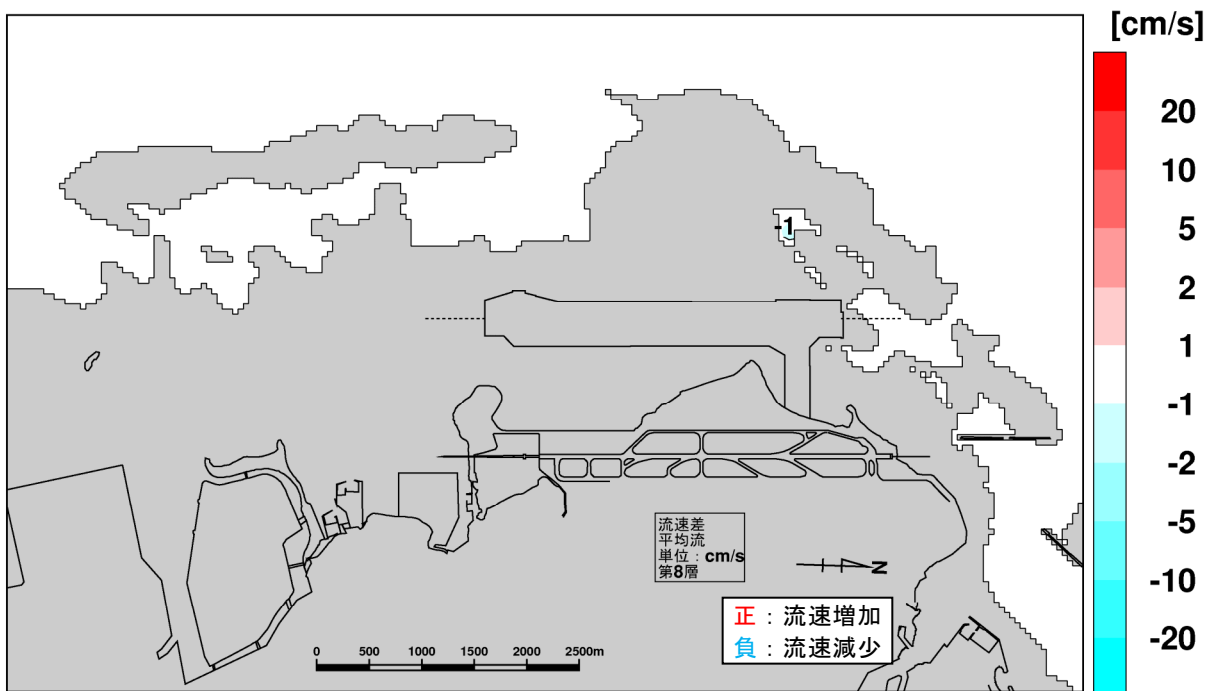
付図－ 6.7.20 (5) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第5層）計画ありーなし



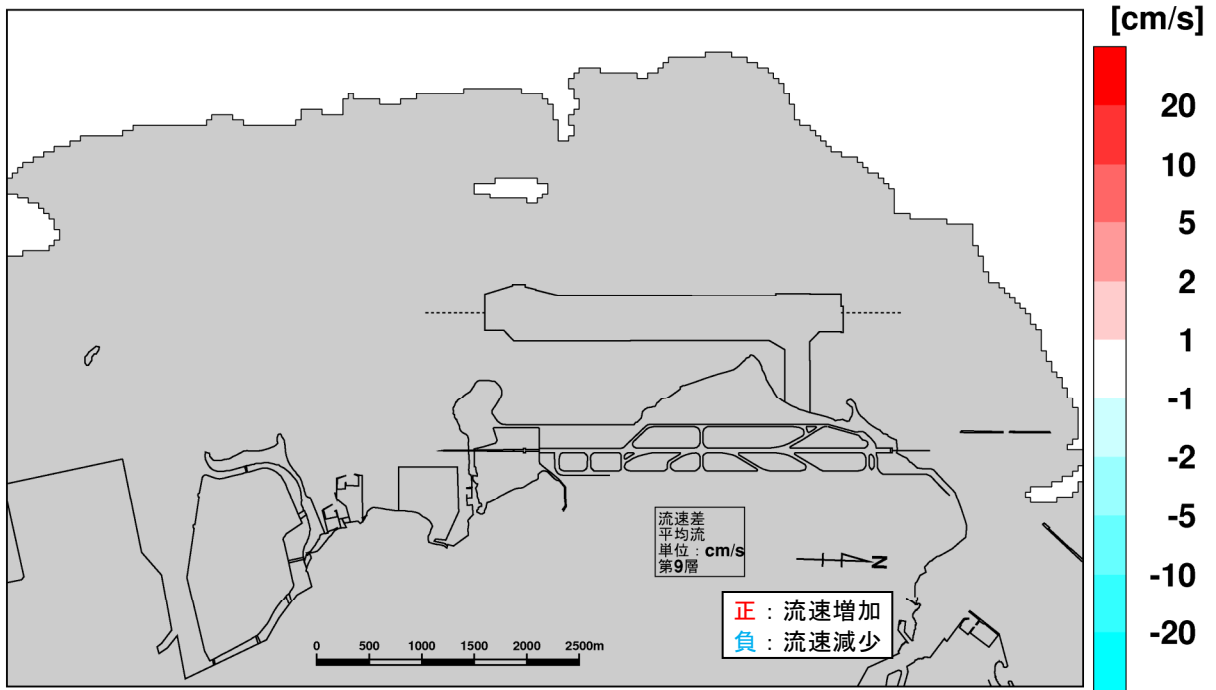
付図－ 6.7.20 (6) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第6層）計画ありーなし



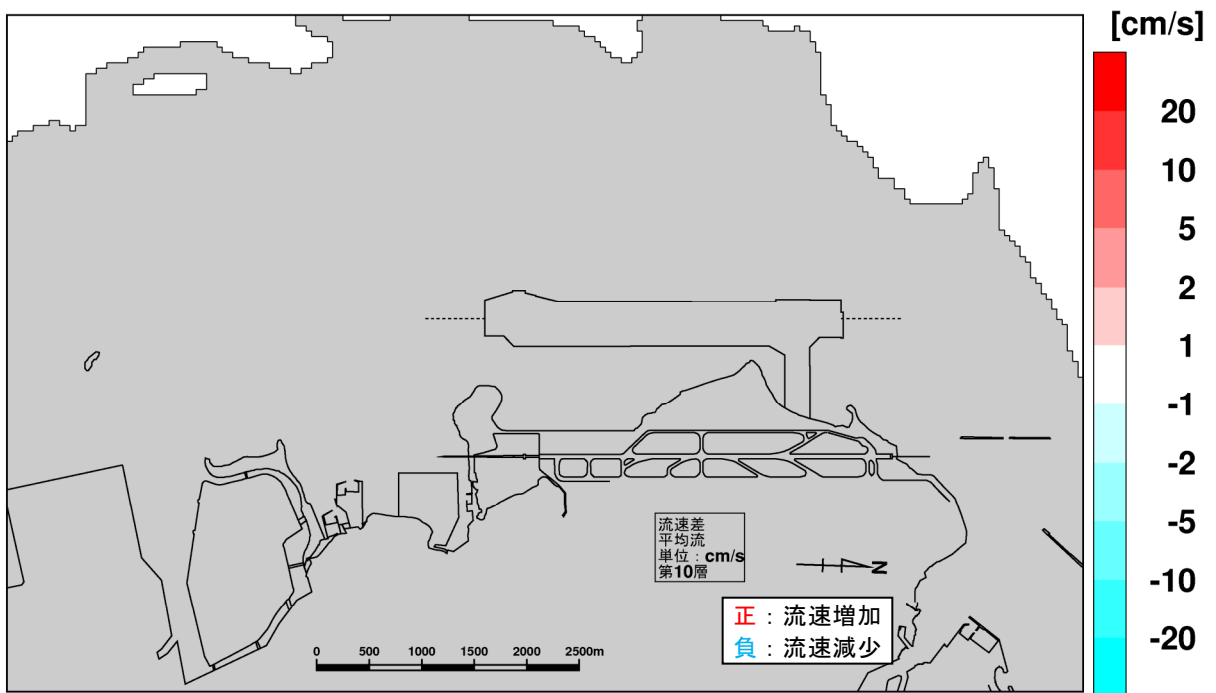
付図－ 6.7.20 (7) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第7層）計画ありーなし



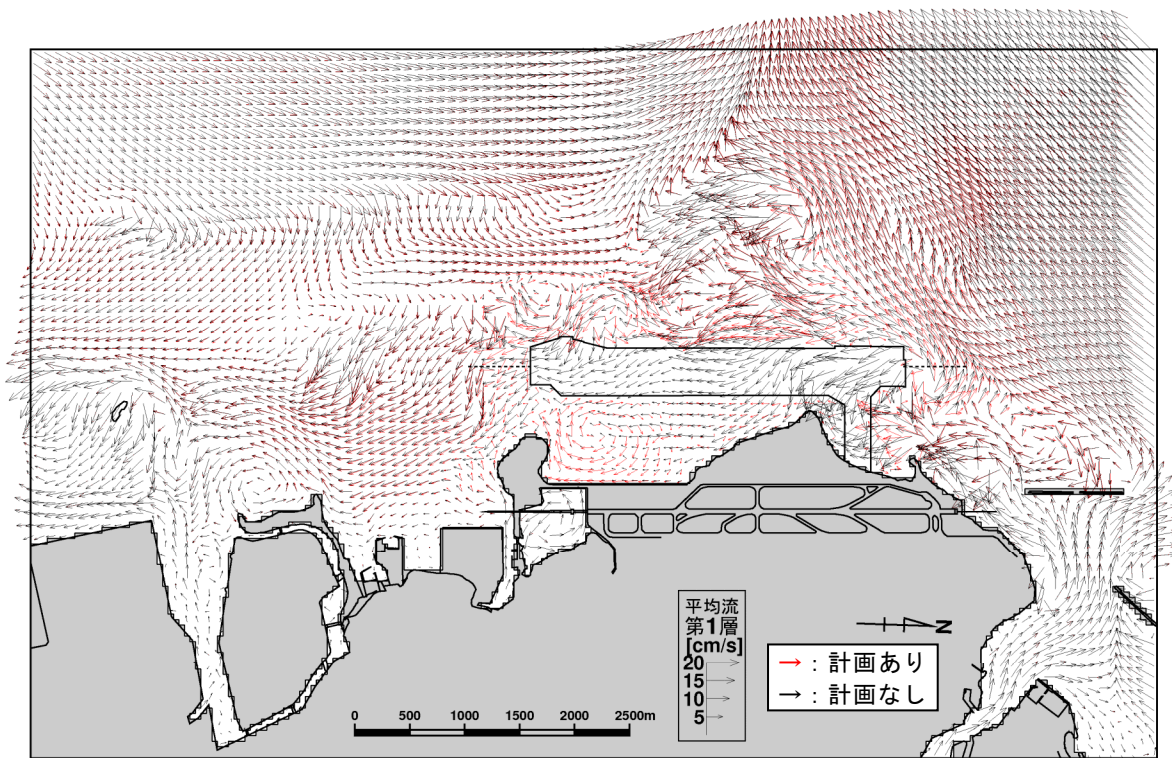
付図－ 6.7.20 (8) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第8層）計画ありーなし



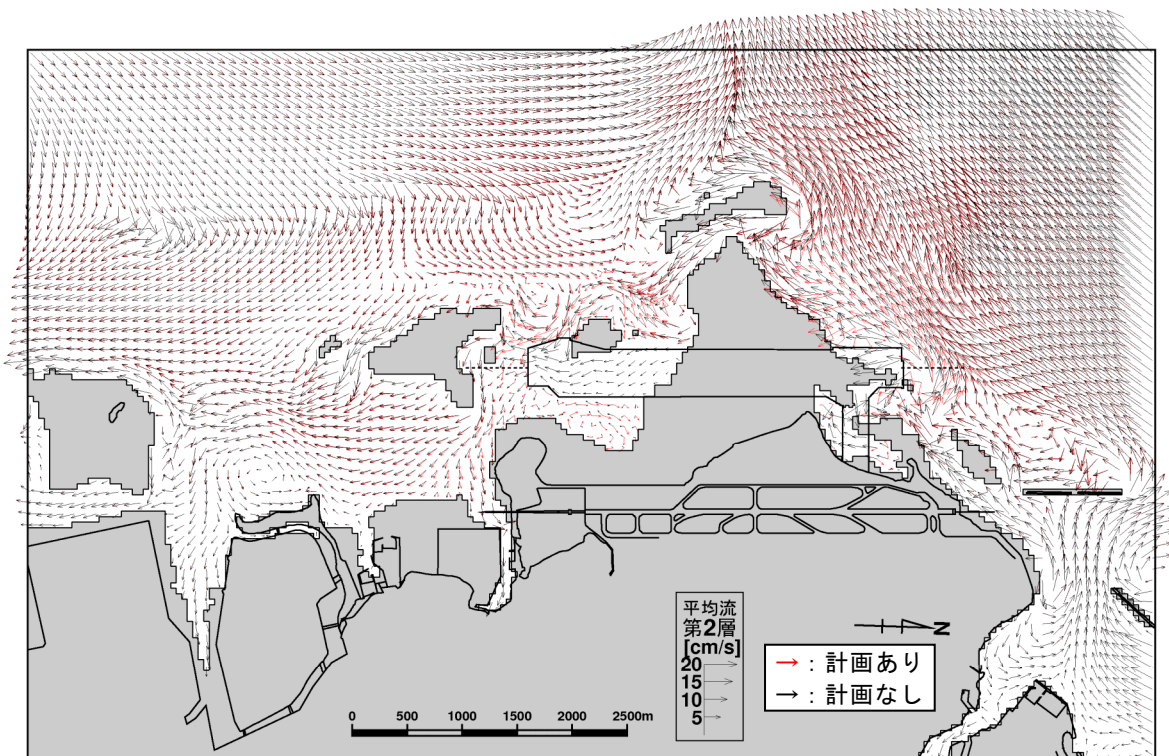
付図－ 6.7.20 (9) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第9層）計画ありーなし



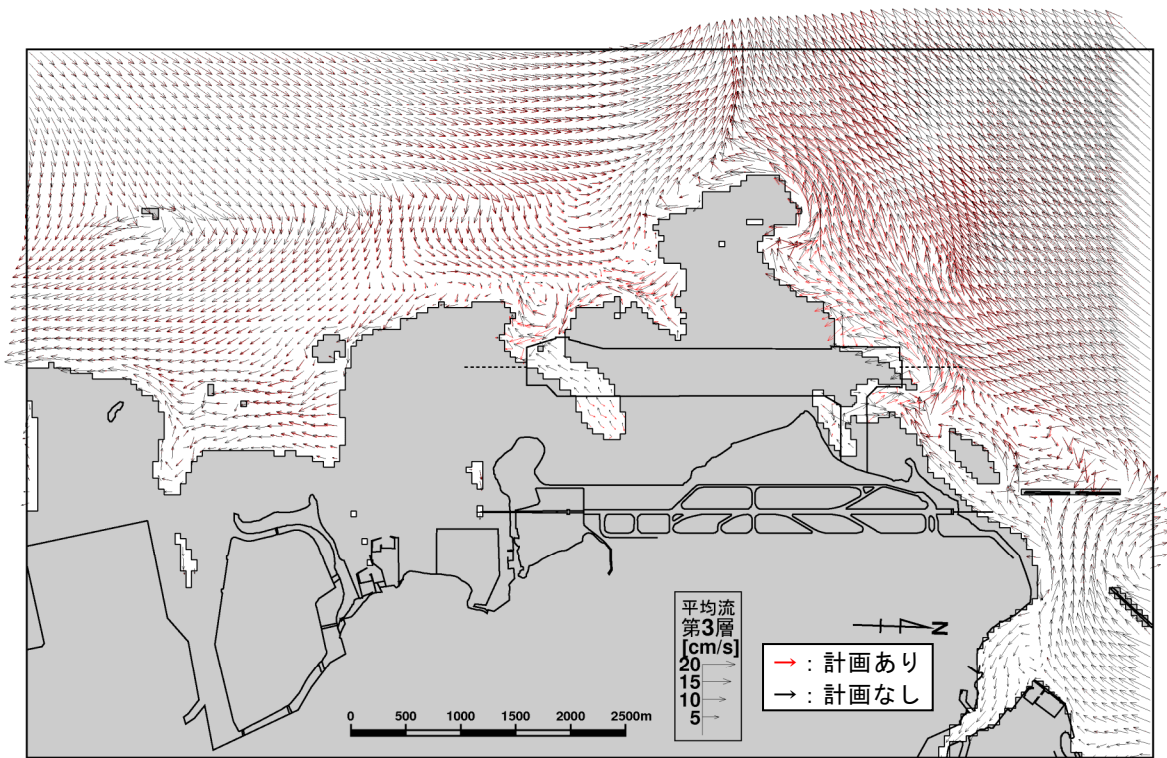
付図－ 6.7.20 (10) 将来流速変化（夏季，平常時，平均潮，平均流，第10層）計画ありーなし



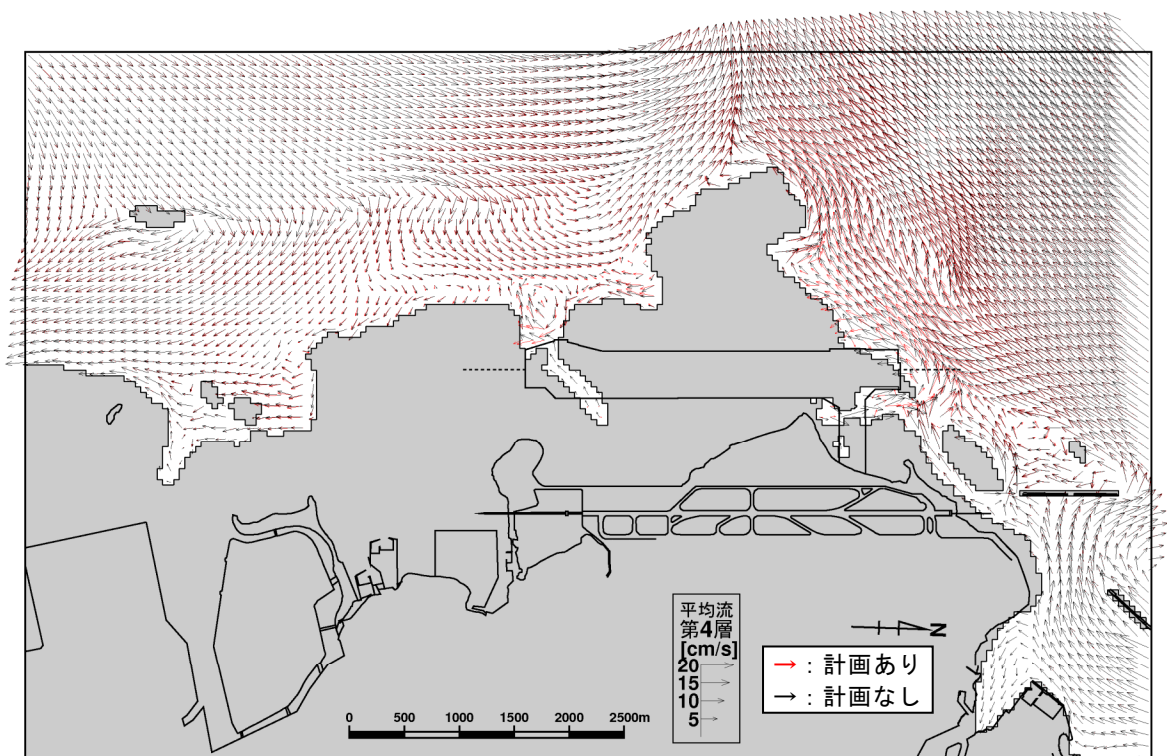
付図ー 6.7.21(1) 将来流速ベクトル (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



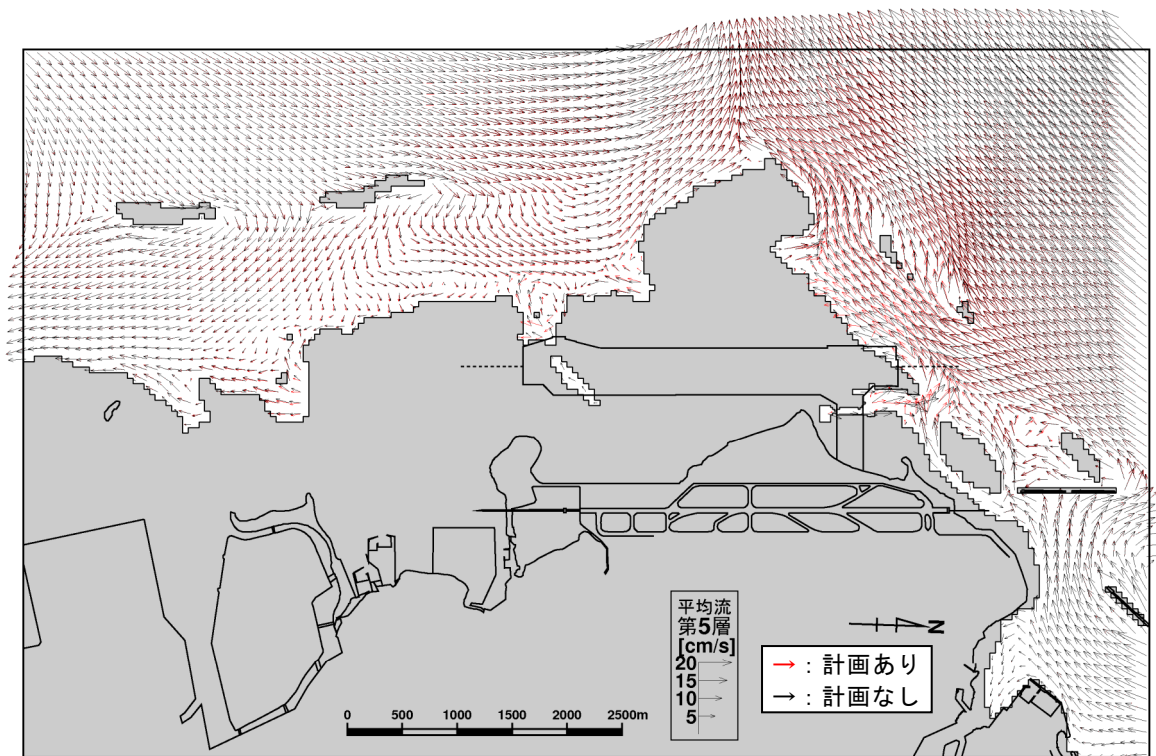
付図ー 6.7.21 (2) 将来流速ベクトル (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



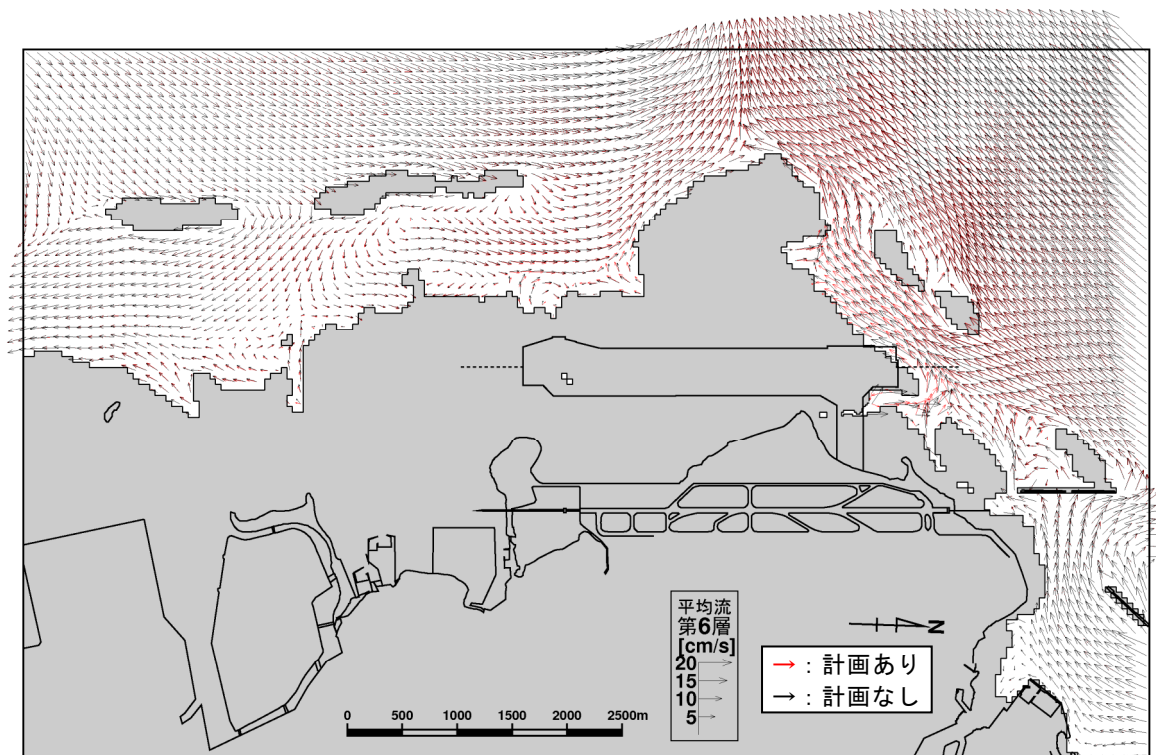
付図－ 6.7.21 (3) 将来流速ベクトル (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



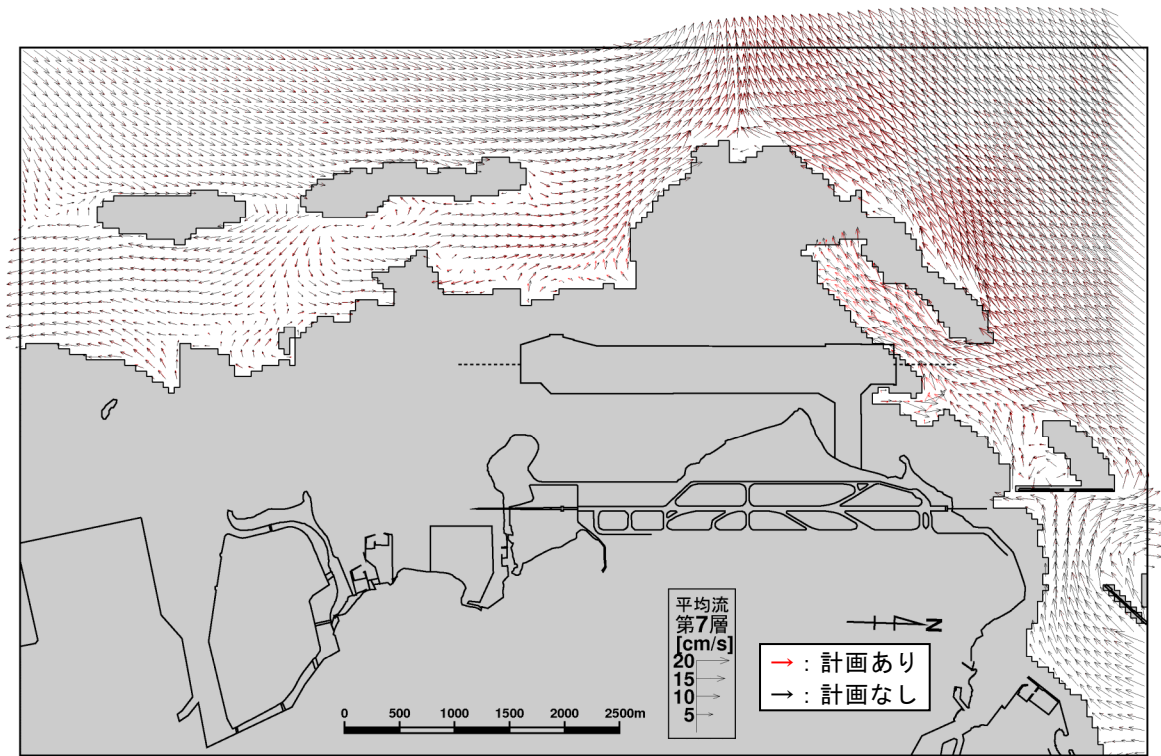
付図－ 6.7.21 (4) 将来流速ベクトル (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



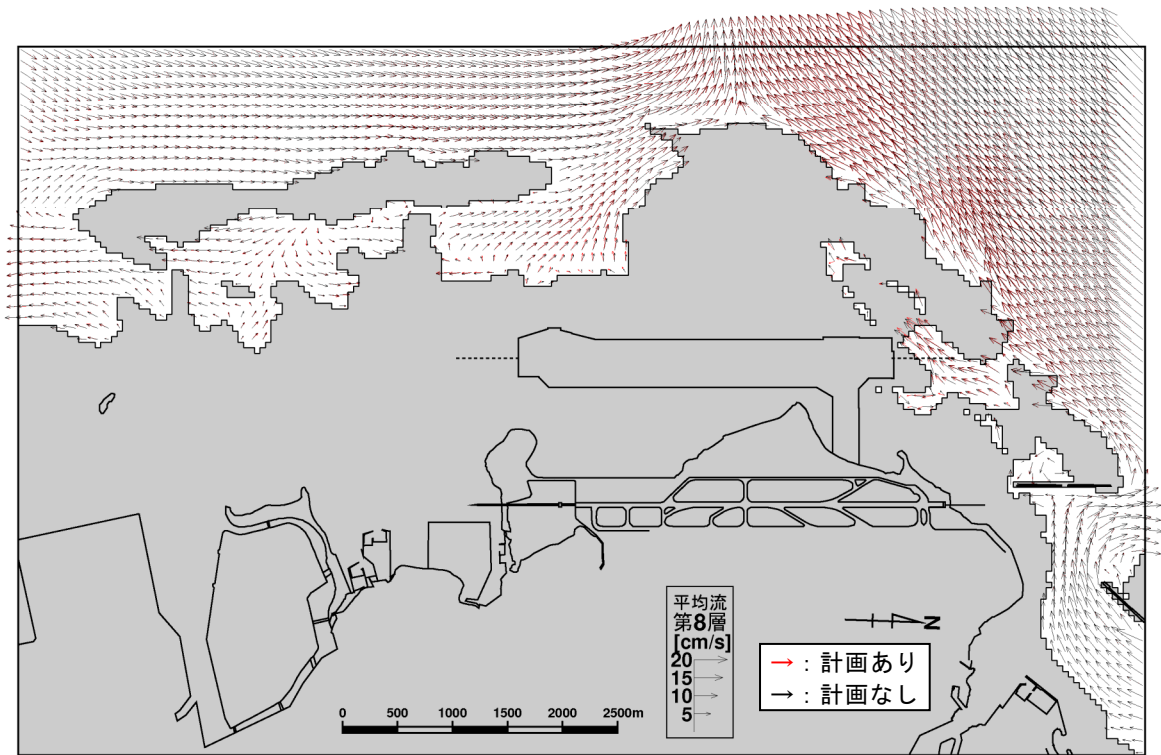
付図－ 6.7.21 (5) 将来流速ベクトル（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層）



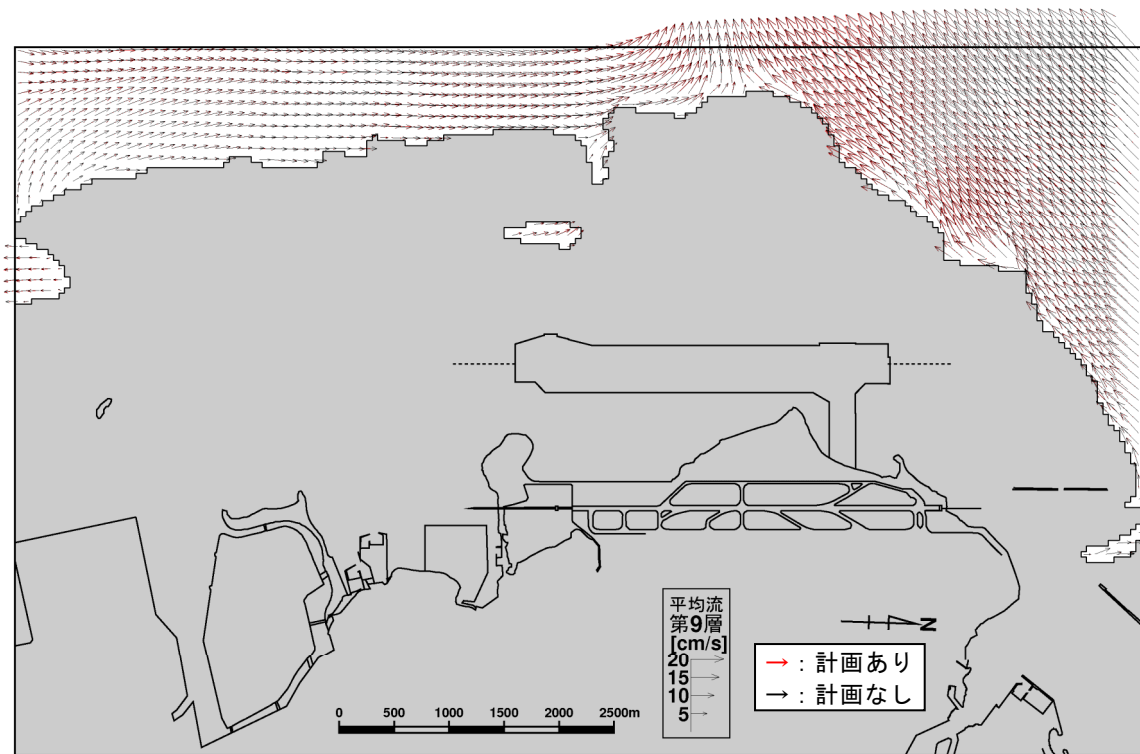
付図－ 6.7.21 (6) 将来流速ベクトル（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層）



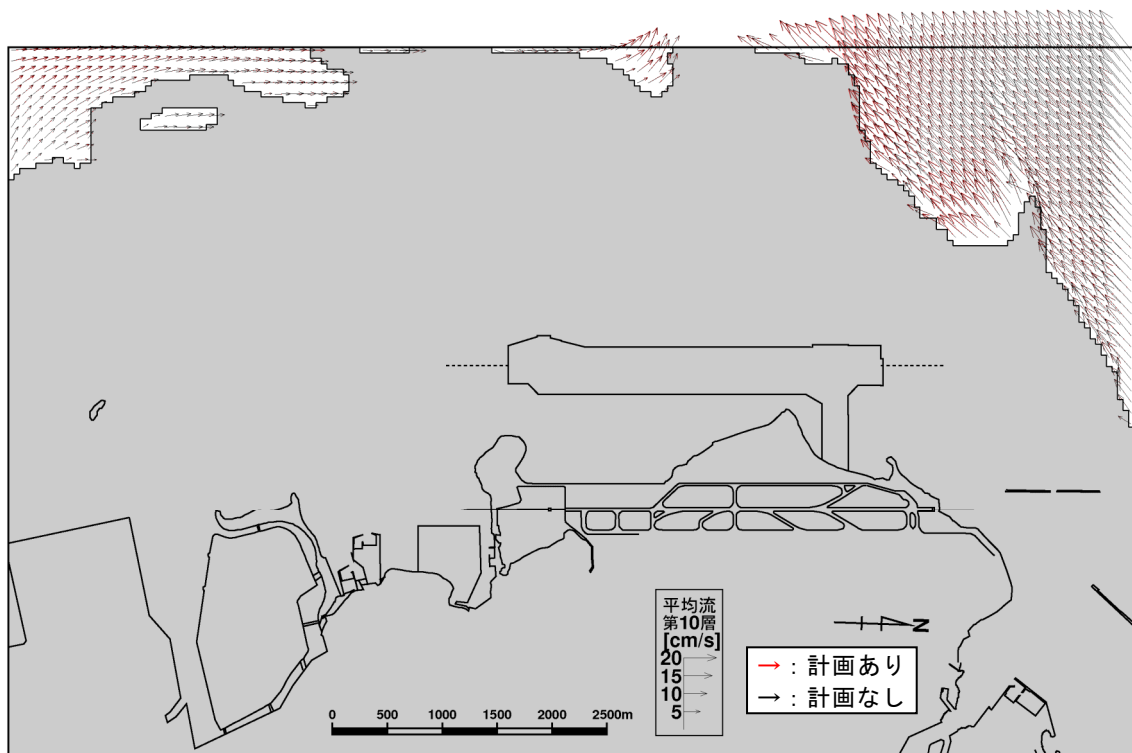
付図－ 6.7.21 (7) 将来流速ベクトル (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第7層)



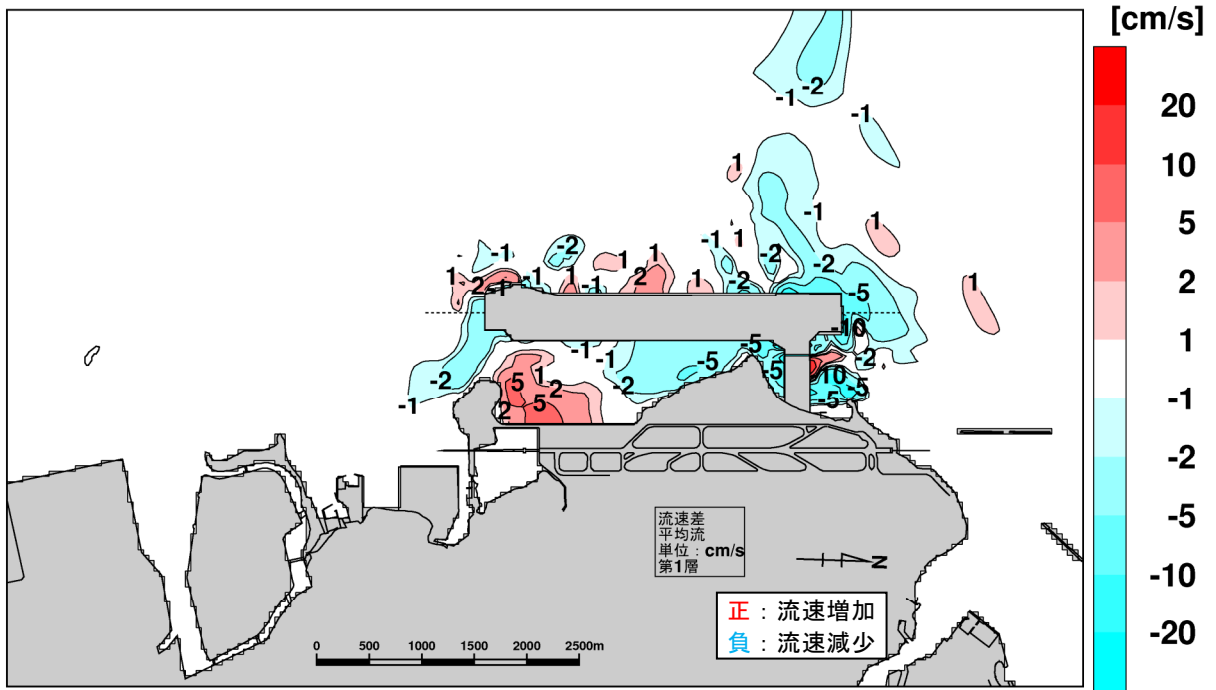
付図－ 6.7.21 (8) 将来流速ベクトル (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第8層)



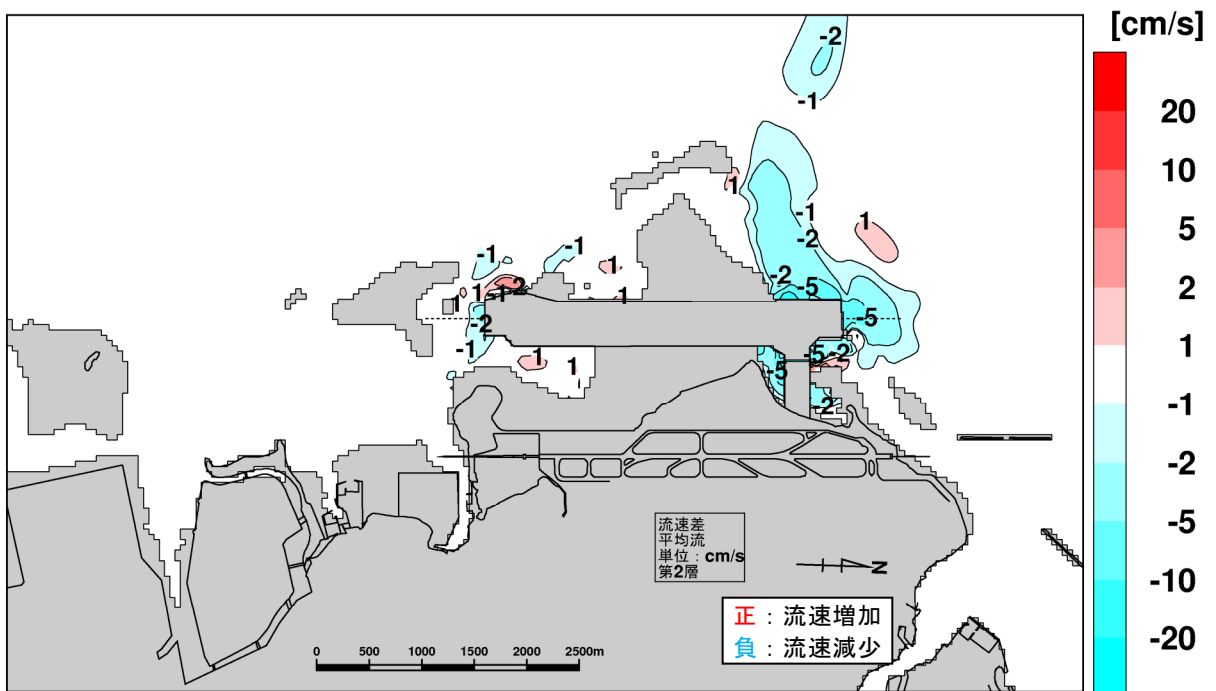
付図－ 6.7.21 (9) 将来流速ベクトル（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第9層）



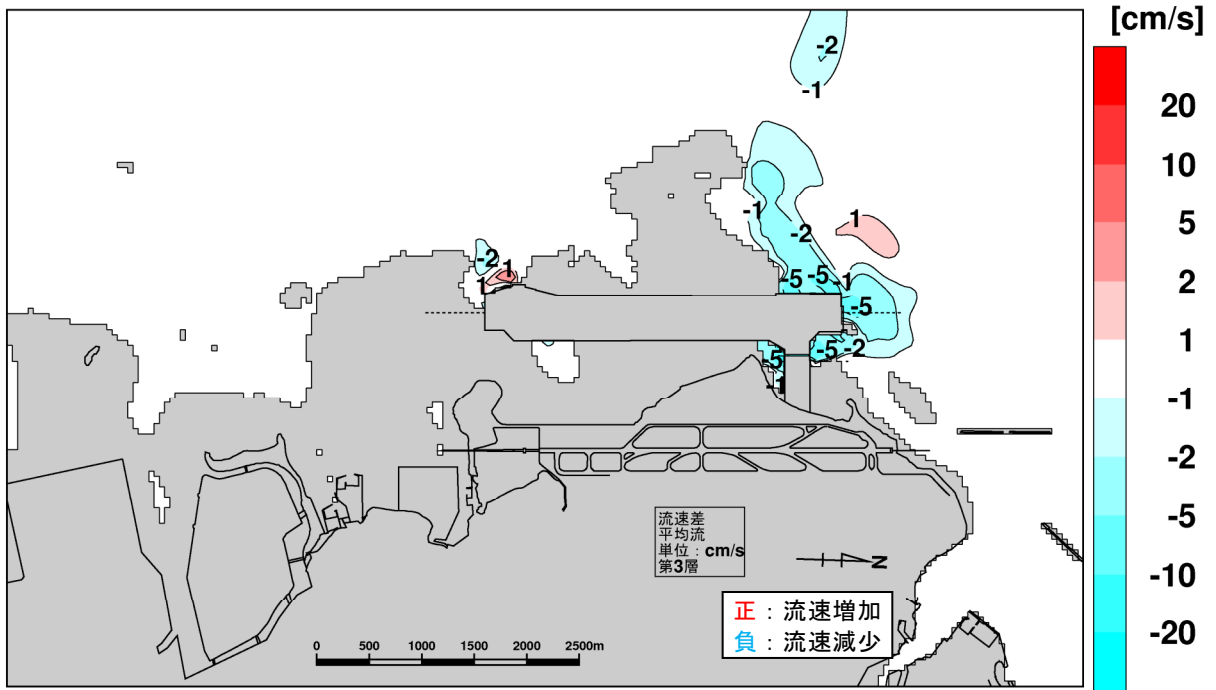
付図－ 6.7.21 (10) 将来流速ベクトル（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第10層）



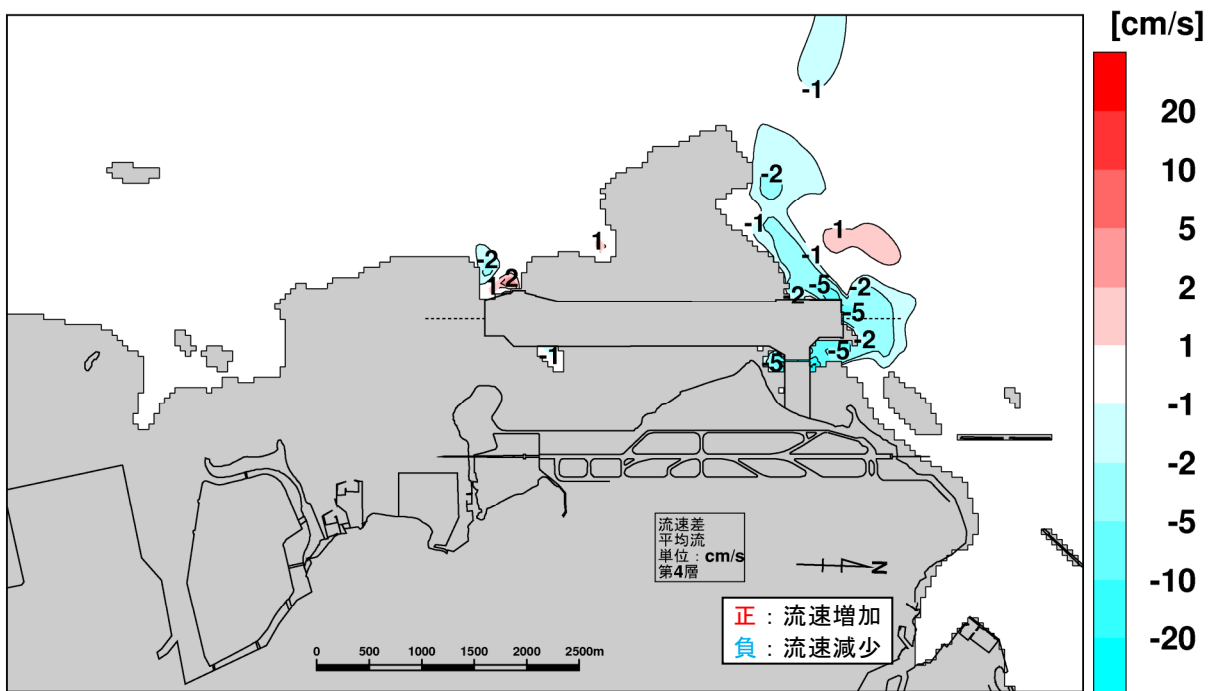
付図－ 6.7.22(1) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層）計画ありーなし



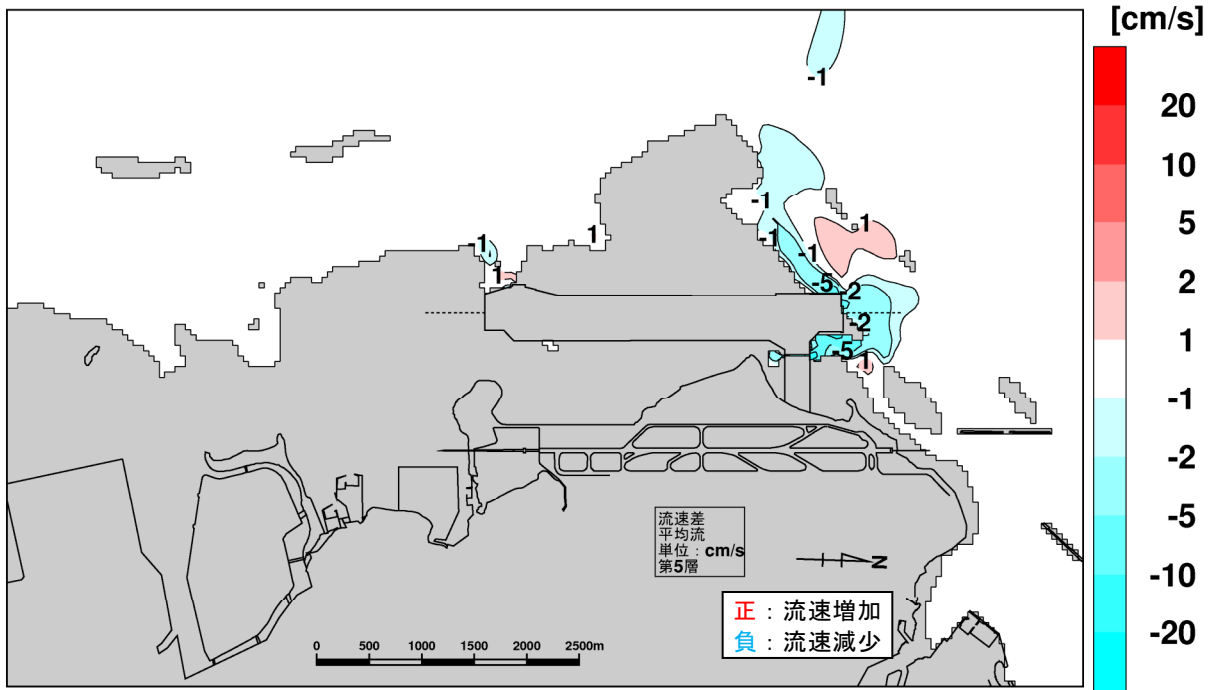
付図－ 6.7.22 (2) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層）計画ありーなし



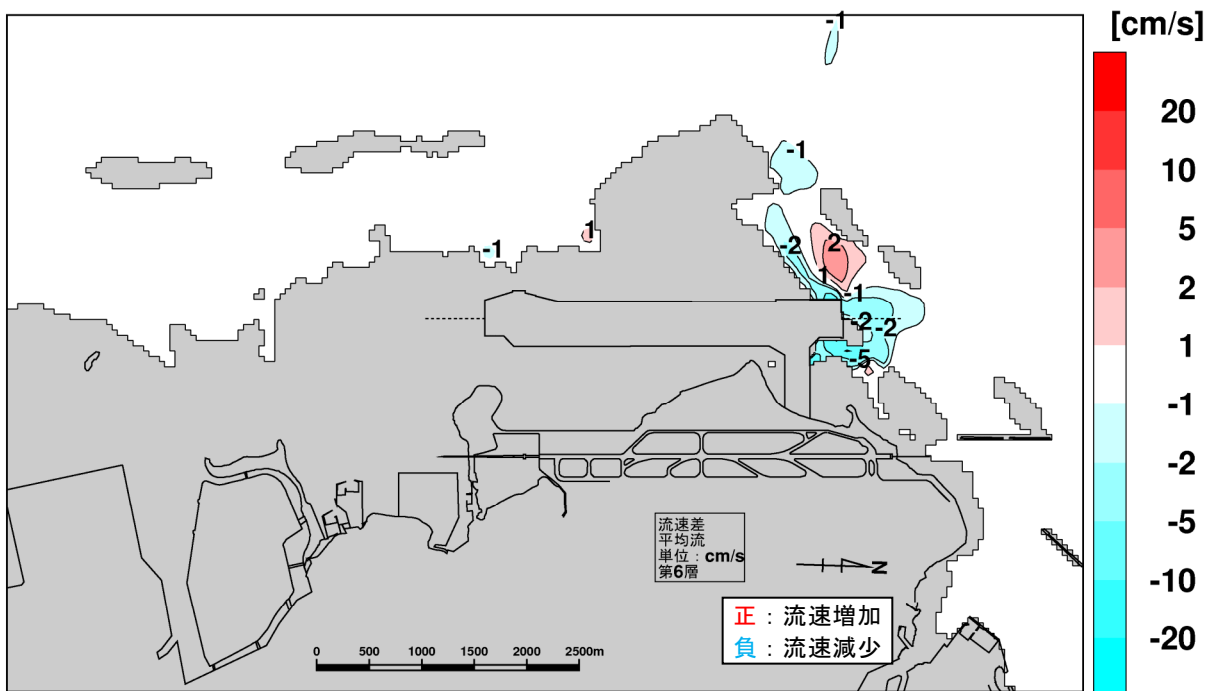
付図－ 6.7.22 (3) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層）計画ありーなし



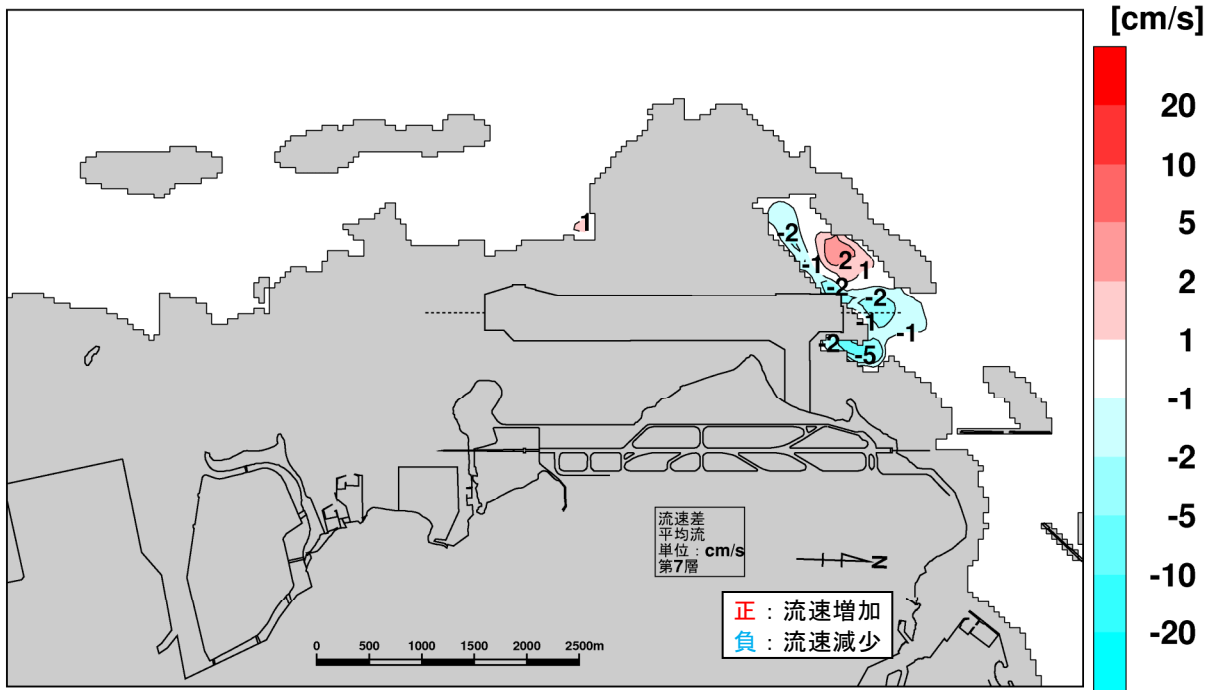
付図－ 6.7.22 (4) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層）計画ありーなし



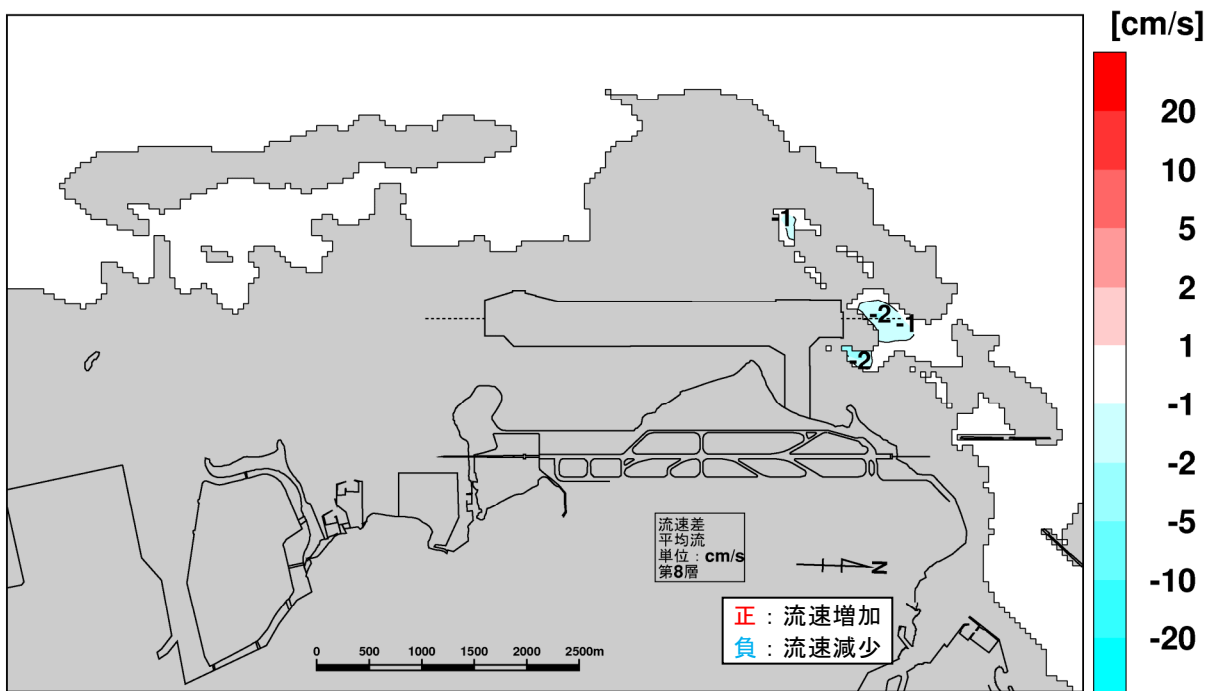
付図－ 6.7.22 (5) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層）計画ありーなし



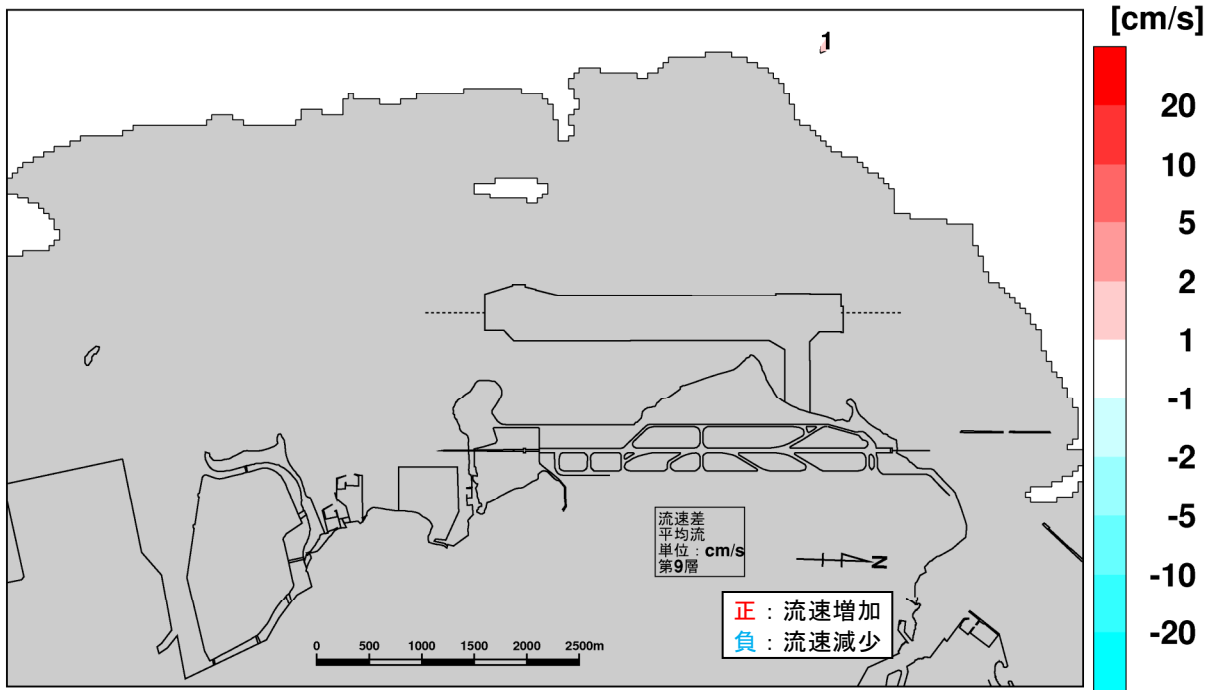
付図－ 6.7.22 (6) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層）計画ありーなし



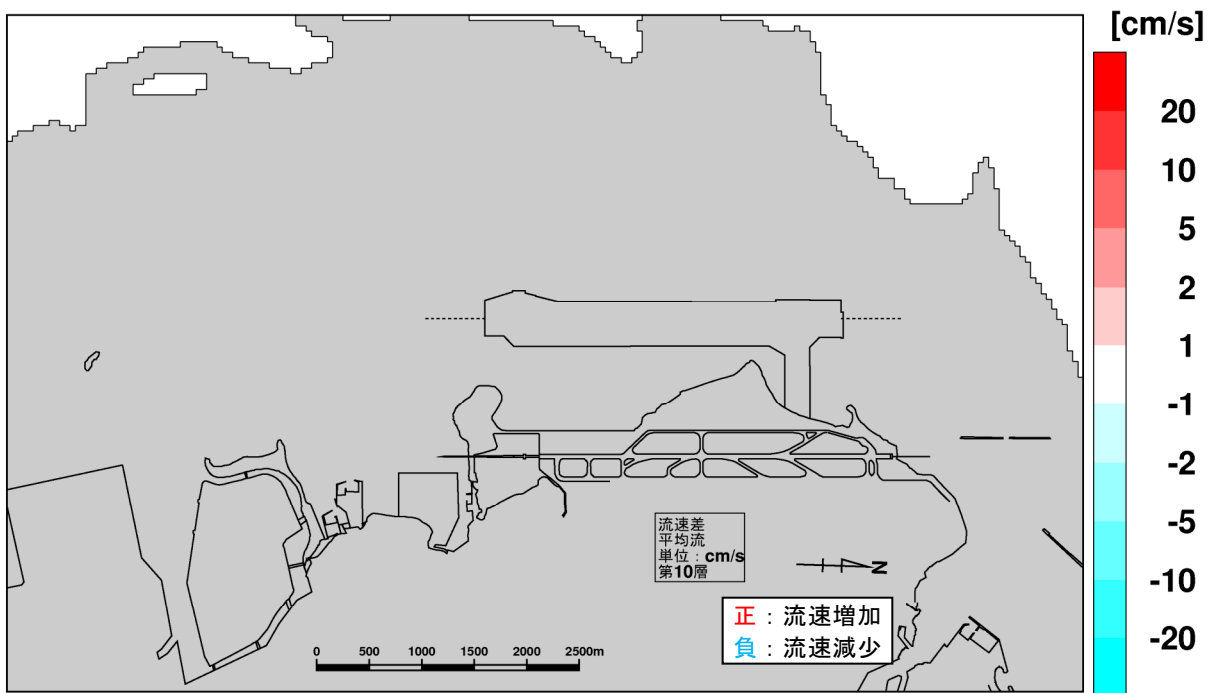
付図－ 6.7.22 (7) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第7層）計画ありーなし



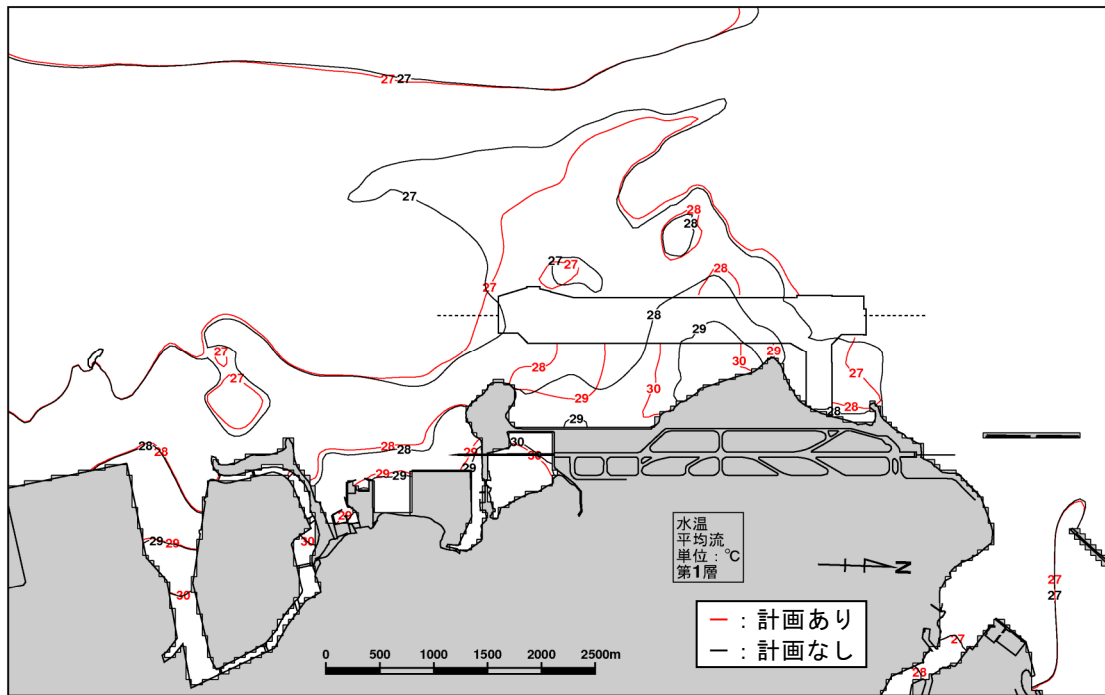
付図－ 6.7.22 (8) 将来流速変化（冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第8層）計画ありーなし



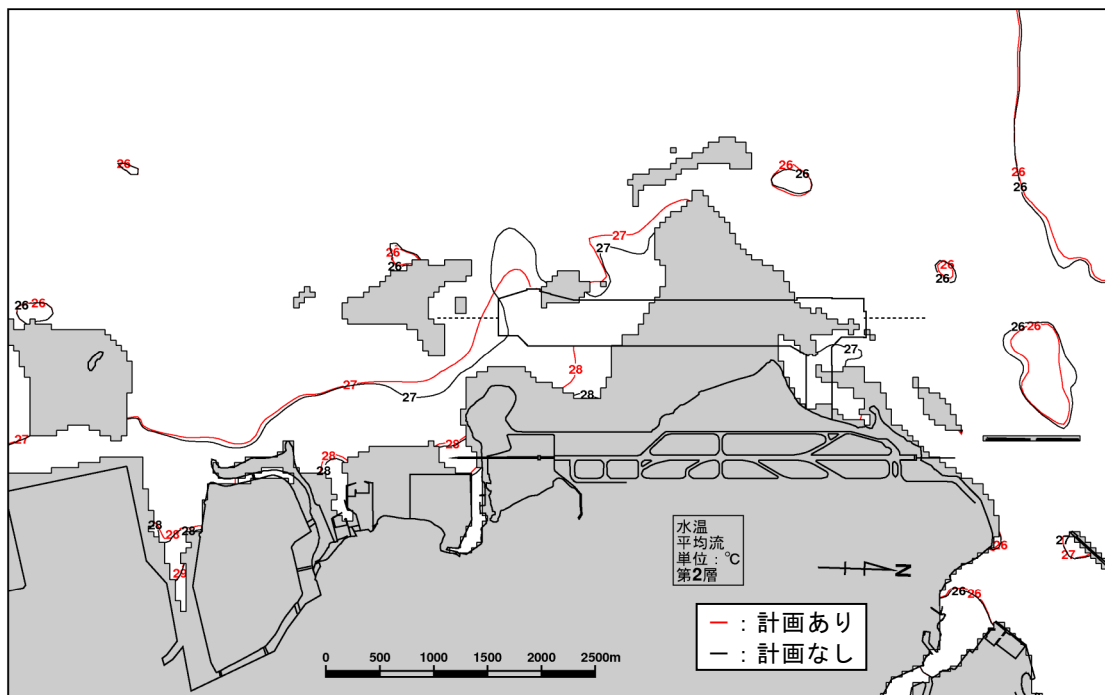
付図－ 6.7.22 (9) 将来流速変化（冬季，平常時，平均潮，平均流，第9層）計画ありーなし



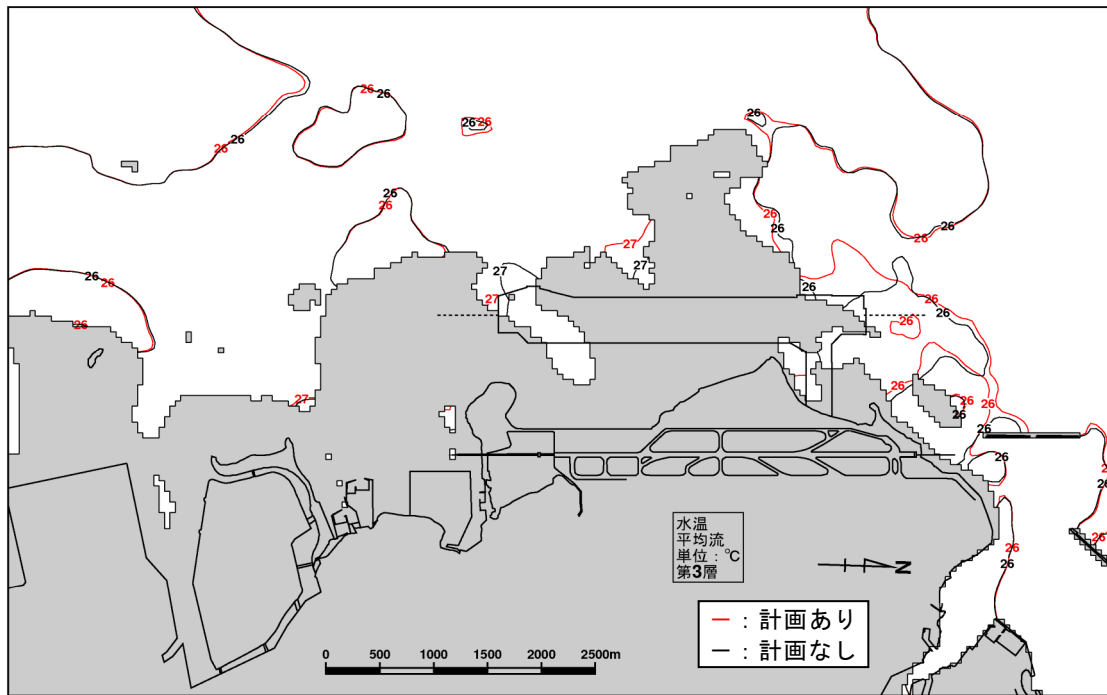
付図－ 6.7.22 (10) 将来流速変化（冬季，平常時，平均潮，平均流，第10層）計画ありーなし



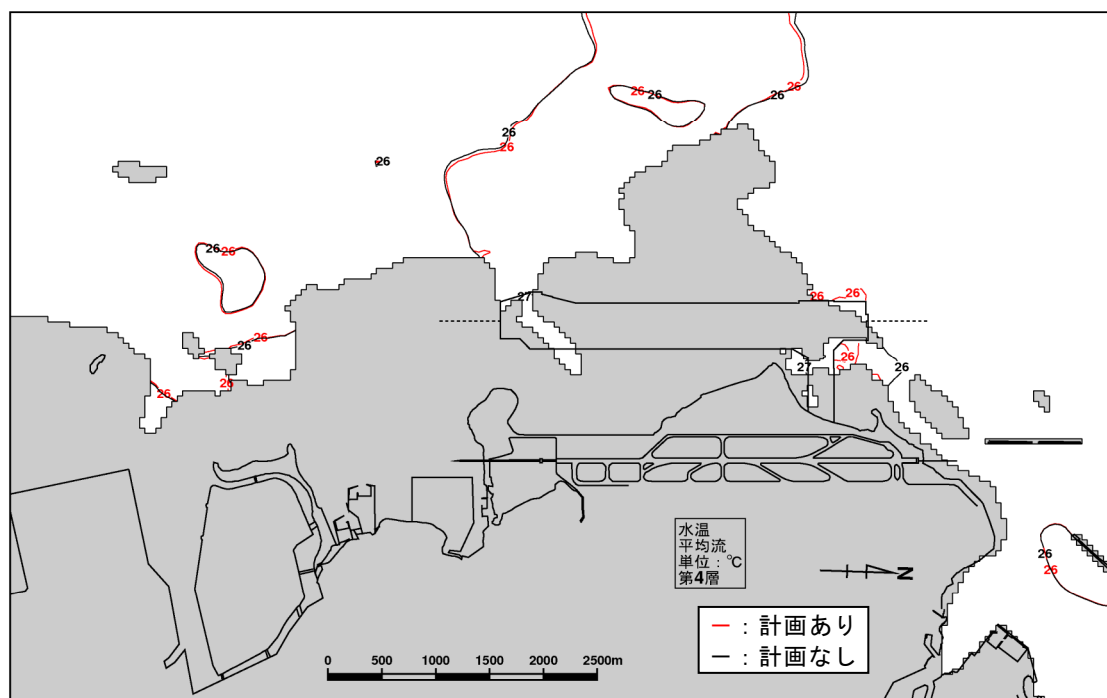
付図一 6.7.23(1) 将来水温分布 (夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第1層)



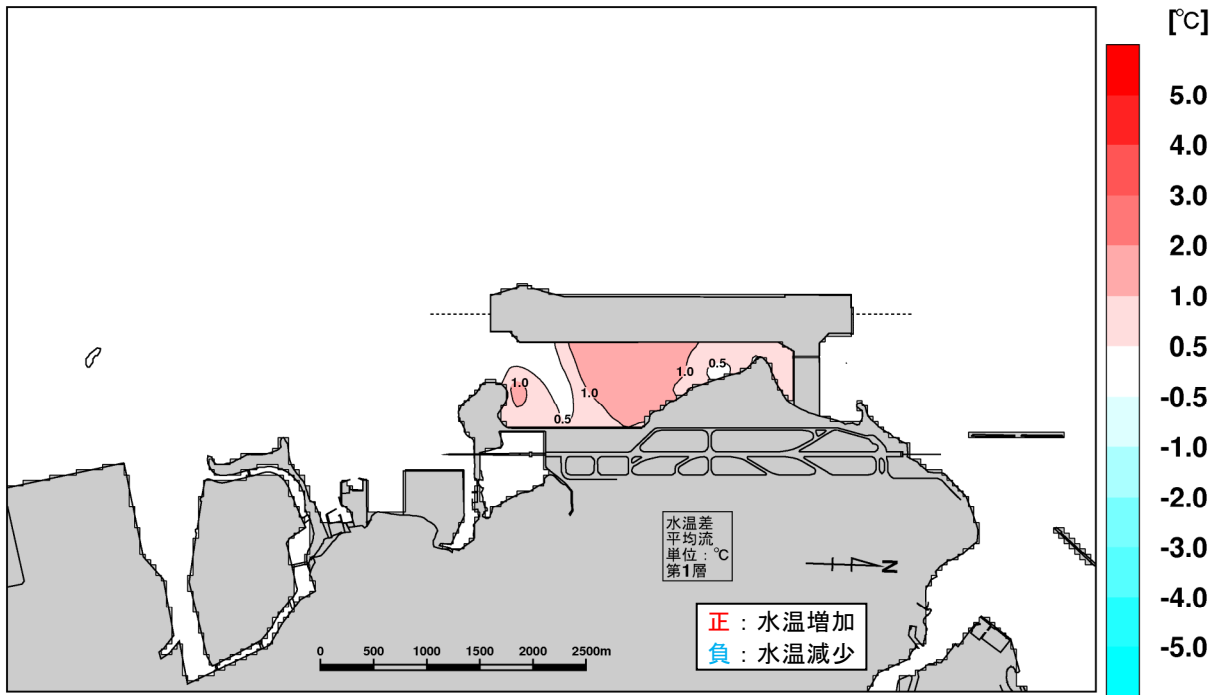
付図一 6.7.23 (2) 将来水温分布 (夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第2層)



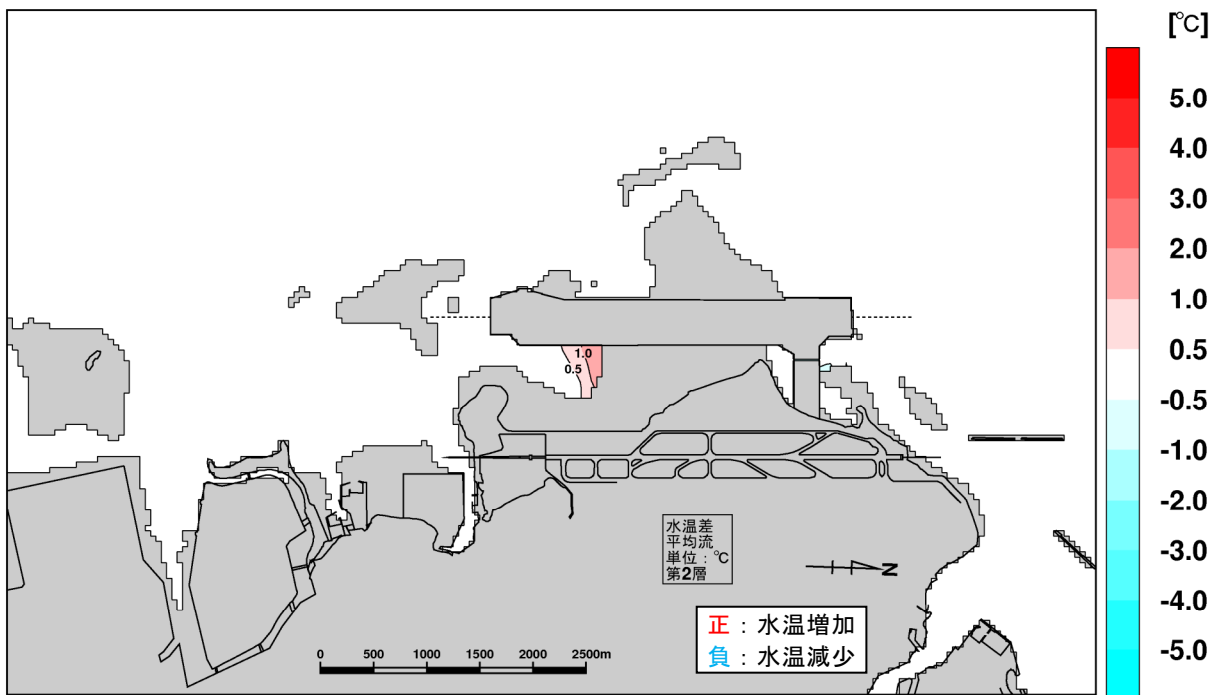
付図－ 6.7.23 (3) 将来水温分布 (夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第3層)



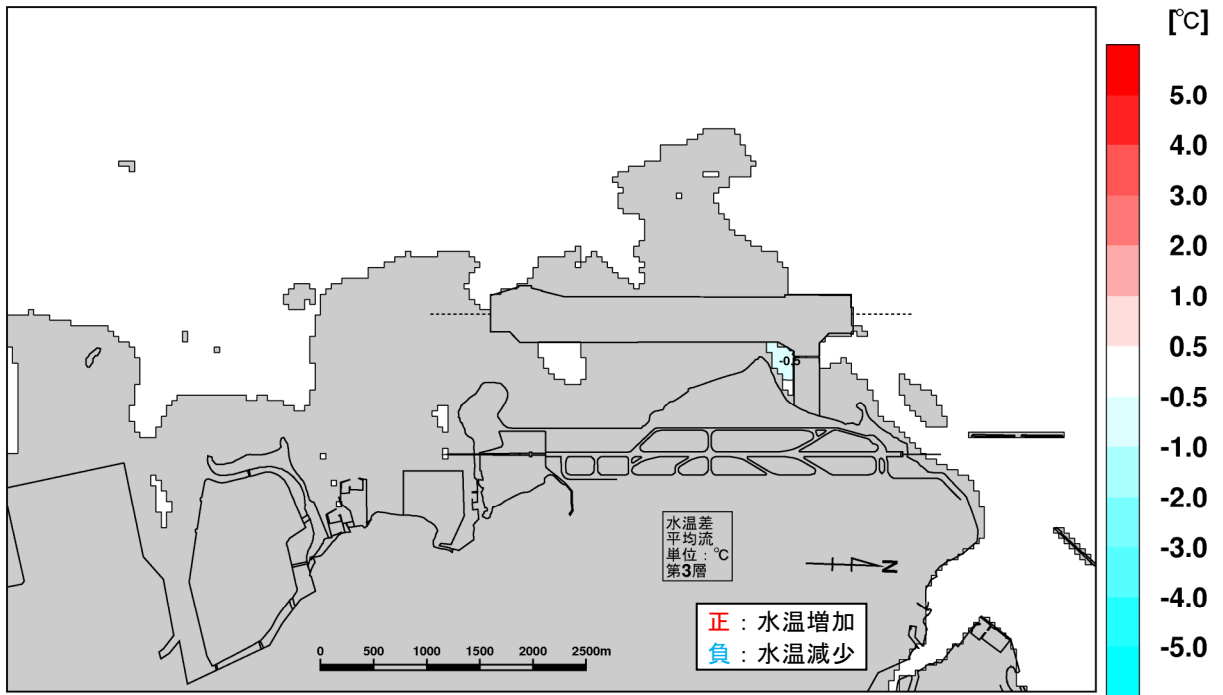
付図－ 6.7.23 (4) 将来水温分布 (夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第4層)



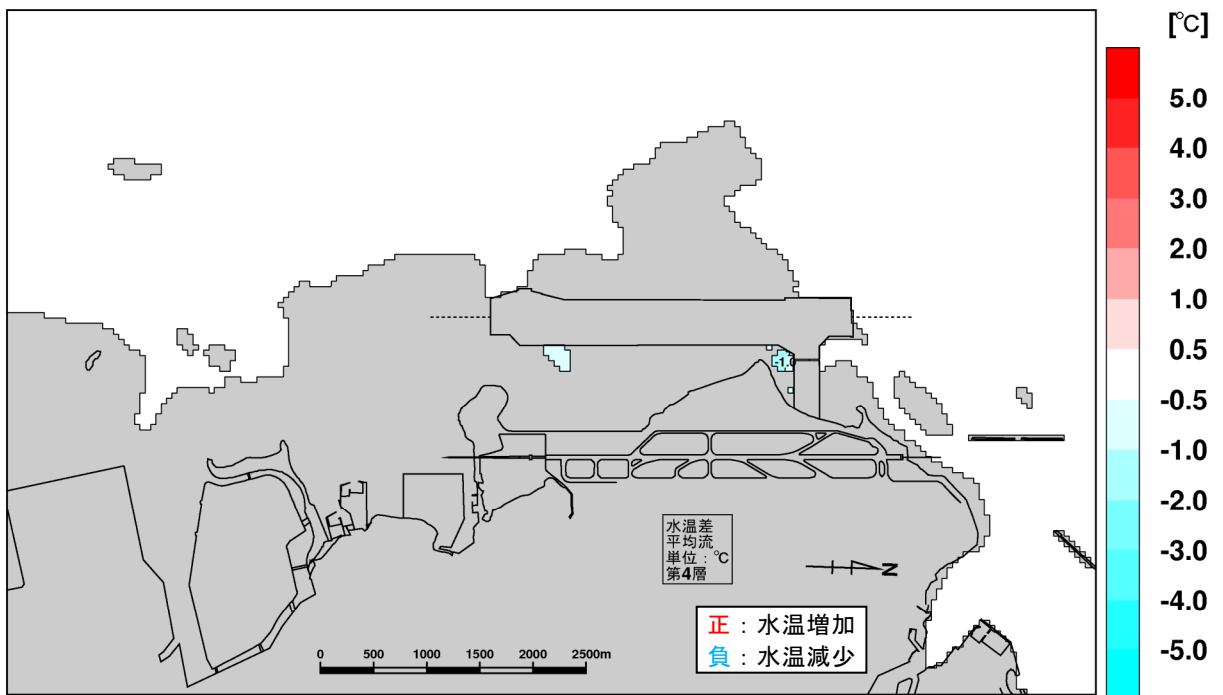
付図ー 6.7.24(1) 将来水温変化（夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第1層）計画ありーなし



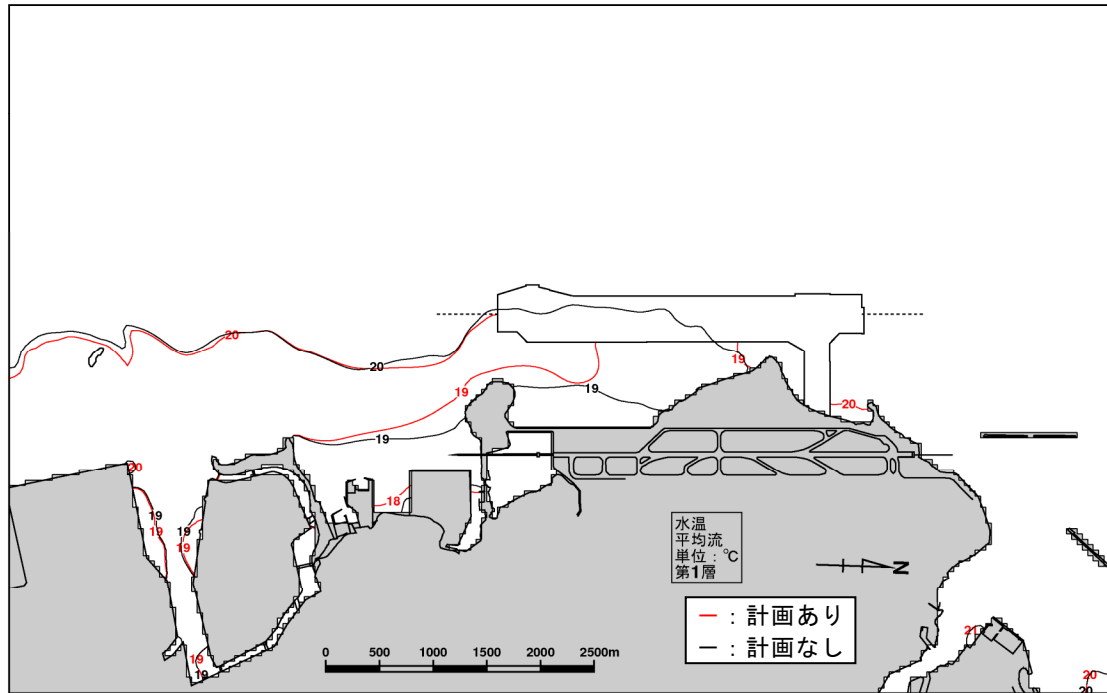
付図ー 6.7.24 (2) 将来水温変化（夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第2層）計画ありーなし



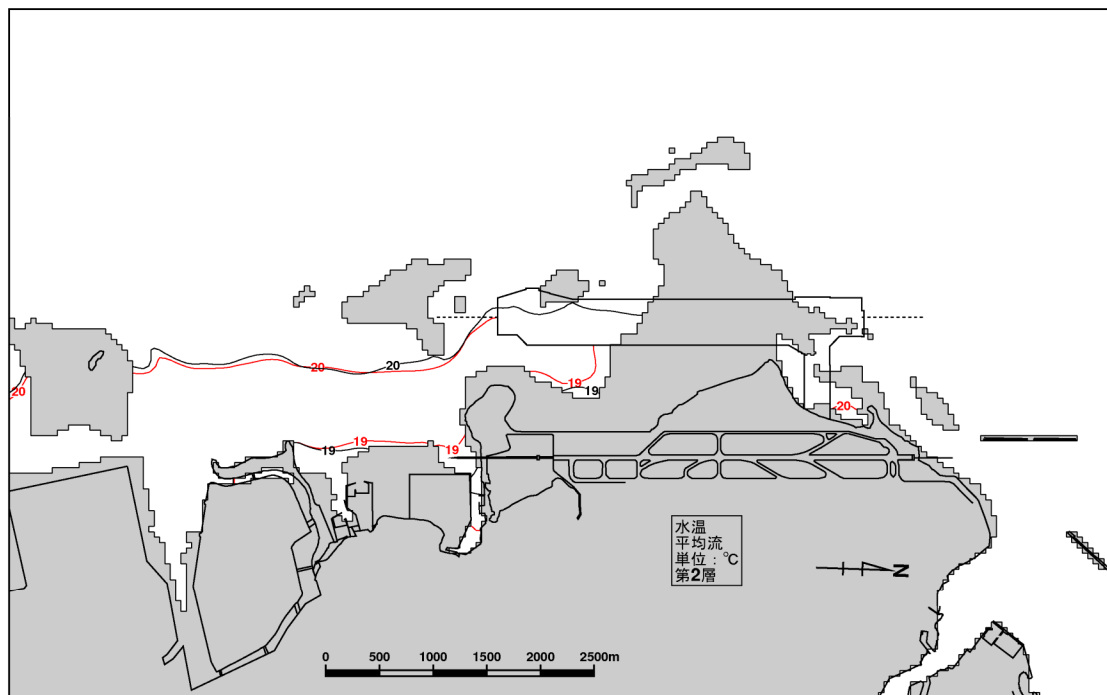
付図ー 6.7.24 (3) 将来水温変化（夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第3層）計画ありーなし



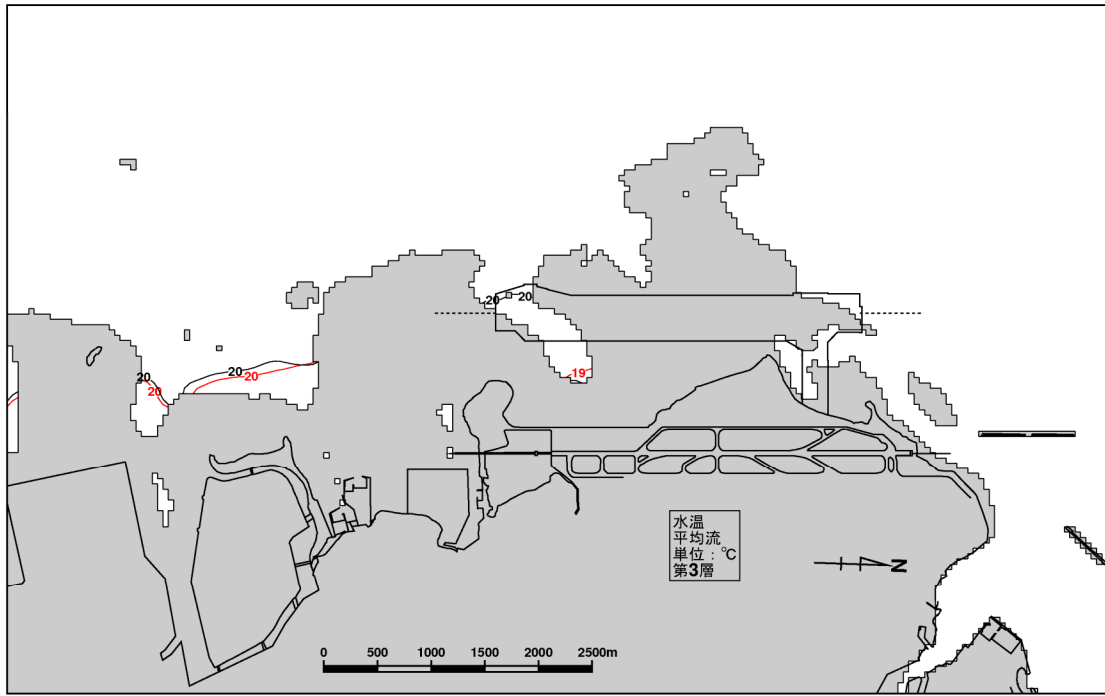
付図ー 6.7.24 (4) 将来水温変化（夏季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第4層）計画ありーなし



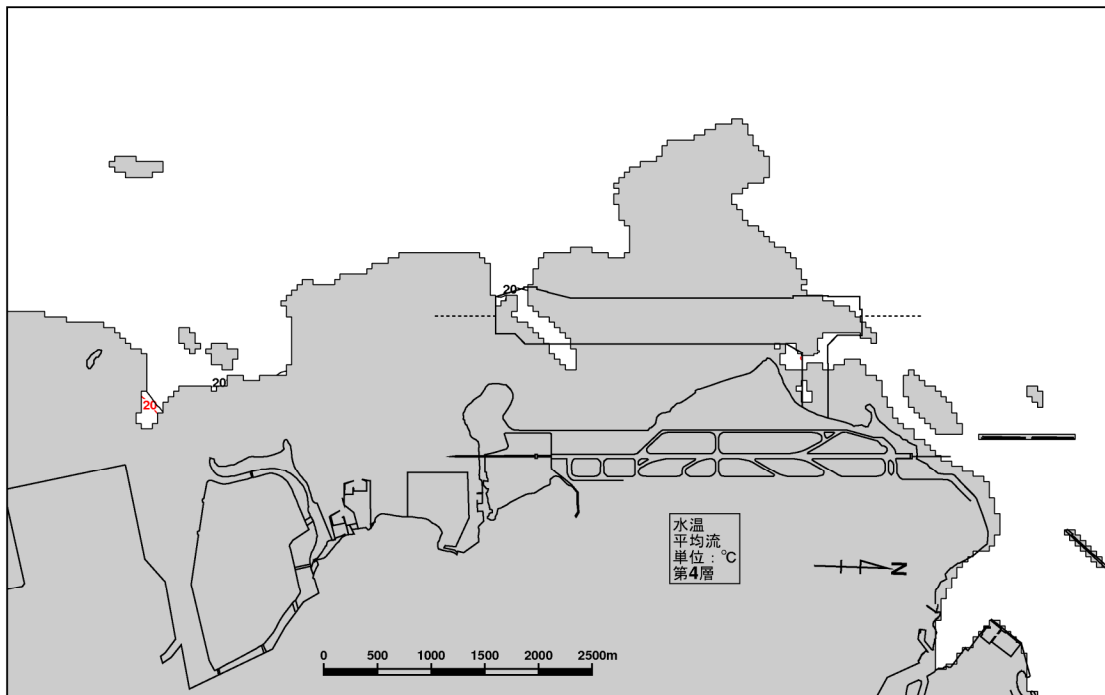
付図－ 6. 7. 25 (1) 将来水温分布（冬季，平常時，平均潮，一潮汐平均，第1層）



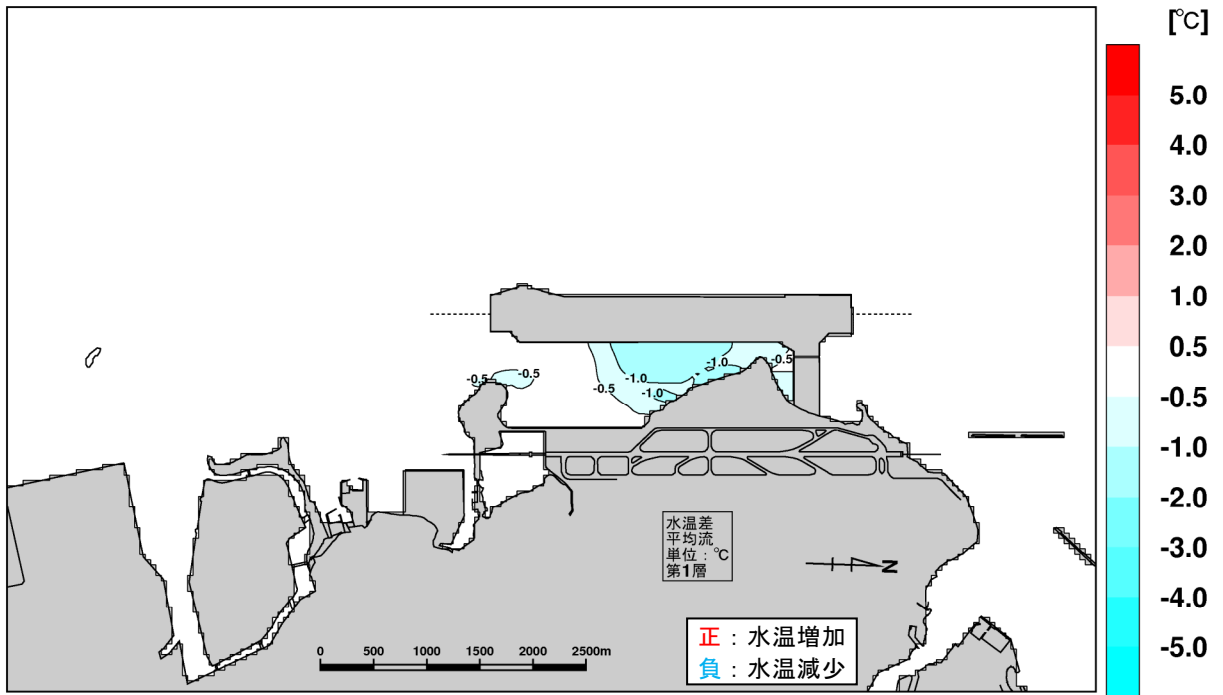
付図－ 6. 7. 25 (2) 将来水温分布（冬季，平常時，平均潮，一潮汐平均，第2層）



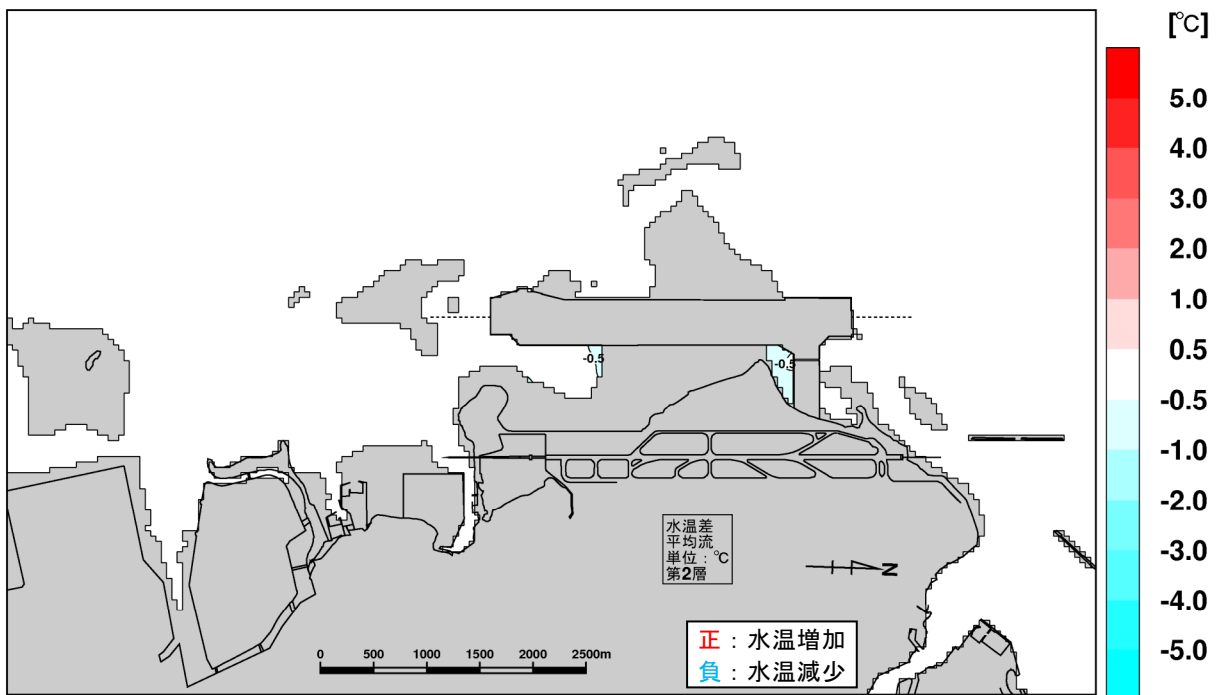
付図一 6.7.25 (3) 将来水温分布 (冬季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第3層)



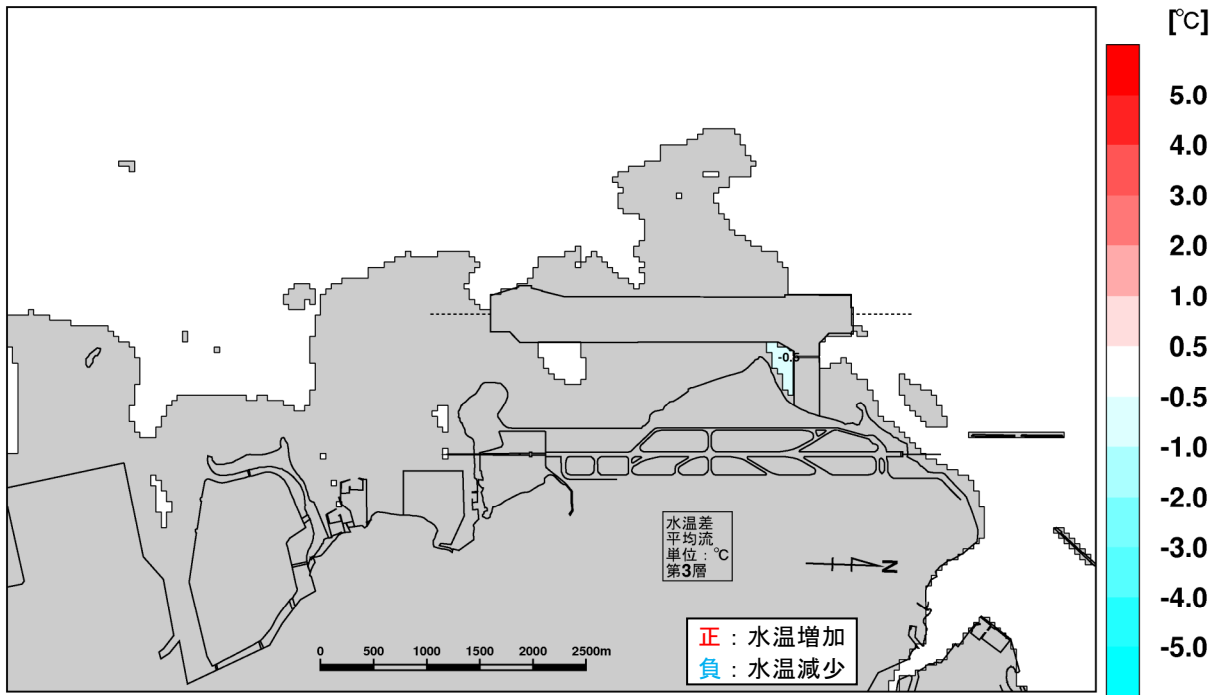
付図一 6.7.25 (4) 将来水温分布 (冬季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第4層)



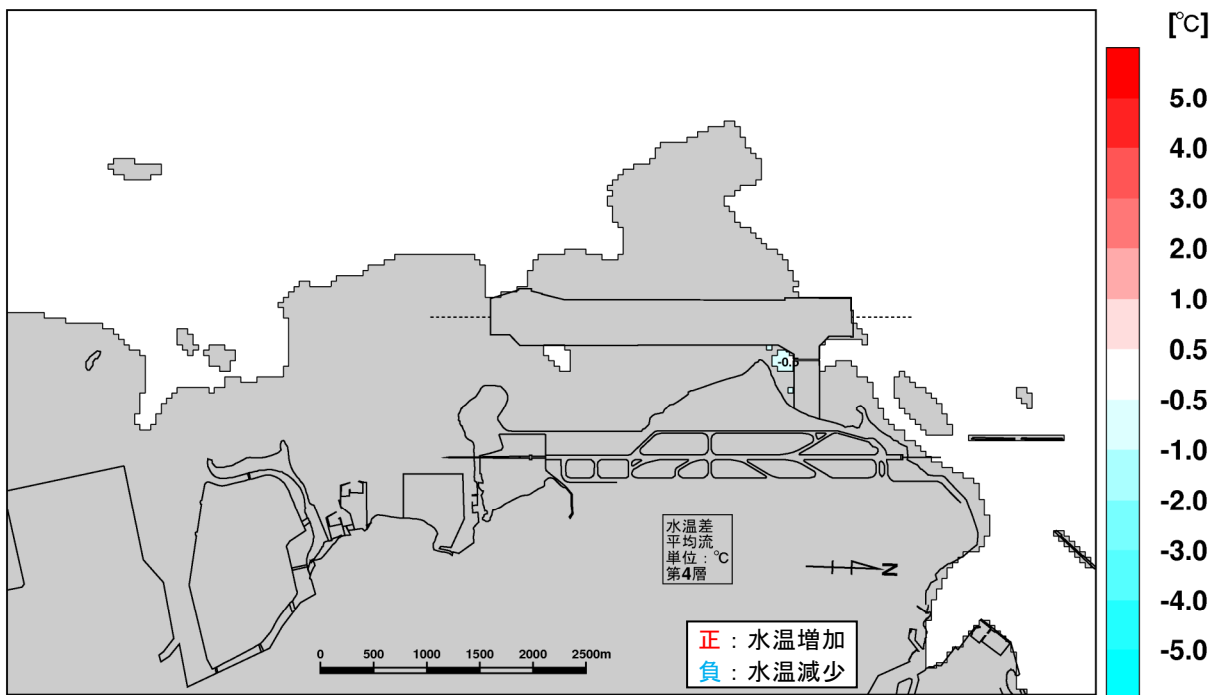
付図ー 6.7.26(1) 将来水温変化（冬季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第1層）計画ありーなし



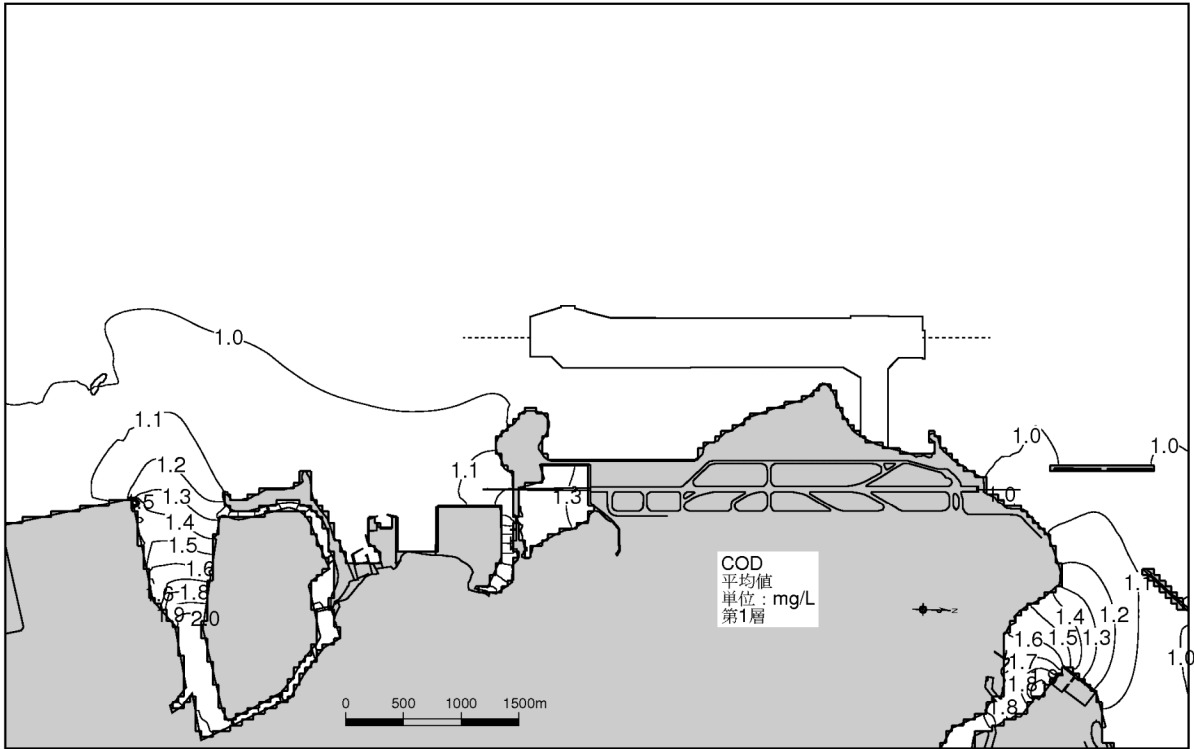
付図ー 6.7.26 (2) 将来水温変化（冬季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第2層）計画ありーなし



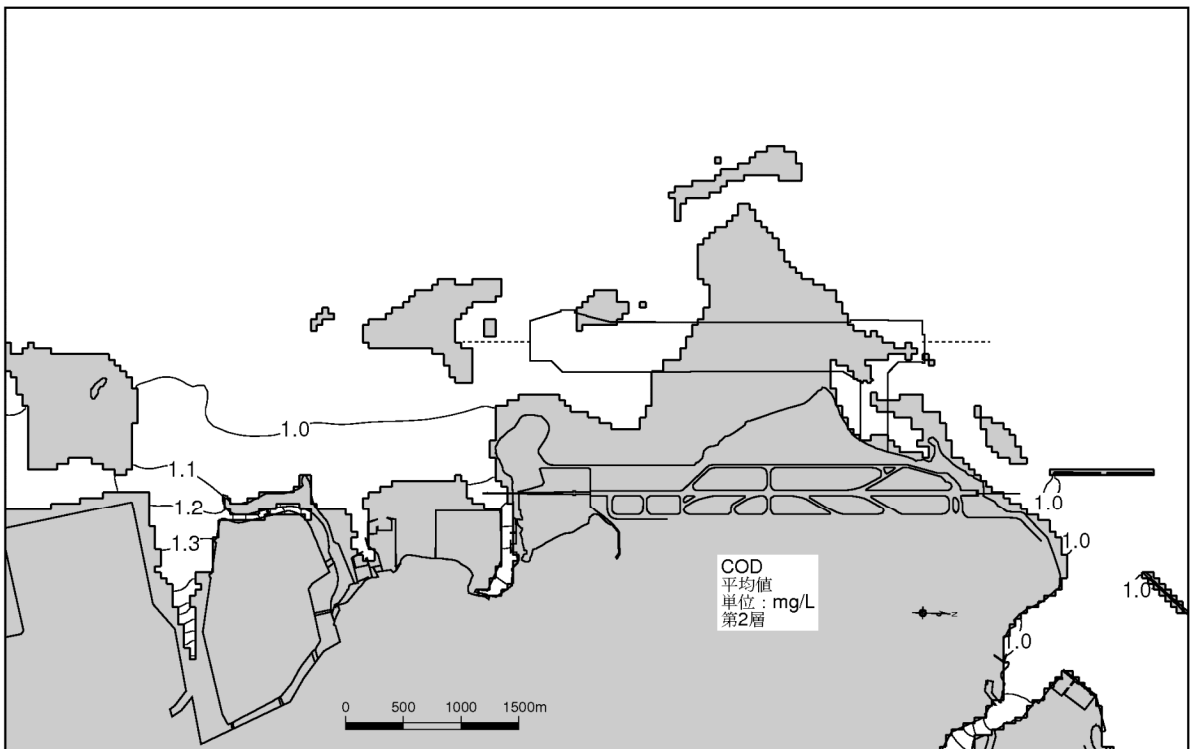
付図ー 6.7.26 (3) 将来水温変化 (冬季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第3層) 計画ありーなし



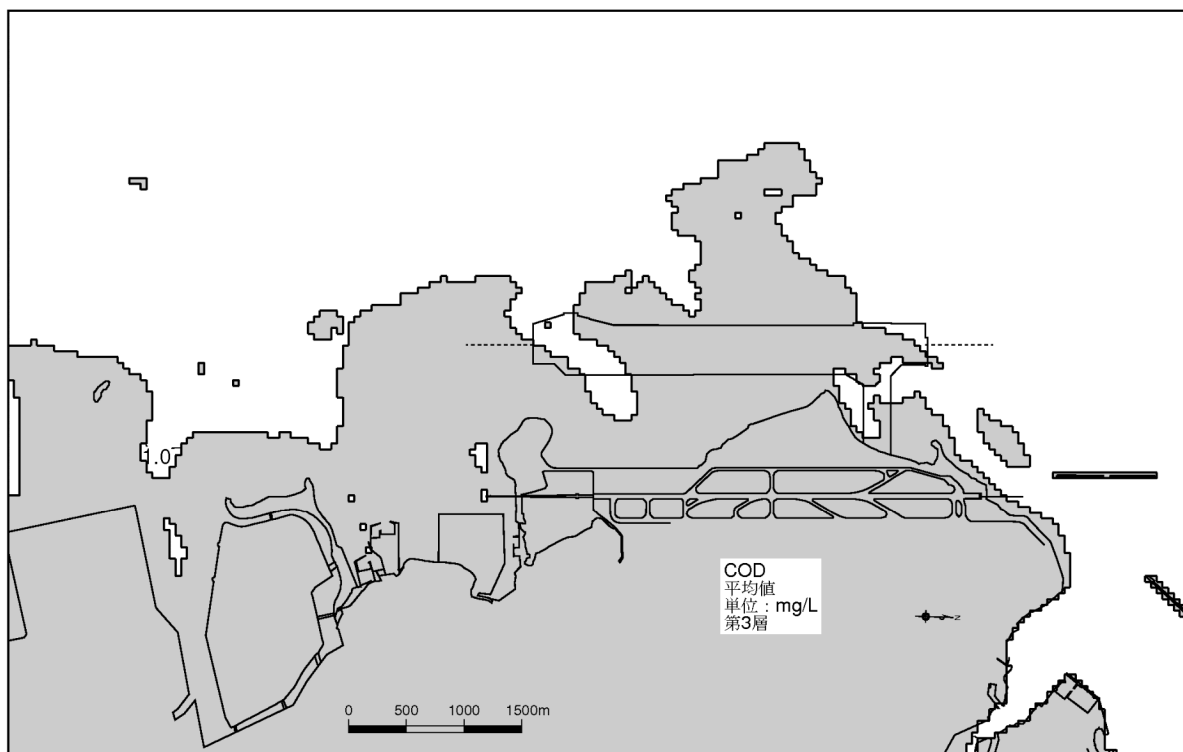
付図ー 6.7.26 (4) 将来水温変化 (冬季, 平常時, 平均潮, 一潮汐平均, 第4層) 計画ありーなし



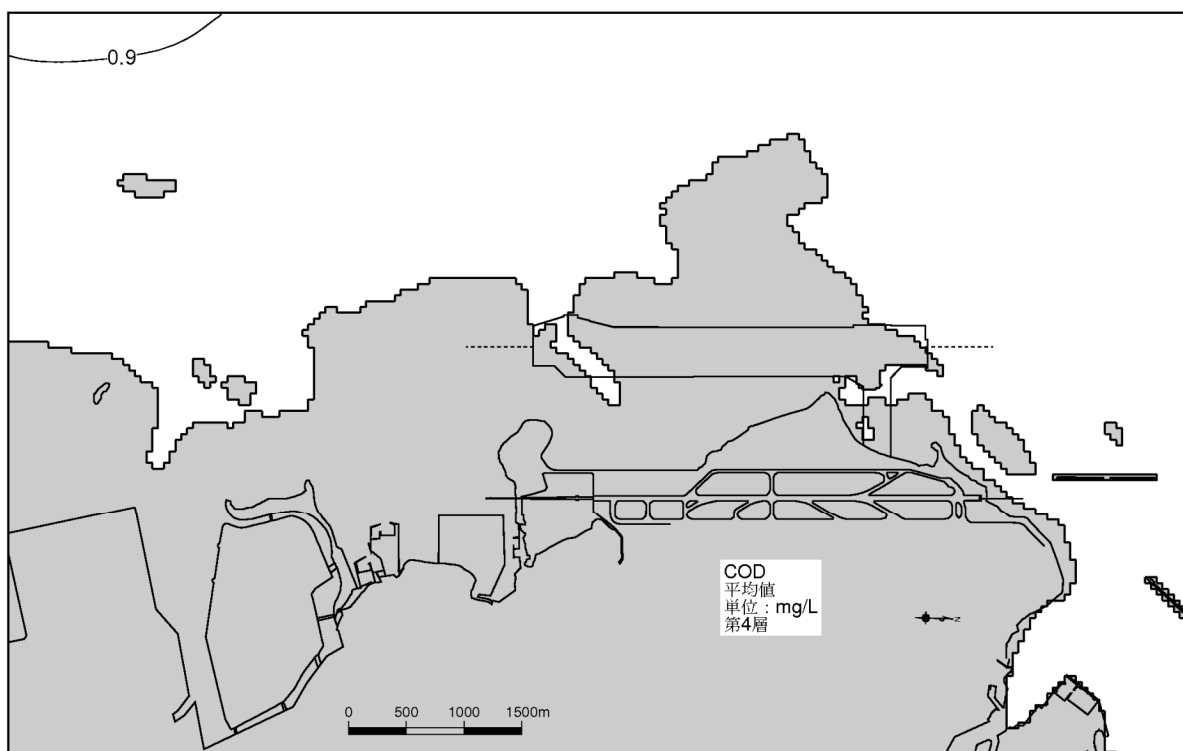
付図ー 6.8.1(1) 現況のCOD濃度分布の計算結果(夏季,平均潮,日平均値,第1層)



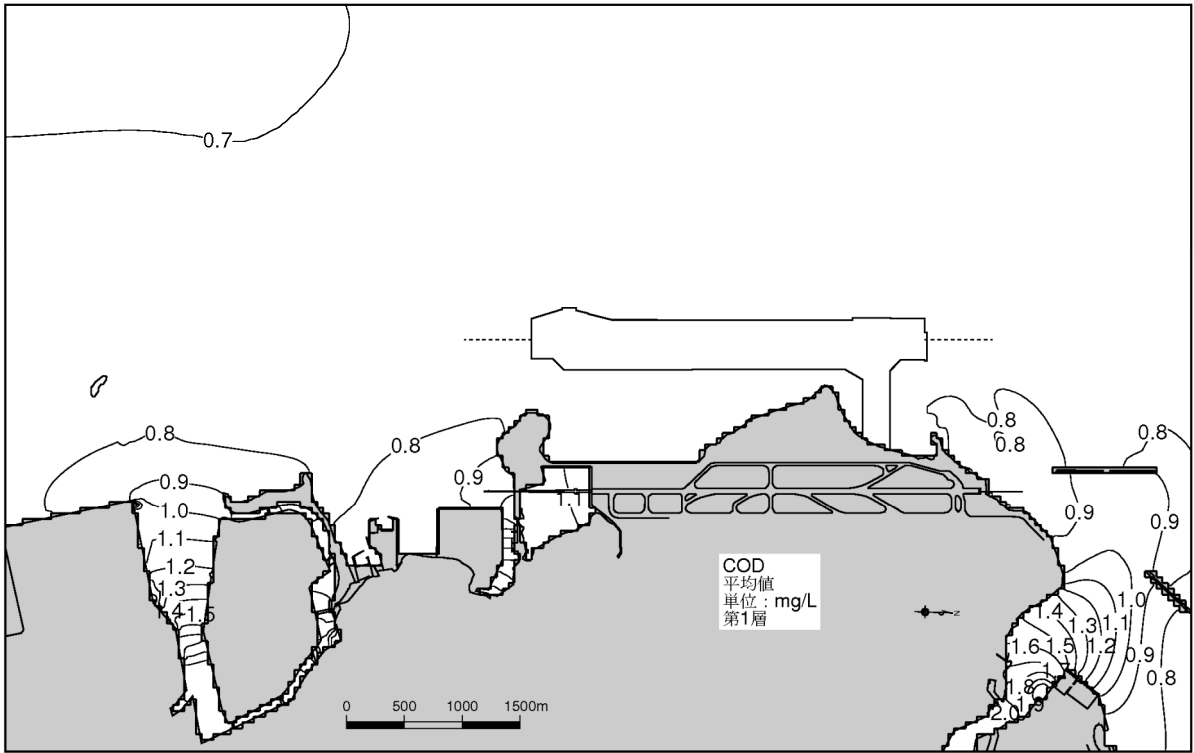
付図ー 6.8.1(2) 現況のCOD濃度分布の計算結果(夏季,平均潮,日平均値,第2層)



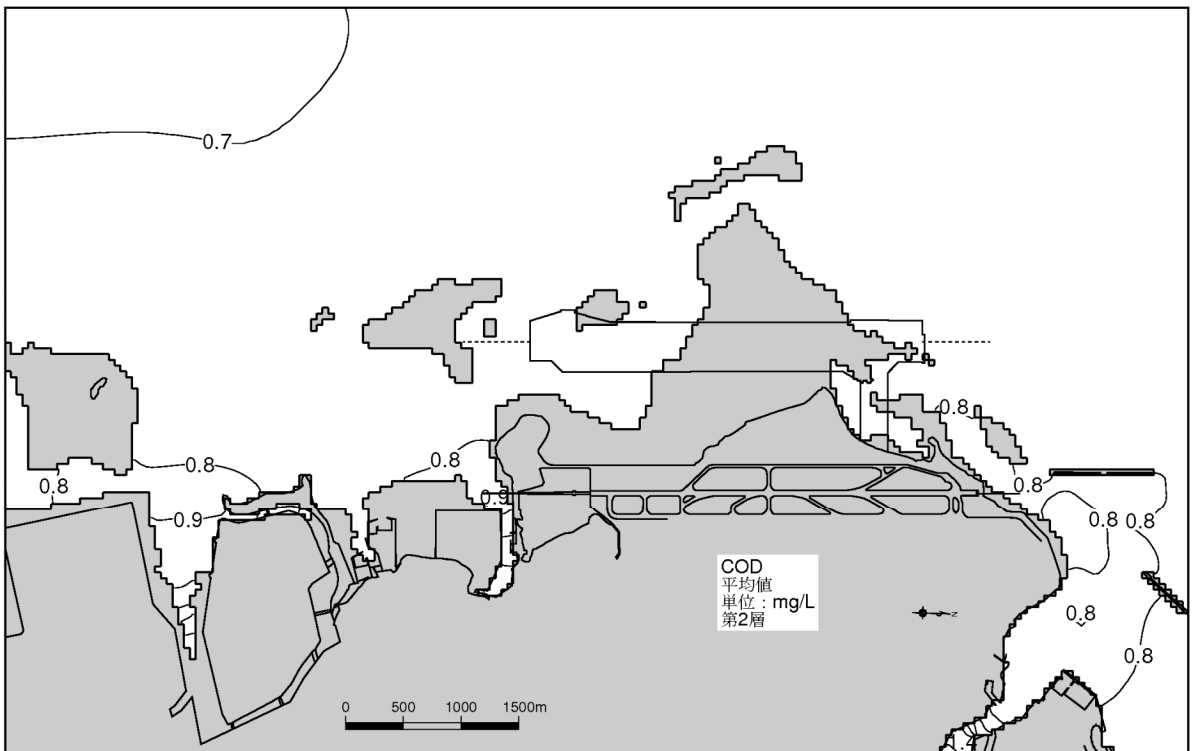
付図－ 6.8.1 (3) 現況の COD 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第3層)



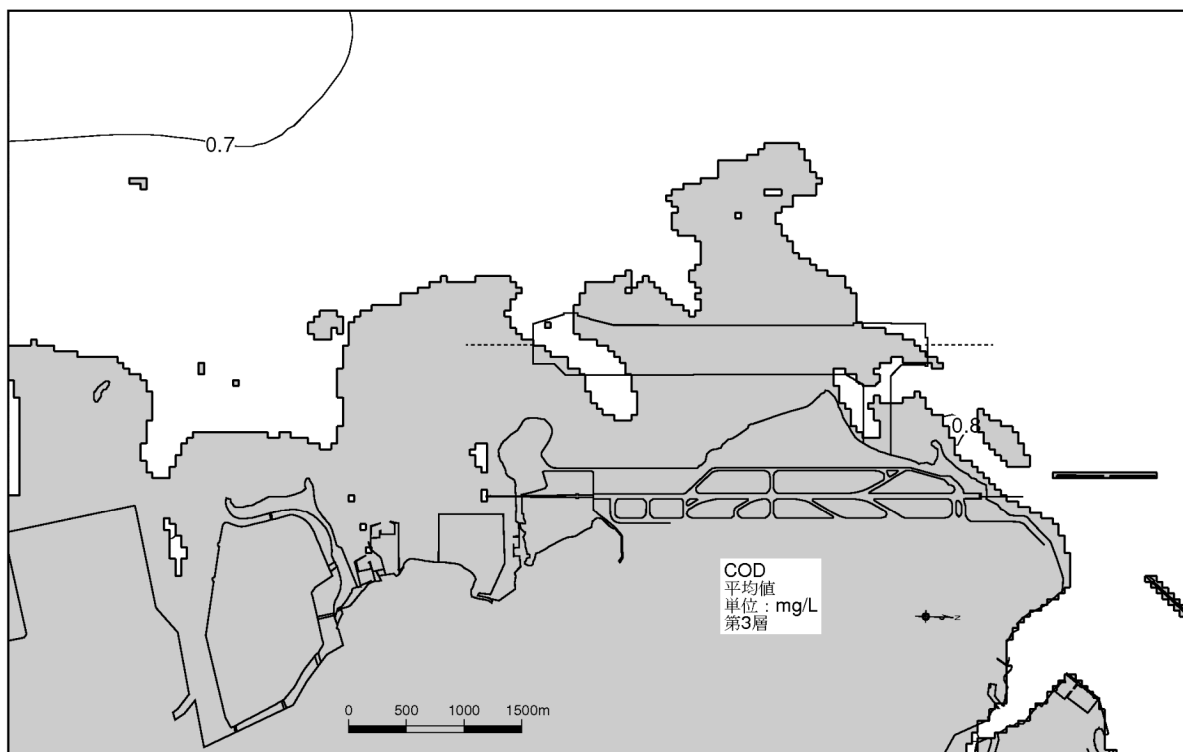
付図－ 6.8.1 (4) 現況の COD 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第4層)



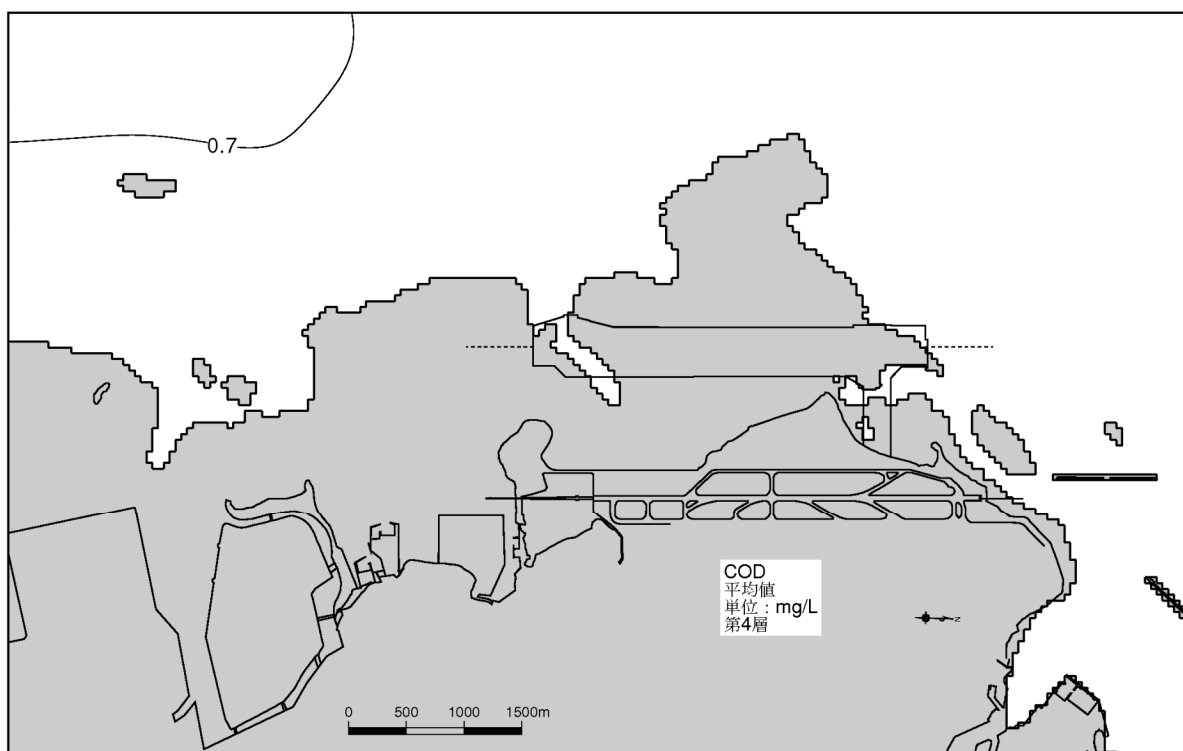
付図－ 6.8.2(1) 現況の COD 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第1層)



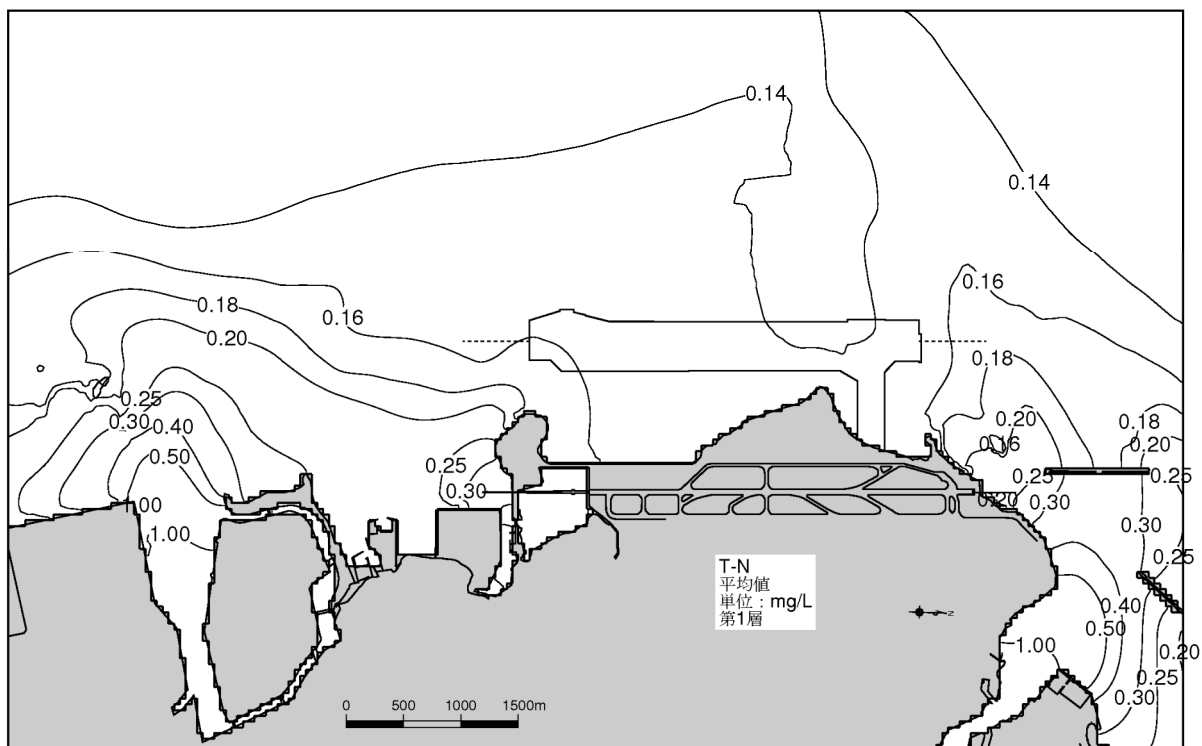
付図－ 6.8.2(2) 現況の COD 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第2層)



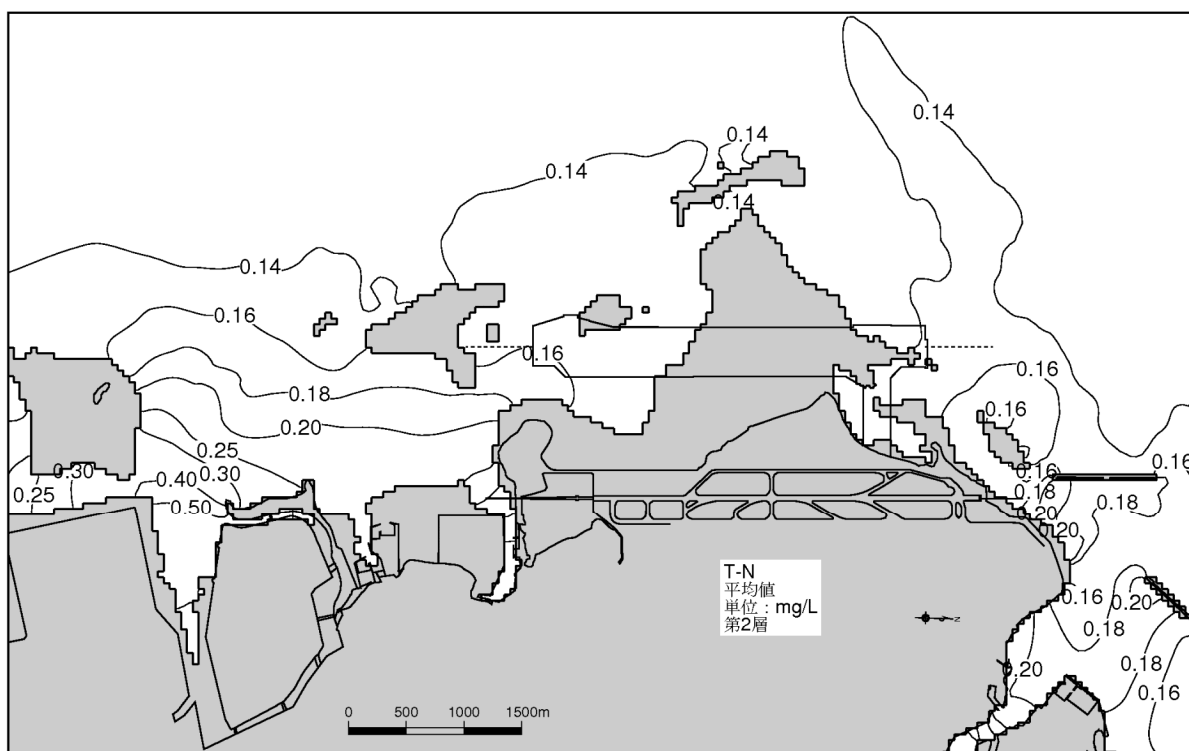
付図－ 6.8.2 (3) 現況の COD 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第3層)



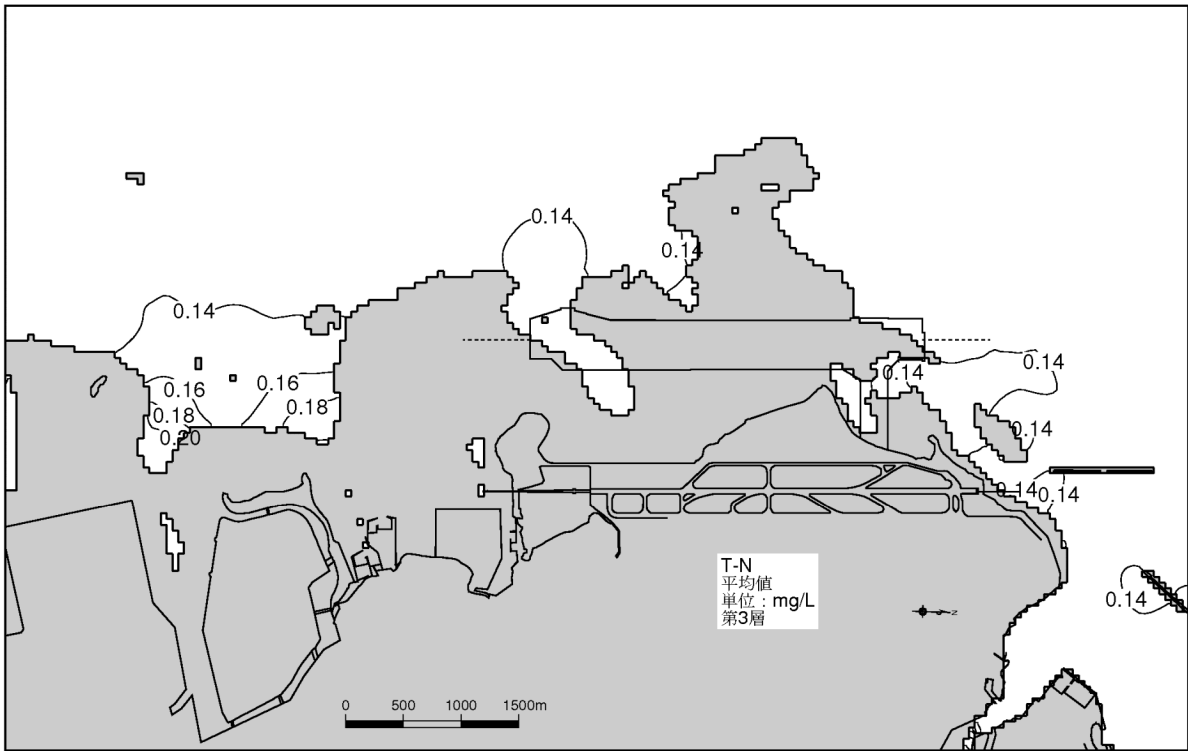
付図－ 6.8.2 (4) 現況の COD 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第4層)



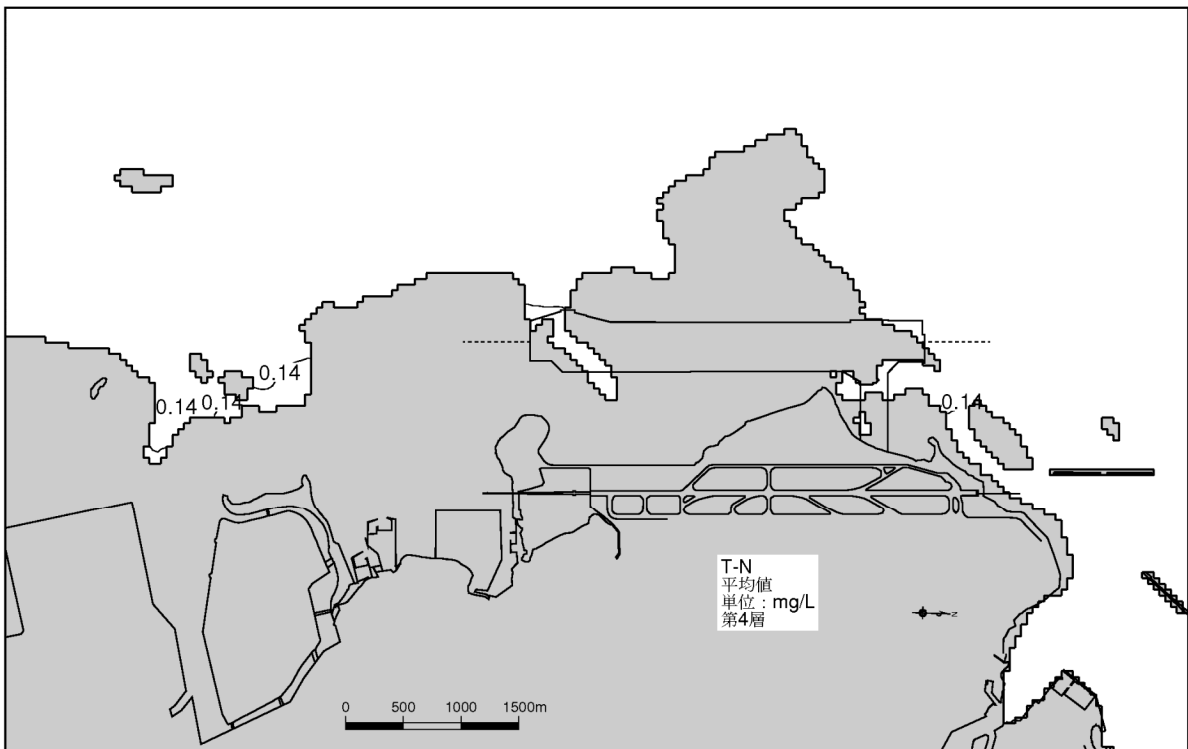
付図－ 6.8.3(1) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第 1 層)



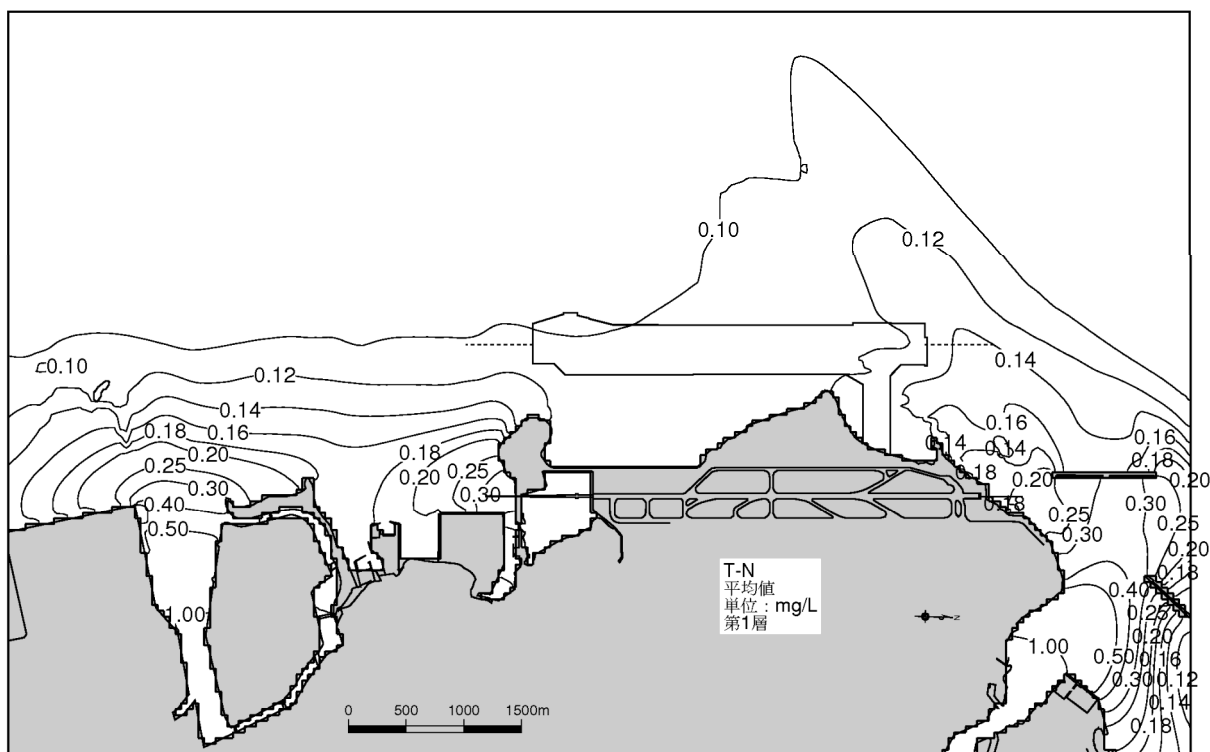
付図－ 6.8.3(2) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第 2 層)



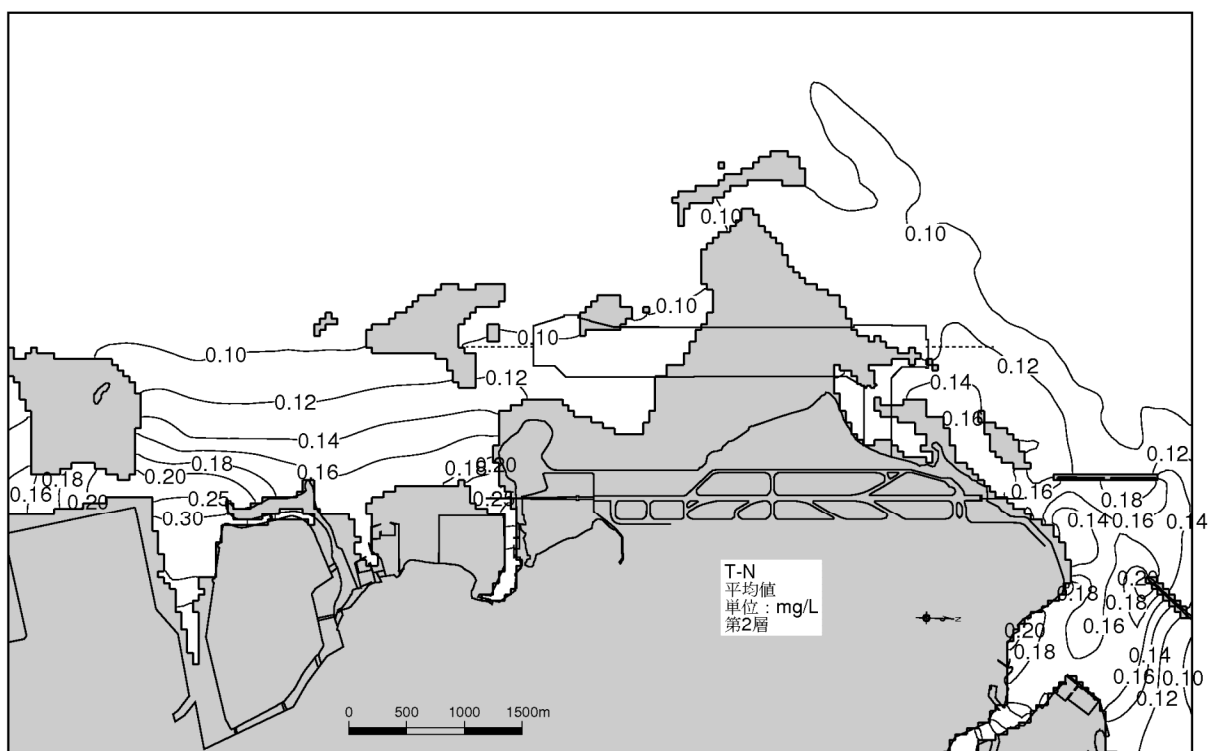
付図－ 6.8.3 (3) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第3層)



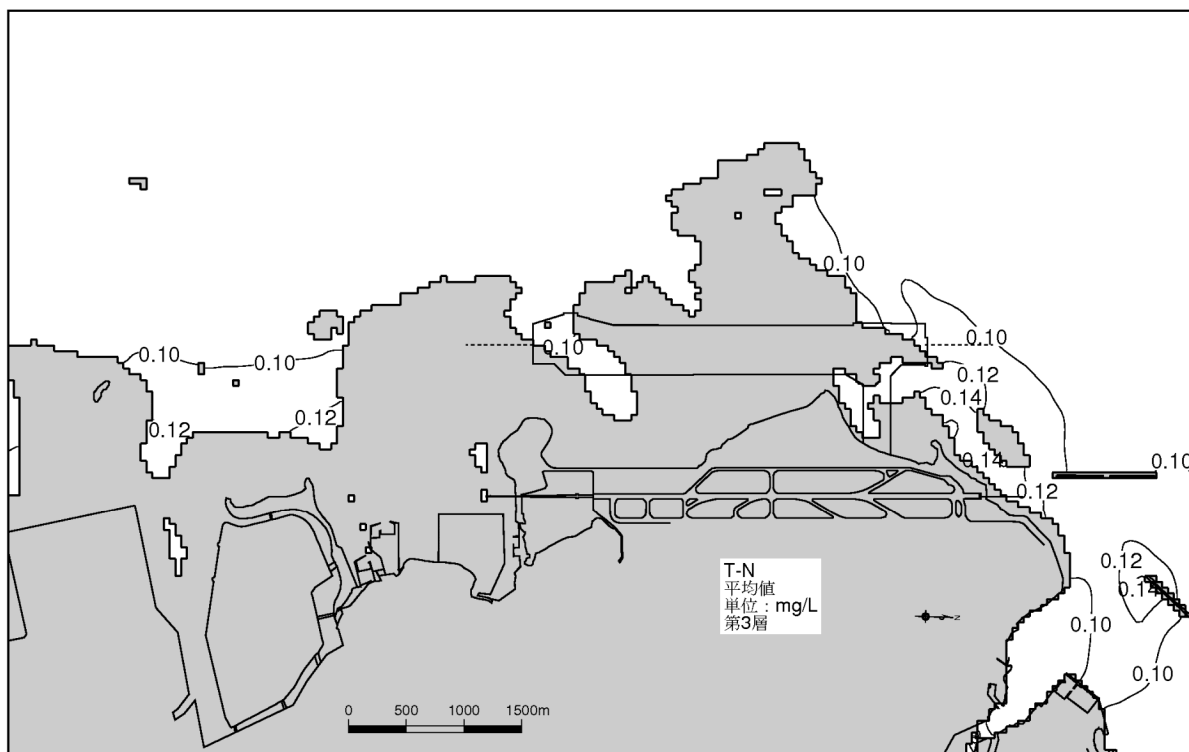
付図－ 6.8.3 (4) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第4層)



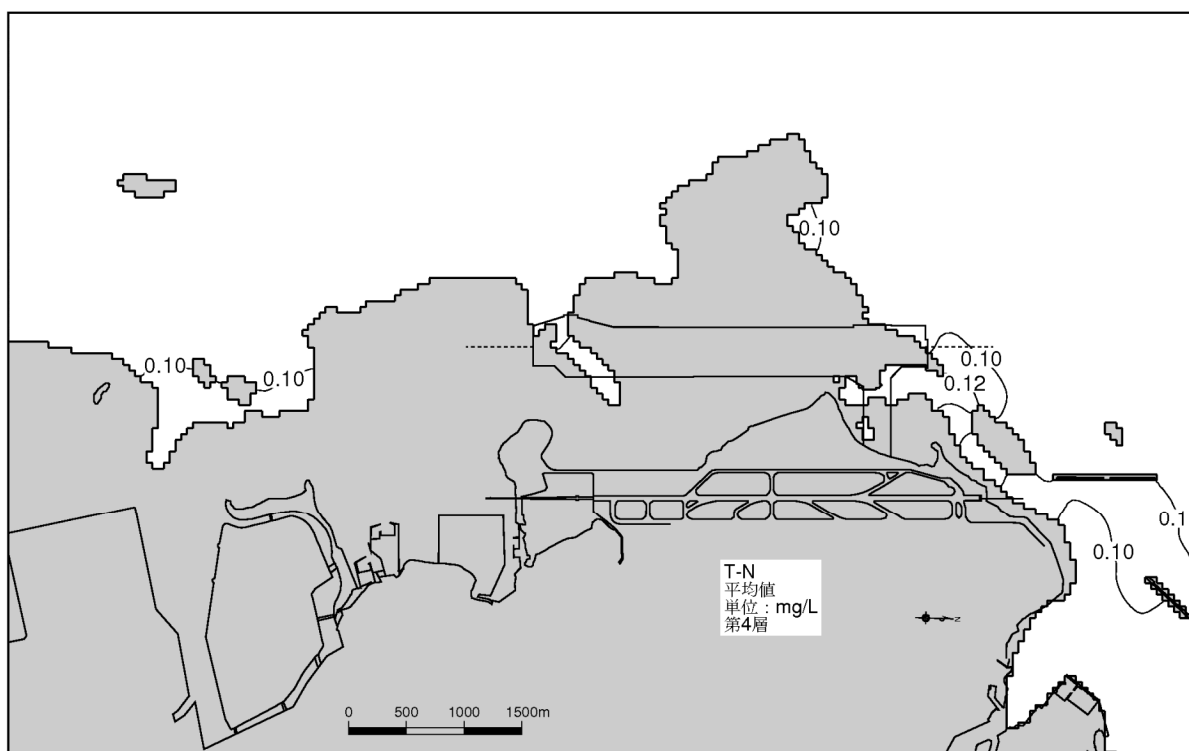
付図－ 6.8.4(1) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均值, 第1層)



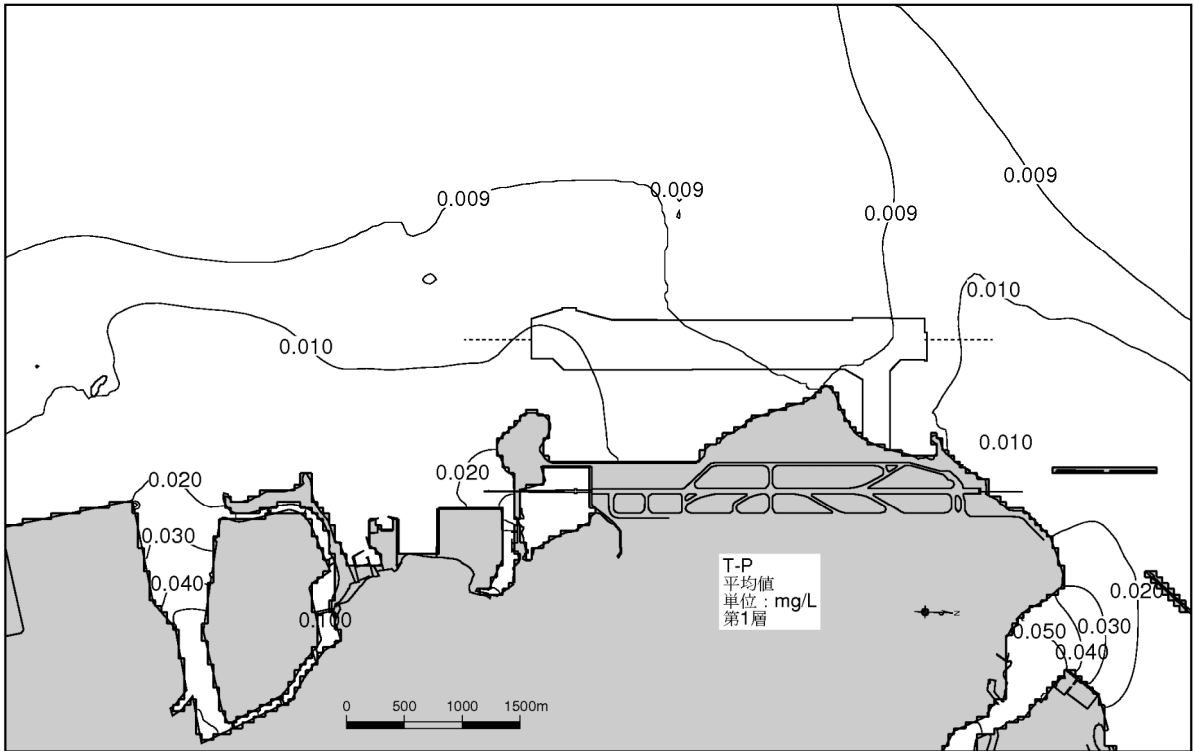
付図－ 6.8.4(2) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均值, 第2層)



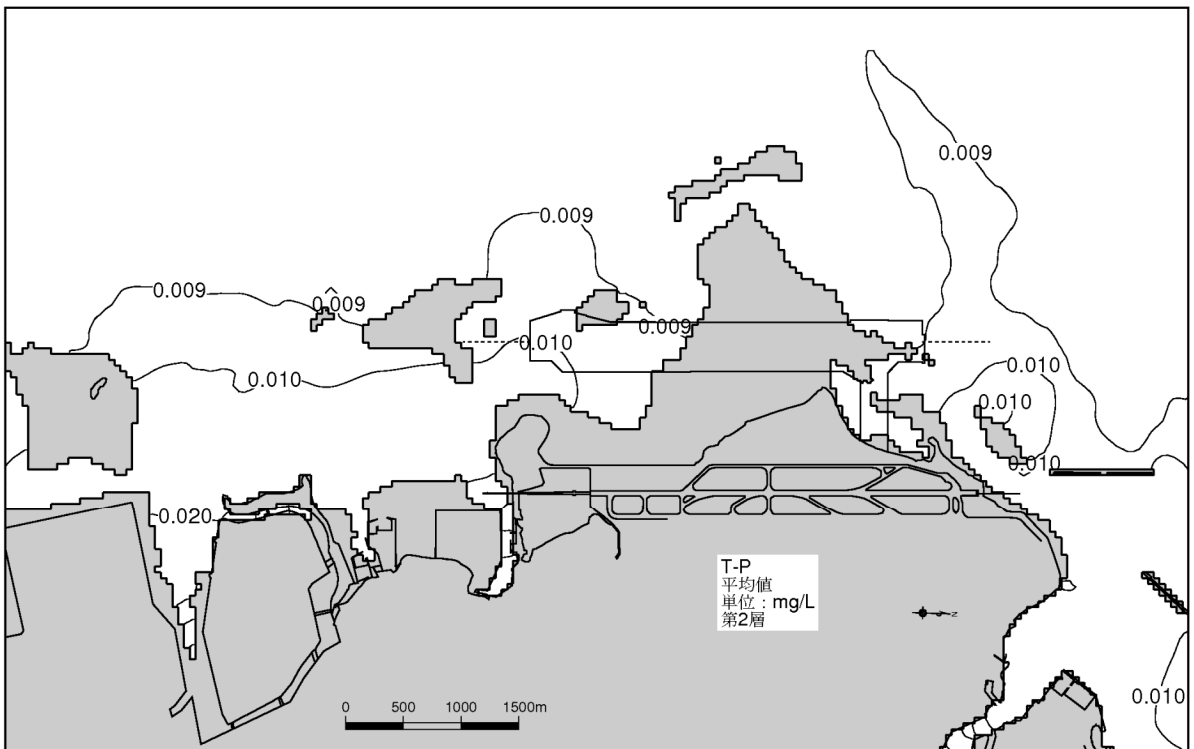
付図ー 6.8.4 (3) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第3層)



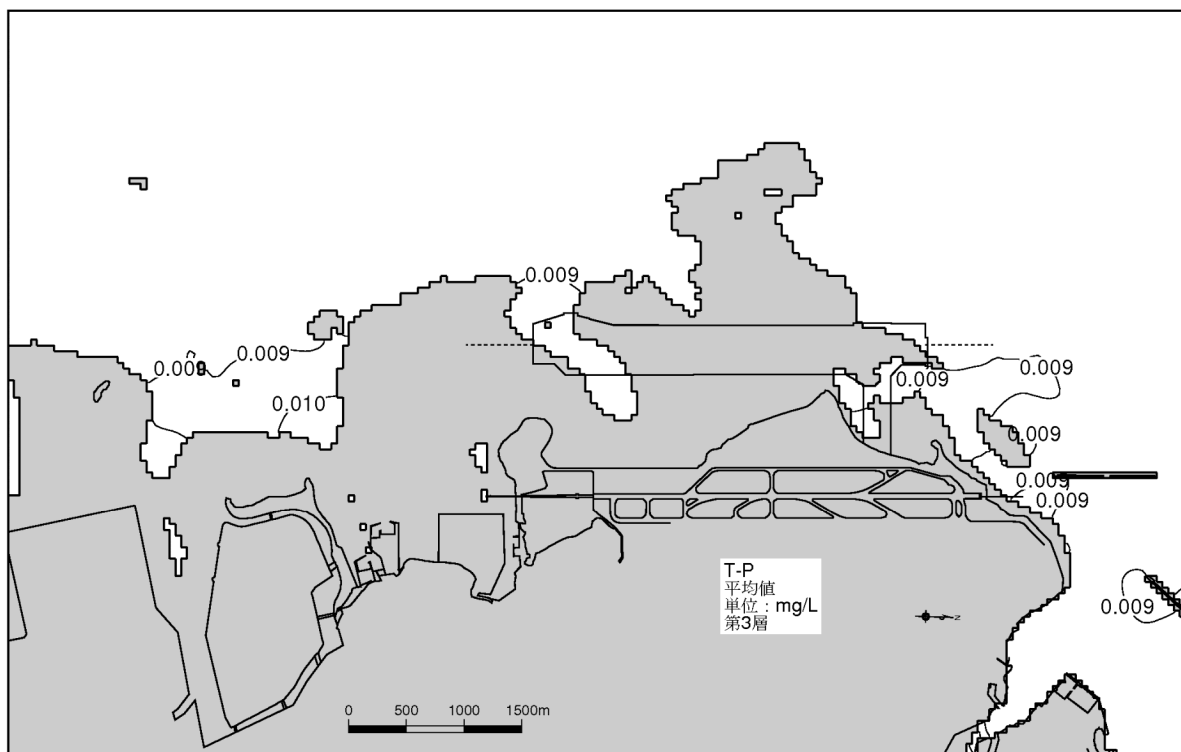
付図ー 6.8.4 (4) 現況の T-N 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第4層)



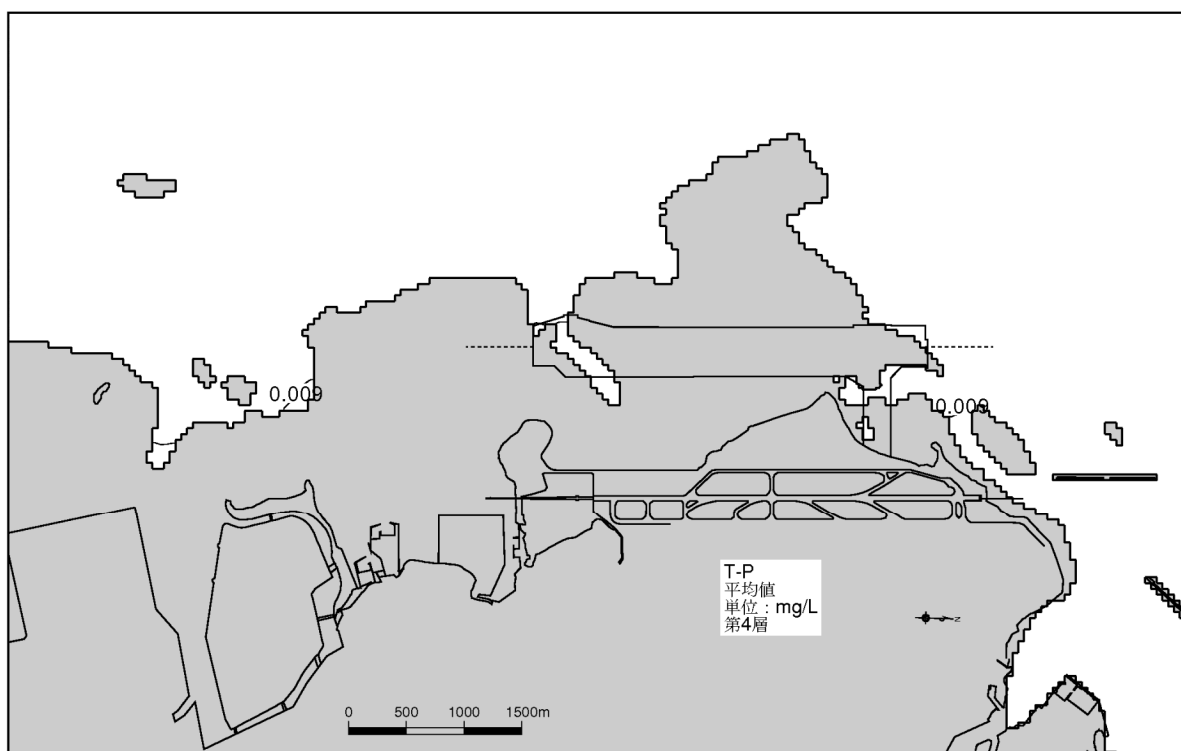
付図－ 6.8.5(1) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第1層)



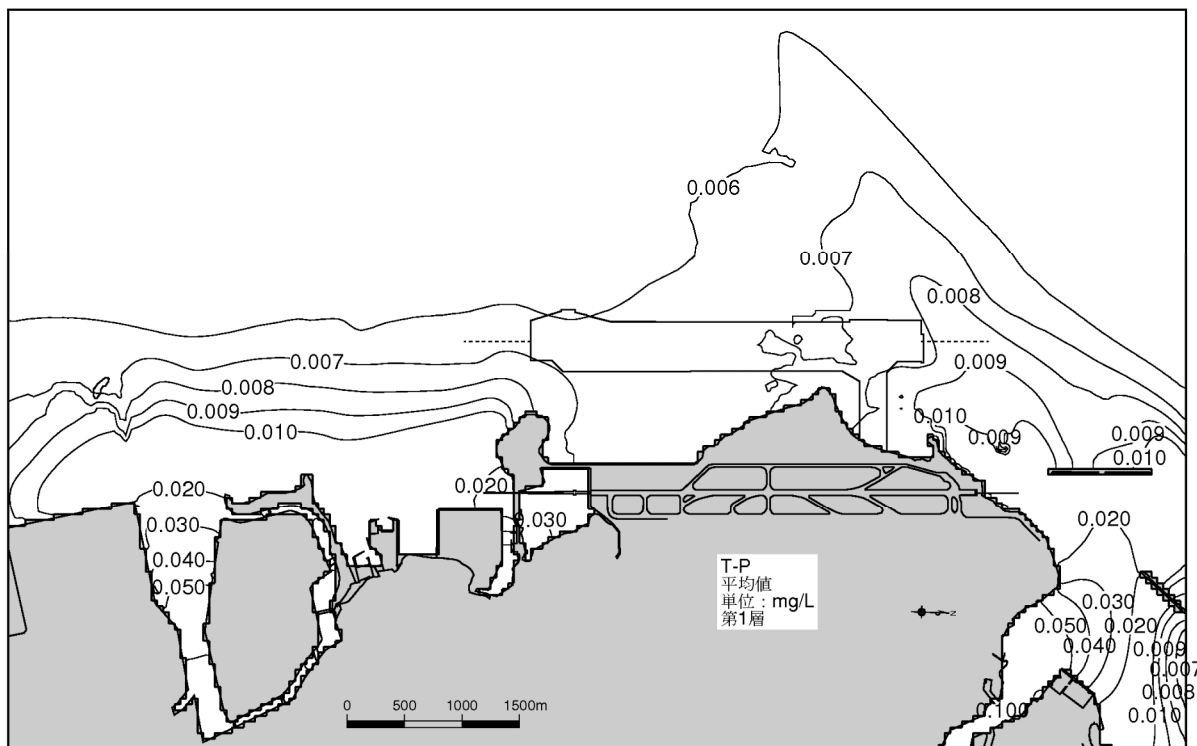
付図－ 6.8.5(2) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第2層)



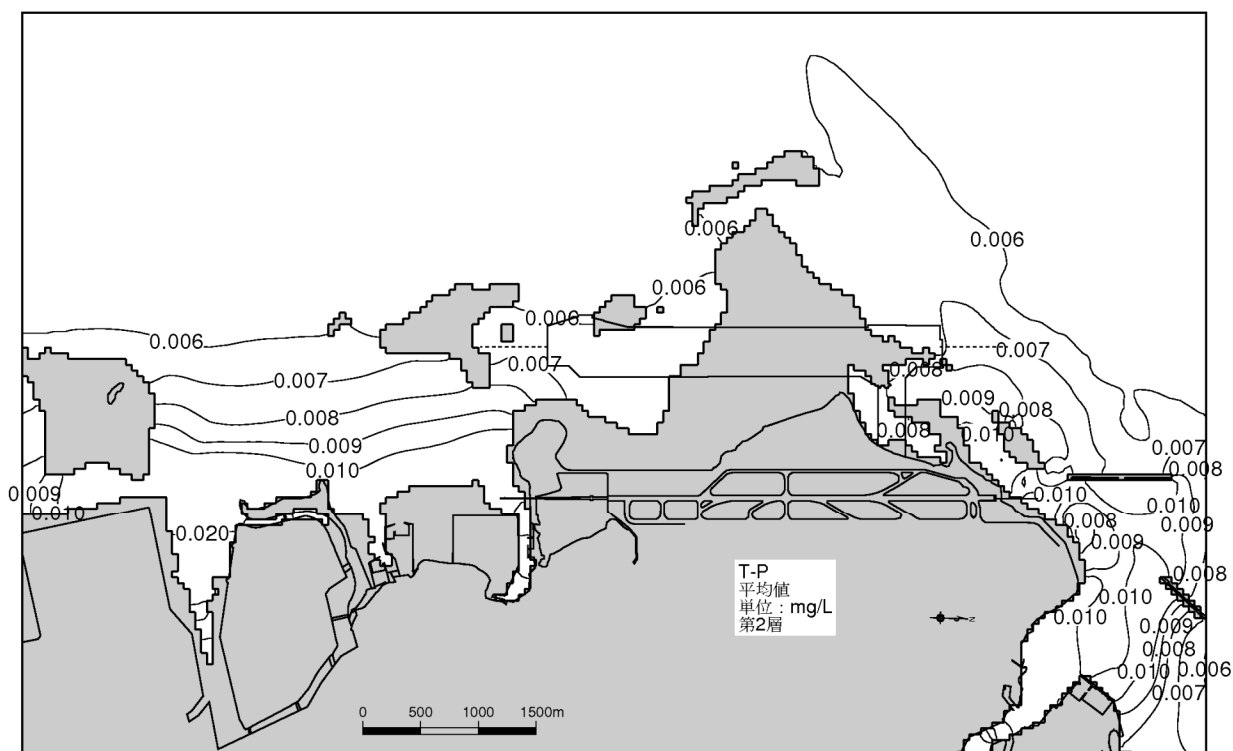
付図－ 6.8.5 (3) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第 3 層)



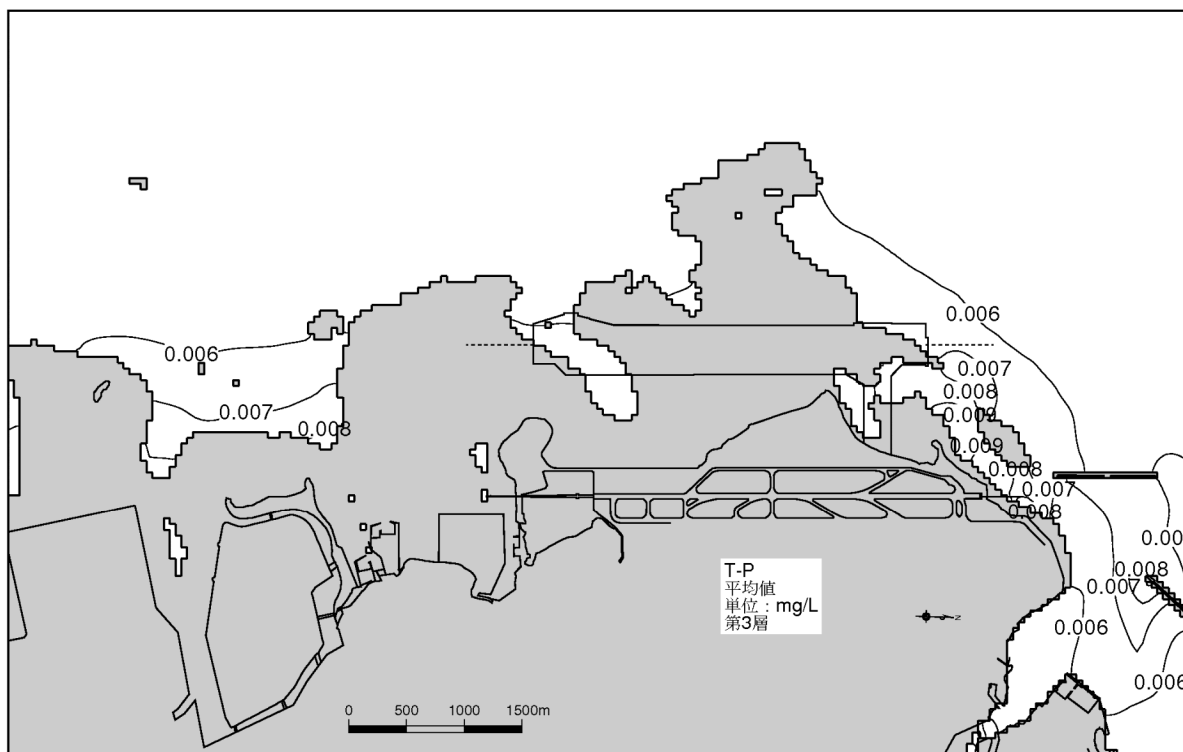
付図－ 6.8.5 (4) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (夏季, 平均潮, 日平均値, 第 4 層)



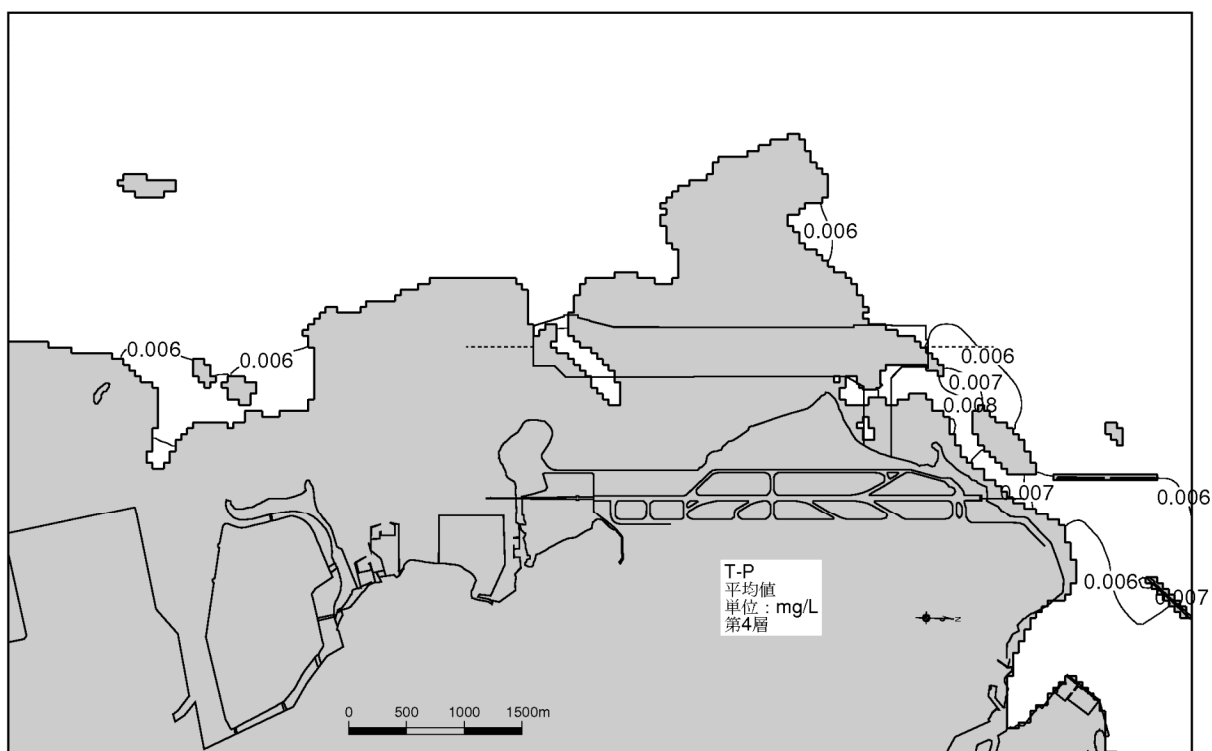
付図－ 6.8.6(1) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均值, 第1層)



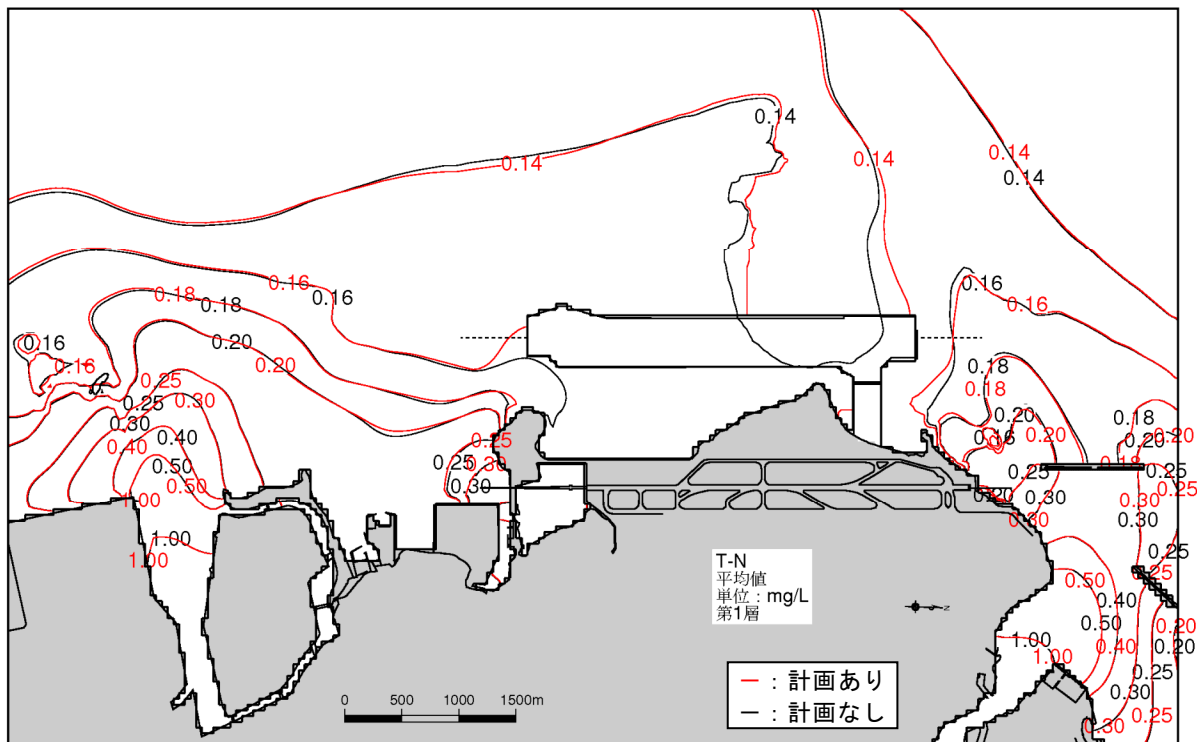
付図－ 6.8.6(2) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均值, 第2層)



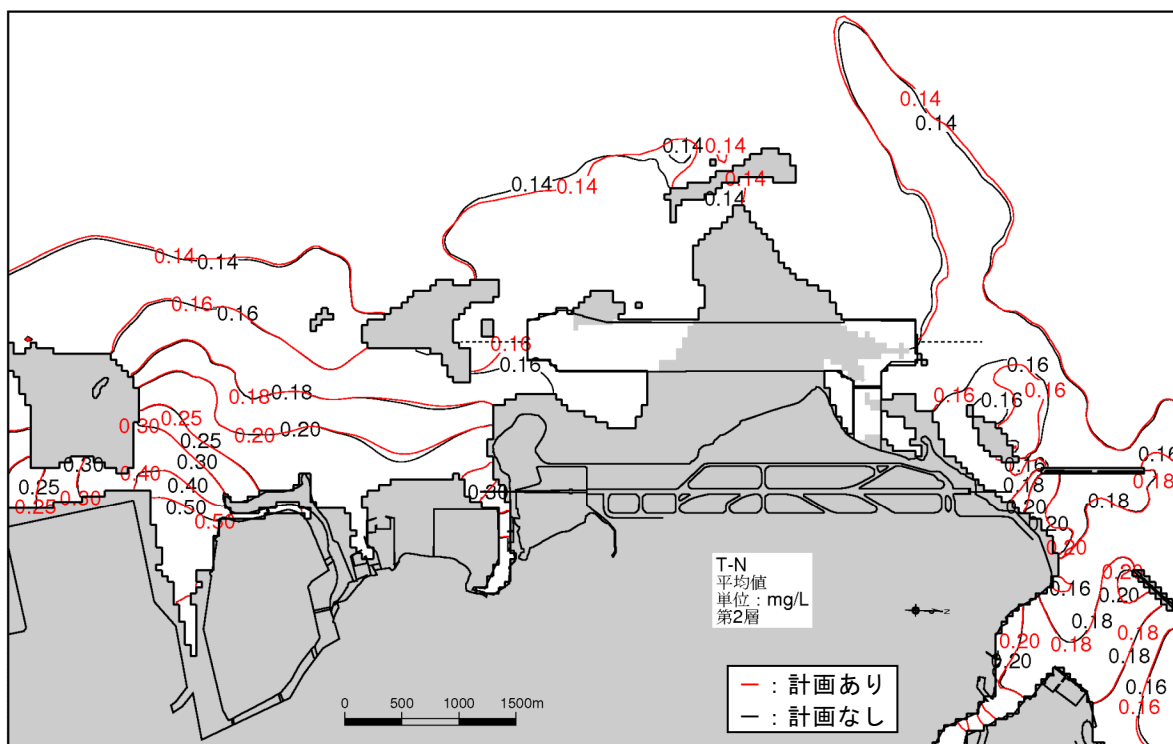
付図－ 6.8.6 (3) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第3層)



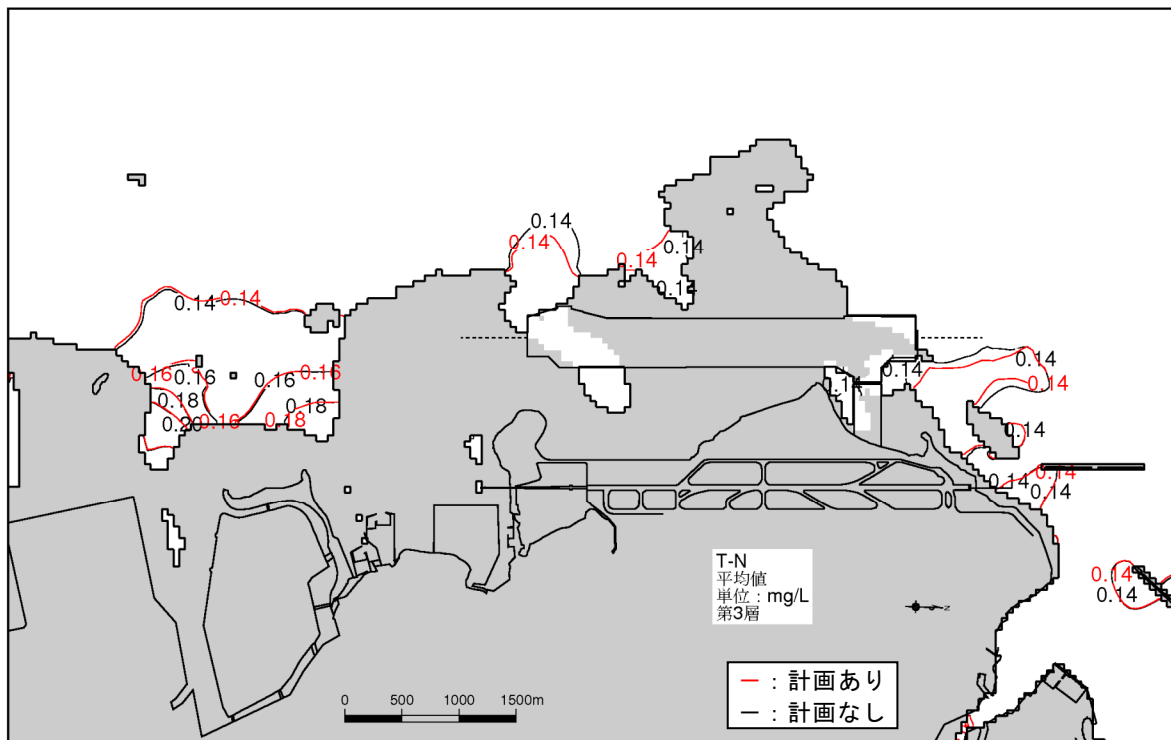
付図－ 6.8.6 (4) 現況の T-P 濃度分布の計算結果 (冬季, 平均潮, 日平均値, 第4層)



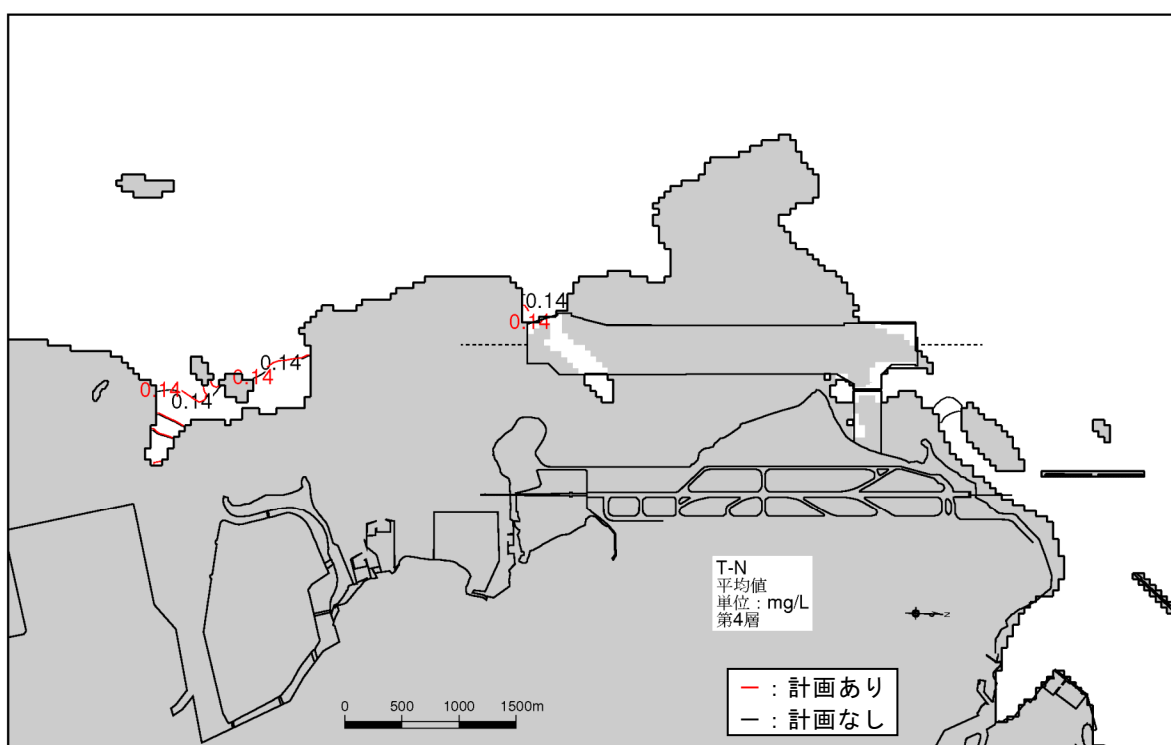
付図－ 6.8.7(1) 存在時の水質濃度分布（夏季,T-N,平均潮,日平均濃度,第1層）



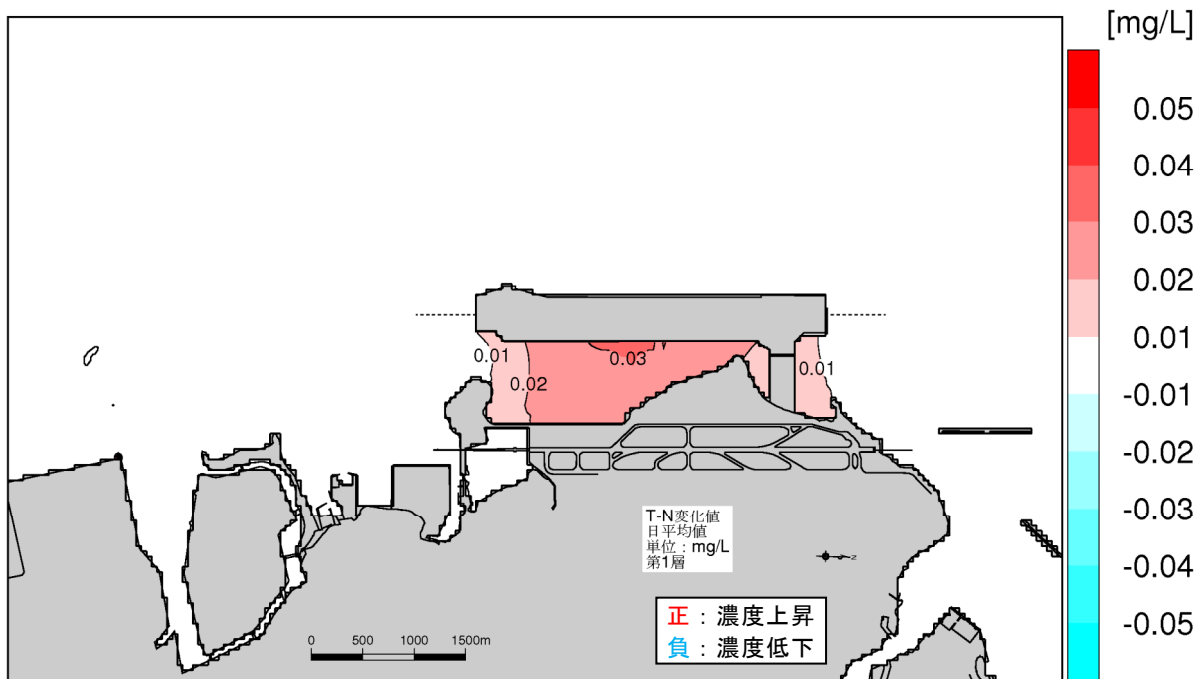
付図－ 6.8.7(2) 存在時の水質濃度分布（夏季,T-N,平均潮,日平均濃度,第2層）



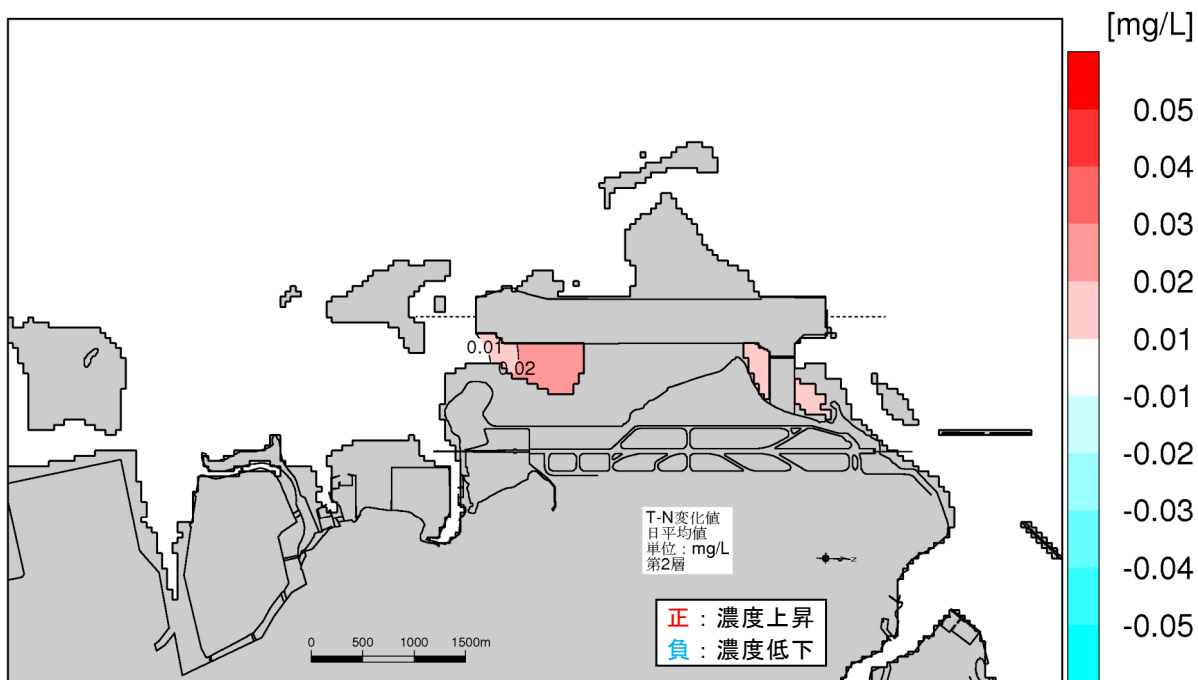
付図－ 6.8.7 (3) 存在時の水質濃度分布（夏季,T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第3層）



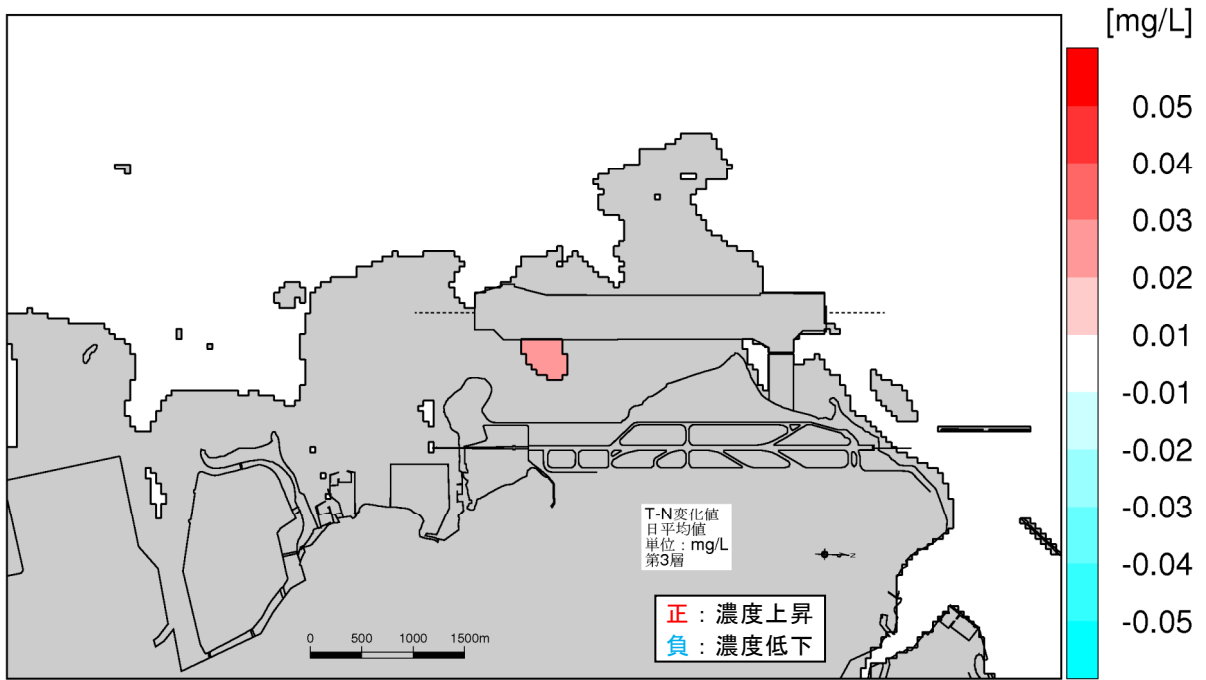
付図－ 6.8.7 (4) 存在時の水質濃度分布（夏季,T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第4層）



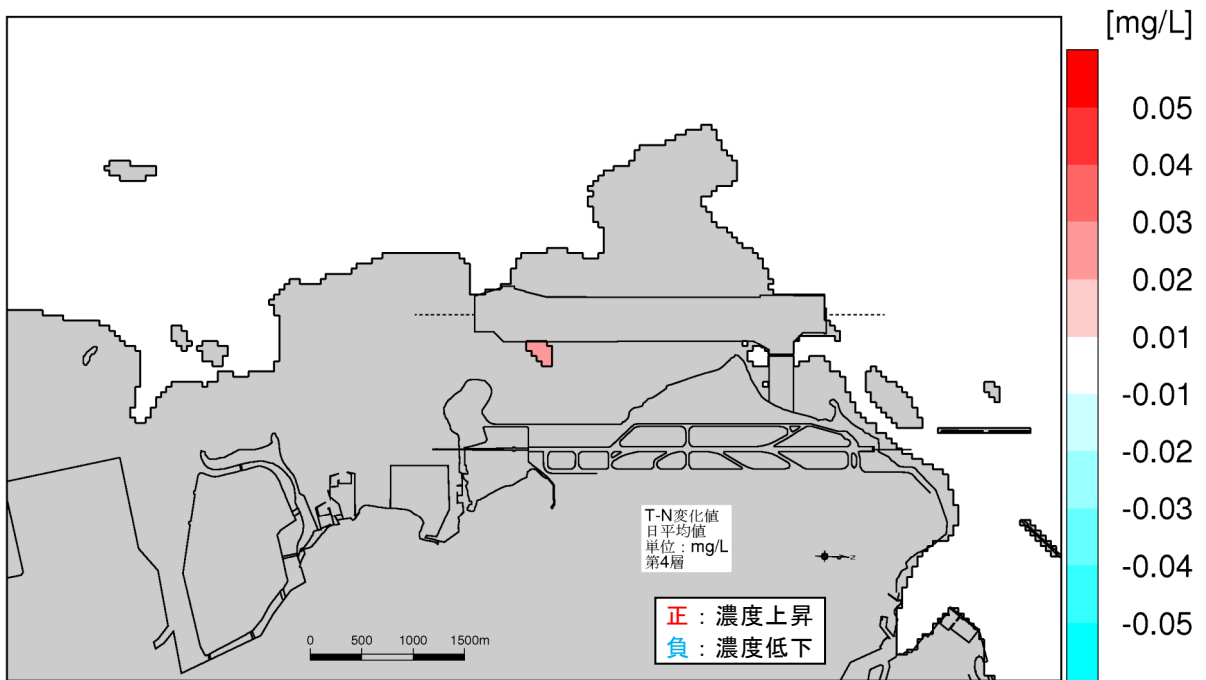
付図－ 6.8.8(1) 存在時の水質濃度変化（夏季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第1層）



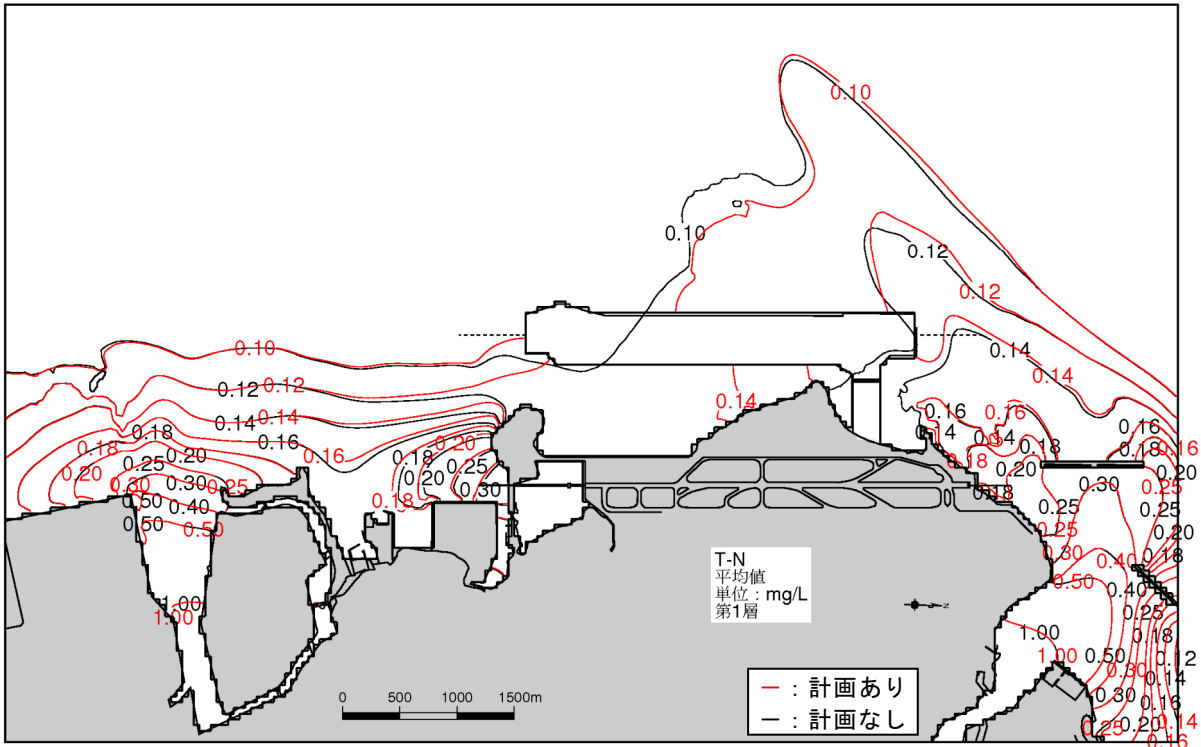
付図－ 6.8.8(2) 存在時の水質濃度変化（夏季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第2層）



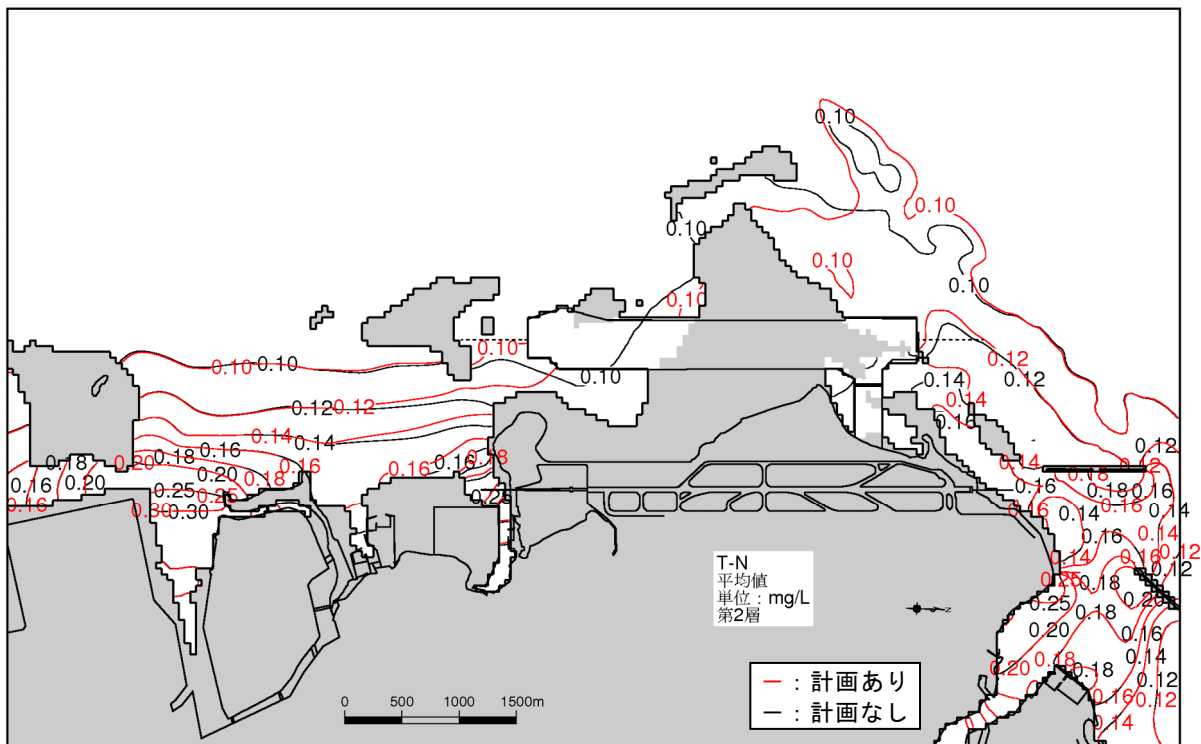
付図－ 6.8.8 (3) 存在時の水質濃度変化（夏季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第3層）



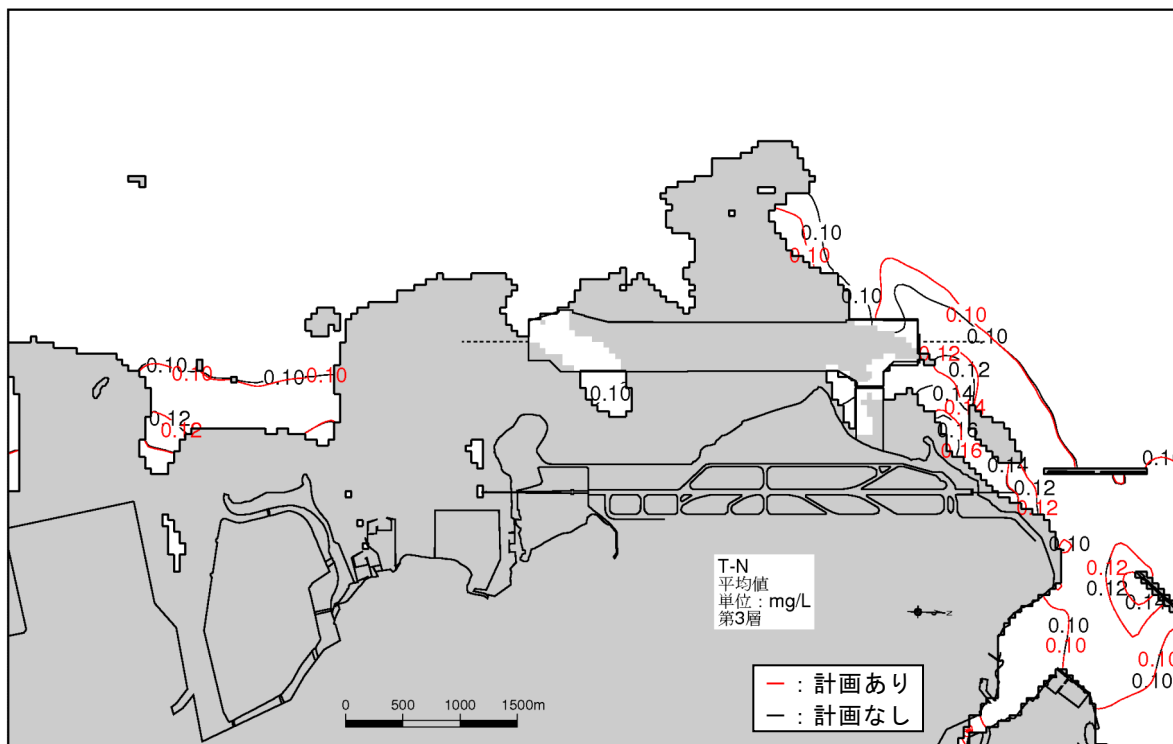
付図－ 6.8.8 (4) 存在時の水質濃度変化（夏季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第4層）



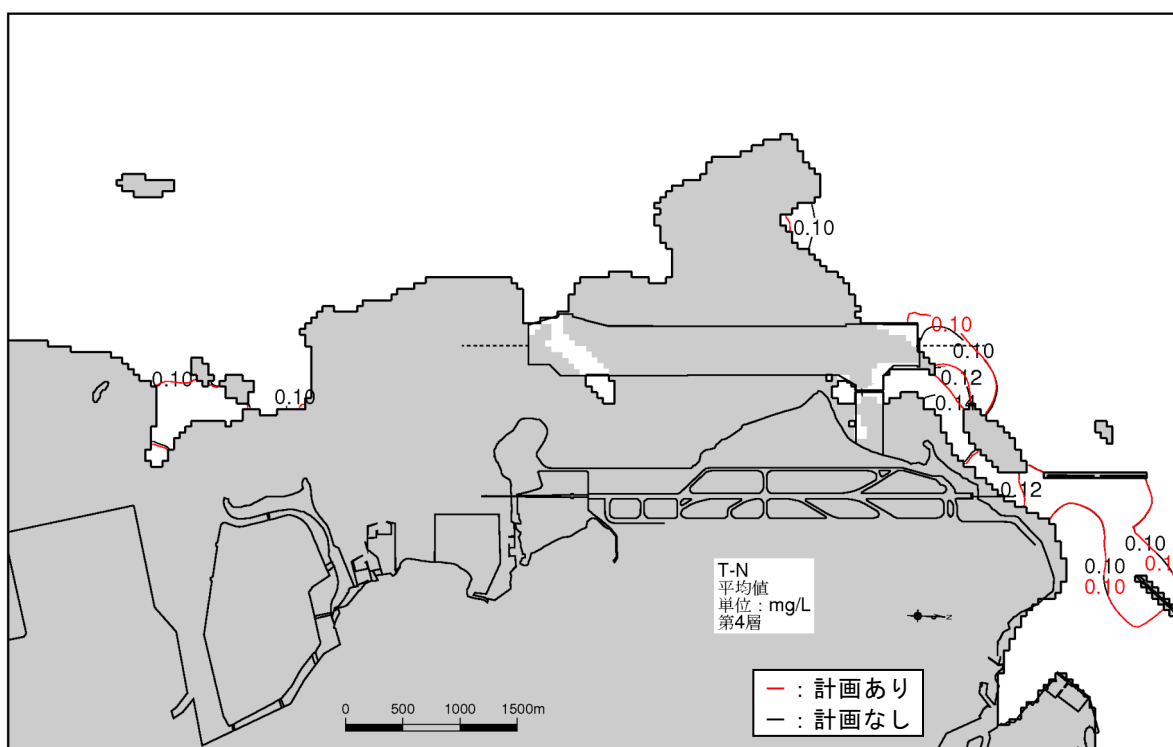
付図－ 6.8.9(1) 存在時の水質濃度分布（冬季,T-N,平均潮,日平均濃度,第1層）



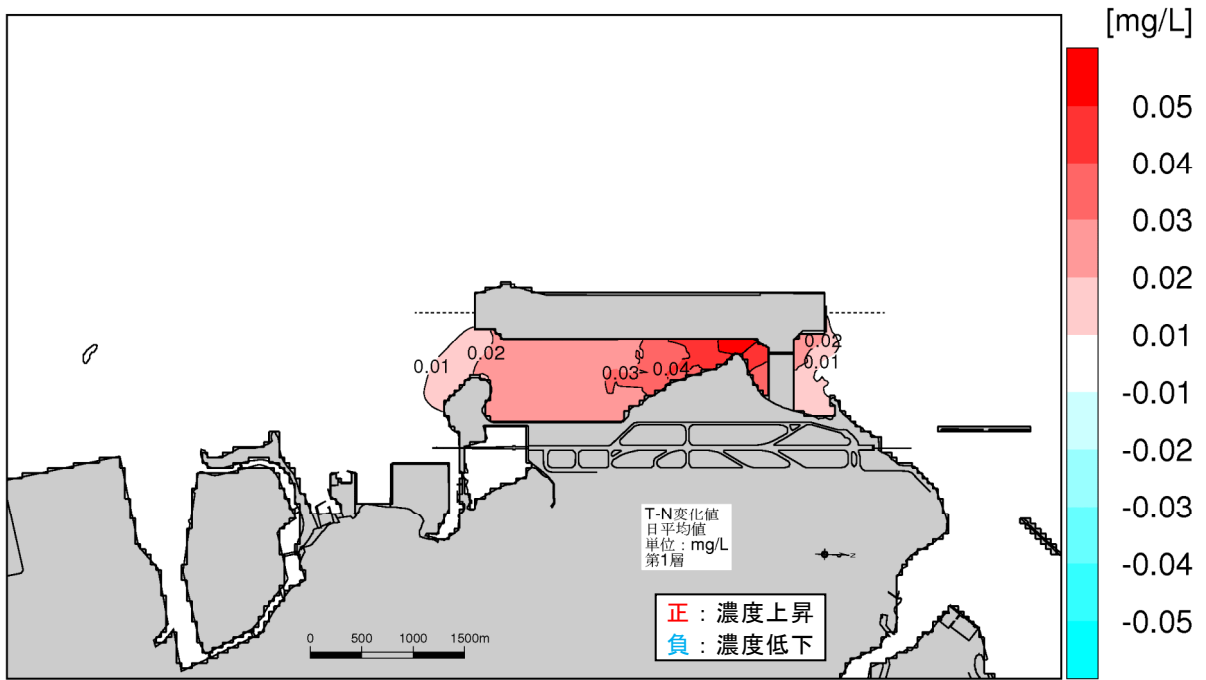
付図－ 6.8.9(2) 存在時の水質濃度分布（冬季,T-N,平均潮,日平均濃度,第2層）



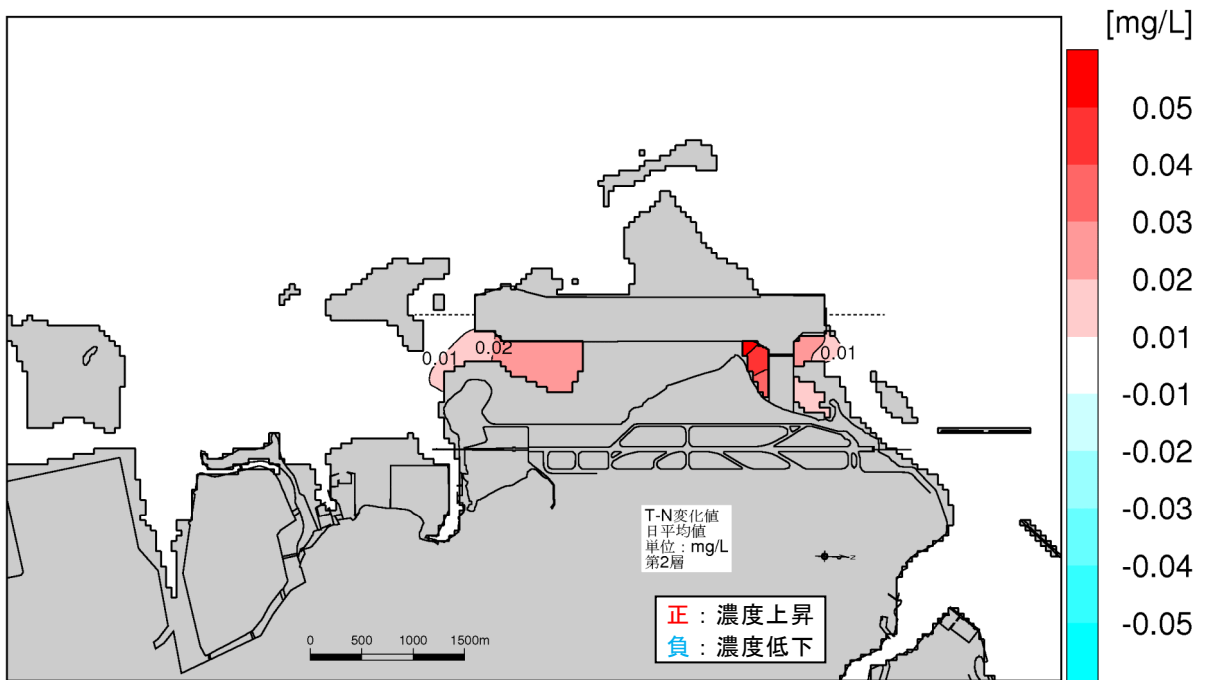
付図－ 6.8.9 (3) 存在時の水質濃度分布（冬季,T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第3層）



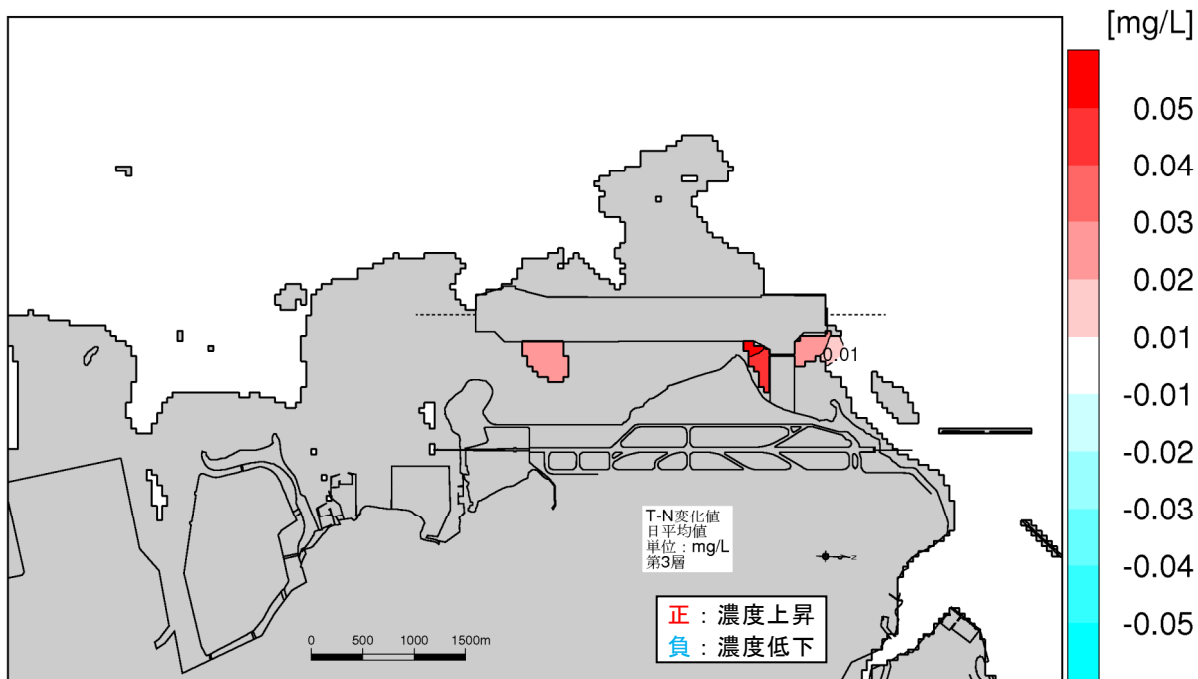
付図－ 6.8.9 (4) 存在時の水質濃度分布（冬季,T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第4層）



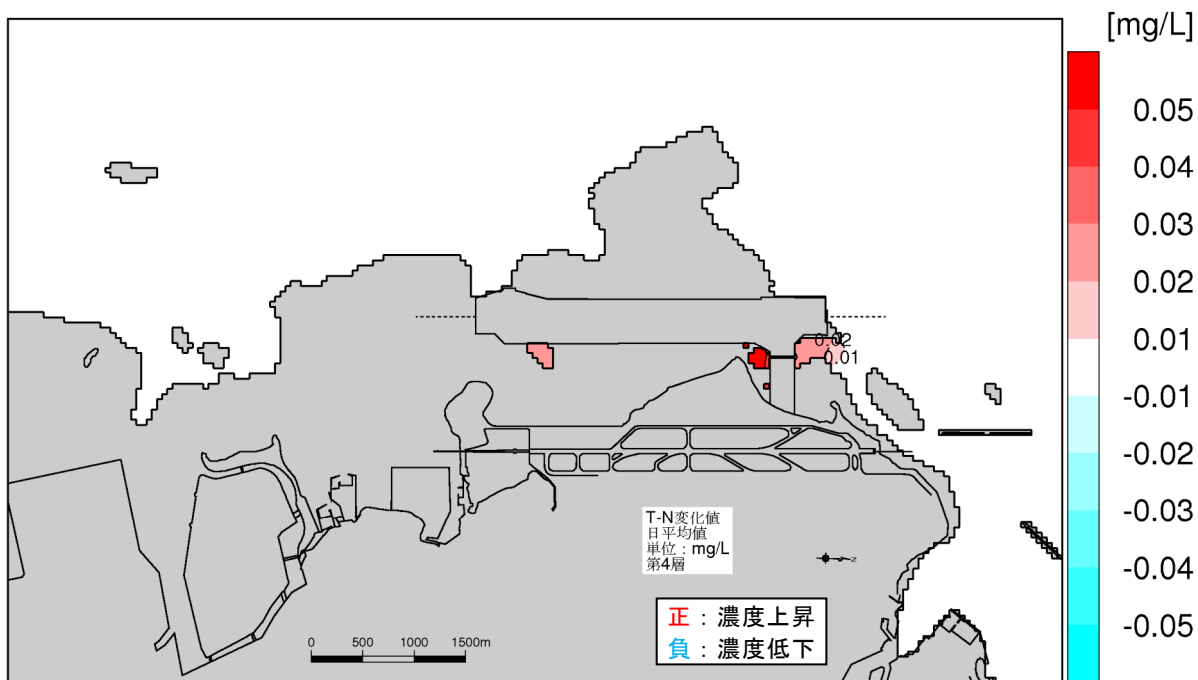
付図ー 6.8.10(1) 存在時の水質濃度変化 (冬季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第1層)



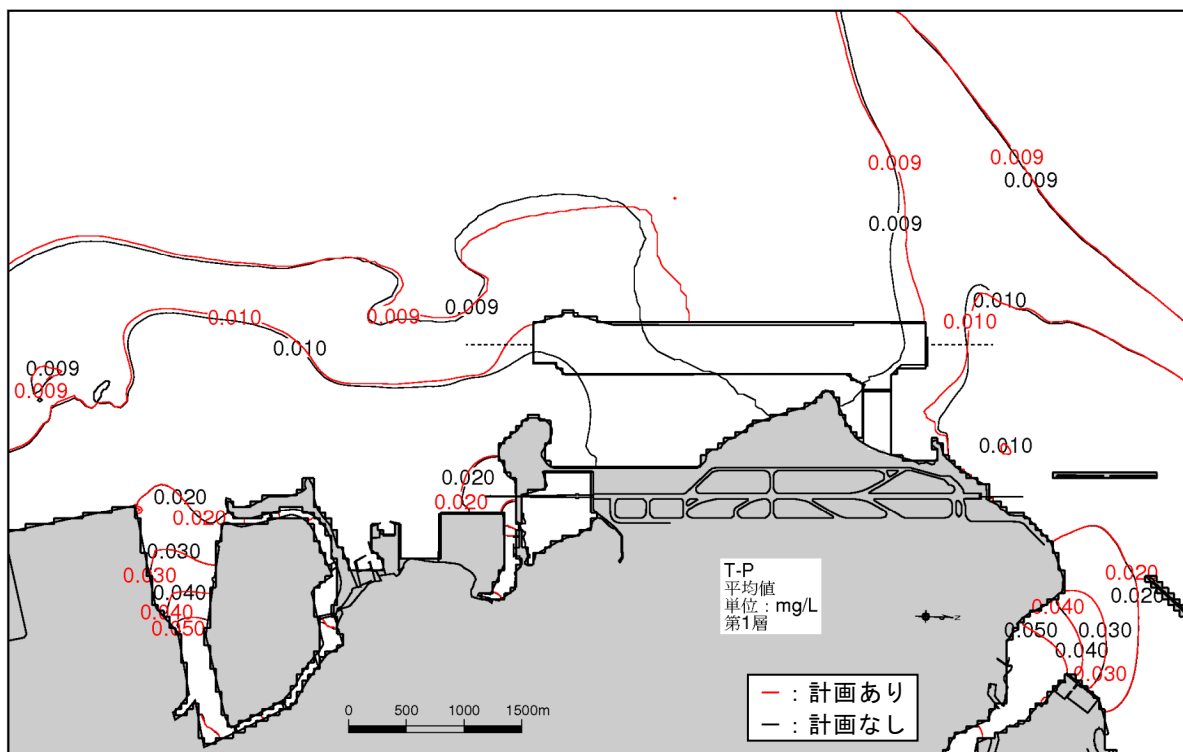
付図ー 6.8.10 (2) 存在時の水質濃度変化 (冬季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第2層)



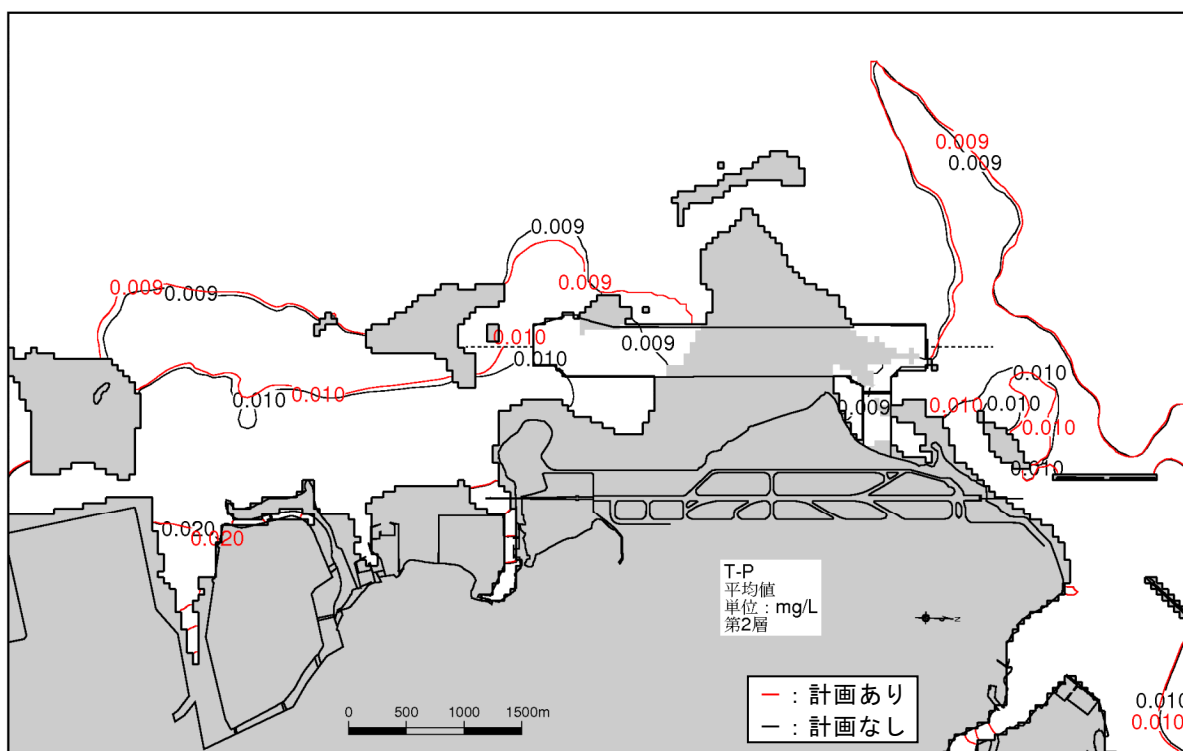
付図－ 6.8.10 (3) 存在時の水質濃度変化 (冬季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第3層)



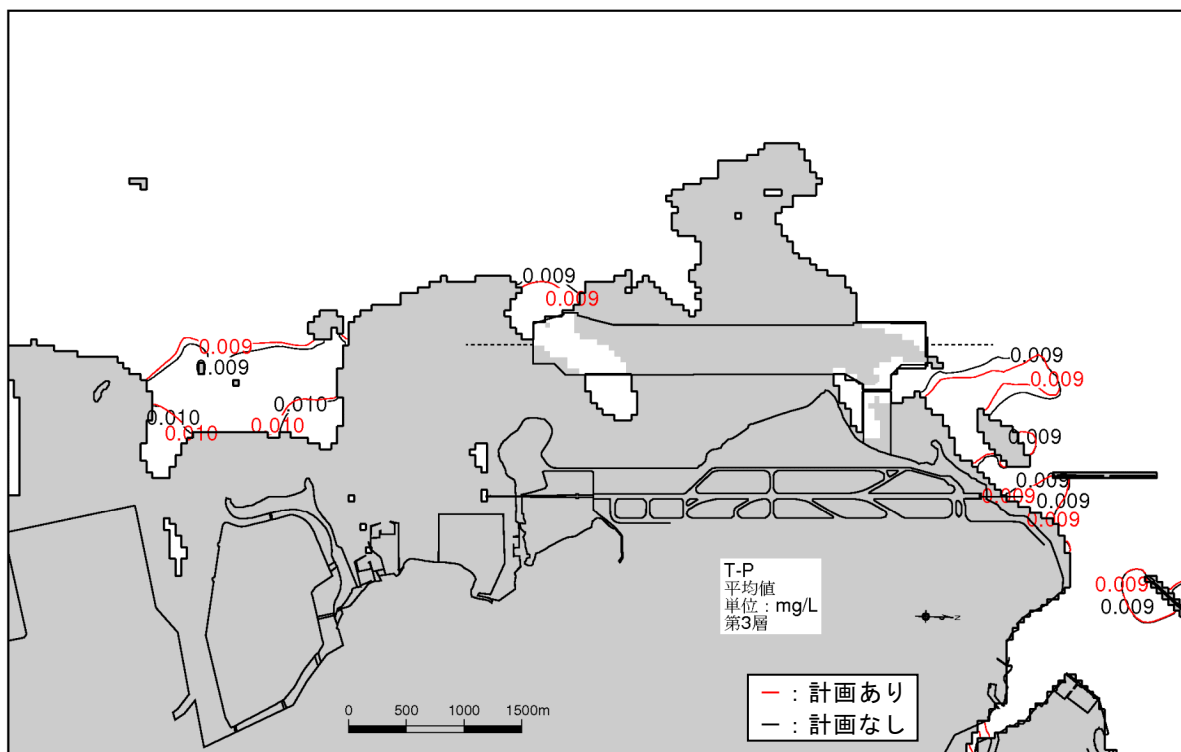
付図－ 6.8.10 (4) 存在時の水質濃度変化 (冬季, T-N, 平均潮, 日平均濃度, 第4層)



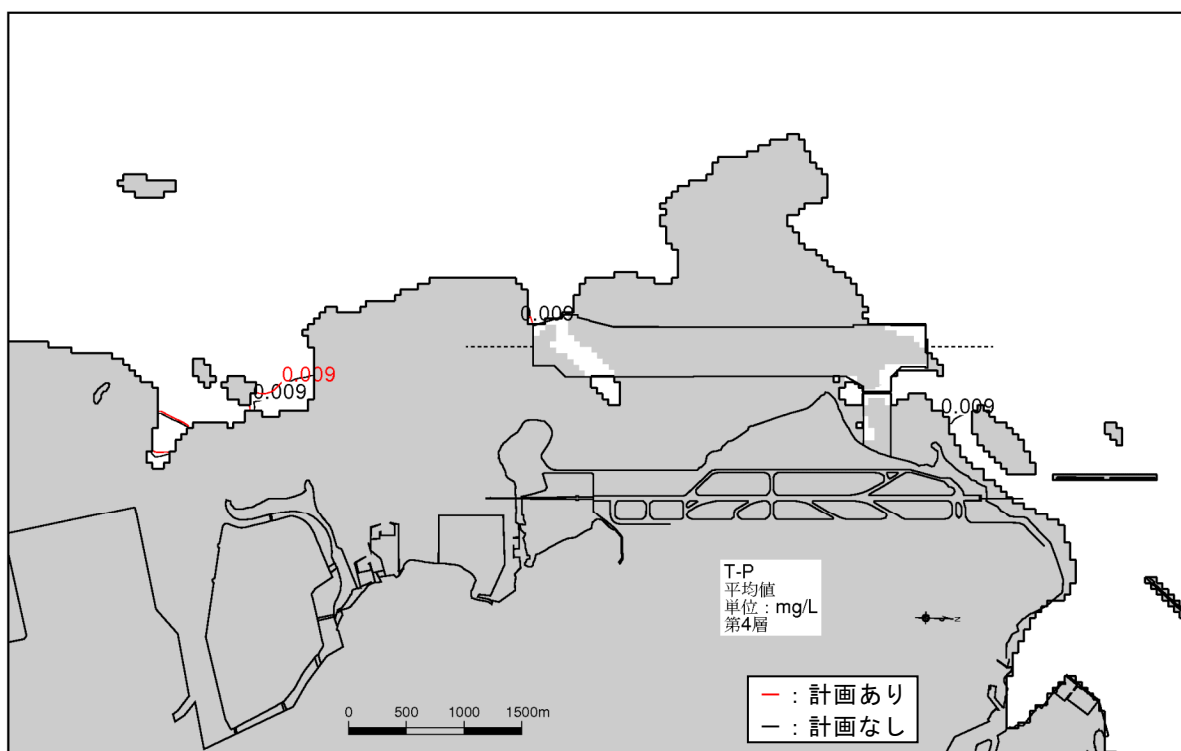
付図－ 6. 8. 11 (1) 存在時の水質濃度分布と変化（夏季，T-P，平均潮，日平均濃度，第1層）



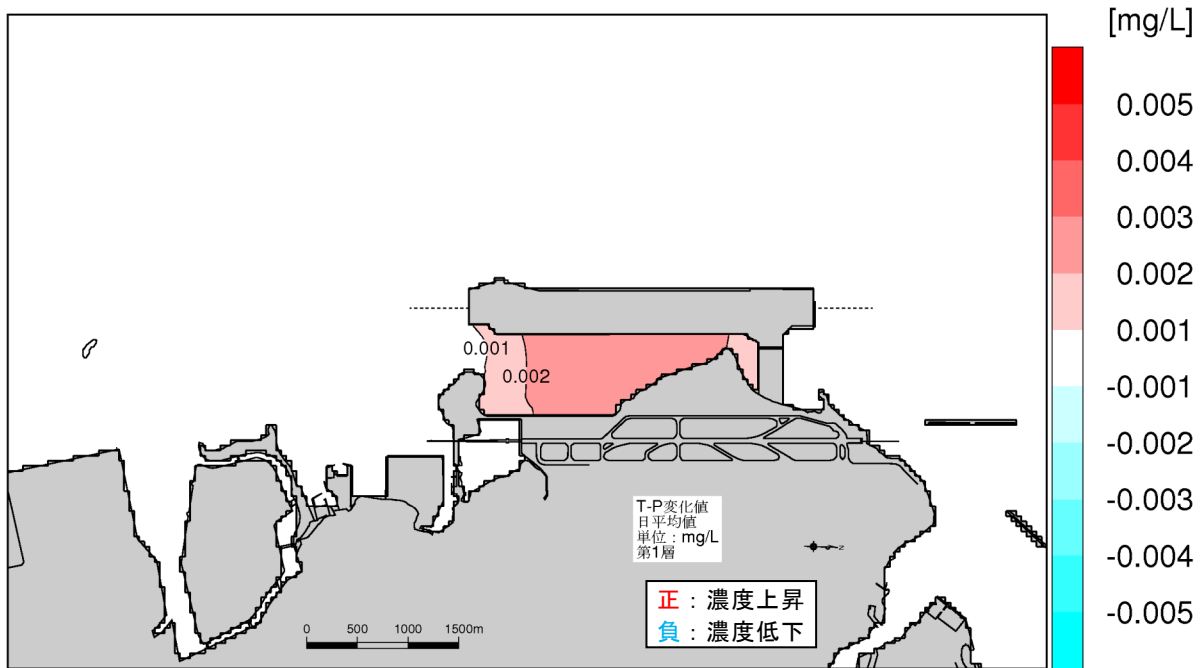
付図－ 6. 8. 11 (2) 存在時の水質濃度分布と変化（夏季，T-P，平均潮，日平均濃度，第2層）



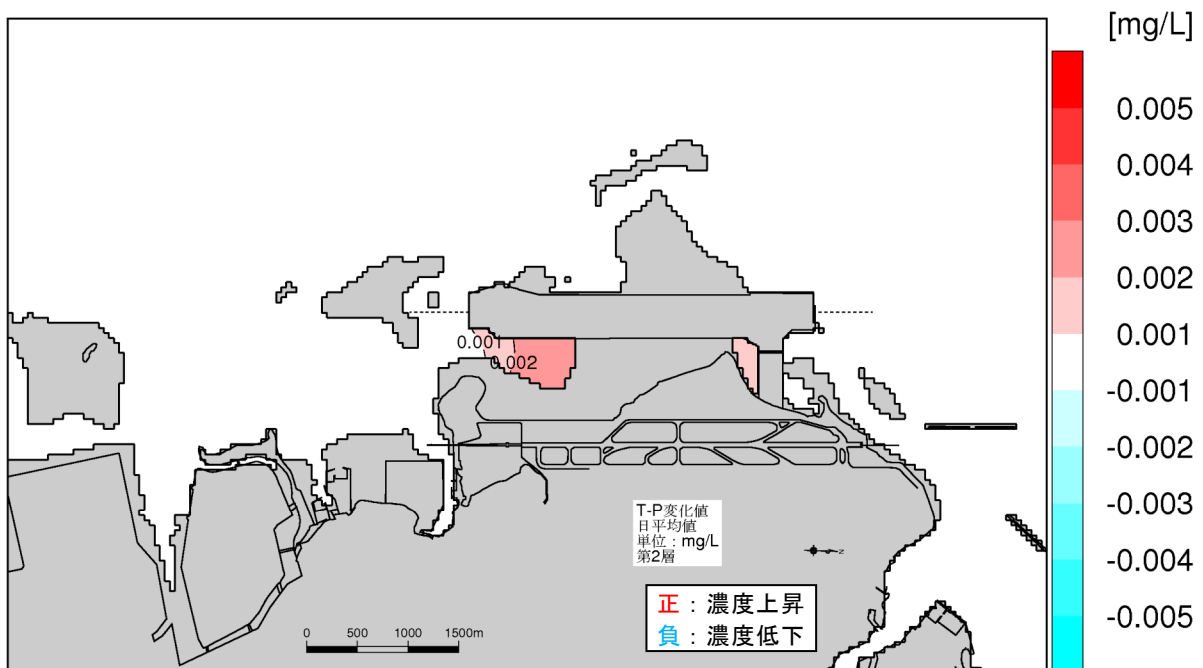
付図－ 6.8.11 (3) 存在時の水質濃度分布と変化（夏季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第3層）



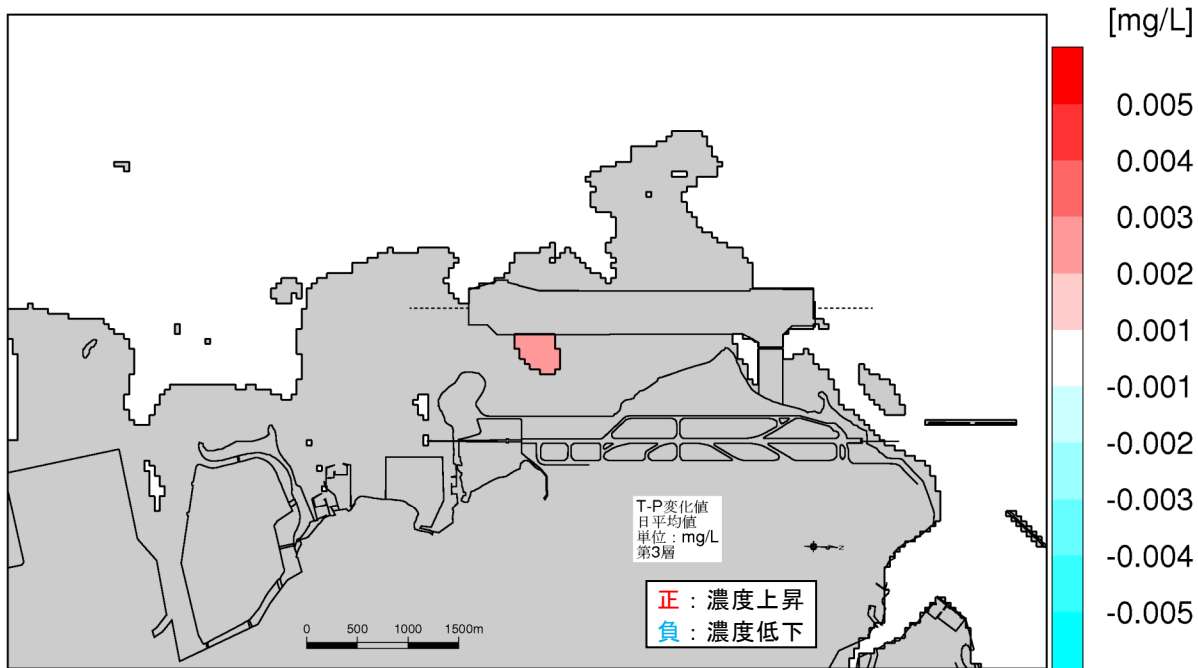
付図－ 6.8.11 (4) 存在時の水質濃度分布と変化（夏季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第4層）



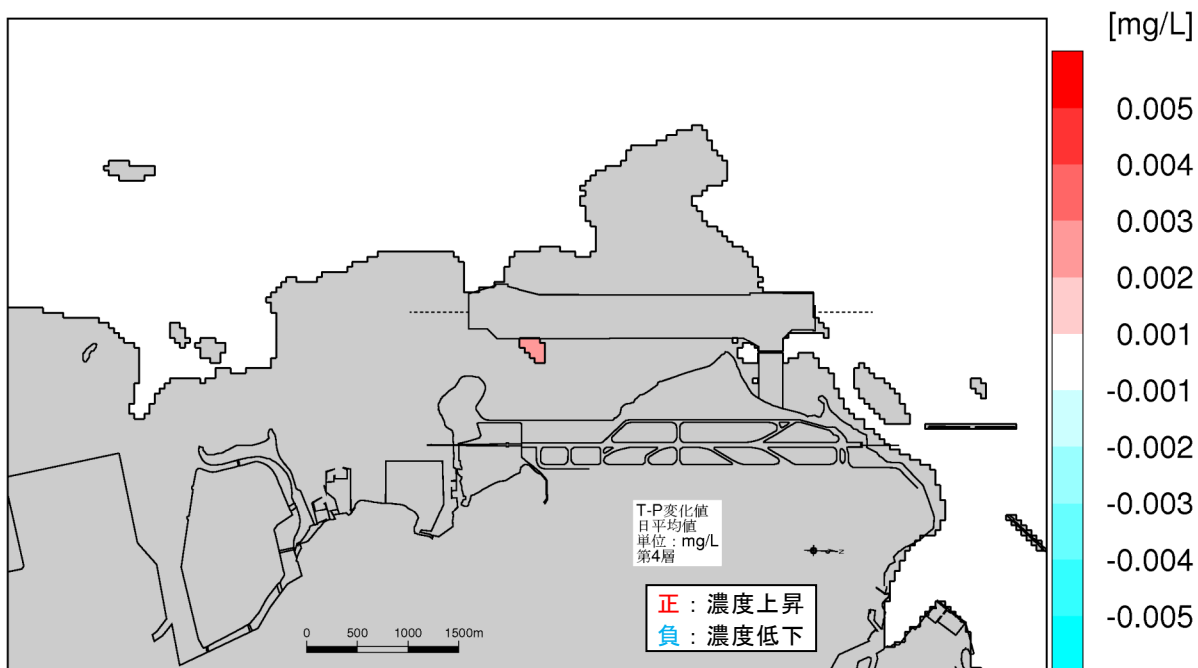
付図ー 6.8.12(1) 存在時の水質濃度分布と変化(夏季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第1層)



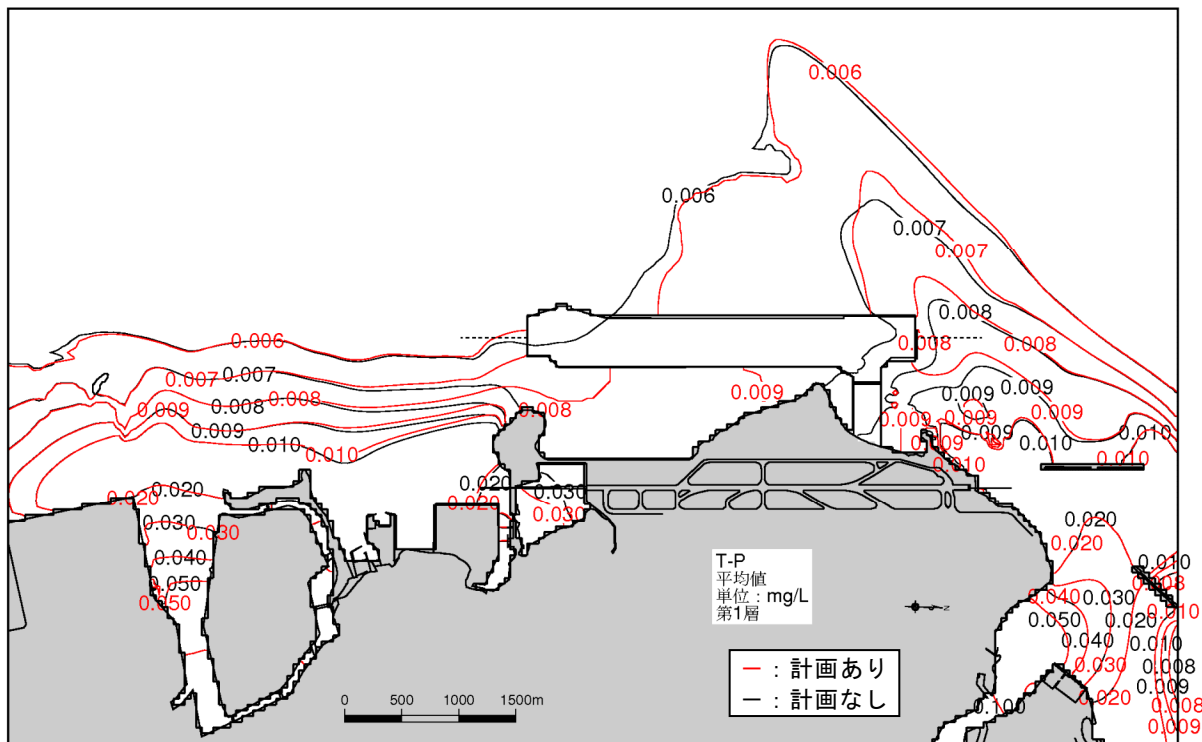
付図ー 6.8.12(2) 存在時の水質濃度分布と変化(夏季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第2層)



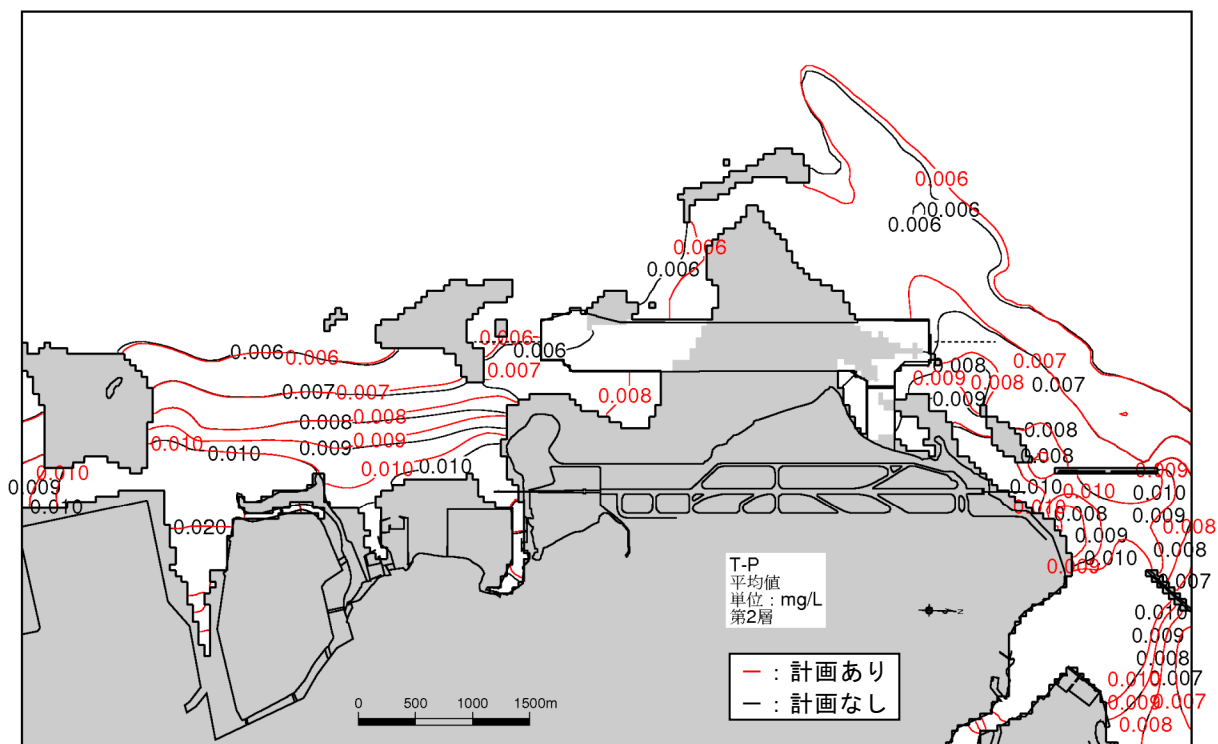
付図－ 6.8.12 (3) 存在時の水質濃度分布と変化 (夏季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第3層)



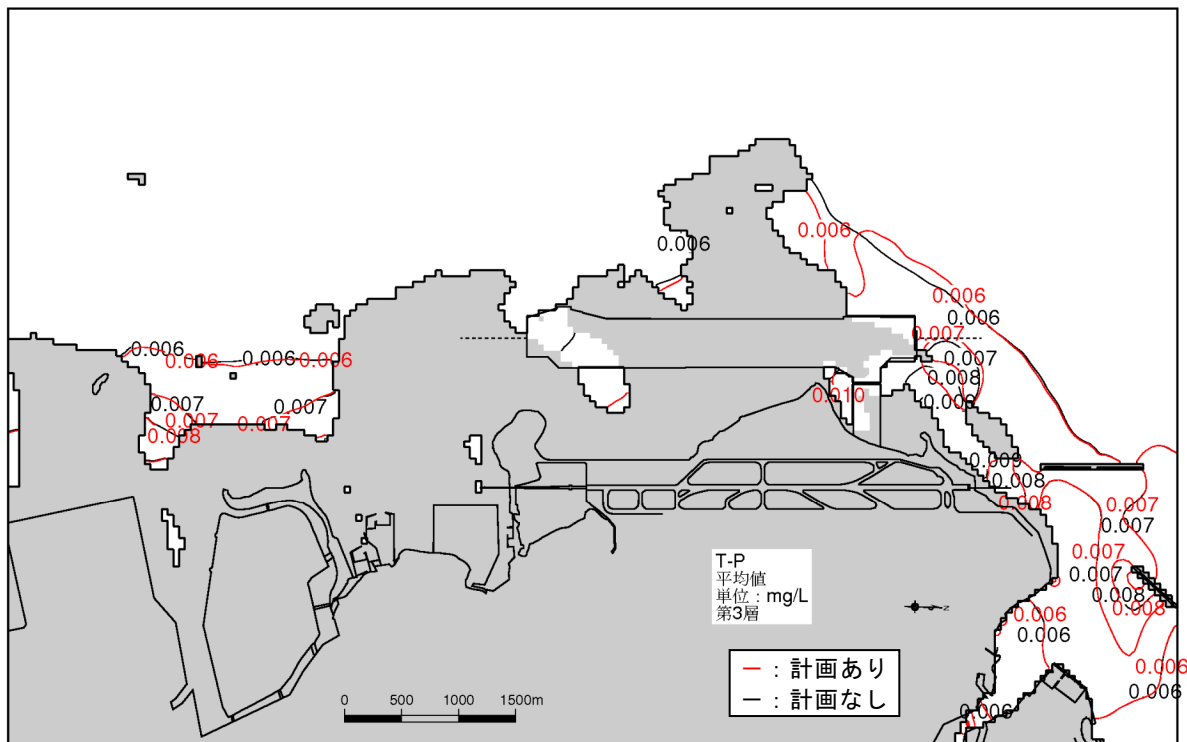
付図－ 6.8.12 (4) 存在時の水質濃度分布と変化 (夏季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第4層)



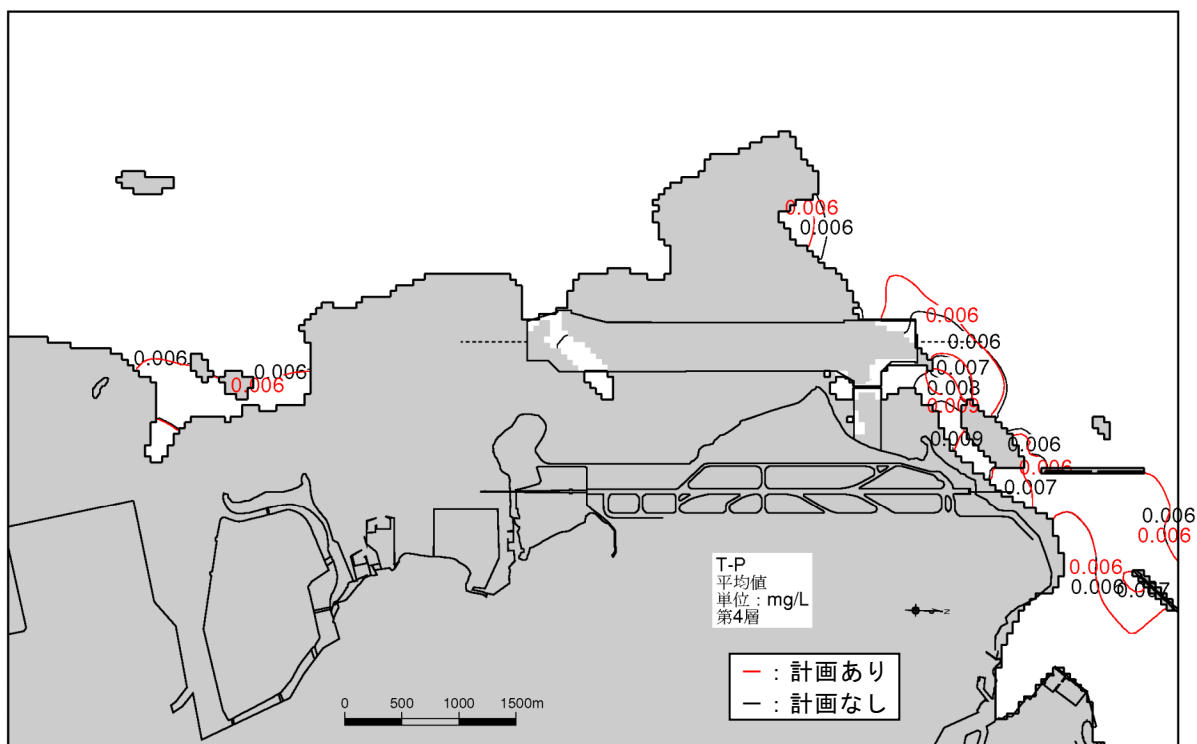
付図－ 6. 8. 13(1) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季，T-P，平均潮，日平均濃度，第1層）



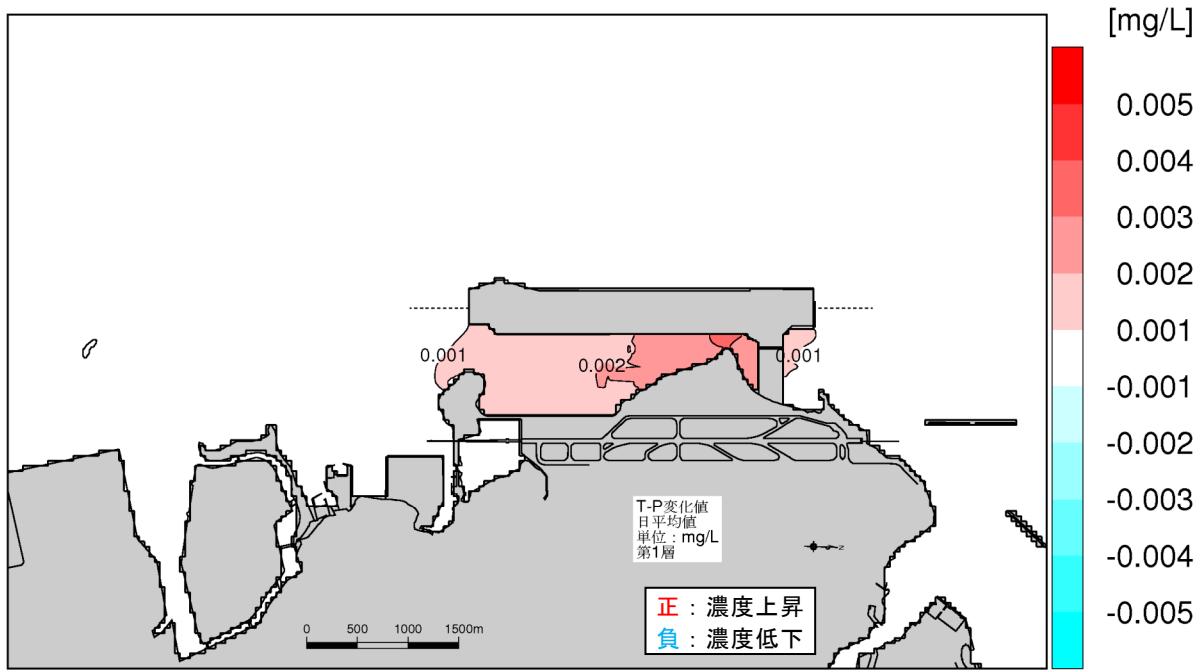
付図－ 6. 8. 13 (2) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季，T-P，平均潮，日平均濃度，第2層）



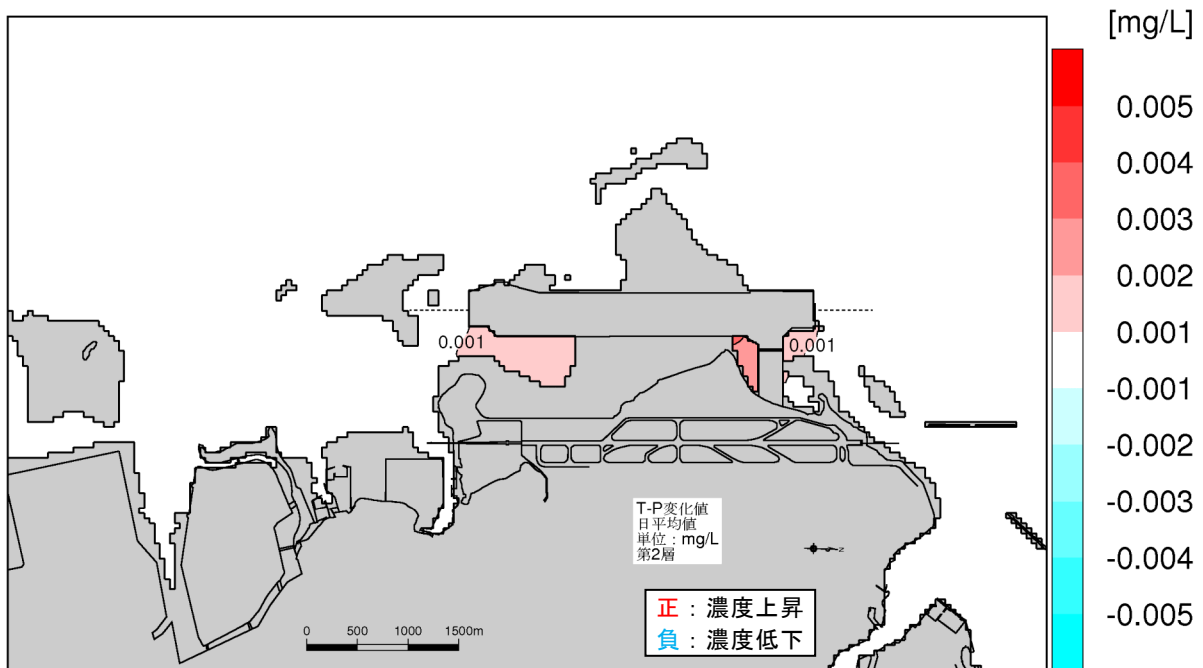
付図－ 6.8.13 (3) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第3層）



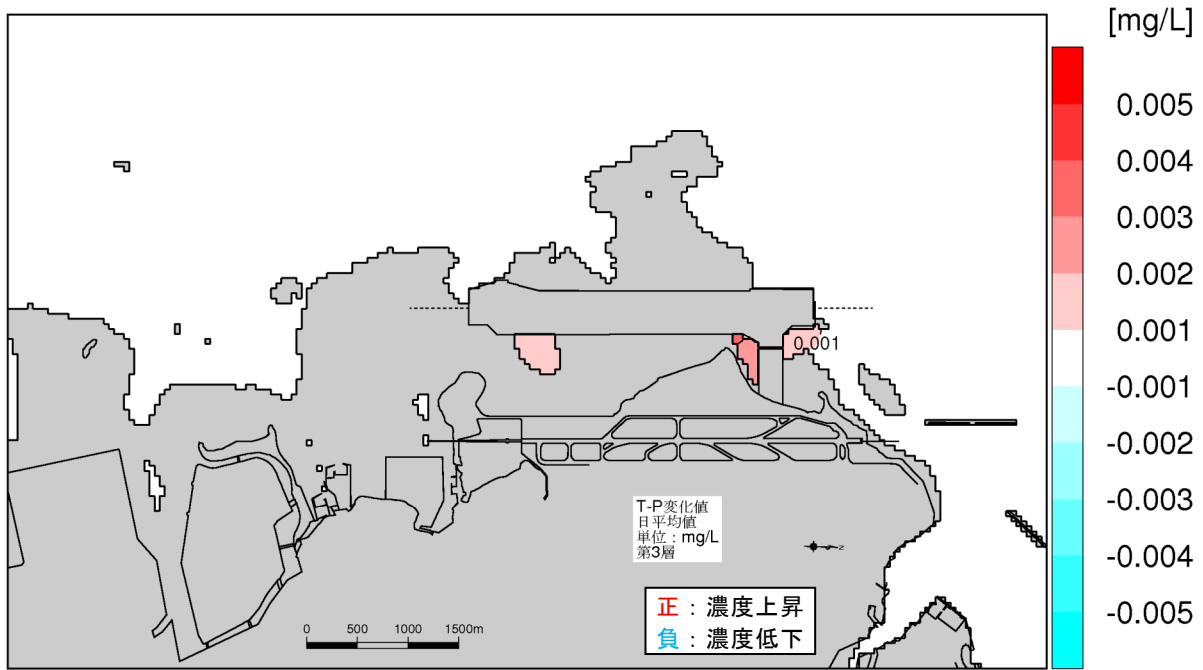
付図－ 6.8.13 (4) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第4層）



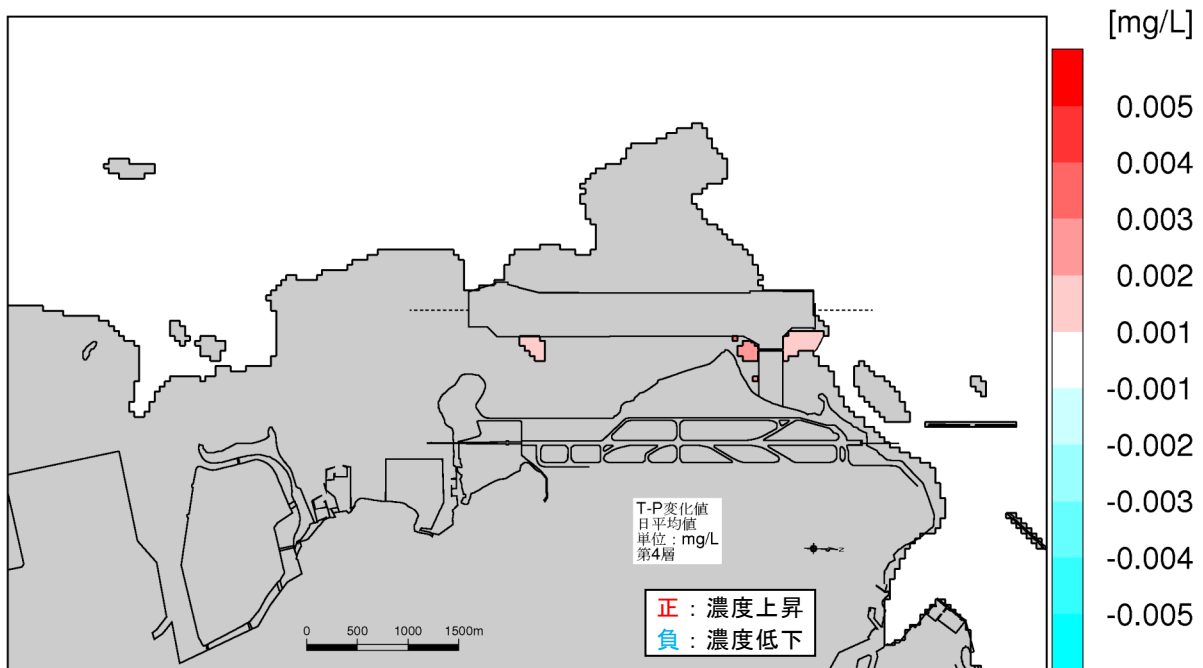
付図－ 6.8.14(1) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第1層）



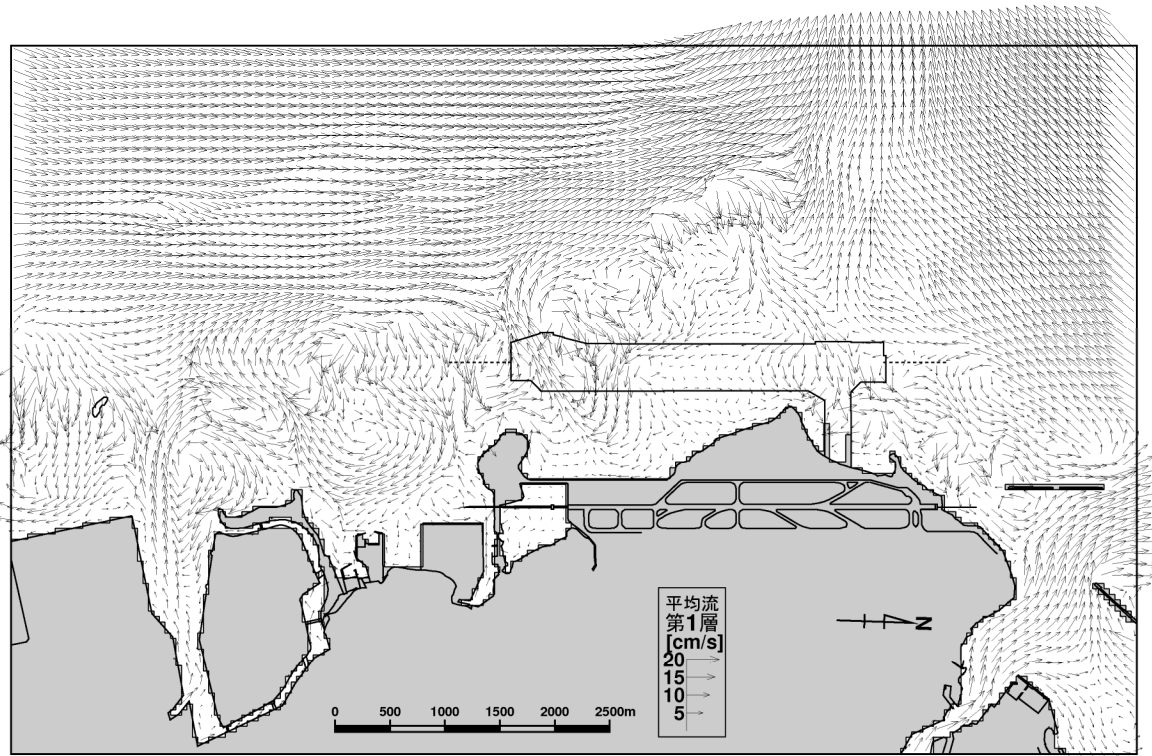
付図－ 6.8.14 (2) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第2層）



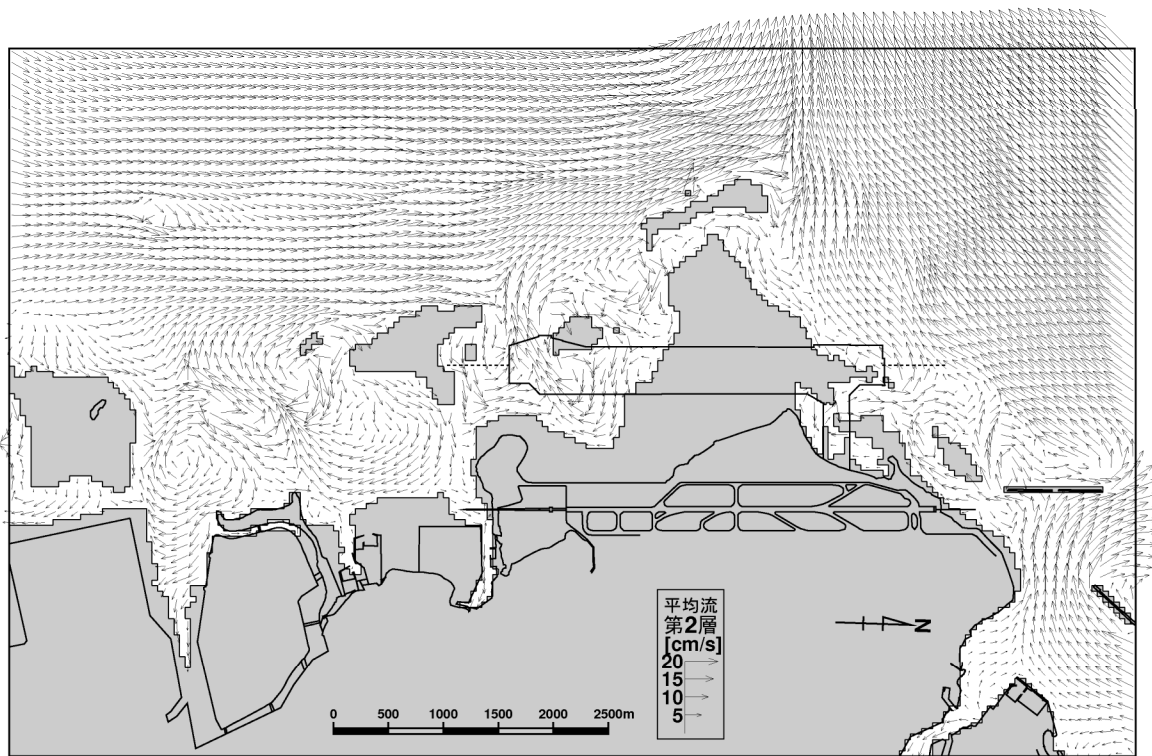
付図－ 6.8.14 (3) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第3層）



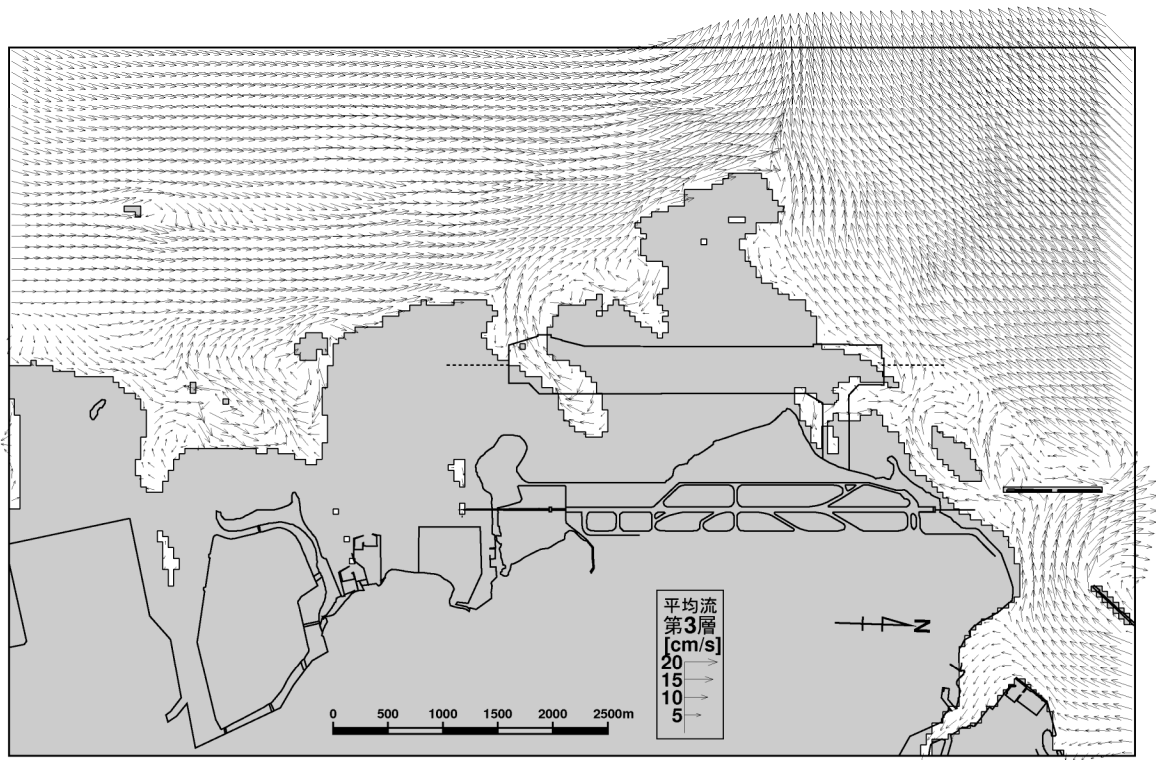
付図－ 6.8.14 (4) 存在時の水質濃度分布と変化（冬季, T-P, 平均潮, 日平均濃度, 第4層）



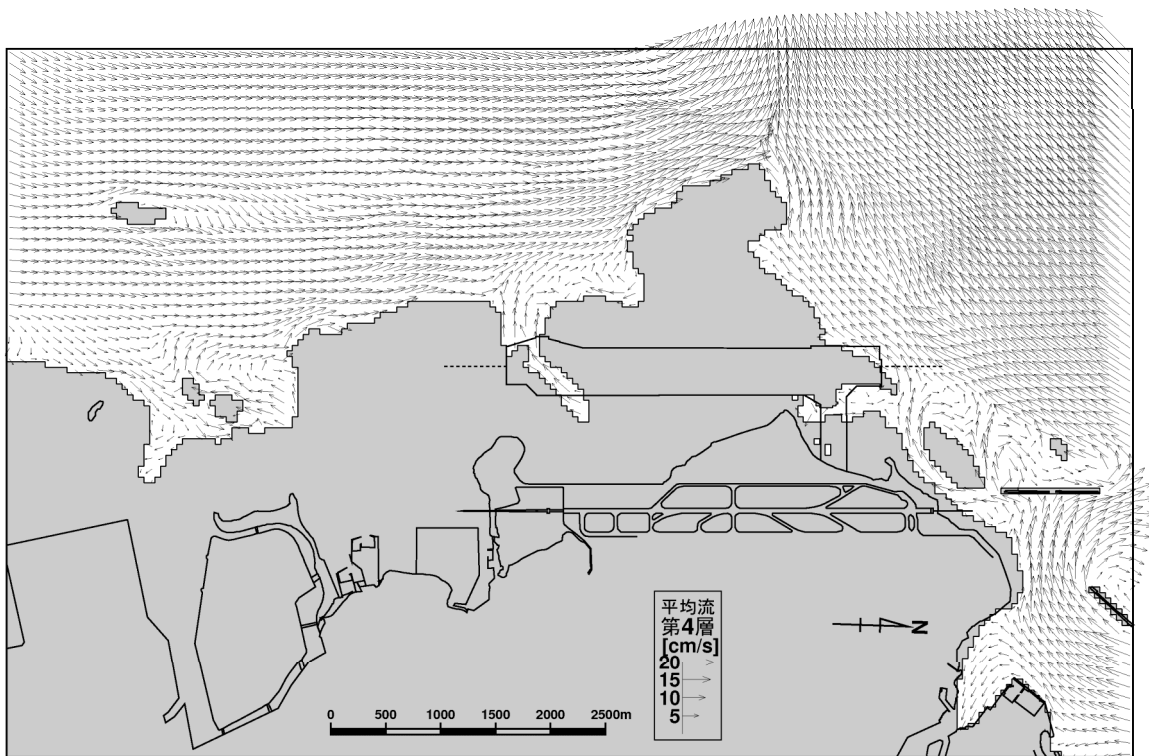
付図－ 6.9.1(1) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
(夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



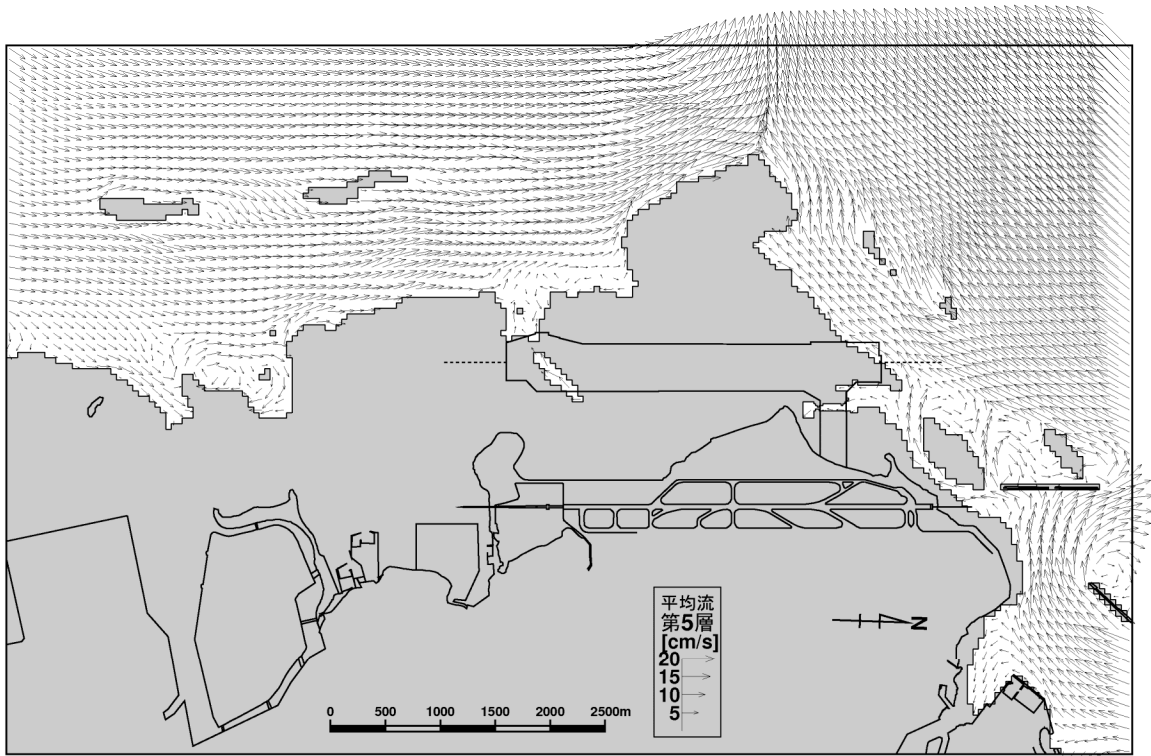
付図－ 6.9.1(2) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
(夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



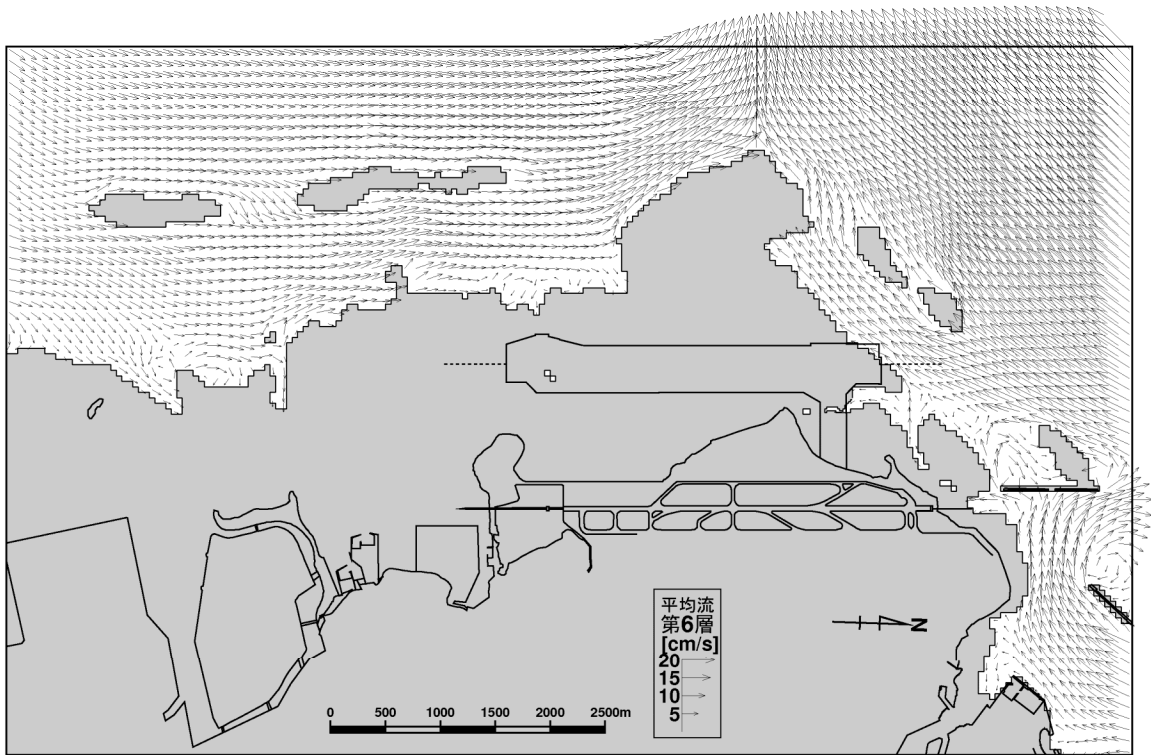
付図－ 6.9.1(3) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



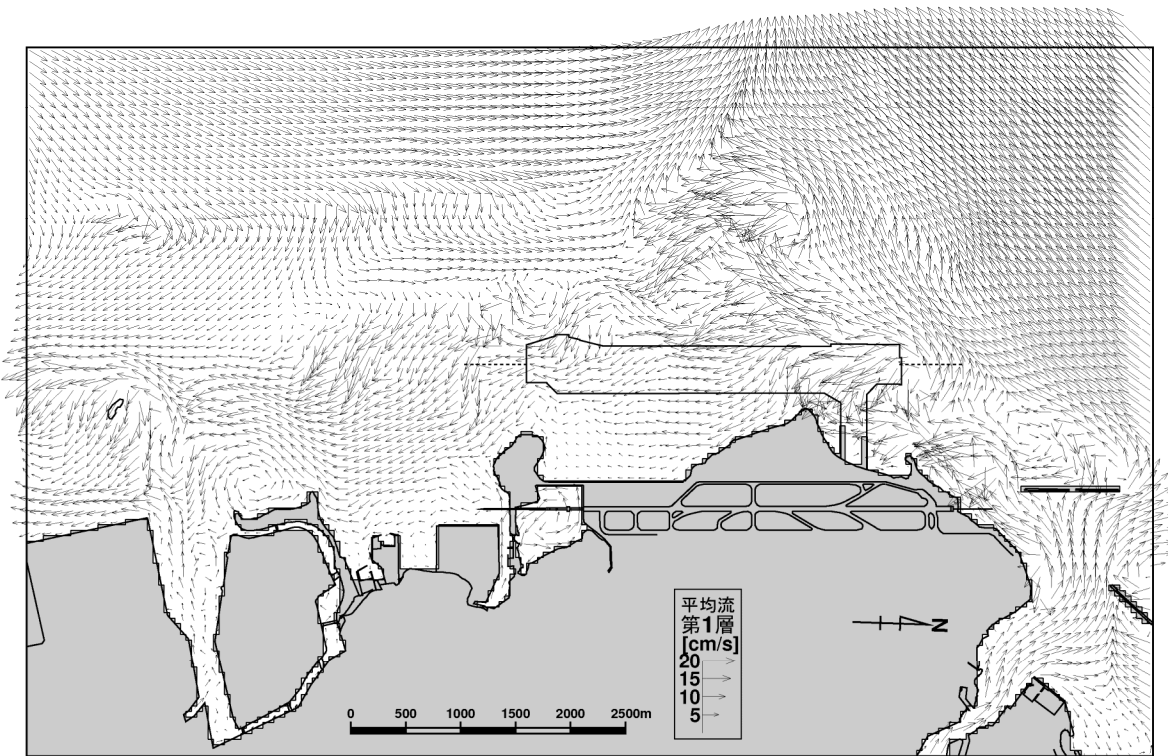
付図－ 6.9.1(4) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



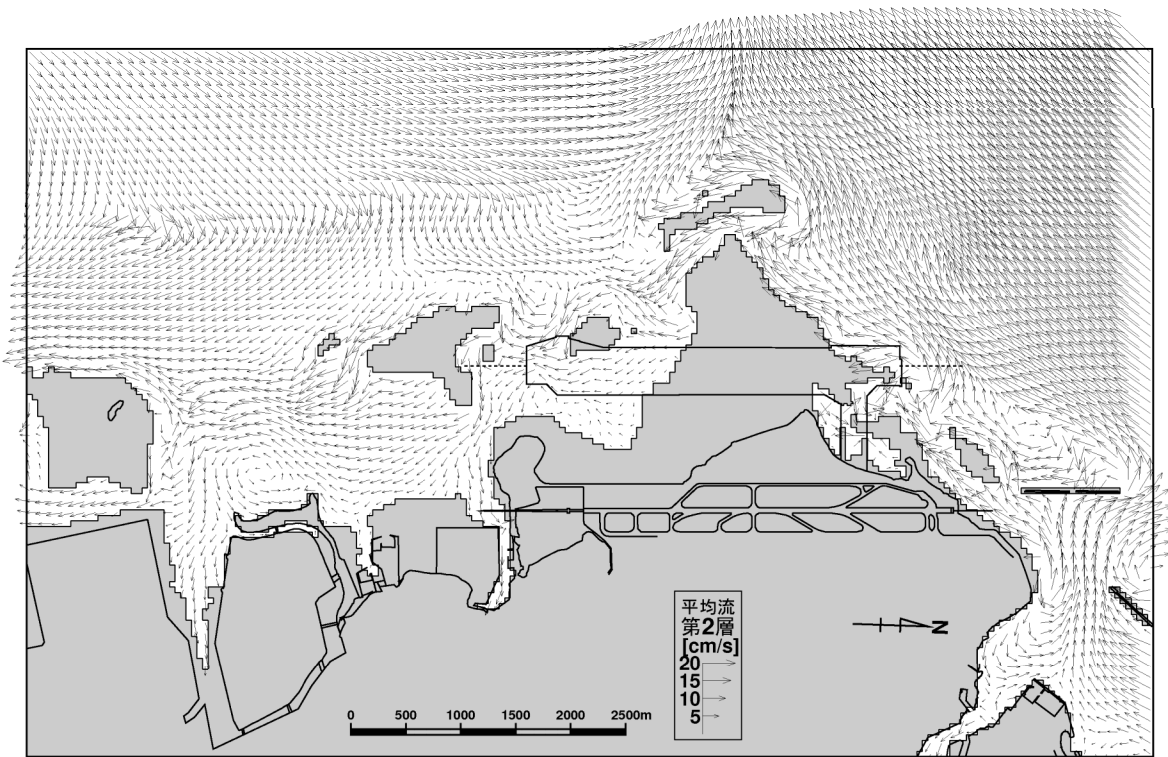
付図ー 6.9.1(5) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層)



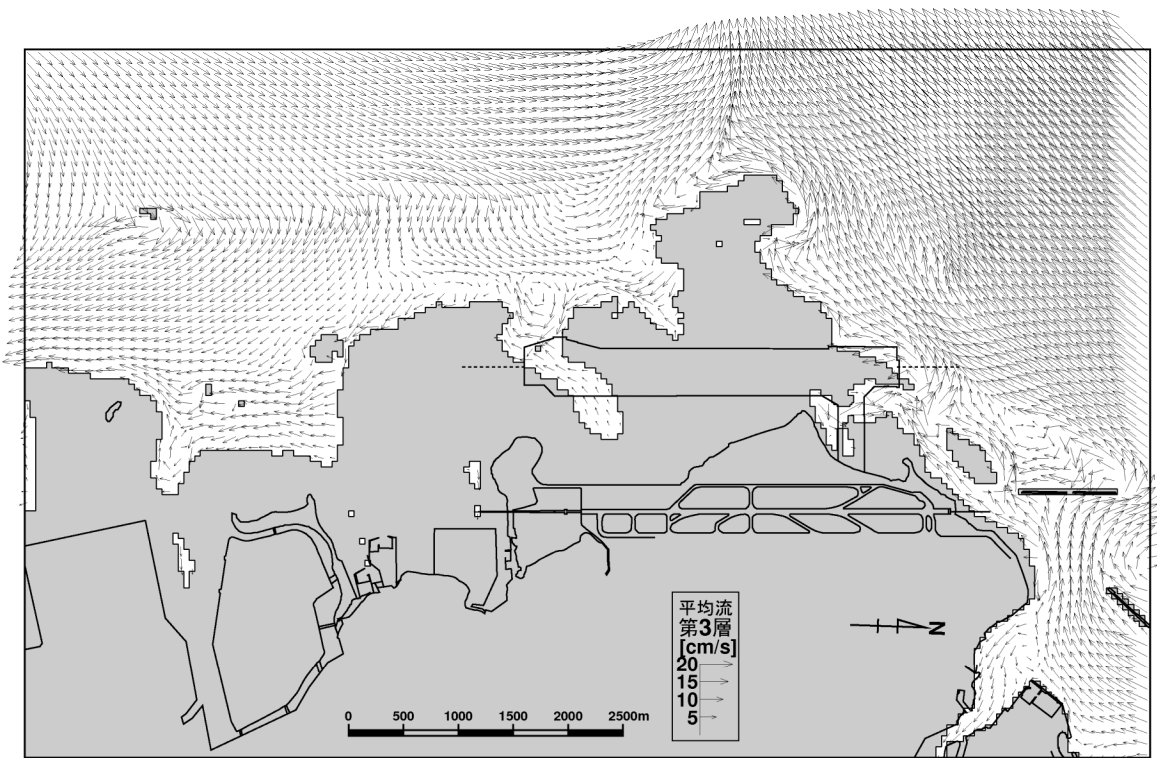
付図ー 6.9.1(6) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層)



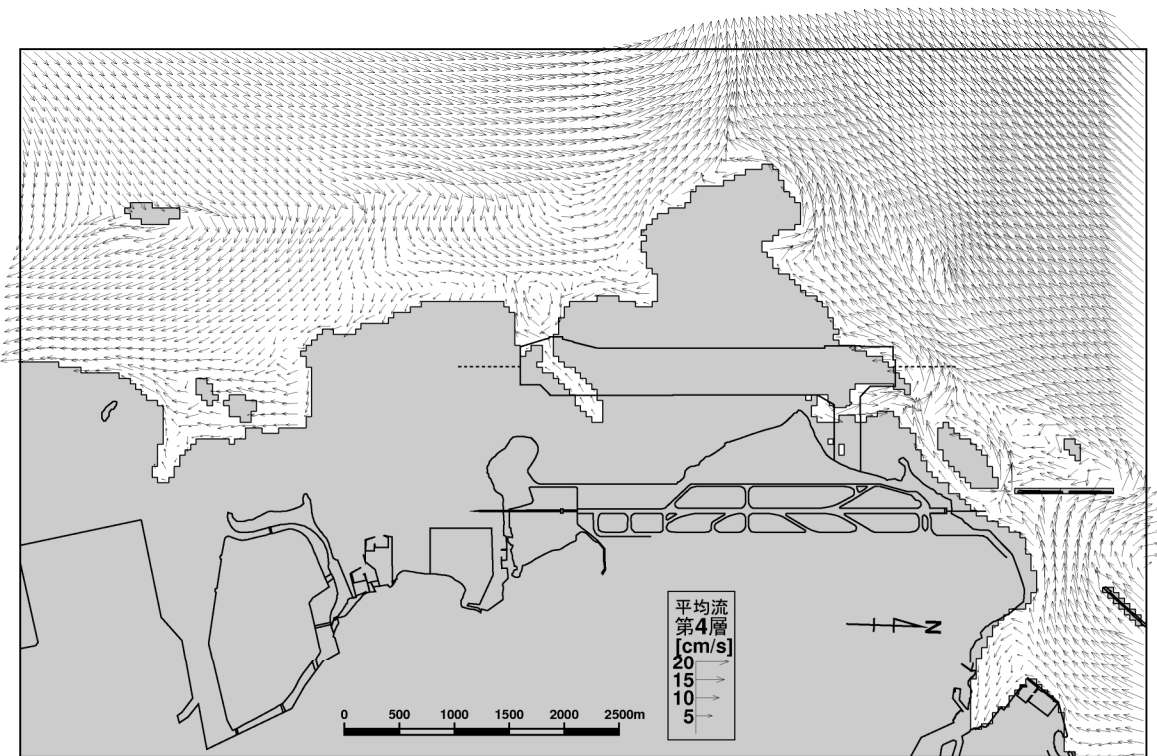
付図－ 6.9.2(1) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
(冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



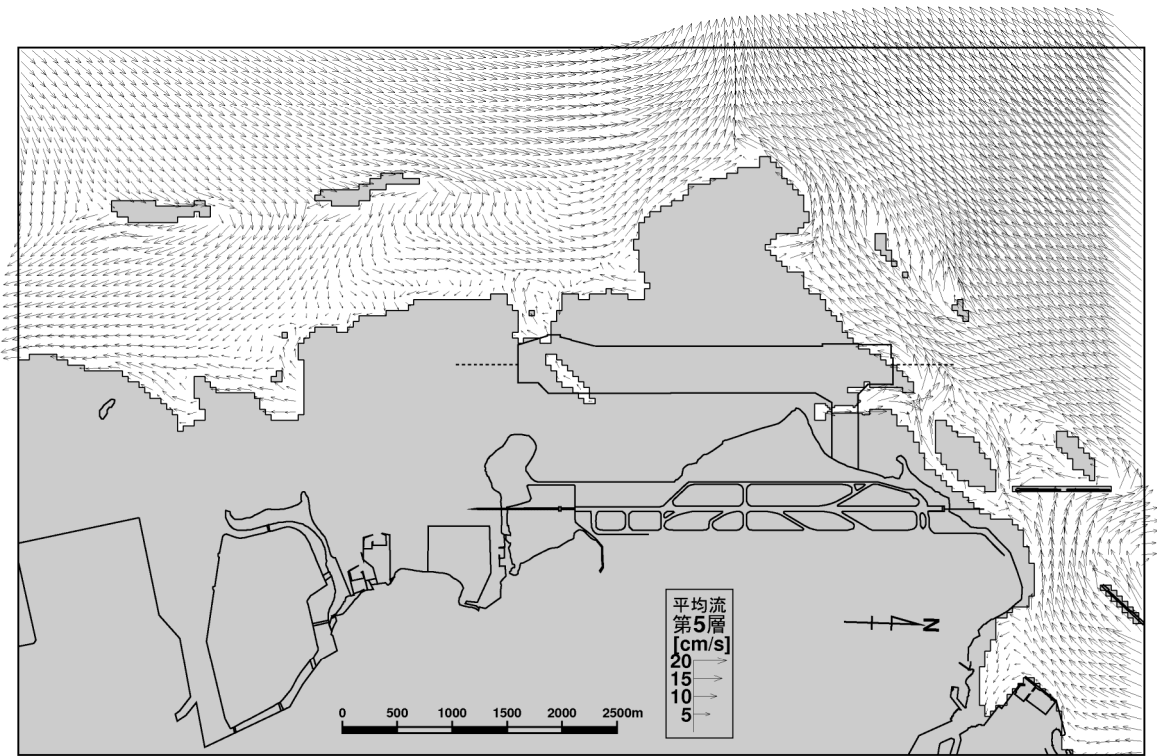
付図－ 6.9.2(2) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
(冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



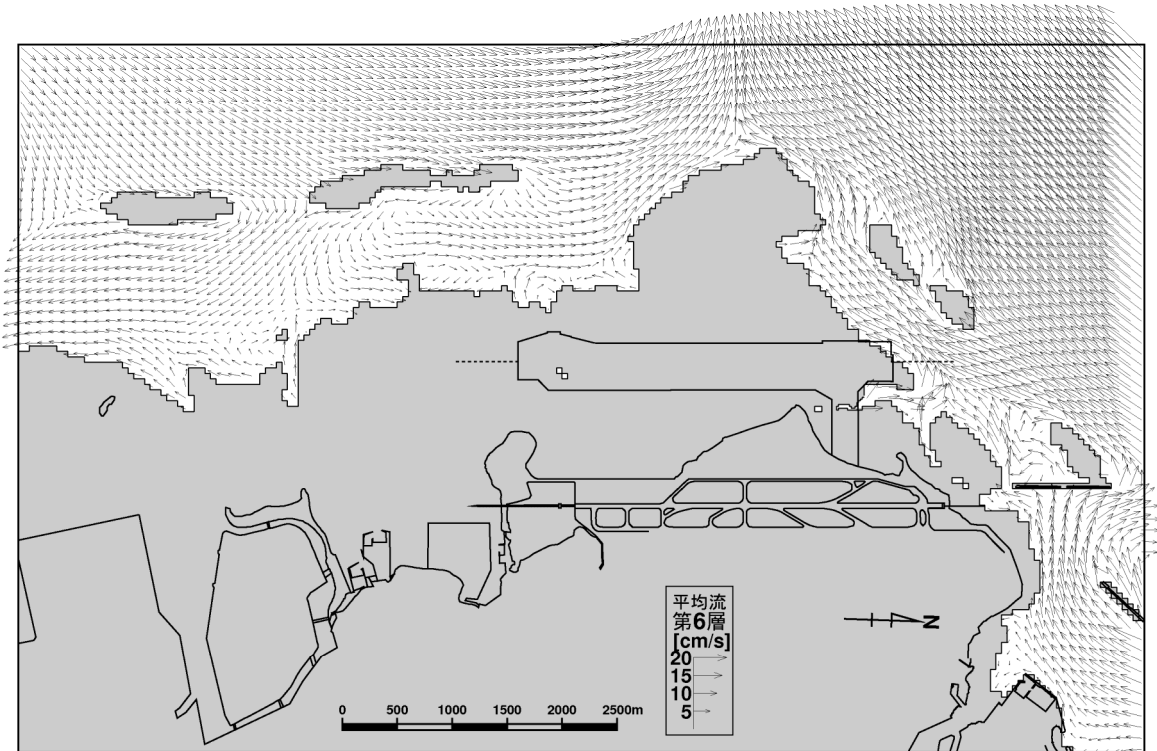
付図－ 6.9.2(3) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



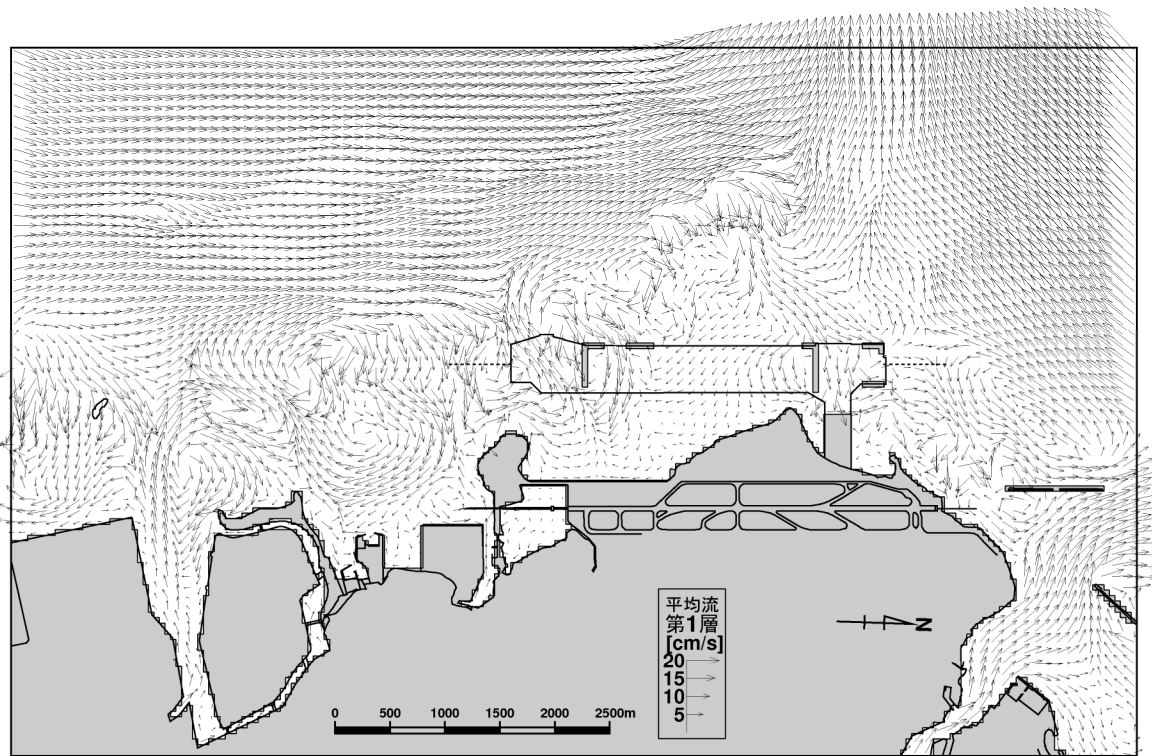
付図－ 6.9.2(4) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



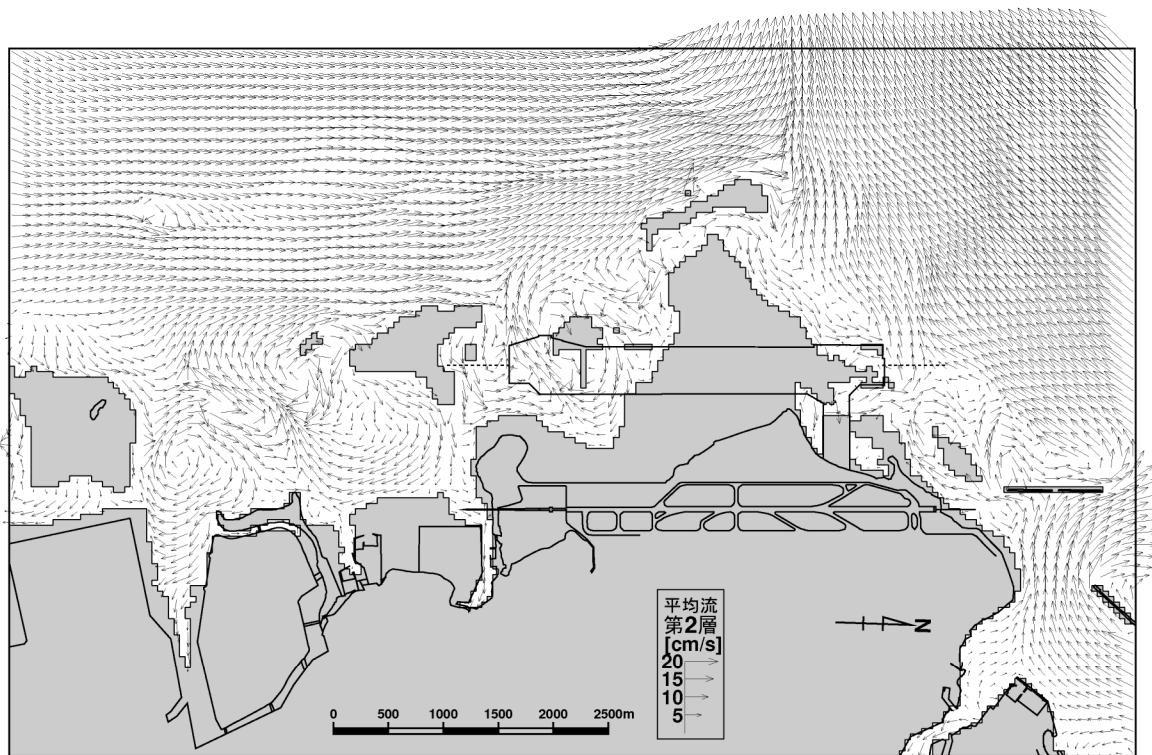
付図ー 6.9.2(5) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層)



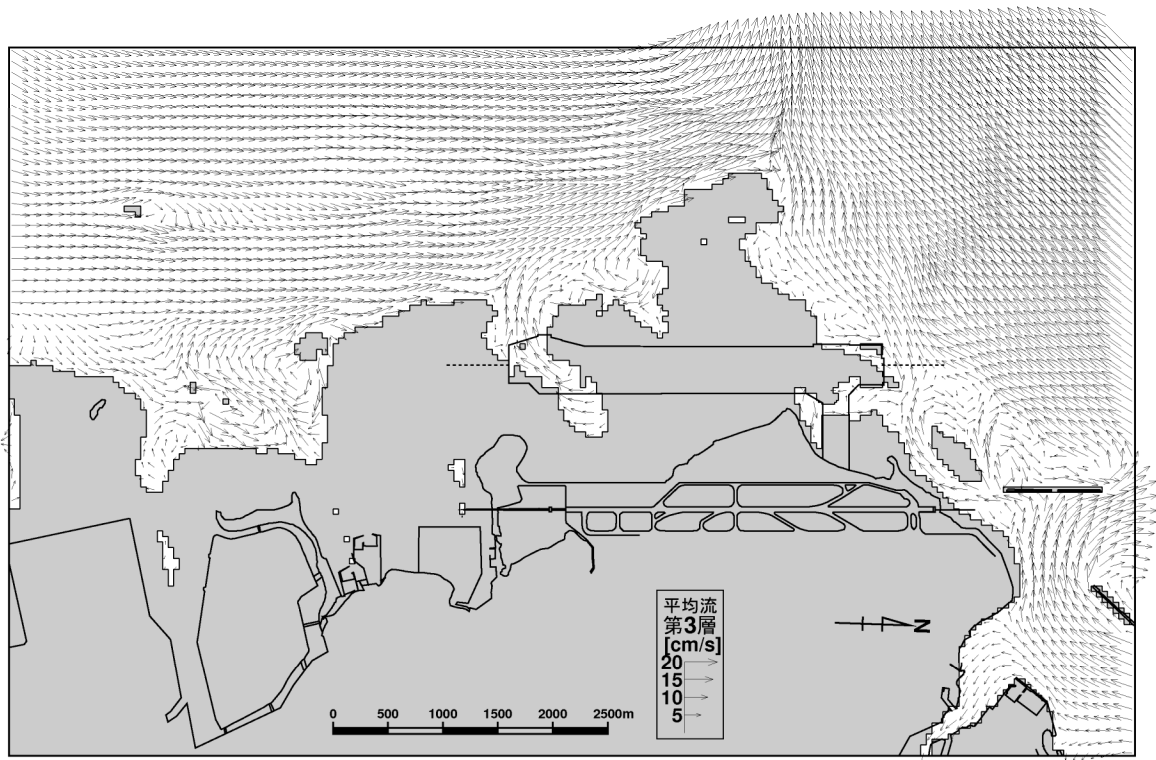
付図ー 6.9.2(6) 工事中(1年次3ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層)



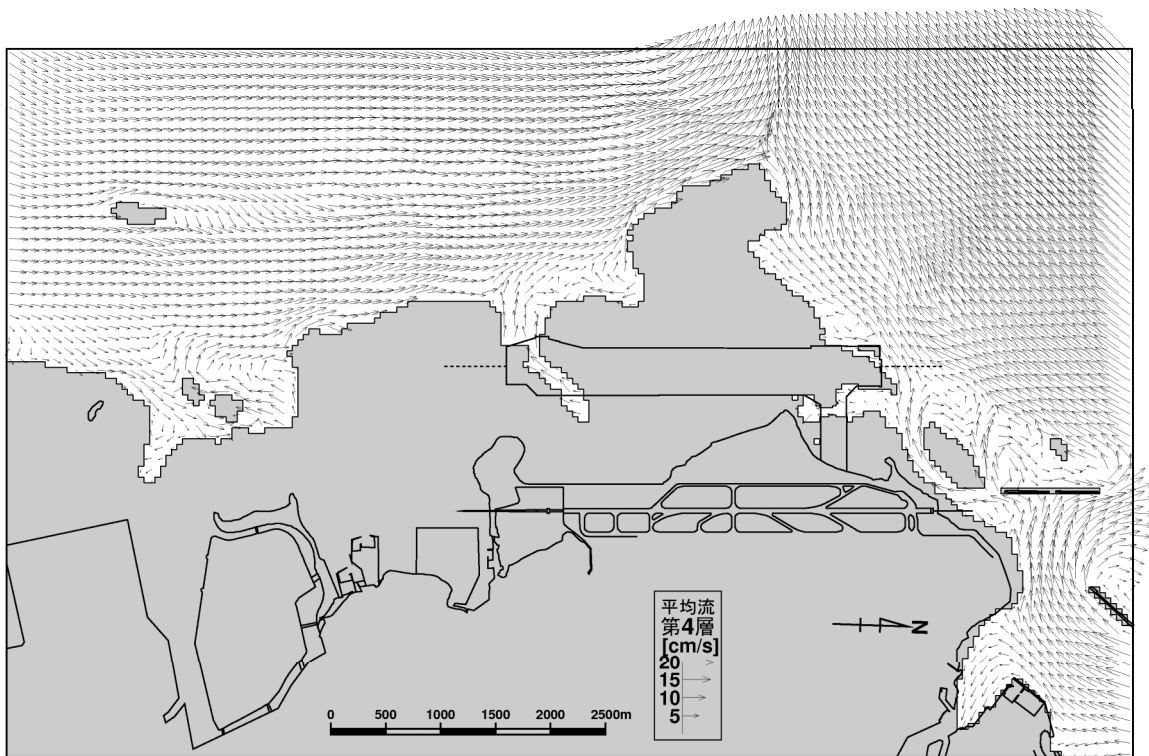
付図－ 6.9.3(1) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



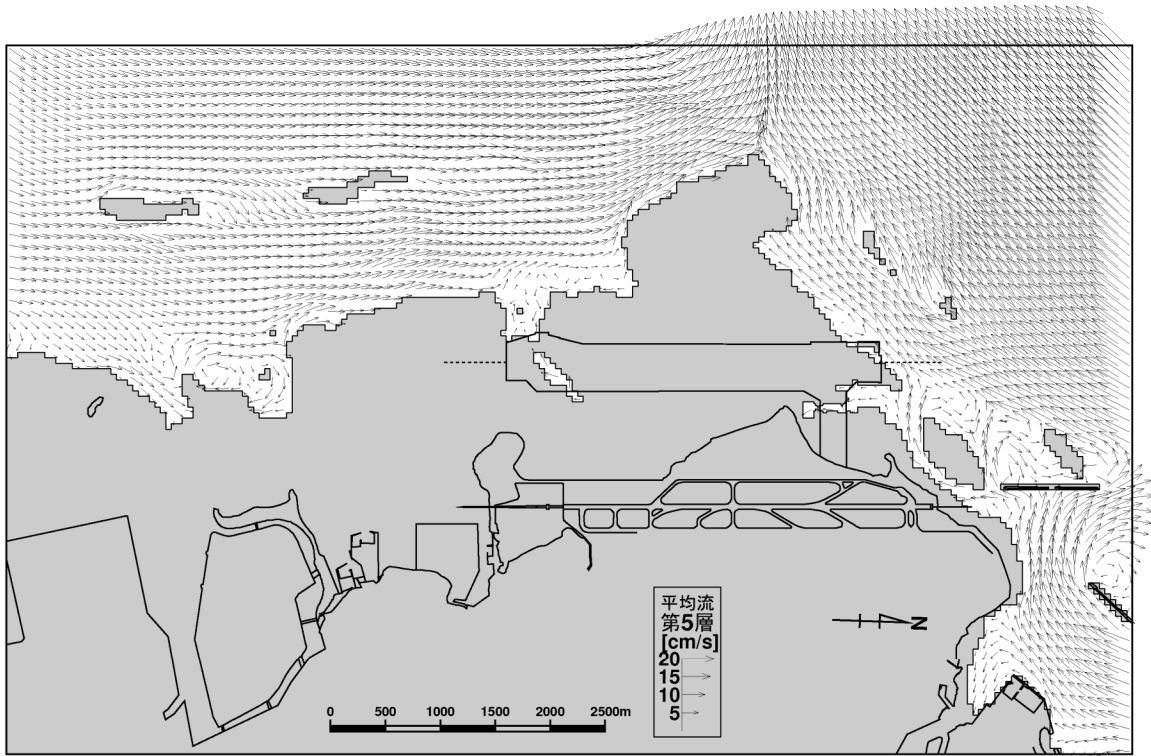
付図－ 6.9.3(2) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



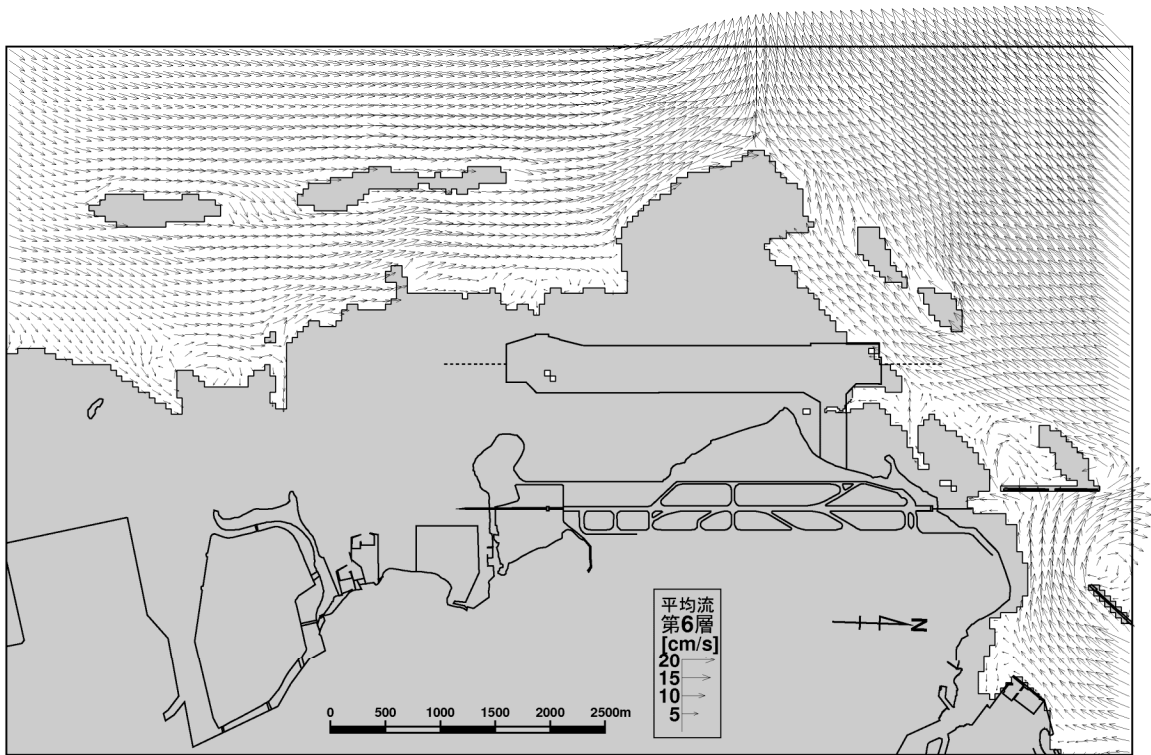
付図－ 6.9.3(3) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



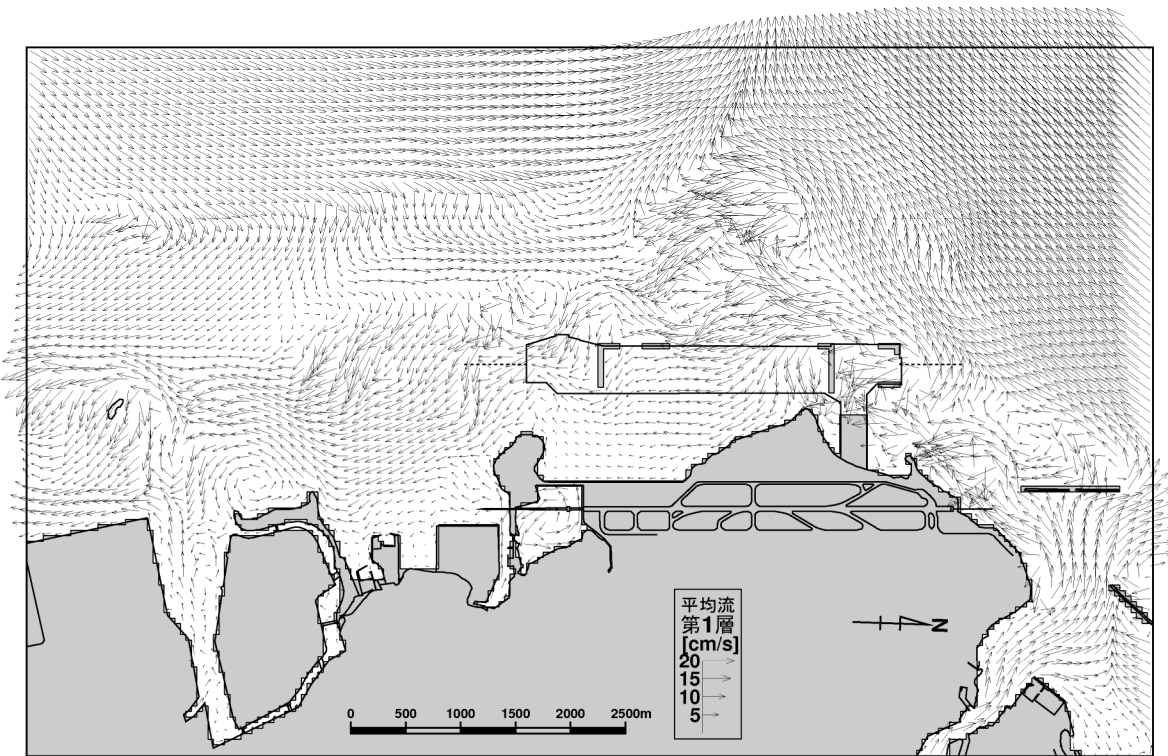
付図－ 6.9.3(4) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



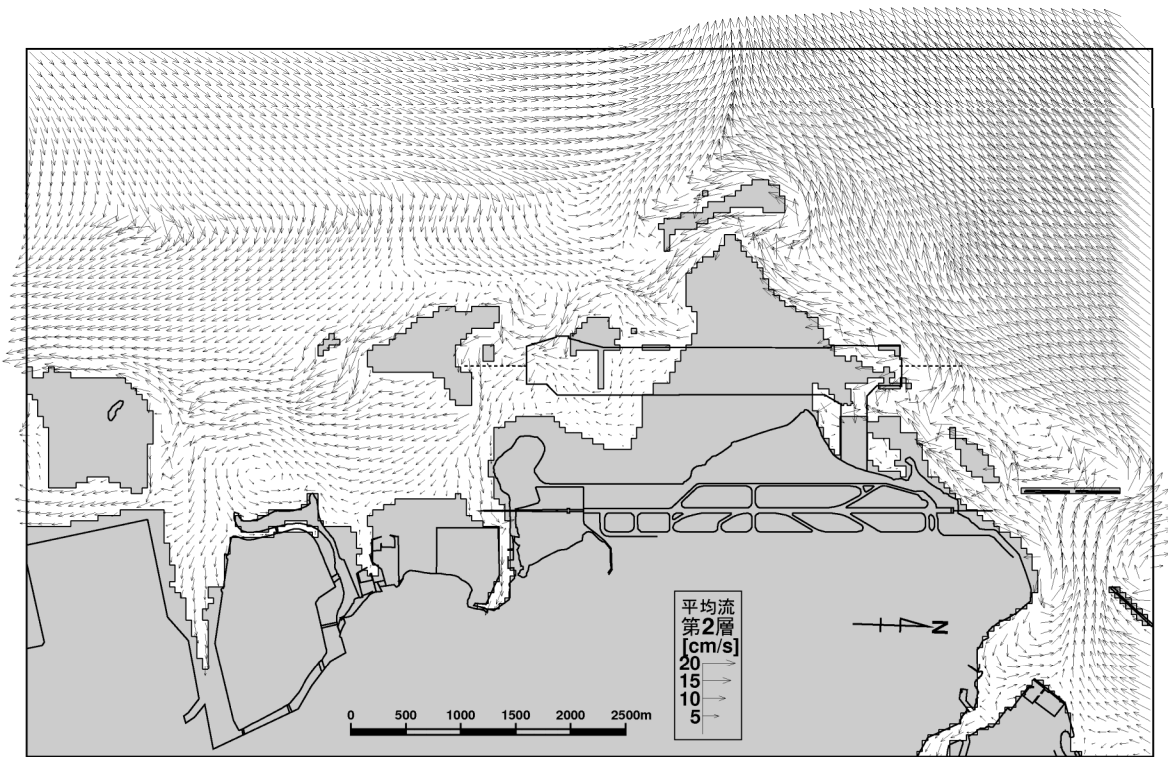
付図ー 6.9.3(5) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層)



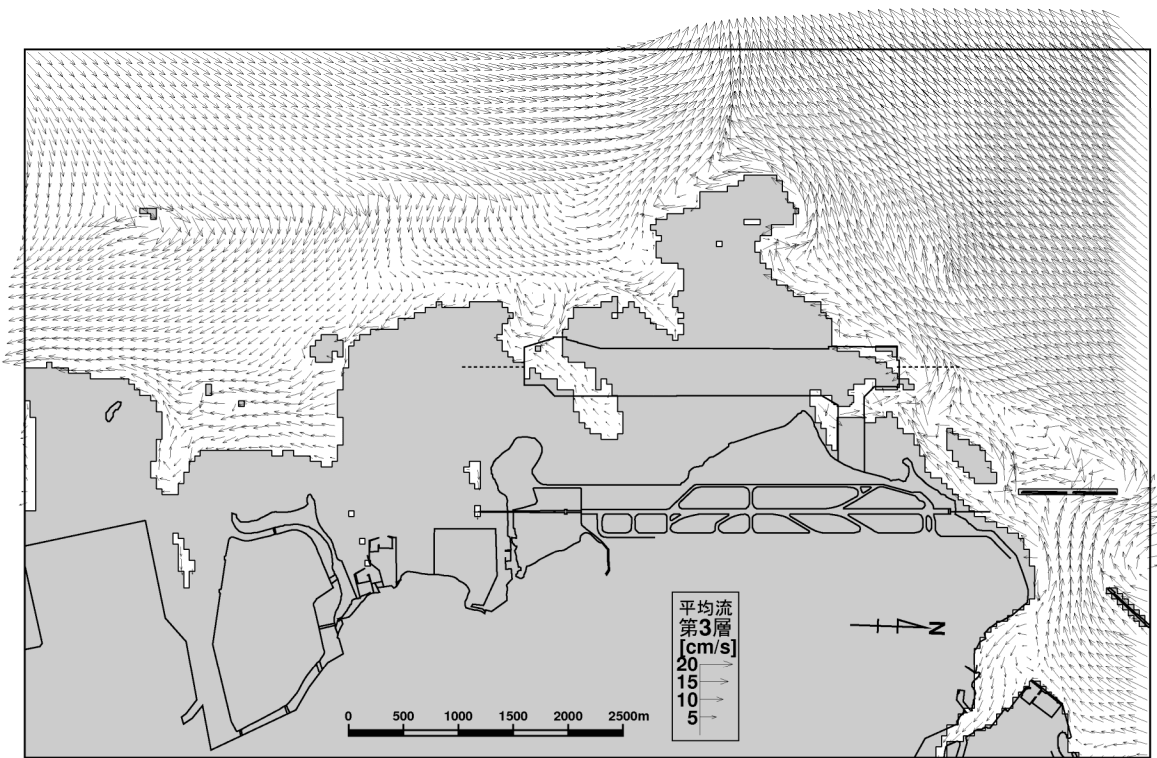
付図ー 6.9.3(6) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層)



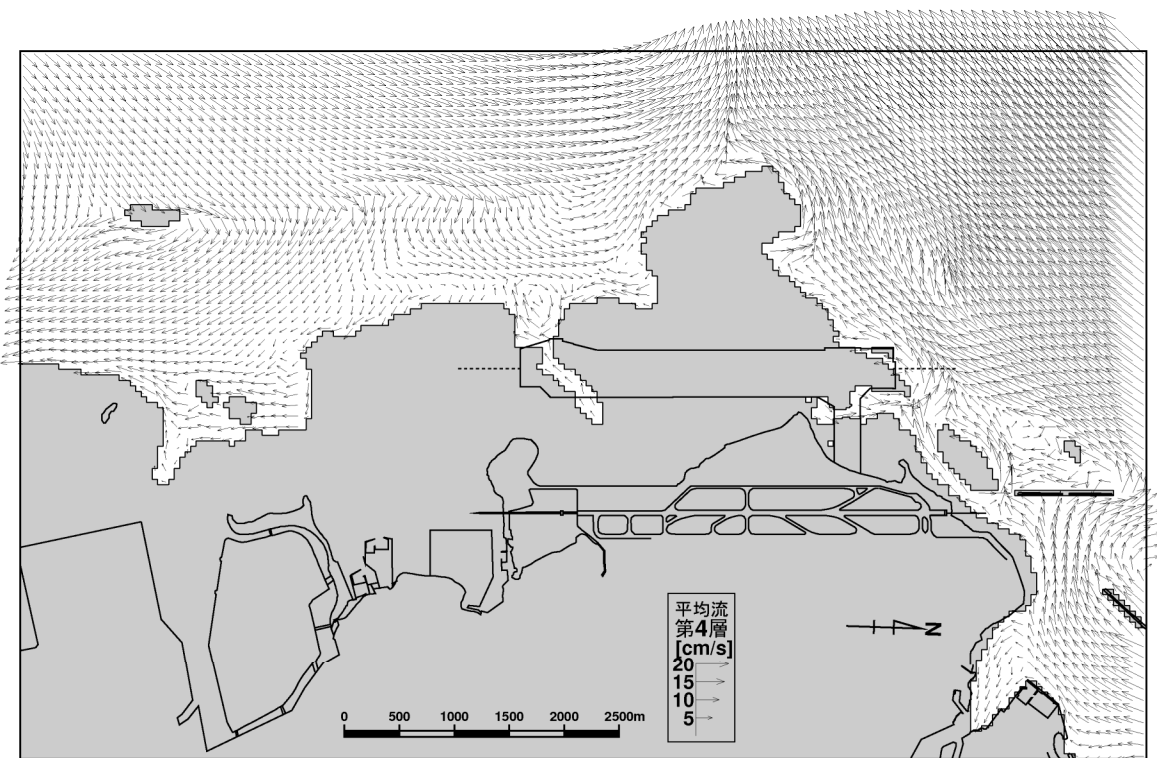
付図－ 6.9.4(1) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



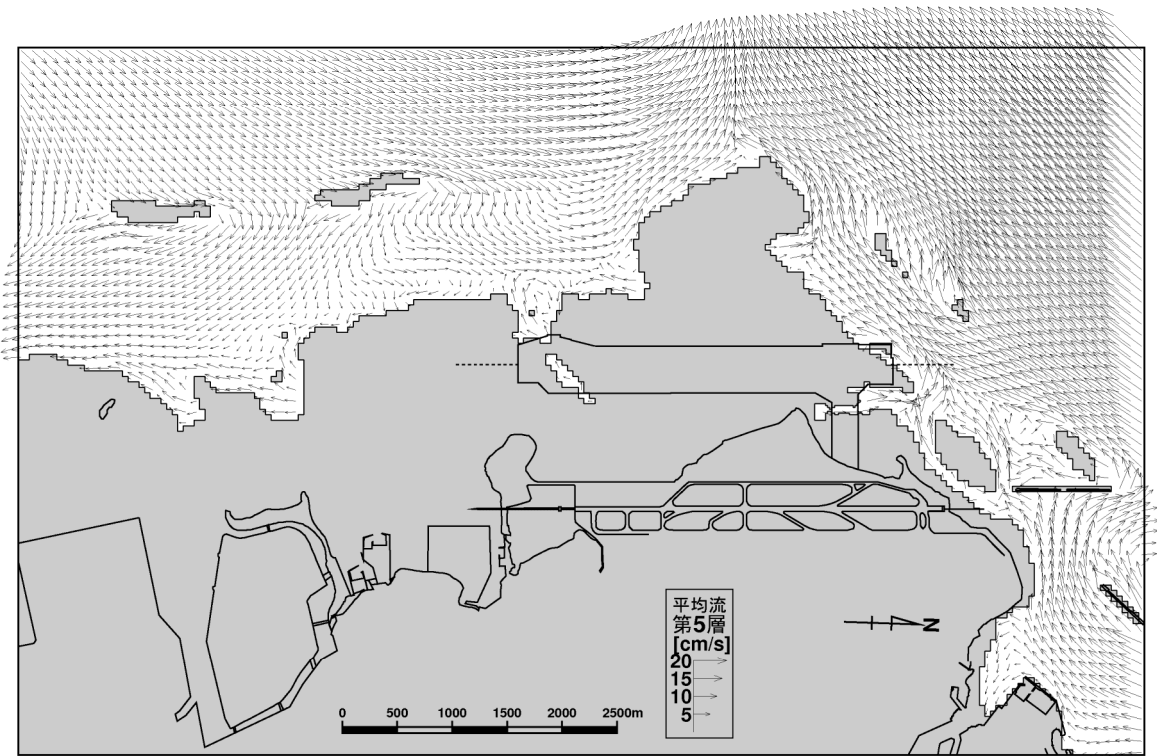
付図－ 6.9.4(2) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



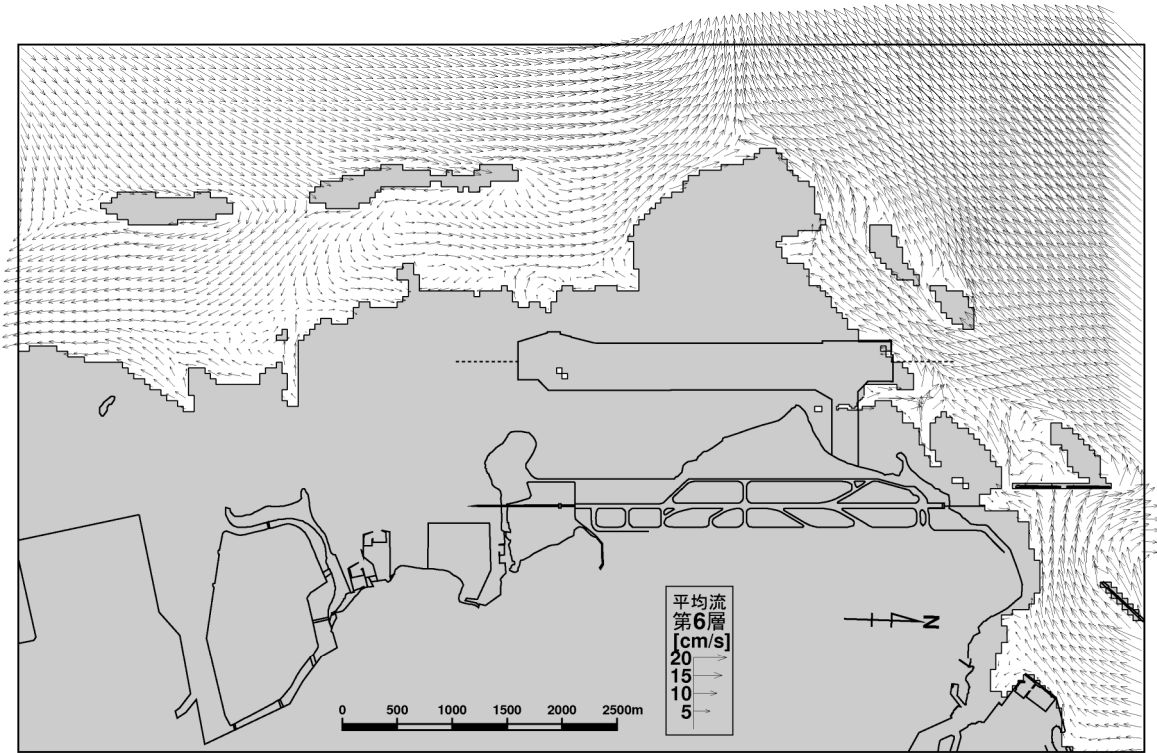
付図－ 6.9.4(3) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



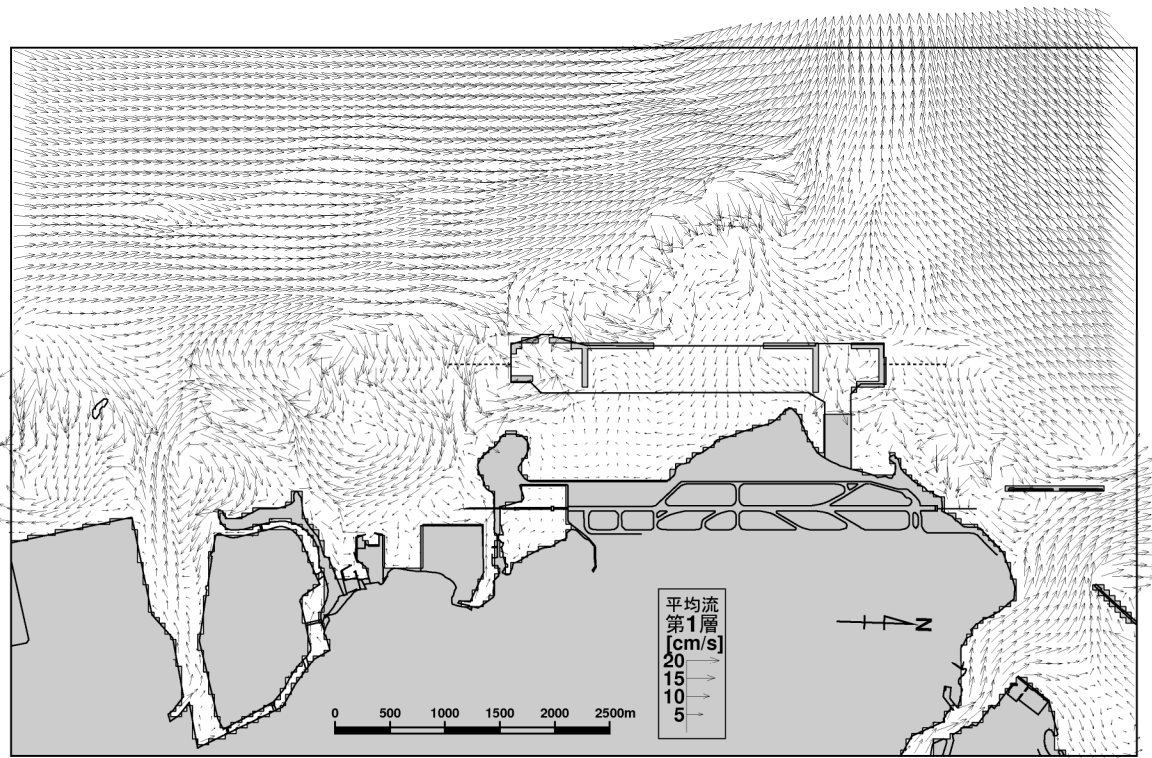
付図－ 6.9.4(4) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



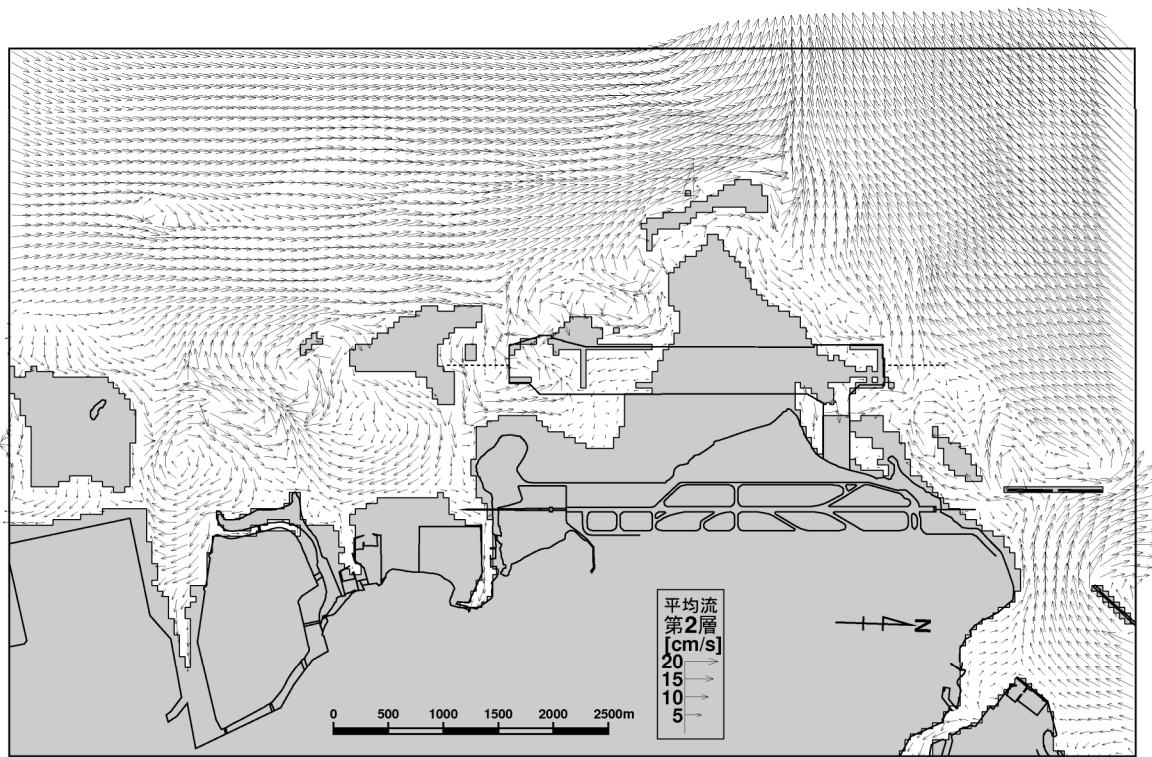
付図－ 6.9.4(5) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層)



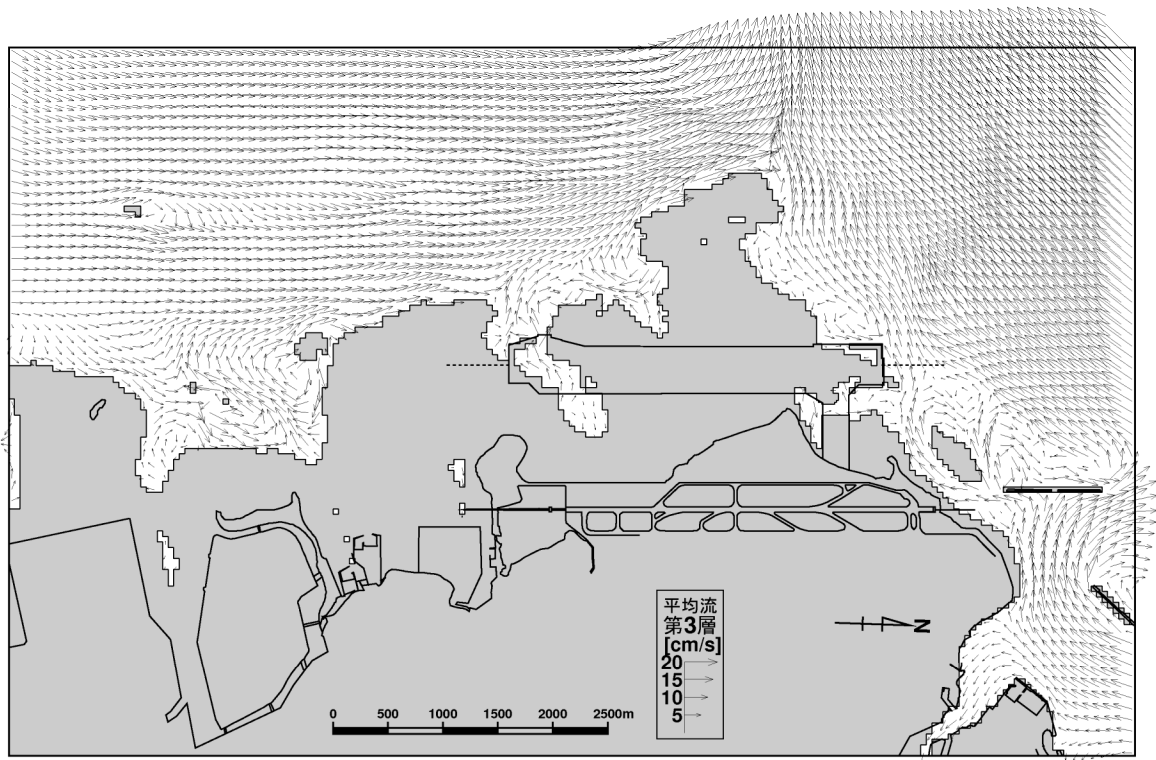
付図－ 6.9.4(6) 工事中(1年次12ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層)



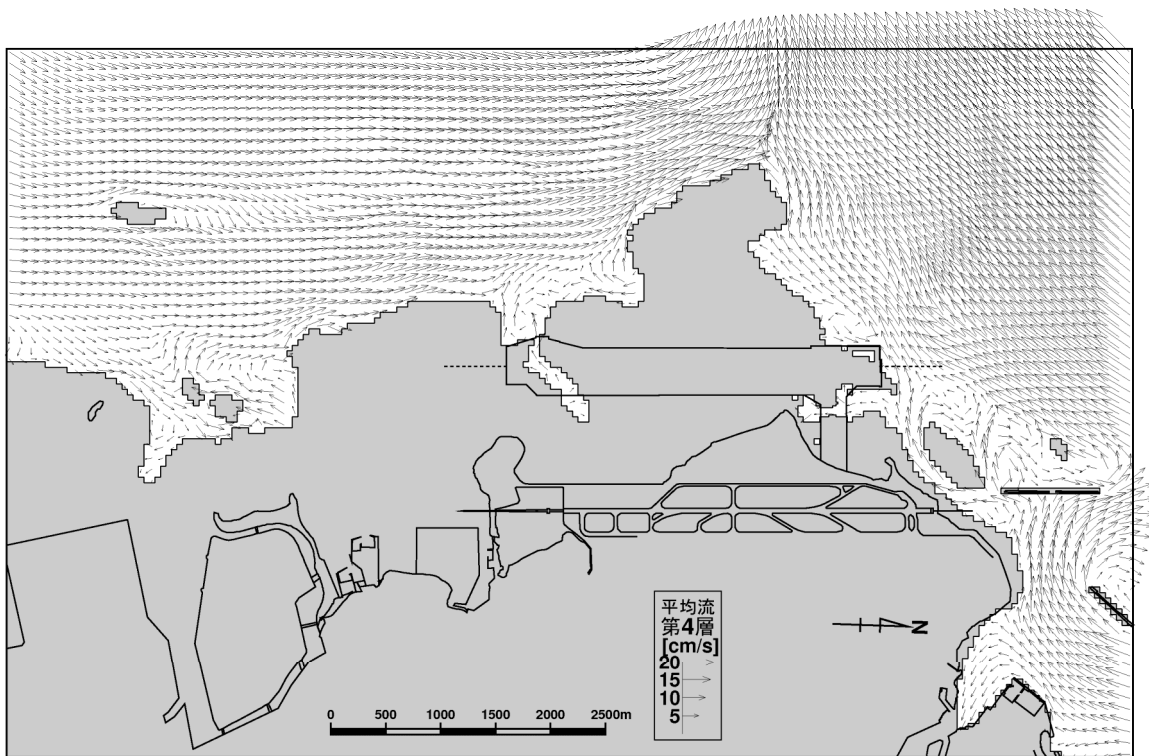
付図－ 6.9.5(1) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



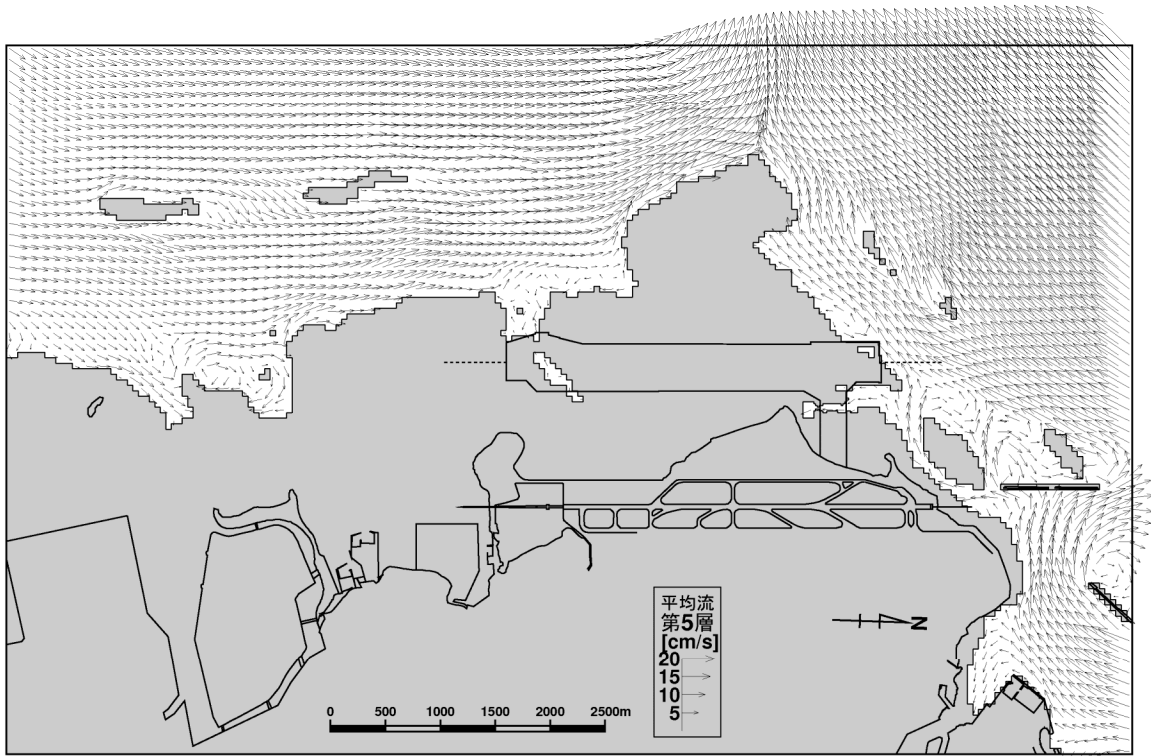
付図－ 6.9.5(2) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



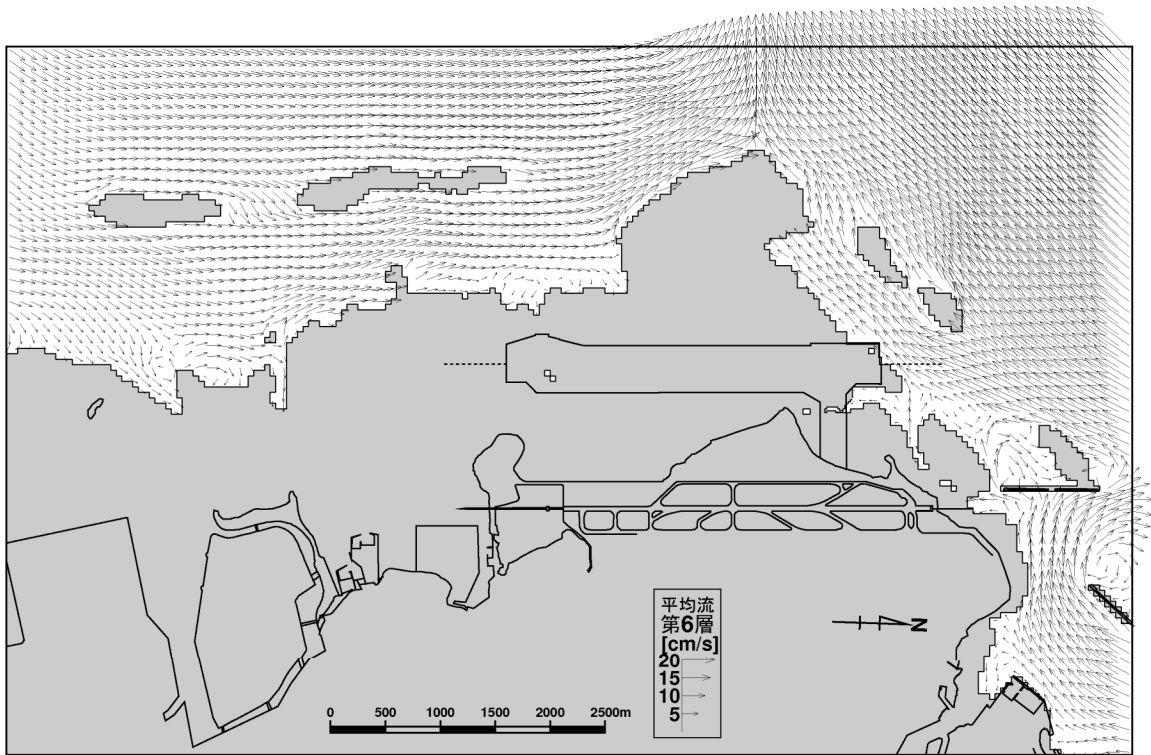
付図－ 6.9.5(3) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



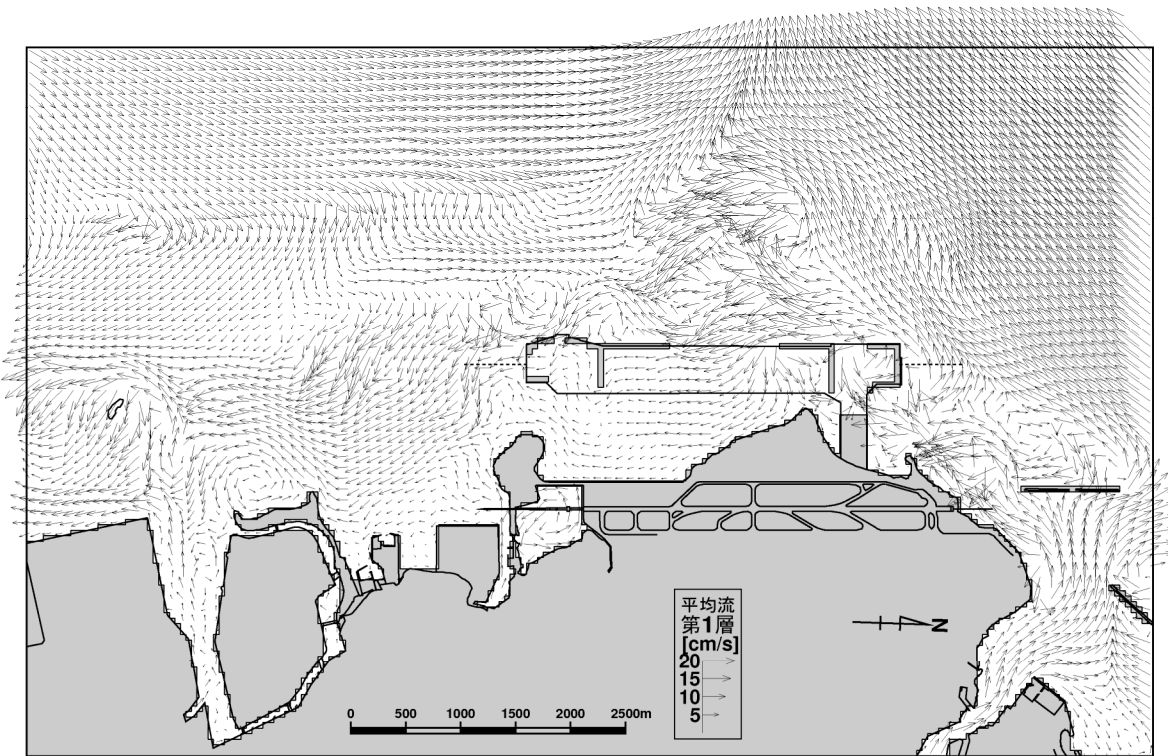
付図－ 6.9.5(4) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



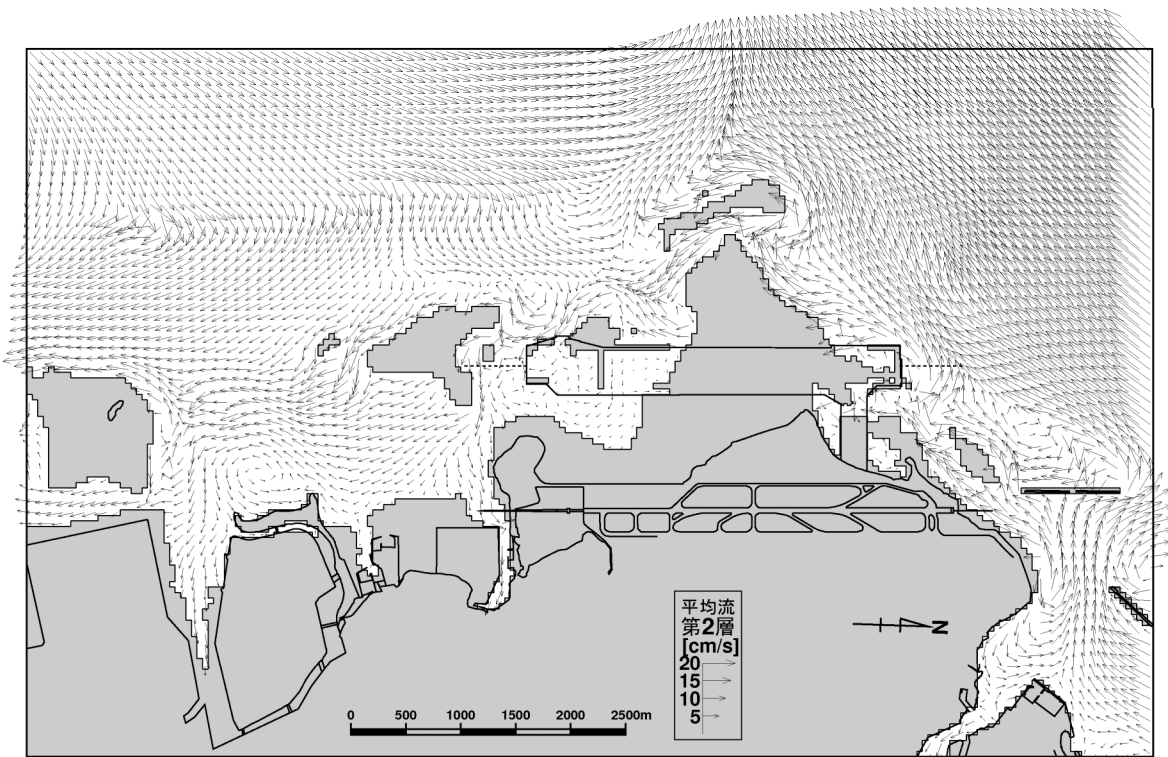
付図ー 6.9.5(5) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
(夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層)



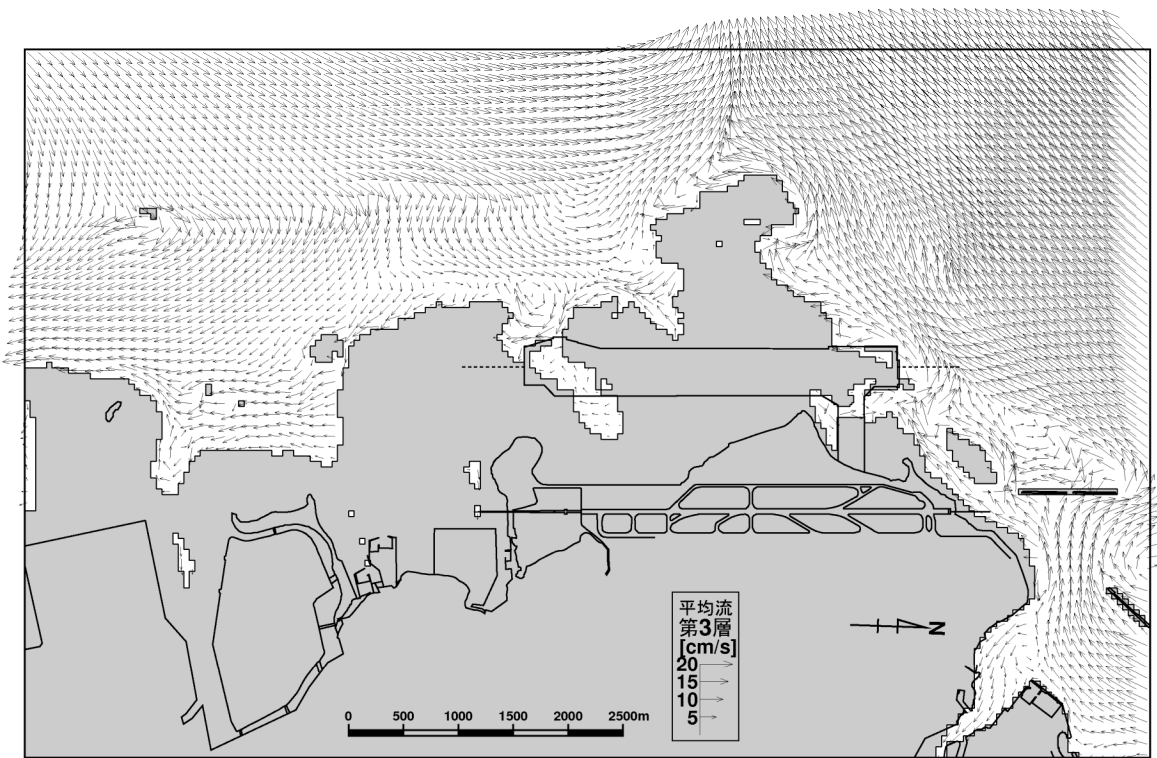
付図ー 6.9.5(6) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
(夏季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層)



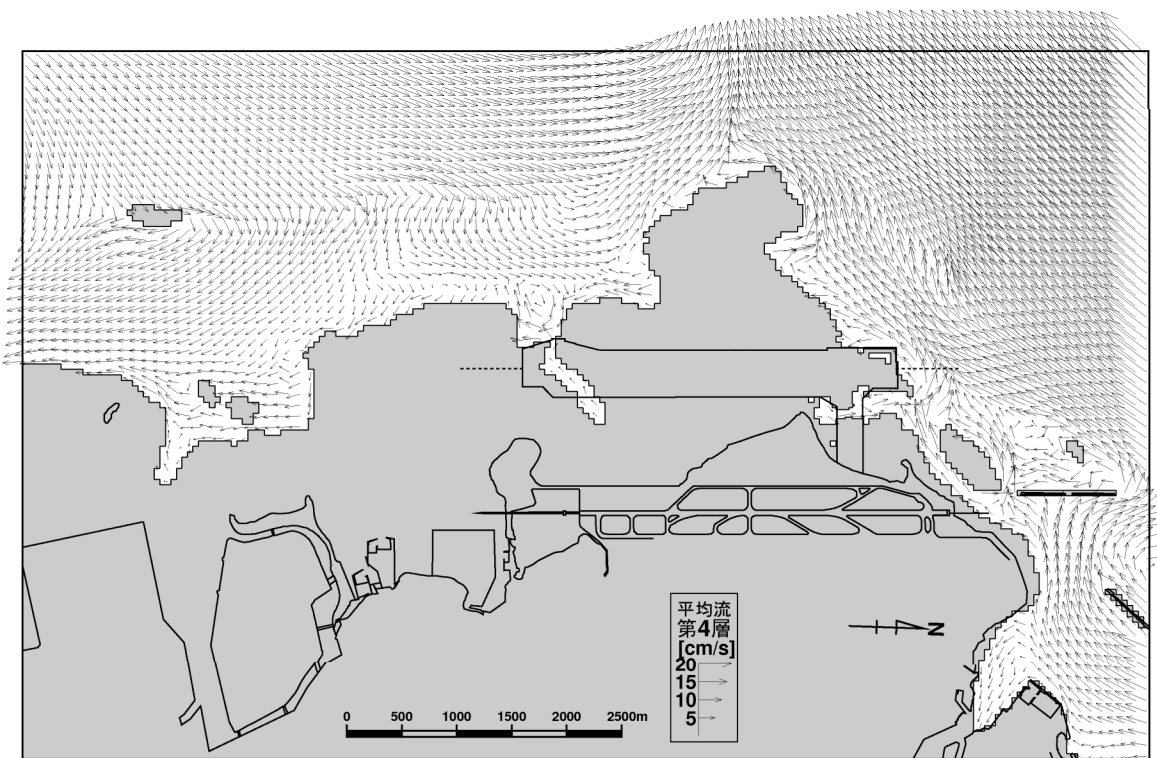
付図－ 6.9.6(1) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
(冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第1層)



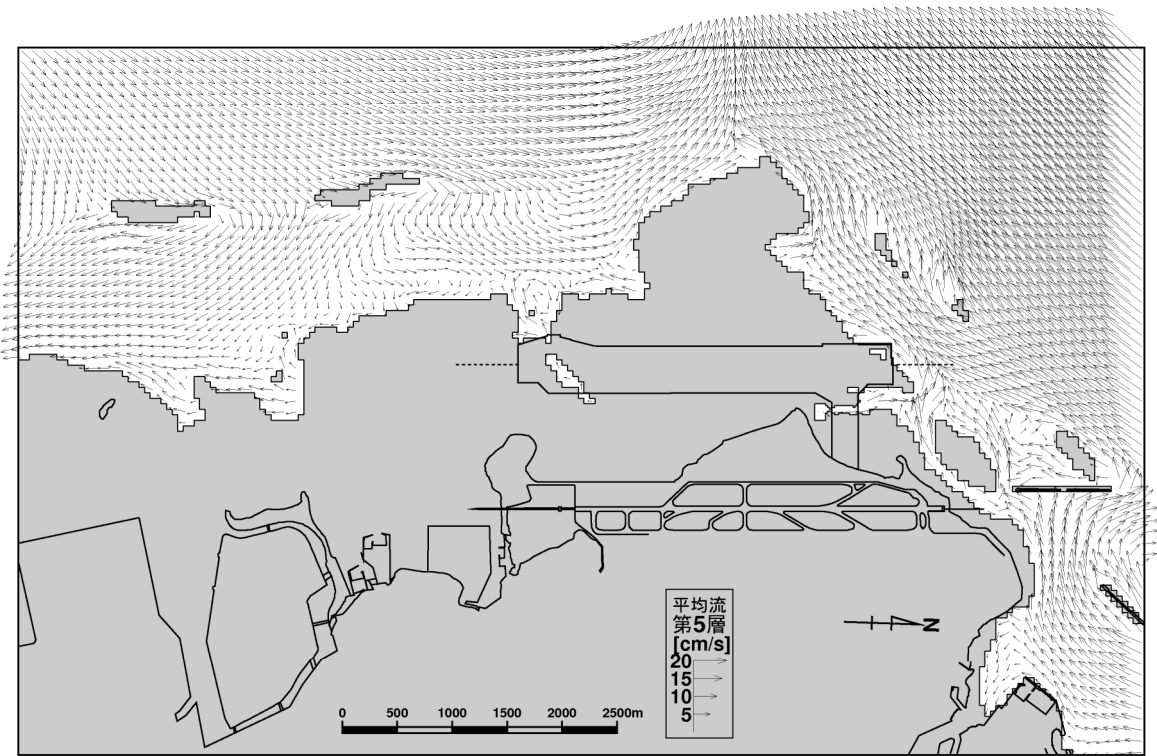
付図－ 6.9.6(2) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
(冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第2層)



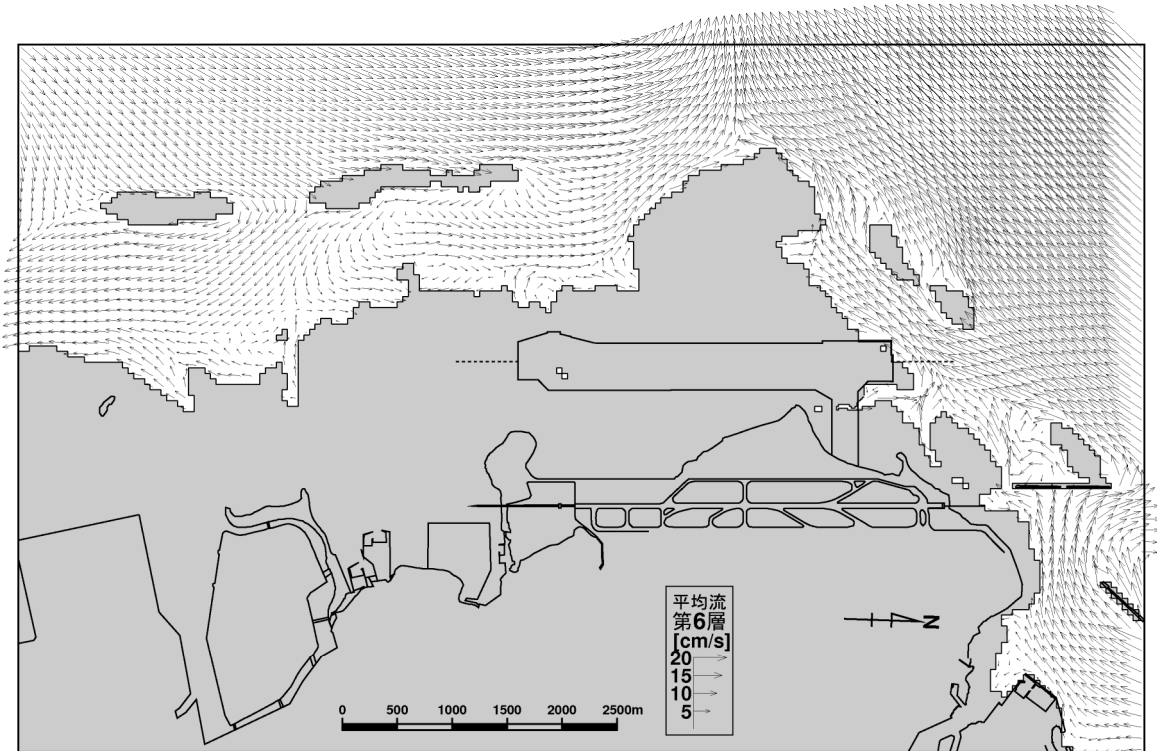
付図－ 6.9.6(3) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第3層)



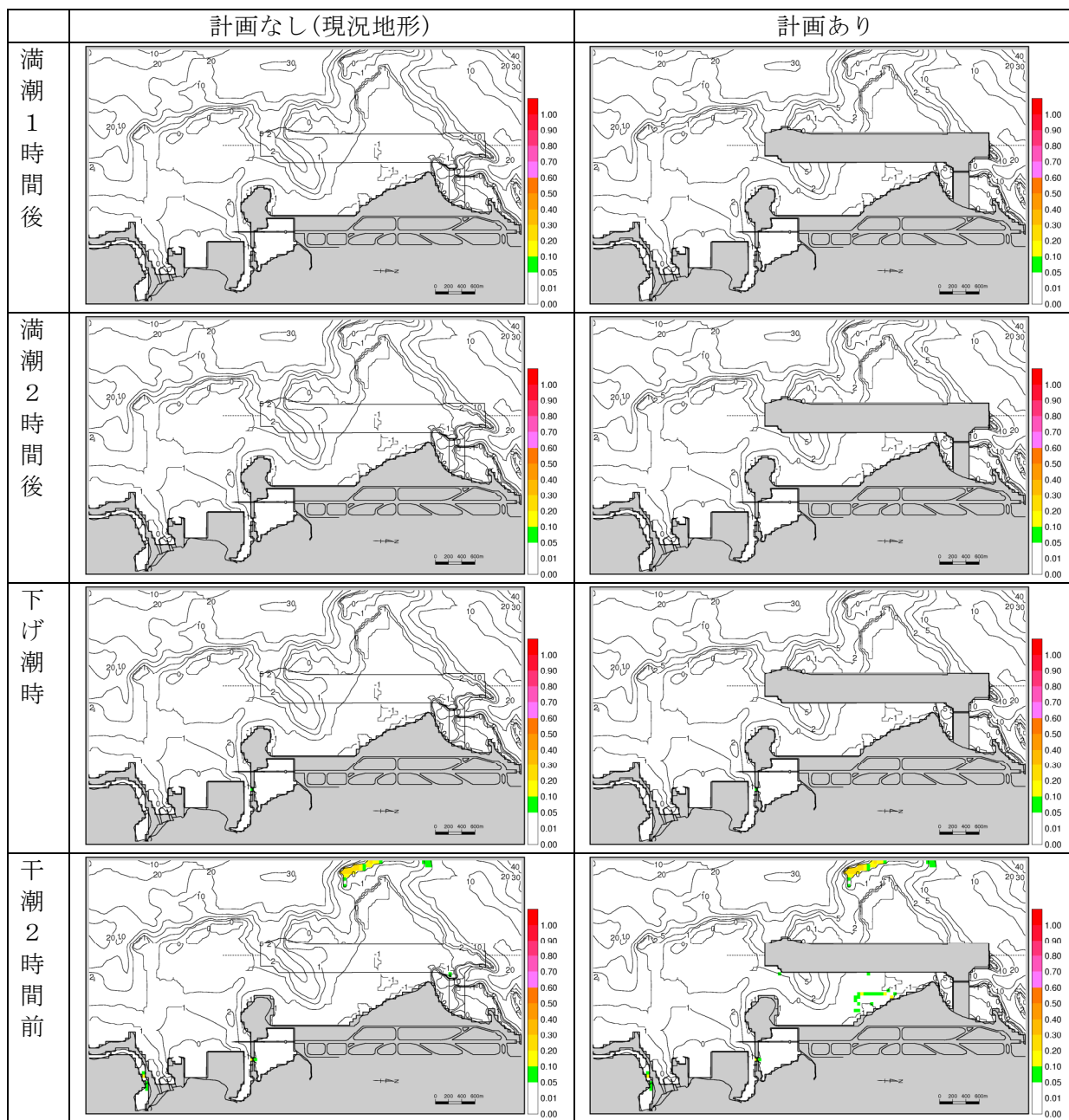
付図－ 6.9.6(4) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第4層)



付図－ 6.9.6(5) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第5層)

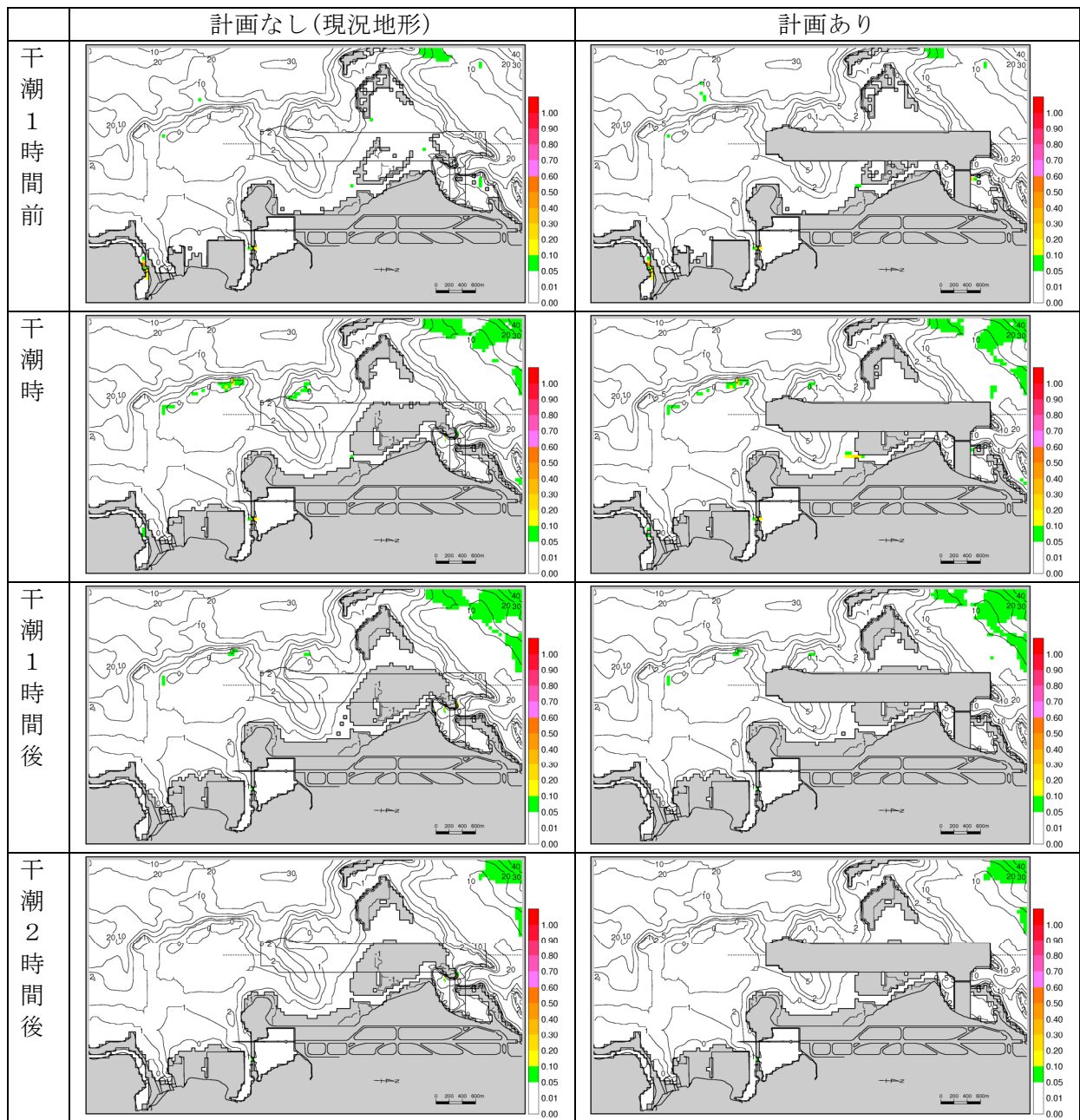


付図－ 6.9.6(6) 工事中(2年次10ヶ月目)の将来流速ベクトル
 (冬季, 平常時, 平均潮, 平均流, 第6層)



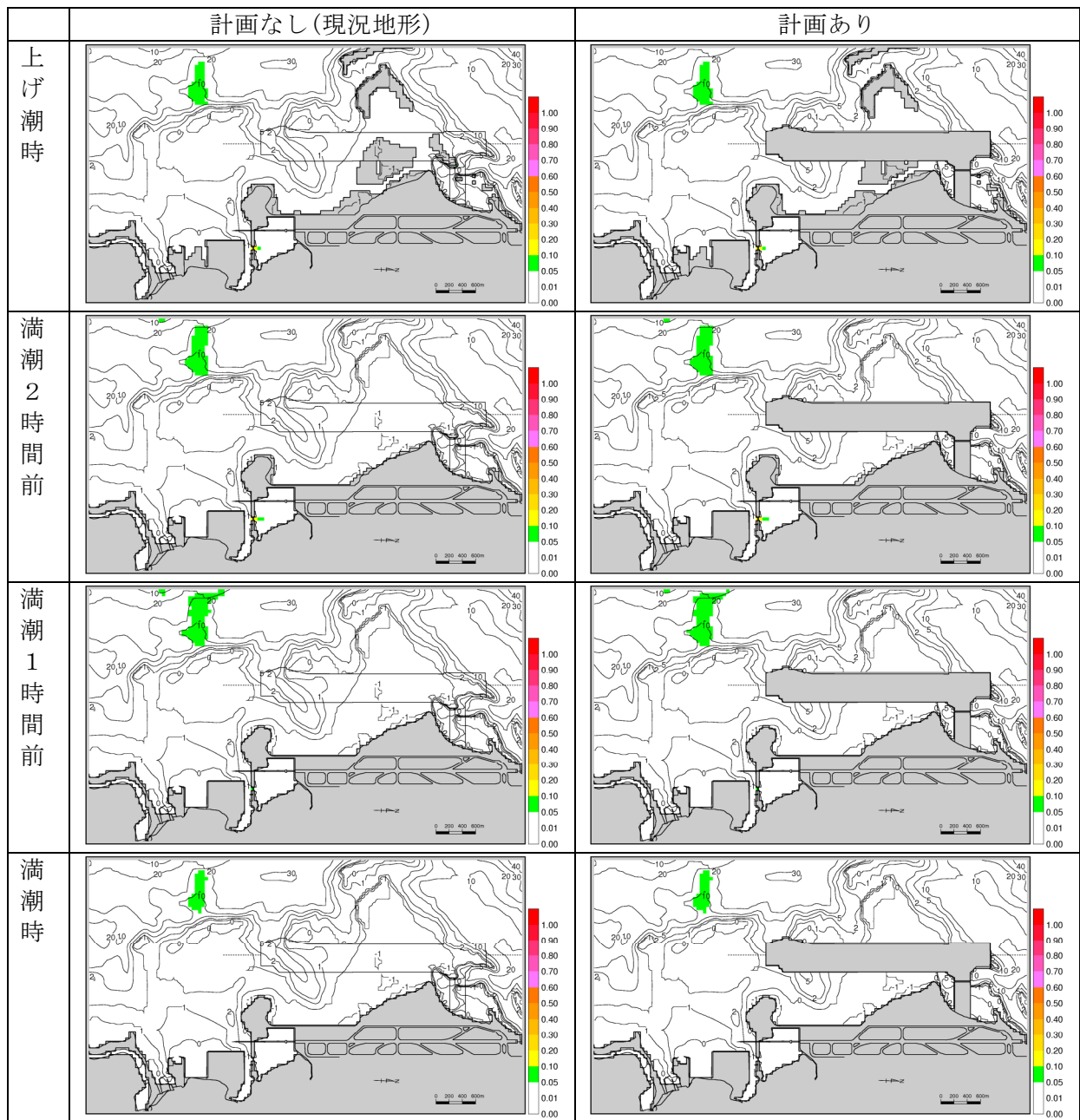
注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.1(1) 流速から求めたシルズ数の分布（夏季、大潮期、粒径：0.325mm）



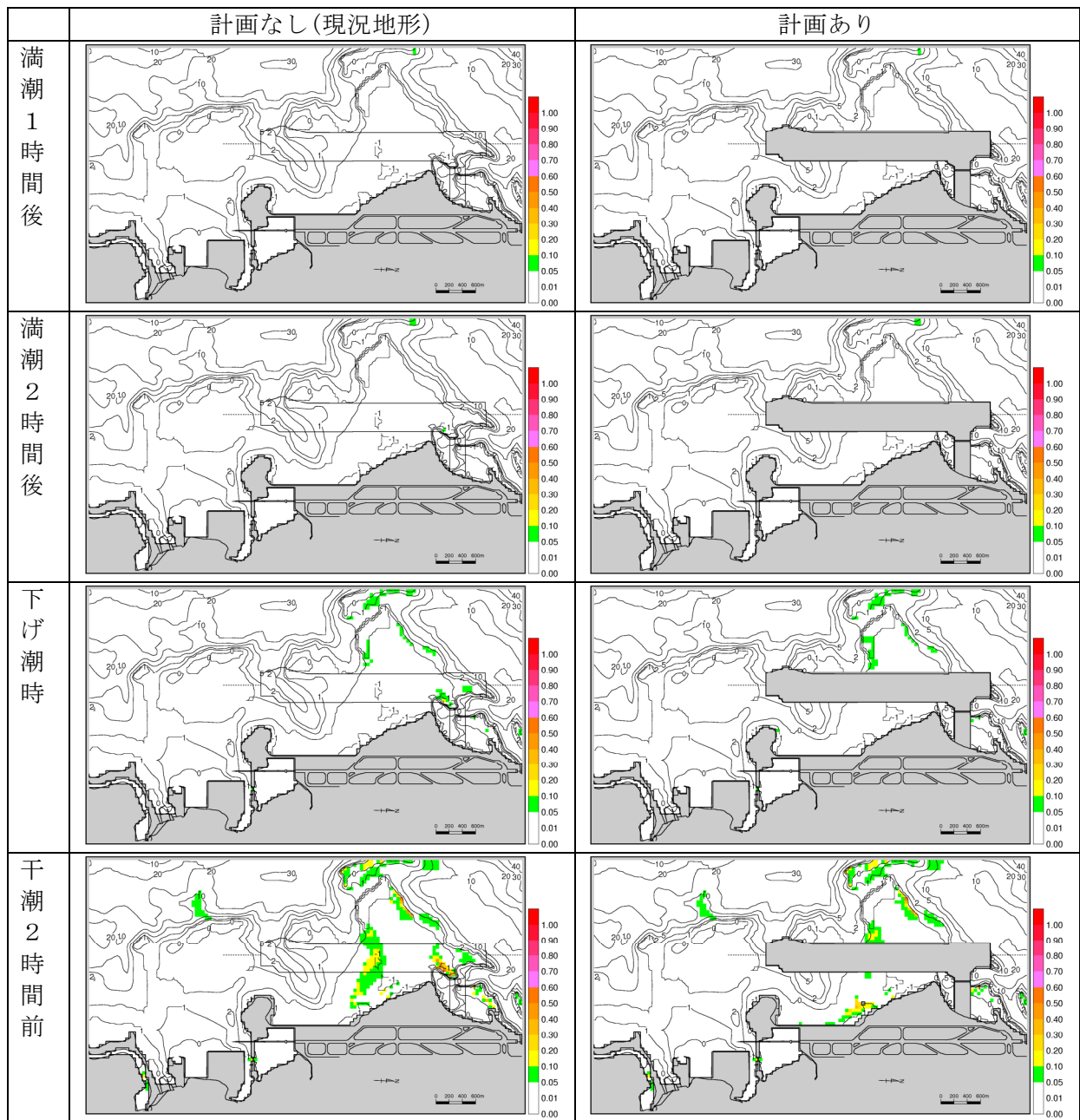
注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.1(2) 流速から求めたシルズ数の分布(夏季、大潮期、粒径：0.325mm)



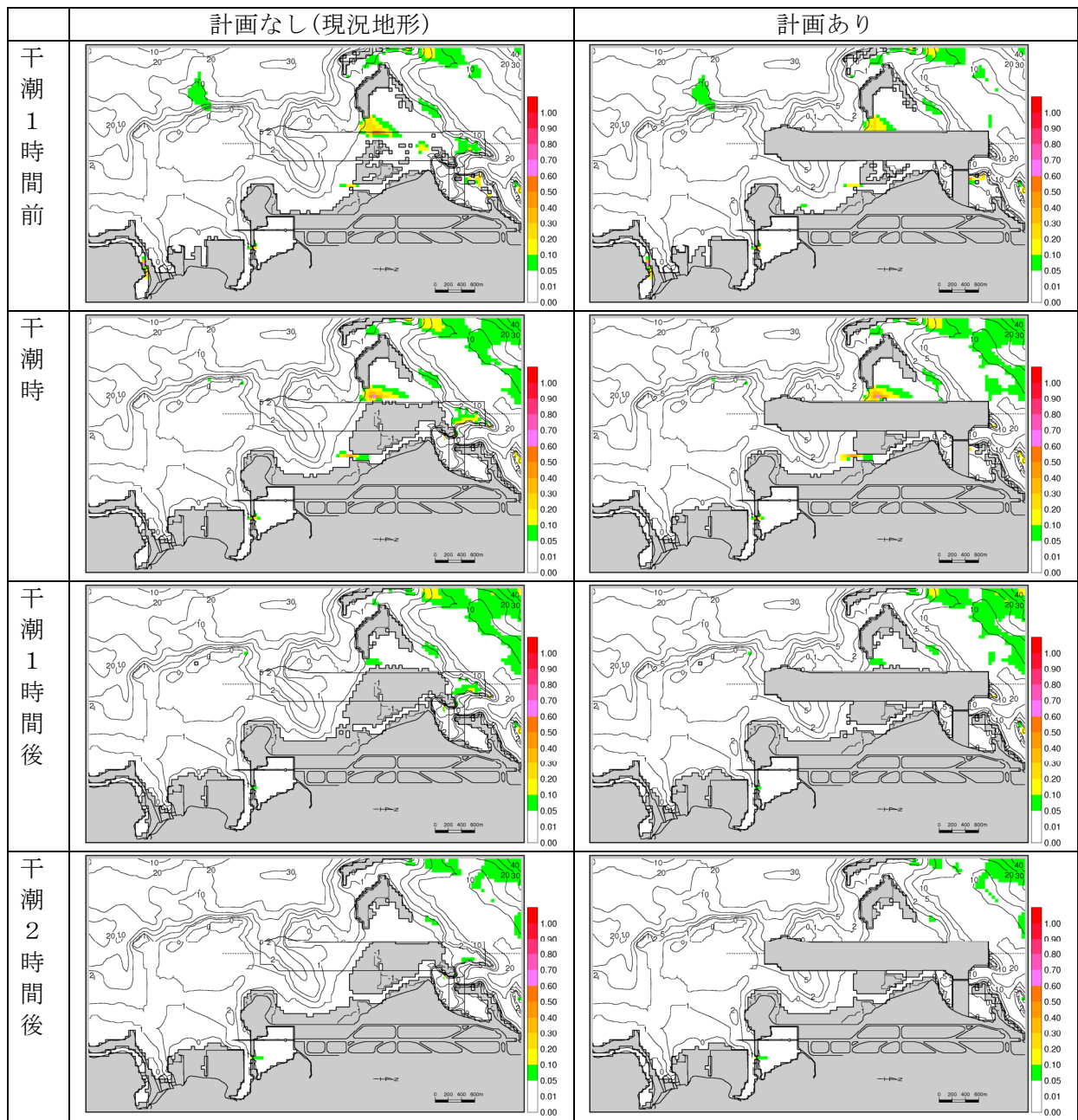
注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.1(3) 流速から求めたシルズ数の分布(夏季、大潮期、粒径：0.325mm)



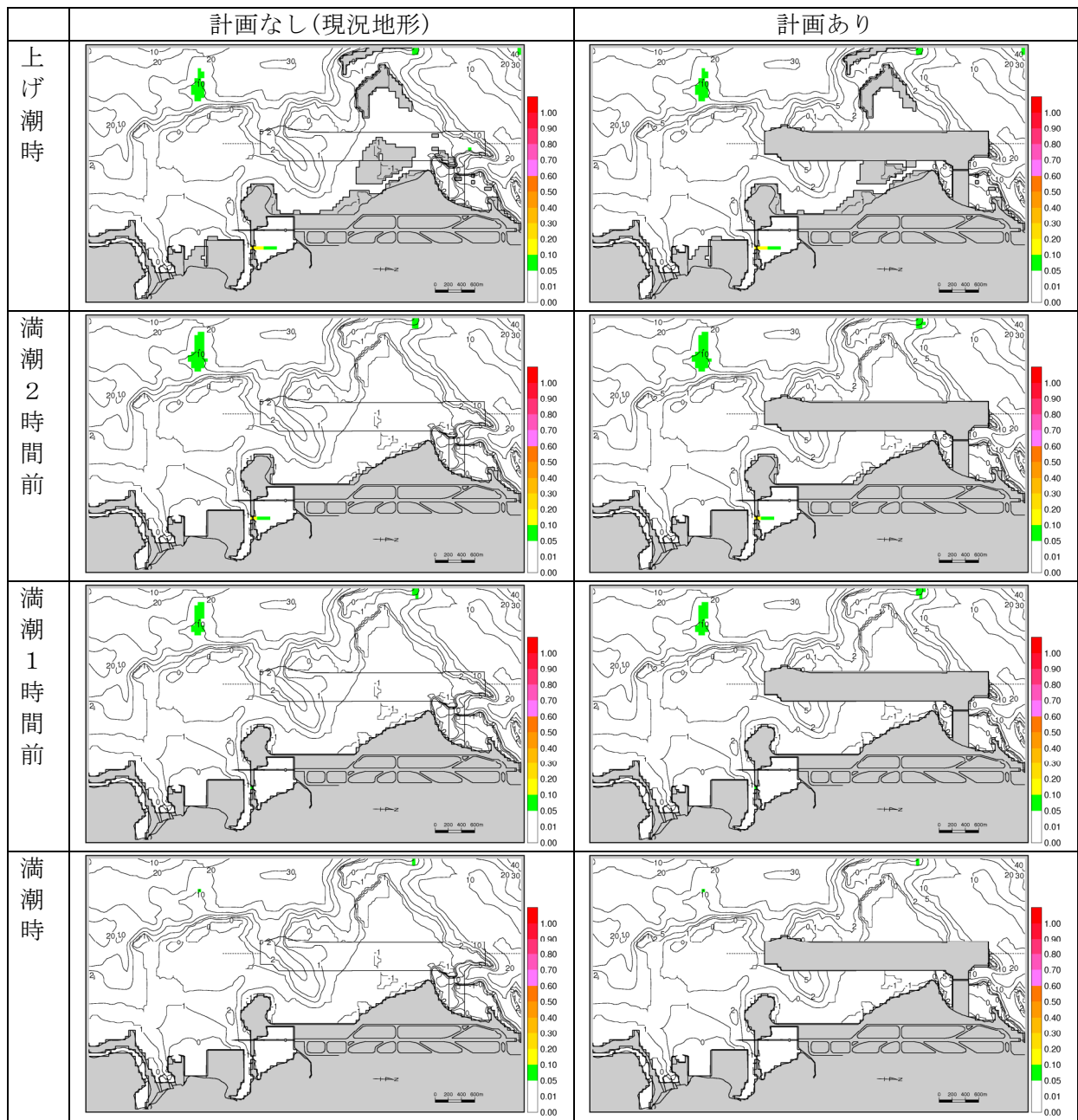
注：図中の等値線は、水深(D.L. 基準)を表示している。

付図－ 6.10.2(1) 流速から求めたシルズ数の分布 (冬季、大潮期、粒径：0.325mm)



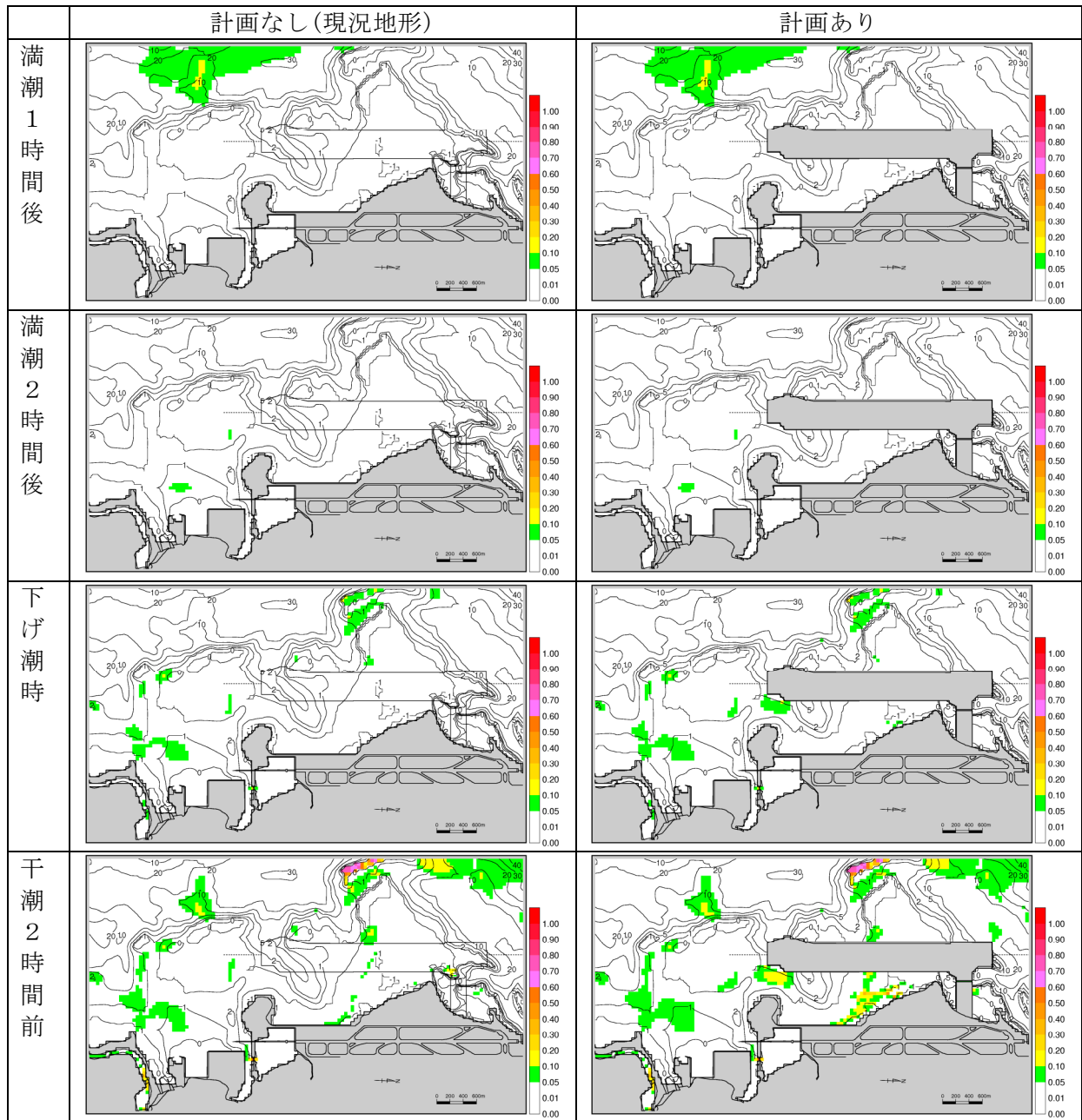
注：図中の等値線は、水深(D.L. 基準)を表示している。

付図－ 6.10.2(2) 流速から求めたシルズ数の分布 (冬季、大潮期、粒径：0.325mm)



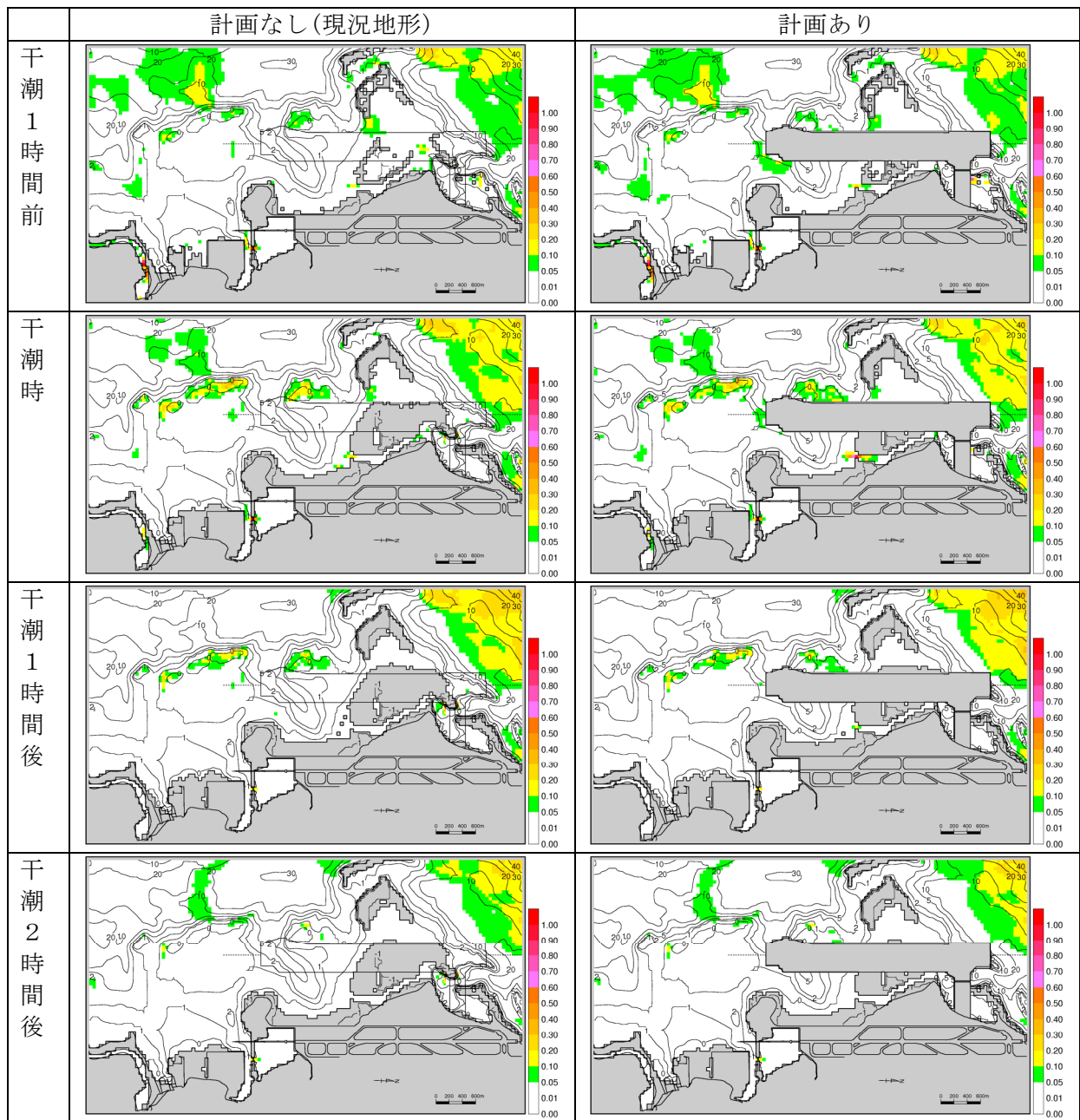
注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.2(3) 流速から求めたシルズ数の分布(冬季、大潮期、粒径：0.325mm)



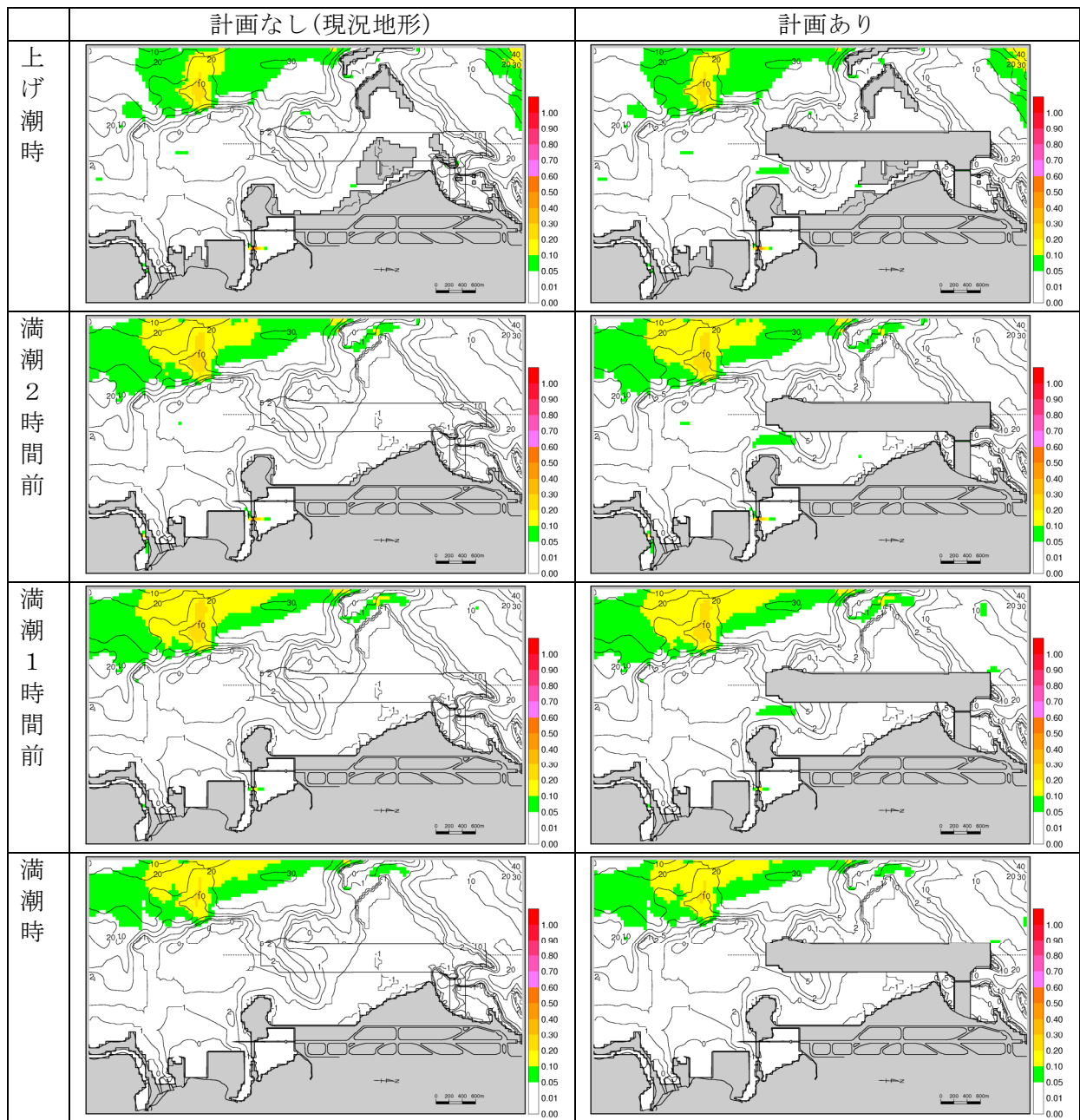
注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.3(1) 流速から求めたシルズ数の分布(夏季、大潮期、粒径：0.075mm)



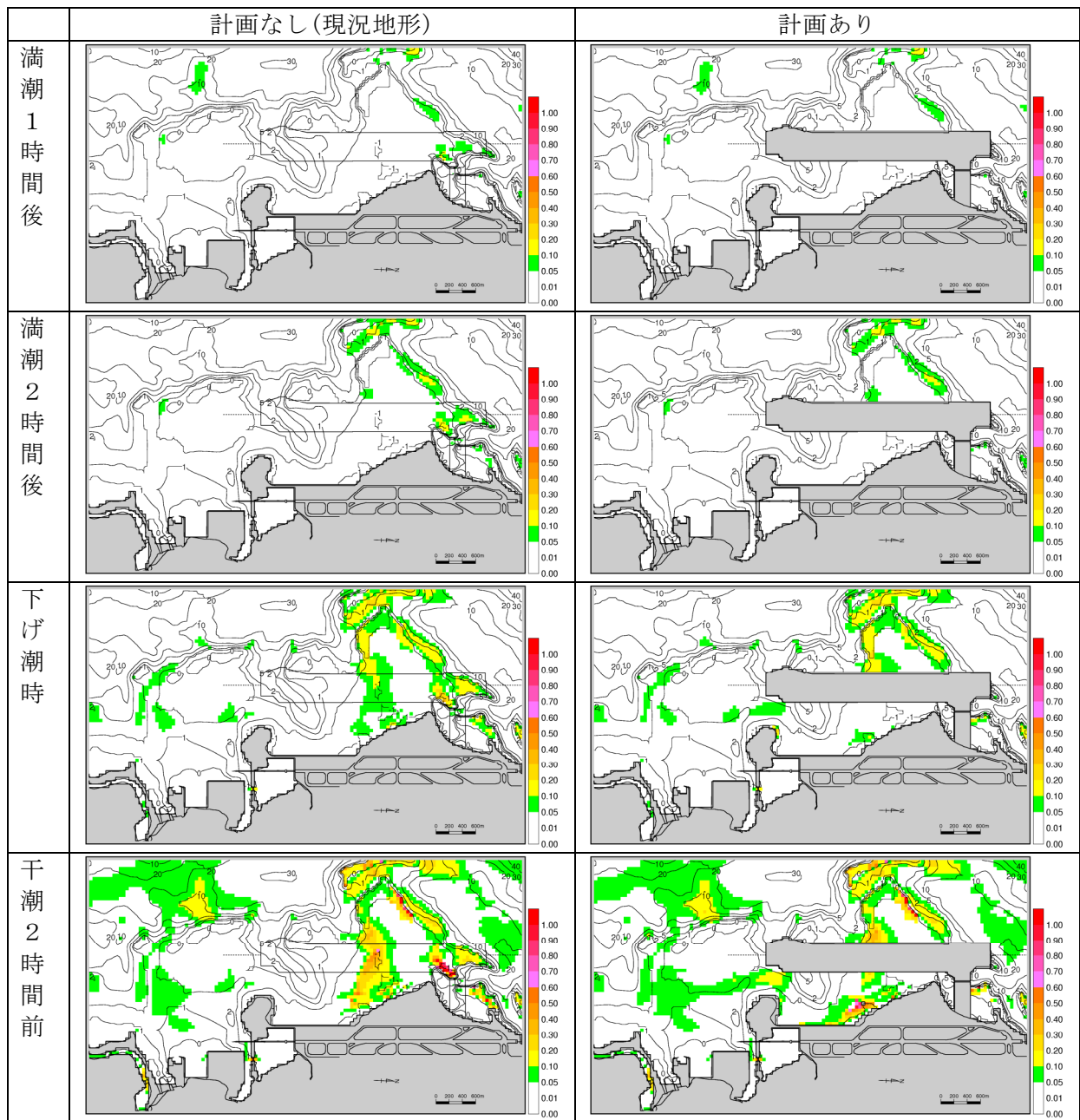
注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.3(2) 流速から求めたシルズ数の分布(夏季、大潮期、粒径：0.075mm)



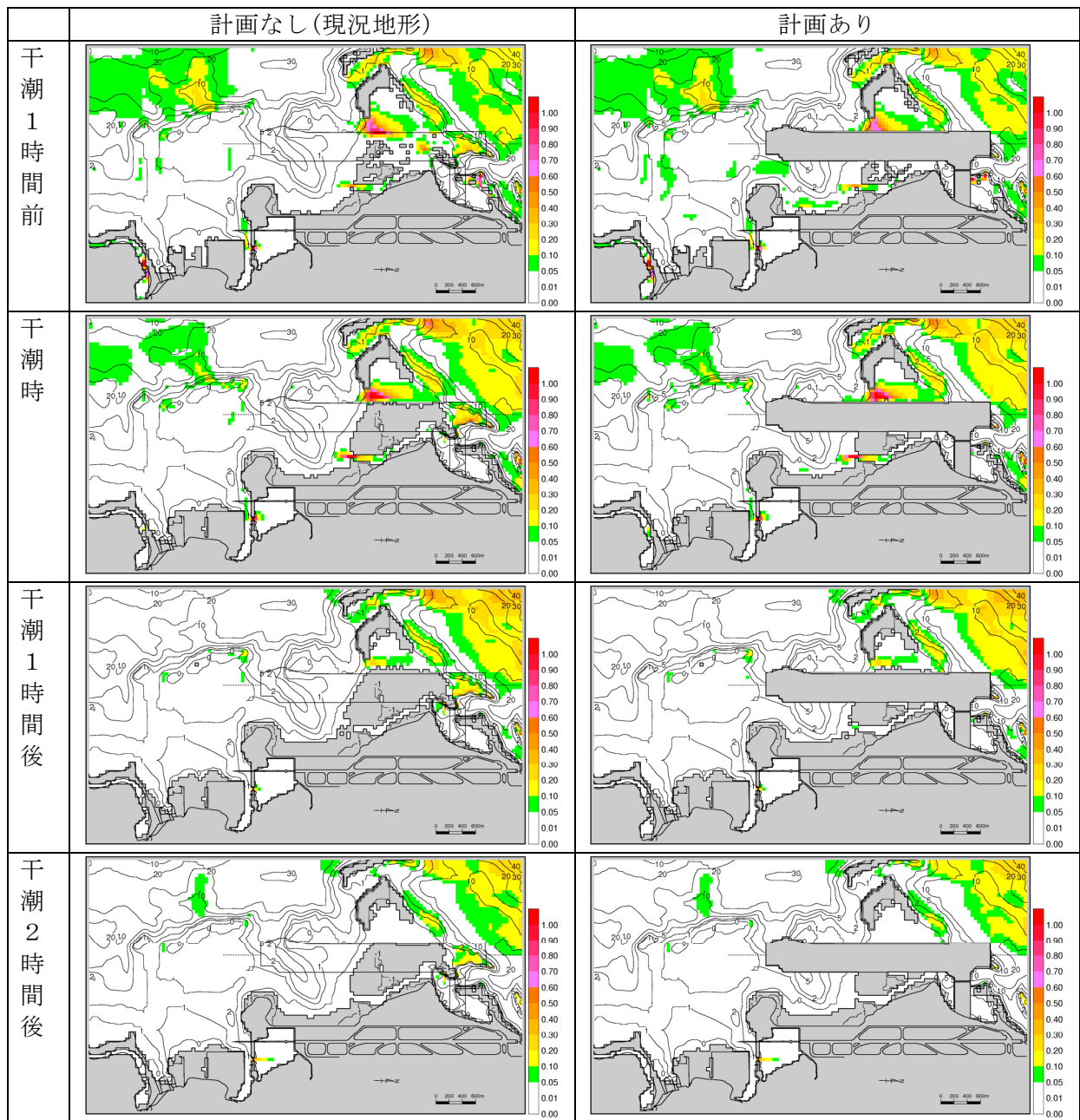
注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.3(3) 流速から求めたシルズ数の分布(夏季、大潮期、粒径：0.075mm)



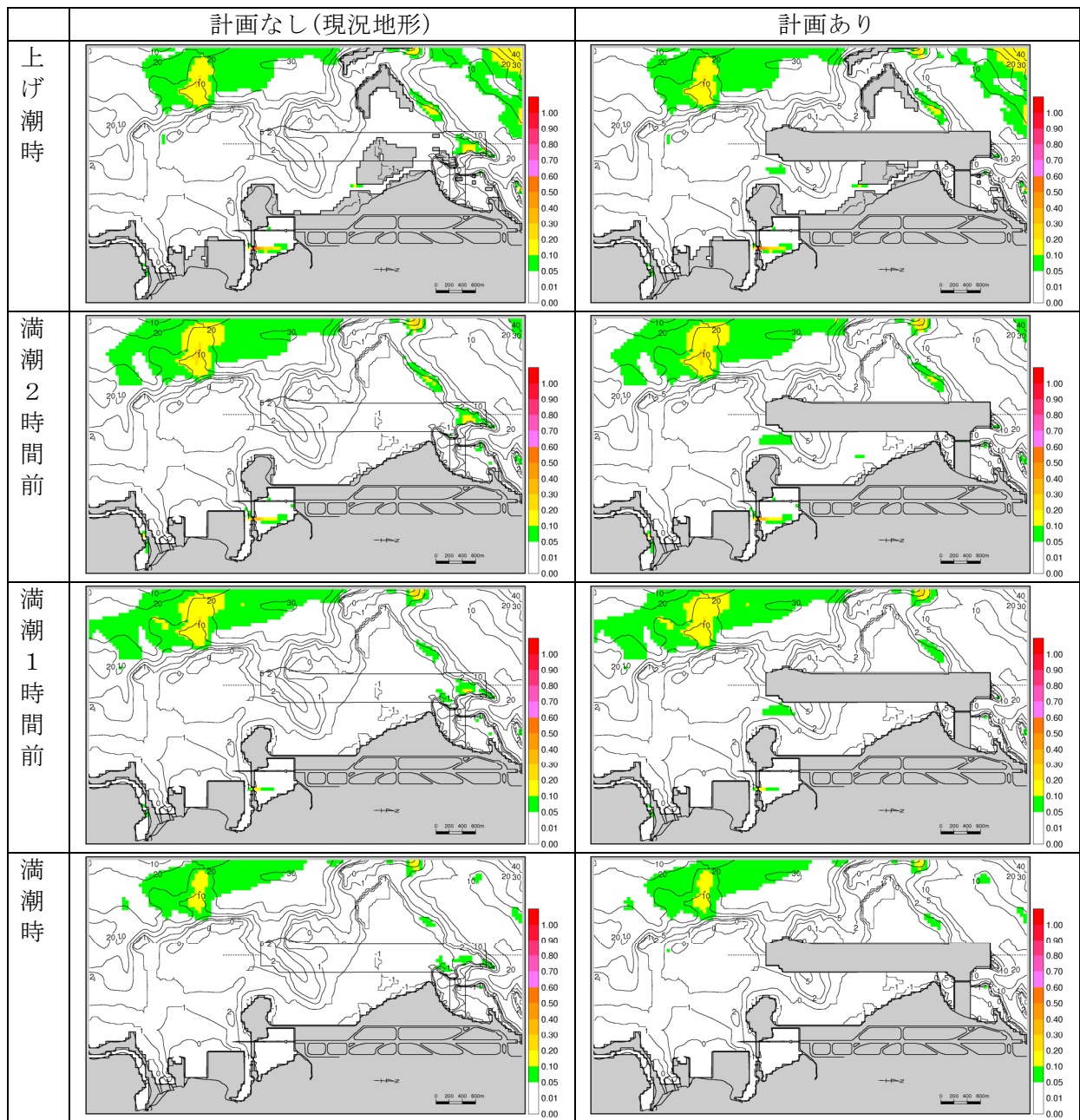
注：図中の等値線は、水深(D.L. 基準)を表示している。

付図－ 6.10.4(1) 流速から求めたシルズ数の分布 (冬季、大潮期、粒径：0.075mm)



注：図中の等値線は、水深(D.L. 基準)を表示している。

付図－ 6.10.4(2) 流速から求めたシルズ数の分布 (冬季、大潮期、粒径：0.075mm)



注：図中の等値線は、水深(D.L.基準)を表示している。

付図－ 6.10.4(3) 流速から求めたシルズ数の分布 (冬季、大潮期、粒径：0.075mm)

付表－ 6.12.1 (1) 群落組成調査結果

調査地点: No.1		調査年月日: 平成 23年 5月 17日					
群落名: ヤエヤマヒルギ群落							
地形:	平地	海拔:	1.2	m	傾斜:	0	°
土壌:	沖積土	方位:	-		面積:	2	× 10 m
風当:	強	日当:	陽		土湿:	過湿	
階層		優占種		高さ		植被率	
T1	高木層	ヤエヤマヒルギ	～	m			%
T2	亜高木層		～	m			%
S	低木層		～	4	m	70	%
H1	草本第1層		～	0.7	m	5	%
H2	草本第2層		～		m		%
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層	
被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名
		4・4	ヤエヤマヒルギ	+	メヒルギ		
				1・1	ヤエヤマヒルギ		
T2 亜高木層							
被度 ・ 群度	種名						

付表 - 6.12.1 (3) 群落組成調査結果

調査地点: No.3		調査年月日: 平成 23年 5月 17日			
群落名: ナビアグラス群落					
地形:	平地	海拔:	2.6 m	傾斜:	0 °
土壌:	沖積土	方位:	-	面積:	4 × 4 m
風当:	強	日当:	陽	土湿:	湿
階層		優占種	高さ	植被率	
T1	高木層		~ m		%
T2	亜高木層		~ m		%
S	低木層	ナビアグラス	~ 4 m	95	%
H1	草本第1層	ナビアグラス	~ 1 m	20	%
H2	草本第2層		~ m		%
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層	
H2 草本第2層					
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		5・5	ナビアグラス	2・2	ナビアグラス
		+	ギンネム	+	ノアサガオ
				+	ギンネム
				+	シロノセンダングサ
				+	ハイクサネム
				+	チガヤ
				+	アメリカハマグルマ
T2 亜高木層					
被度・群度	種名				

付表 - 6.12.1 (6) 群落組成調査結果

調査地点: No.6		調査年月日: 平成 23年 5月 17日					
群落名: ソナレシバ群落							
地形: 平地		海拔: 1.6 m		傾斜: 0 °			
土壌: 沖積土		方位: -		面積: 1 × 1 m			
風当: 強		日当: 陽		土湿: 湿			
階層		優占種		高さ		植被率	
T1	高木層			~	m		
T2	亜高木層			~	m		
S	低木層			~	m		
H1	草本第1層	ソナレシバ		~	0.3 m	70 %	
H2	草本第2層			~	m		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層	
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				4.4	ソナレシバ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表 - 6.12.1 (7) 群落組成調査結果

調査地点: No.7		調査年月日: 平成 23年 5月 17日			
群落名: メヒルギ群落					
地形:	平地	海拔:	1.4 m	傾斜:	0 °
土壌:	沖積土	方位:	-	面積:	4 × 4 m
風当:	強	日当:	陽	土湿:	過湿
階層		優占種	高さ	植被率	
T1	高木層		~ m	%	
T2	亜高木層		~ m	%	
S	低木層	メヒルギ	~ 2.5 m	95 %	
H1	草本第1層	メヒルギ	~ 0.7 m	5 %	
H2	草本第2層		~ m	%	
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層	
H2 草本第2層					
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		5.5	メヒルギ	1.1	メヒルギ
				+	アカバナヒルギ
T2 亜高木層					
被度・群度	種名				

付表－ 6.12.1 (11) 群落組成調査結果

調査地点: No.11		調査年月日: 平成 23年 5月 17日						
群落名: ソナレシバ群落								
地形:	平地	海拔:	0.4	m	傾斜:	0 °		
土壌:	沖積土	方位:	-		面積:	1	× 1 m	
風当:	強	日当:	陽		土湿:	過湿		
階層		優占種		高さ		植被率		
T1	高木層	ソナレシバ		~	m	%		
T2	亜高木層			~	m	%		
S	低木層			~	m	%		
H1	草本第1層			~	0.3	m	70	%
H2	草本第2層			~	m	%		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層		
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	
				4.4	ソナレシバ			
T2	亜高木層							
被度・群度	種名							

付表- 6.12.1 (12) 群落組成調査結果

調査地点: No.12		調査年月日: 平成 23年 5月 17日			
群落名: サワズメノヒエ群落					
地形:	平地	海拔:	0.2 m	傾斜:	0 °
土壌:	未熟土	方位:	-	面積:	1 × 1 m
風当:	強	日当:	陽	土湿:	湿
階層		優占種		高さ	
T1	高木層	サワズメノヒエ	~	m	%
T2	亜高木層		~	m	%
S	低木層		~	m	%
H1	草本第1層		~	0.5 m	70 %
H2	草本第2層		~	m	%
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層	
H2 草本第2層					
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				4・4	サワズメノヒエ
T2 亜高木層					
被度・群度	種名				

付表－ 6.12.1 (15) 群落組成調査結果

調査地点:		No.15		調査年月日:		平成 23年 5月 17日	
群落名:		メヒルギ群落					
地形:		平地		海拔:		1.6 m	
土壌:		沖積土		方位:		-	
風当:		強		日当:		陽	
				傾斜:		0 °	
				面積:		4 × 4 m	
				土湿:		過湿	
階層		優占種		高さ		植被率	
T1	高木層			~	m	%	
T2	亜高木層			~	m	%	
S	低木層			~	m	%	
H1	草本第1層	メヒルギ		~	2.5 m	90	%
H2	草本第2層	メヒルギ		~	0.5 m	5	%
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名
		5.5	メヒルギ	1.1	メヒルギ		
T2 亜高木層							
被度 ・ 群度	種名						

付表－ 6.12.1 (20) 群落組成調査結果

調査地点: No.20		調査年月日: 平成 23年 5月 17日					
群落名: ススキ群落							
地形:	平地	海拔:	1.4 m	傾斜:	0 °		
土壌:	赤色土	方位:	-	面積:	2 × 8 m		
風当:	強	日当:	陽	土湿:	適		
階層	優占種	高さ		植被率			
T1	高木層	ススキ	~	m	%		
T2	亜高木層	アメリカハマグルマ	~	m	%		
S	低木層	ススキ	~	3 m	90 %		
H1	草本第1層	アメリカハマグルマ	~	1 m	5 %		
H2	草本第2層		~	m	%		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層	
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		5.5	ススキ	1.1	アメリカハマグルマ		
		+	ギンネム	+	シロノセンダングサ		
T2 亜高木層							
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (23) 群落組成調査結果

調査地点:		No.23		調査年月日:		平成 23年 5月 17日		
群落名: キダチハマグルマ群落								
地形:	平地	海拔:	8.4	m	傾斜:	0 °		
土壌:	赤色土	方位:	-		面積:	2 × 4 m		
風当:	強	日当:	陽		土湿:	適		
階層		優占種		高さ		植被率		
T1	高木層	キダチハマグルマ	~	m		%		
T2	亜高木層		~	m		%		
S	低木層		~	m		%		
H1	草本第1層		~	2	m	95	%	
H2	草本第2層		~		m		%	
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2 草本第2層		
被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	
				5・5	キダチハマグルマ			
				1・1	ランタナ			
				+	リュウキュウボタンヅル			
T2	亜高木層							
被度 ・ 群度	種名							

付表－ 6.12.1 (24) 群落組成調査結果

調査地点:		No.24		調査年月日:		平成 23年 5月 17日	
群落名: シロノセンダングサ群落							
地形:		斜面下部		海拔:		4.8 m	
土壌:		赤色土		方位:		N50W	
風当:		強		日当:		陽	
				傾斜:		40 °	
				面積:		2 × 2 m	
				土湿:		適	
階層		優占種		高さ		植被率	
T1	高木層			~	m		
T2	亜高木層			~	m		
S	低木層			~	m		
H1	草本第1層	シロノセンダングサ		~	1 m	90 %	
H2	草本第2層			~	m		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層	
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				5.5	シロノセンダングサ		
				+	エノコログサ		
				+	ハイクサネム		
				+	ノアサガオ		
T2 亜高木層							
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (28) 群落組成調査結果

調査地点: No.28		調査年月日: 平成 23年 5月 17日						
群落名: ゲンバイヒルガオ群落								
地形:	平地	海拔:	0.2	m	傾斜:	0	°	
土壌:	未熟土	方位:	-		面積:	1	× 1	m
風当:	強	日当:	陽		土湿:	適		
階層		優占種	高さ		植被率			
T1	高木層	ゲンバイヒルガオ	~	m		%		
T2	亜高木層		~	m		%		
S	低木層		~	m		%		
H1	草本第1層		~	0.4	m	70	%	
H2	草本第2層		~		m		%	
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層	
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	
				4.4	ゲンバイヒルガオ			
				1.1	マメゲンバイナズナ			
				+	コマツヨイグサ			
				+	アキノゲシ			
				+	シロノセンダングサ			
				+	ハイキビ			
T2	亜高木層							
被度・群度	種名							

付表－ 6.12.1 (29) 群落組成調査結果

調査地点:	No.29		調査年月日:	平成 23年 5月 17日			
群落名:	シロノセンダングサ群落						
地形:	平地	海拔:	13.4 m	傾斜:	0 °		
土壌:	赤色土	方位:	N20E	面積:	2 × 2 m		
風当:	強	日当:	陽	土湿:	適		
	階層	優占種	高さ	植被率			
T1	高木層		~ m	%			
T2	亜高木層		~ m	%			
S	低木層		~ m	%			
H1	草本第1層	シロノセンダングサ	~ 1 m	95 %			
H2	草本第2層		~ m	%			
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名
				5・5	シロノセンダングサ		
				1・1	バラグラス		
				+	カラムシ		
T2	亜高木層						
被度・ 群度	種名						

付表－ 6. 12. 1 (33) 群落組成調査結果

調査地点:		No.33		調査年月日:		平成 23年 5月 17日									
群落名:								ハイクサネム群落							
地形:		平地		海拔:		20.2 m		傾斜:		0 °					
土壌:		赤色土		方位:		-		面積:		1 × 1 m					
風当:		強		日当:		陽		土湿:		適					
階層		優占種		高さ		植被率									
T1	高木層			~	m	%									
T2	亜高木層			~	m	%									
S	低木層			~	m	%									
H1	草本第1層	ハイクサネム		~	0.5 m	90 %									
H2	草本第2層			~	m	%									
T1	高木層	S 低木層			H1 草本第1層			H2 草本第2層							
被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名						
				4・4	ハイクサネム										
				2・2	ハイキビ										
				2・2	シロノセンダングサ										
				+	ヒメオニササガヤ										
				+	シロツメクサ										
T2	亜高木層														
被度 ・ 群度	種名														

付表－ 6.12.1 (35) 群落組成調査結果

調査地点: No.35		調査年月日: 平成 23年 5月 20日						
群落名: テリミノイヌホウズキ群落								
地形:	平地	海拔:	6	m	傾斜:	0	°	
土壌:	赤色土	方位:	-		面積:	2	× 2	m
風当:	弱	日当:	陽		土湿:	適		
階層		優占種		高さ		植被率		
T1	高木層	テリミノイヌホウズキ		~	m	%		
T2	亜高木層			~	m	%		
S	低木層			~	m	%		
H1	草本第1層			~	1	m	95	%
H2	草本第2層			~	m	%		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層		
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	
				5.5	テリミノイヌホウズキ			
				+2	ムラサキカタバミ			
				+	エダウチチヂミザサ			
				+	シンツルムラサキ			
				+	ギンネム			
				+	ゲットウ			
				+	オキナワスズメウリ			
				+	バラグラス			
T2 亜高木層								
被度・群度	種名							

付表 - 6.12.1 (37) 群落組成調査結果

調査地点:	No.37		調査年月日:	平成 23年 5月 20日			
群落名:	オオハマボウ群落						
地形:	平地	海拔:	5	m	傾斜:	0 °	
土壌:	褐色森林土	方位:	-		面積:	8 × 8 m	
風当:	弱	日当:	陽		土湿:	適	
	階層	優占種	高さ		植被率		
	T1 高木層		~	m		%	
	T2 亜高木層		~	m		%	
	S 低木層	オオハマボウ	~	6 m	80	%	
	H1 草本第1層	オオハマボウ	~	1 m	10	%	
	H2 草本第2層		~	m		%	
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		5・5	オオハマボウ	1・1	オオハマボウ		
		+	ギンネム	+	ノアサガオ		
		+	ノアサガオ	+	シイノキカズラ		
		+	シイノキカズラ				
		+	リュウキュウボタンヅル				
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (38) 群落組成調査結果

調査地点: No.38		調査年月日: 平成 23年 5月 20日						
群落名: ガジュマル群落								
地形:	斜面下部	海拔:	5	m	傾斜:	0	°	
土壌:	褐色森林土	方位:	-		面積:	10	× 10	m
風当:	弱	日当:	陽		土湿:	適		
階層		優占種		高さ		植被率		
T1	高木層	ガジュマル		~	m	%		
T2	亜高木層	クロヨナ		~	8	%		
S	低木層	フウトウカズラ		~	4	%		
H1	草本第1層	フウトウカズラ		~	1	%		
H2	草本第2層			~	m	%		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層		
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	
		1・1	クロヨナ	+	ゲットウ			
		+	フウトウカズラ	1・1	フウトウカズラ			
		+	ノアサガオ	+	クロヨナ			
				+	シノキカズラ			
				+	ヤブラン			
				+	シマヅク			
				+	ハマイヌビロ			
				+	ヤブニッケイ			
				+	クワズイモ			
T2 亜高木層								
被度・群度	種名							
5・4	ガジュマル							
1・1	ハマイヌビロ							
+	ハカマカズラ							

付表－ 6.12.1 (41) 群落組成調査結果

調査地点: No.41		調査年月日: 平成 23年 5月 20日			
群落名: ガジュマル群落					
地形:	平地	海拔:	6.8 m	傾斜:	10 °
土壌:	褐色森林土	方位:	N60E	面積:	10 × 10 m
風当:	弱	日当:	陽	土湿:	適
階層		優占種	高さ	植被率	
T1	高木層	ガジュマル シマグワ コシダ	~	m	%
T2	亜高木層		~	9 m	80 %
S	低木層		~	3 m	10 %
H1	草本第1層		~	1 m	30 %
H2	草本第2層		~	m	%
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層	
H2 草本第2層					
被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名
		+	トベラ	2.2	コシダ
		1.1	シマグワ	+	カラムシ
		+	オオシマコバンノキ	+	ナワシロイチゴ
		+	カラムシ	+	シマグワ
		+	イヌビワ	+	イヌビワ
		+	ハリツルマサキ	+	ススキ
		+	ハスノハカズラ	+	オオシマコバンノキ
		+	クロミノオキナワスズメウリ	+	クロミノオキナワスズメウリ
		+	オオバギ	+	ムラサキカタバミ
		+	ソテツ	+	ギンネム
				+	オオイタビ
				+	ハマサルトリイバラ
				+	リュウキュウボタンツル
				+	ノアサガオ
				+	ヘクソカズラ
				+	ブクマンギ
				+	ツワブキ
				+	オキナワシャリンバイ
				+	ナガバカニクサ
				1.1	ハスノハカズラ
				+	リュウキュウイノモトソウ

T2 亜高木層					
被度・ 群度	種名				
4.4	ガジュマル				
+	クワノハエノキ				
1.2	ギンネム				
+	オオバギ				
+	タイワンウオクサギ				
+	ノアサガオ				

付表－ 6.12.1 (42) 群落組成調査結果

調査地点: No.42		調査年月日: 平成 23年 5月 20日					
群落名: ギンネム群落							
地形:	平地	海拔:	4.6 m	傾斜:	0 °		
土壌:	褐色森林土	方位:	-	面積:	8 × 8 m		
風当:	弱	日当:	陽	土湿:	適		
階層		優占種	高さ	植被率			
T1	高木層	ギンネム エダウチチヂミザサ	~	m	%		
T2	亜高木層		~	m	%		
S	低木層		~	5 m	70 %		
H1	草本第1層		~	1 m	40 %		
H2	草本第2層		~	m	%		
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		4.4	ギンネム	+	ススキ		
		1.1	ヘクソカズラ	+	ヘクソカズラ		
		1.1	クロミノオキナワスズメウリ	+	イヌビワ		
		+	シマグワ	1.1	ムラサキカタバミ		
		+	リュウキュウボタンツル	2.2	エダウチチヂミザサ		
		+	イヌビワ	1.1	リュウキュウボタンツル		
		+	ランタナ	+	ナガバハリフタバ		
		+	ゲットウ	+	シマグワ		
		+	オキナワシャリンバイ	+	オキナワシャリンバイ		
		+	オオシマヨバンノキ	+	シンツルムラサキ		
				+	オキナワスズメウリ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表－ 6. 12. 1 (43) 群落組成調査結果

調査地点:	No.43		調査年月日:	平成	23年	5月	20日
群落名:	ハイキビ群落						
地形:	平地	海拔:	3.2	m	傾斜:	0	°
土壌:	褐色森林土	方位:	-		面積:	1	× 1 m
風当:	弱	日当:	陽		土湿:	湿	
階層	優占種	高さ	植被率				
T1	高木層	~	m	%			
T2	亜高木層	~	m	%			
S	低木層	~	m	%			
H1	草本第1層	ハイキビ	~	0.7	m	60 %	
H2	草本第2層	~	m	%			
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				4.4	ハイキビ		
				+	パラグラス		
				+	ハイクサネム		
				+	オカミズオジギソウ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (48) 群落組成調査結果

調査地点: No.48		調査年月日: 平成 23年 5月 20日						
群落名: ナンゴクワセオバナ群落								
地形:	平地	海拔:	5	m	傾斜:	0	°	
土壌:	褐色森林土	方位:	-		面積:	2	× 4	m
風当:	弱	日当:	陽		土湿:	適		
階層		優占種		高さ		植被率		
T1	高木層			~	m	%		
T2	亜高木層			~	m	%		
S	低木層			~	m	%		
H1	草本第1層	ナンゴクワセオバナ		~	2	m	70 %	
H2	草本第2層			~	m	%		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層		
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	
				4・4	ナンゴクワセオバナ			
				1・1	ススキ			
				+	リュウキュウボタンヅル			
				2・2	キダチハマグルマ			
				+	シロノセンダングサ			
T2 亜高木層								
被度・群度	種名							

付表－ 6.12.1 (51) 群落組成調査結果

調査地点:		No.51		調査年月日:		平成 23年 5月 20日	
群落名: モミジヒルガオ群落							
地形:		尾根		海拔:		3.6 m	
土壌:		未熟土		方位:		E	
風当:		弱		日当:		陽	
				傾斜:		5 °	
				面積:		1 × 1 m	
				土湿:		乾	
階層		優占種		高さ		植被率	
T1	高木層	モミジヒルガオ		~	m	%	
T2	亜高木層			~	m	%	
S	低木層			~	m	%	
H1	草本第1層			~	0.5 m	50 %	
H2	草本第2層			~	m	%	
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2 草本第2層	
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				3・3	モミジヒルガオ		
				1・1	ノアサガオ		
				+	バラグラス		
				+	キダチハマグルマ		
				+	ギョウギンバ		
				+	シマニシキソウ		
				+	オカミズオジギソウ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (52) 群落組成調査結果

調査地点: No.52		調査年月日: 平成 23年 5月 20日			
群落名: オオバギ群落					
地形:	斜面下部	海拔:	4 m	傾斜:	10 °
土壌:	褐色森林土	方位:	N10E	面積:	10 × 10 m
風当:	弱	日当:	陽	土湿:	適
階層		優占種	高さ	植被率	
T1	高木層		~ m	%	
T2	亜高木層	オオバギ	~ 8 m	80 %	
S	低木層	シマグワ	~ 3 m	30 %	
H1	草本第1層	フウトウカズラ	~ 1 m	40 %	
H2	草本第2層		~ m	%	
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層
H2	草本第2層				
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		1・1	オオバギ	+	ホウライツユクサ
		+	トベラ	3・3	フウトウカズラ
		1・1	イヌビワ	1・1	カラムシ
		+	フクマンギ	+	ハマイヌビワ
		+	フウトウカズラ	+	ギンネム
		+	ギンネム	+	ススキ
		2・2	シマグワ	+	トベラ
				+	シュロガヤツリ
				+	ハマサルトリイバラ
				+	オオシマコバンノキ
T2	亜高木層				
被度・群度	種名				
4・4	オオバギ				
1・2	ギンネム				
+	シマグワ				
+	ヘクソカズラ				
+	オキナワスズメウリ				
+	クロミノオキナワスズメウリ				
+	ノアサガオ				
+	フウトウカズラ				

付表－ 6.12.1 (53) 群落組成調査結果

調査地点: No.53		調査年月日: 平成 23年 5月 20日					
群落名: シロノセンダングサ群落							
地形:	平地	海拔:	8.4 m	傾斜:	0 °		
土壌:	褐色森林土	方位:	-	面積:	1 × 1 m		
風当:	弱	日当:	陽	土湿:	適		
	階層	優占種	高さ		植被率		
T1	高木層		~ m		%		
T2	亜高木層		~ m		%		
S	低木層		~ m		%		
H1	草本第1層	シロノセンダングサ	~ 1 m		90 %		
H2	草本第2層		~ m		%		
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				5・5	シロノセンダングサ		
				+	リュウキュウボタンツル		
				+	バラグラス		
				+	タチスズメノヒエ		
				+	ギンネム		
				+	ツルソバ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (54) 群落組成調査結果

調査地点:		No.54		調査年月日:		平成 23年 5月 20日	
群落名:		ギンネム群落					
地形:	斜面	海拔:	4.2	m	傾斜:	15	°
土壌:	褐色森林土	方位:	W		面積:	10	× 10 m
風当:	弱	日当:	陽		土湿:	適	
	階層	優占種	高さ		植被率		
T1	高木層	ギンネム シマグワ ムラサキカタバミ	~	m			
T2	亜高木層		~	9	m	60 %	
S	低木層		~	4	m	40 %	
H1	草本第1層		~	1	m	60 %	
H2	草本第2層		~	m	%		
T1	高木層	S	低木層		H1	草本第1層	
H2	草本第2層						
被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名		被度・ 群度	種名	
		+	トベラ		4・4	ムラサキカタバミ	
		3・3	シマグワ		+	リュウキュウボタンヅル	
		+	ギンネム		+	ヘクソカズラ	
		1・1	クワズイモ		+	トベラ	
		+	リュウキュウボタンヅル		+	ゲトウ	
		+	ヘクソカズラ		+	ノアサガオ	
		+	ハマサルトリイバラ		+	シマグワ	
		+	オキナワズズメウリ		+	ツルソバ	
		+	イヌビワ		+	エダウチ子子ミザサ	
		+	ノアサガオ		+	ススキ	
		+	アカギ		+	オニタビラコ	
		+	フクマンギ		+	イヌビワ	
		+	アコウ				
		+	オオシマコパンノキ				
		+	クワノハエノキ				
		+	ランタナ				
		+	クロミノオキナワズズメウリ				
T2	亜高木層						
被度・ 群度	種名						
3・3	ギンネム						
+	リュウキュウボタンヅル						
1・1	オオバギ						
+	シンツルムラサキ						
+	ヘクソカズラ						
1・1	ハマサルトリイバラ						

付表－ 6.12.1 (60) 群落組成調査結果

調査地点: No.60		調査年月日: 平成 23年 5月 20日			
群落名: ススキ群落					
地形:	平地	海拔:	5.6 m	傾斜:	0 °
土壌:	未熟土	方位:	-	面積:	3 × 3 m
風当:	強	日当:	陽	土湿:	適
階層		優占種	高さ		植被率
T1	高木層		~	m	%
T2	亜高木層		~	m	%
S	低木層		~	m	%
H1	草本第1層	ススキ	~	3 m	90 %
H2	草本第2層	-	~	0.5 m	2 %
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層
H2	草本第2層				
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				5・5	ススキ
				+	ナンゴクハマウド
				+	シマアザミ
				+	シロノセンダングサ
				+	ススキ
T2	亜高木層				
被度・群度	種名				

付表－ 6.12.1 (61) 群落組成調査結果

調査地点:	No.61		調査年月日:	平成	23年	5月	20日
群落名:	コウライシバ群落						
地形:	平地	海拔:	3.2	m	傾斜:	0	°
土壌:	未熟土	方位:	-		面積:	1	× 1 m
風当:	強	日当:	陽		土湿:	乾	
	階層	優占種	高さ		植被率		
	T1 高木層		~	m			%
	T2 亜高木層		~	m			%
	S 低木層		~	m			%
	H1 草本第1層	コウライシバ	~	0.5 m		60	%
	H2 草本第2層		~	m			%
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
				4・4	コウライシバ		
				1・1	シマアザミ		
				+	マメゲンバイナズナ		
				+	タイワンカモノハシ		
				+	シナガワハギ		
				+	ハマササゲ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (64) 群落組成調査結果

調査地点: No.64		調査年月日: 平成 23年 5月 20日	
群落名: グンバイヒルガオ群落			
地形:	平地	海拔:	5 m
土壌:	未熟土	方位:	-
風当:	強	日当:	陽
		傾斜:	0 °
		面積:	1 × 1 m
		土湿:	適
階層		優占種	高さ
T1	高木層	グンバイヒルガオ	~ m
T2	亜高木層		~ m
S	低木層		~ m
H1	草本第1層		~ 0.5 m
H2	草本第2層		~ m
T1	高木層	S	低木層
T1	高木層	H1	草本第1層
T1	高木層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名
		4.4	グンバイヒルガオ
T2	亜高木層		
被度・群度	種名		

付表－ 6.12.1 (66) 群落組成調査結果

調査地点: No.66		調査年月日: 平成 23年 5月 20日					
群落名: シナガワハギ群落							
地形:	平地	海拔:	4 m	傾斜:	0 °		
土壌:	未熟土	方位:	-	面積:	1 × 1 m		
風当:	強	日当:	陽	土湿:	適		
階層		優占種	高さ		植被率		
T1	高木層	シナガワハギ	~	m	%		
T2	亜高木層		~	m	%		
S	低木層		~	m	%		
H1	草本第1層		~	0.7 m	90 %		
H2	草本第2層		~	m	%		
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名
				5・5	シナガワハギ		
				+	ヒメムカシヨモギ		
				+	コマツヨイグサ		
				+	シロノセンダングサ		
				+	カタバミ		
				+	マメゲンバイナズナ		
T2	亜高木層						
被度・ 群度	種名						

付表－ 6.12.1 (68) 群落組成調査結果

調査地点:	No.68		調査年月日:	平成 23年 5月 20日		
群落名:	アダン群落					
地形:	平地	海拔:	0.2	m	傾斜:	0 °
土壌:	未熟土	方位:	-		面積:	4 × 5 m
風当:	強	日当:	陽		土湿:	乾
	階層	優占種	高さ		植被率	
T1	高木層		~	m	%	
T2	亜高木層		~	m	%	
S	低木層	アダン	~	5 m	95 %	
H1	草本第1層	アダン	~	1 m	2 %	
H2	草本第2層		~	m	%	
T1	高木層	S	低木層		H1	草本第1層
H2	草本第2層					
被度・群度	種名	被度・群度	種名		被度・群度	種名
		5.5	アダン		+	アダン
T2	亜高木層					
被度・群度	種名					

付表 - 6.12.1 (69) 群落組成調査結果

調査地点:		No69		調査年月日:		平成 23年 5月 20日		
群落名:		モンパノキ群落						
地形:	平地	海拔:	0.2	m	傾斜:	0 °		
土壌:	未熟土	方位:	-		面積:	10 × 5 m		
風当:	強	日当:	陽		土湿:	乾		
階層		優占種		高さ		植被率		
T1	高木層	モンパノキ ナンゴクハマウド		~	m	%		
T2	亜高木層			~	m	%		
S	低木層			~	2.5	m	60 %	
H1	草本第1層			~	1	m	5 %	
H2	草本第2層			~		m	%	
T1	高木層	S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層		
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	
		4・4	モンパノキ	1・1	ナンゴクハマウド			
		+	クサトベラ	+	クサトベラ			
		+	イボタクサギ	+	ジシバリ			
		+	ナンゴクハマウド	+	ハイシバ			
T2	亜高木層							
被度・群度	種名							

付表 - 6.12.1 (70) 群落組成調査結果

調査地点:	No.70			調査年月日:	平成 23年 5月 20日		
群落名:	クサトベラ群落						
地形:	平地	海拔:	0	m	傾斜:	5	°
土壌:	未熟土	方位:	N70W		面積:	3 × 3	m
風当:	強	日当:	陽		土湿:	適	
	階層	優占種	高さ			植被率	
	T1 高木層		~	m		%	
	T2 亜高木層		~	m		%	
	S 低木層	クサトベラ	~	2 m	95	%	
	H1 草本第1層	クサトベラ	~	0.5 m	2	%	
	H2 草本第2層		~	m		%	
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名	被度・ 群度	種名
		5.5	クサトベラ	+	クサトベラ		
		+	ナンゴクハマウド				
		+	キダチハマグルマ				
T2	亜高木層						
被度・ 群度	種名						

付表－ 6.12.1 (73) 群落組成調査結果

調査地点: No.73		調査年月日: 平成 23年 5月 30日					
群落名: オオハマボウ群落							
地形:	平地	海拔:	0	m	傾斜:	20 °	
土壌:	未熟土	方位:	S30W		面積:	3 × 5 m	
風当:	強	日当:	陽		土湿:	適	
階層		優占種		高さ		植被率	
T1	高木層			~	m	%	
T2	亜高木層			~	m	%	
S	低木層	オオハマボウ		~	3	60 %	
H1	草本第1層	オオハマボウ		~	0.5	2 %	
H2	草本第2層			~	m	%	
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層	
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		4・4	オオハマボウ	+	オオハマボウ		
		+	ススキ				
T2 亜高木層							
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (74) 群落組成調査結果

調査地点: No.74		調査年月日: 平成 23年 5月 30日					
群落名: ガジュマル群落							
地形:	斜面中部	海拔:	9.4 m	傾斜:	25 °		
土壌:	褐色森林土	方位:	N40E	面積:	10 × 10 m		
風当:	弱	日当:	陽	土湿:	適		
階層		優占種	高さ	植被率			
T1	高木層		~ m	%			
T2	亜高木層	ガジュマル	~ 7 m	80 %			
S	低木層	ガジュマル	~ 3 m	10 %			
H1	草本第1層	フウトウカズラ	~ 1 m	40 %			
H2	草本第2層		~ m	%			
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		+	ハマニスビワ	+	クワズイモ		
		+	オオムラサキシキブ	3・3	フウトウカズラ		
		+	リュウキュウウマノスズクサ	+	ハマサルトリイバラ		
		+	ギンネム	+	リュウキュウウマノスズクサ		
		+	オキナワシャリンバイ	+	ガジュマル		
		+	ヤブニツケイ	+	シマグワ		
		+	ソテツ	+	オオバイヌビワ		
		+	オオバギ	+	オオイタビ		
		1・1	ガジュマル	+	シマアザミ		
				+	イスビワ		
				1・1	トベラ		
				+	オキナワシャリンバイ		
				+	ススキ		
				+	イボタクサギ		
				+	リュウキュウイノモトソウ		
				+	オニヤブソテツ		
				+	オオシマコバンノキ		
				+	ヤブニツケイ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						
5・4	ガジュマル						
+	タイワンウオクサギ						

付表－ 6.12.1 (78) 群落組成調査結果

調査地点:		No.78		調査年月日:		平成 23年 5月 30日	
群落名:		モモタマナ群落					
地形:	平地	海拔:	1.8	m	傾斜:	5 °	
土壌:	未熟土	方位:	S70W		面積:	12	5 m
風当:	強	日当:	陽		土湿:	適	
階層		優占種		高さ		植被率	
T1	高木層			~	m		
T2	亜高木層	モモタマナ		~	7	m	40 %
S	低木層	ススキ		~	3	m	10 %
H1	草本第1層	キダチハマグルマ		~	1	m	40 %
H2	草本第2層			~	m		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層	
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		+	オオハマボウ	+	ガジュマル		
		+	シマグワ	+	シマグワ		
		1:1	ススキ	+	ナンゴクハマウド		
		+	クサトベラ	+	グンバイヒルガオ		
		+	キダチハマグルマ	+	クロイワザサ		
		+	ガジュマル	3:3	キダチハマグルマ		
		+	トベラ				
T2 亜高木層							
被度・群度	種名						
3:3	モモタマナ						
1:1	ギンネム						
+	トベラ						

付表－ 6.12.1 (79) 群落組成調査結果

調査地点: No.79		調査年月日: 平成 23年 5月 30日			
群落名: シマグワ群落					
地形:	平地	海拔:	0.6 m	傾斜:	0 °
土壌:	未熟土	方位:	-	面積:	5 × 5 m
風当:	強	日当:	陽	土湿:	適
階層		優占種		高さ	
T1	高木層			~	m
T2	亜高木層			~	m
S	低木層	シマグワ	~	4	m
H1	草本第1層	シイノキカズラ	~	0.5	m
H2	草本第2層			~	m
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層	
H2 草本第2層					
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		4.3	シマグワ	1.1	シイノキカズラ
		+	ススキ	1.1	スナヅル
				+	キダチハマグルマ
T2 亜高木層					
被度・群度	種名				

付表－ 6. 12. 1 (81) 群落組成調査結果

調査地点:	No.81	調査年月日:	平成 23年 5月 30日
群落名:	サキシマハマボウ群落		
地形:	平地	海拔:	0.2 m
土壌:	未熟土	方位:	-
風当:	強	日当:	陽
		傾斜:	0 °
		面積:	8 × 8 m
		土湿:	適
階層		優占種	高さ
T1	高木層	サキシマハマボウ	~ 7 m
T2	亜高木層	トベラ	~ 3 m
S	低木層	アダン	~ 0.5 m
H1	草本第1層		
H2	草本第2層		
T1	高木層	S	低木層
		H1	草本第1層
		H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名
		+	サキシマハマボウ
		+	シマグワ
		+	ガジュマル
		1・1	トベラ
		+	クサトベラ
		+	キダチハマグルマ
		+	ハマサルトリイバラ
		+	アオガンビ
		+	ナンゴクハマウド
		1・1	アダン
		+	ノアサガオ
		+	ハリツルマサキ
		+	ガジュマル
		+	マツバラシ
		+	サキシマハマボウ
		+	シンツルムラサキ
		+	トベラ
		+	キダチハマグルマ
		+	シマグワ
T2	亜高木層		
被度・群度	種名		
3・3	サキシマハマボウ		
1・1	ガジュマル		
+	ハマイヌビワ		
+	ギンネム		

付表－ 6. 12. 1 (86) 群落組成調査結果

調査地点: No.86		調査年月日: 平成 23年 5月 31日						
群落名: ソナレシバ群落								
地形:	斜面下部	海拔:	0	m	傾斜:	5	°	
土壌:	未熟土	方位:	S80E		面積:	1	× 1	m
風当:	強	日当:	陽		土湿:	湿		
階層		優占種		高さ		植被率		
T1	高木層			~	m	%		
T2	亜高木層			~	m	%		
S	低木層			~	m	%		
H1	草本第1層	ソナレシバ		~	0.3	95 %		
H2	草本第2層			~	m	%		
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層		H2 草本第2層		
被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	被度 ・ 群度	種名	
				5・5	ソナレシバ			
T2	亜高木層							
被度 ・ 群度	種名							

付表－ 6.12.1 (90) 群落組成調査結果

調査地点:	No.90	調査年月日:	平成	23年	5月	31日	
群落名:	ギンネム群落						
地形:	斜面上部	海拔:	0.6	m	傾斜:	25°	
土壌:	未熟土	方位:	N		面積:	5 × 5 m	
風当:	強	日当:	陽		土湿:	適	
	階層	優占種	高さ			植被率	
T1	高木層		~	m		%	
T2	亜高木層		~	m		%	
S	低木層	ギンネム	~	3	m	30 %	
H1	草本第1層	シロノセンダングサ	~	1	m	60 %	
H2	草本第2層		~	m		%	
T1	高木層	S	低木層	H1	草本第1層	H2	草本第2層
被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名	被度・群度	種名
		3・3	ギンネム	+ 4・4	ススキ シロノセンダングサ		
T2	亜高木層						
被度・群度	種名						

付表－ 6.12.1 (91) 群落組成調査結果

調査地点: No.91		調査年月日: 平成 23年 5月 31日			
群落名: 子ガヤ群落					
地形:	斜面上部	海拔:	0.8 m	傾斜:	20 °
土壌:	未熟土	方位:	N40W	面積:	2 × 2 m
風当:	強	日当:	陽	土湿:	適
階層		優占種		高さ	
T1	高木層	子ガヤ		~	m
T2	亜高木層			~	m
S	低木層			~	m
H1	草本第1層			~	1 m
H2	草本第2層			~	m
T1 高木層		S 低木層		H1 草本第1層	
H2 草本第2層					
被度	種名	被度	種名	被度	種名
・		・		・	
群度		群度		群度	
				4・4	子ガヤ
				1・1	シロノセンダングサ
				+	ハイクサネム
T2	亜高木層				
被度	種名				
・					
群度					

付表－ 6.12.2 重要な種の一覧（環境省第4次レッドリスト対応：陸域植物）

No.	種名	既存の現地調査	現地調査	天然記念物	種の保存法	改訂版沖縄県RDB	環境省RL (第3次)	環境省RL (第4次)
1	マツバラシ		○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
2	コギシギシ		○				絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
3	イソフジ		○				絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧ⅠB類
4	ハリツルマサキ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
5	ミズガンピ	○	○			準絶滅危惧		
6	リュウキュウクロウメモドキ		○				準絶滅危惧	
7	リュウキュウコクタン		○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
8	カワジサ		○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
9	モクビヤクコウ		○			絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
10	タマハリイ		○			準絶滅危惧		
11	ヤリテンツキ	○	○				絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
種数		3	11	0	0	3	9	8

注：重要な種として追加される種を■で、除外される種を■で示す。

付表－ 6.12.3 重要な種の選定基準（陸域植物）

①～④のいずれかに該当しているものを「重要な種」として選定した。

①**天然記念物**：文化財保護法により、保護されている種及び亜種

・ 特天：国指定特別天然記念物 ・ 国天：国指定天然記念物 ・ 県天：沖縄県指定天然記念物

②**種の保存法**：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において以下の項目に選定される種及び亜種

・ 国内希少：国内希少野生動植物種 ・ 国際希少：国際希少野生動植物種

③**環境省 RL**：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」（平成19年10月5日記者発表、環境省）に記載されている種及び亜種

「第4次レッドリストの公表について」（平成24年8月28日記者発表、環境省）に記載されている種及び亜種

- ・ 絶滅危惧Ⅰ類 ：絶滅の危機に瀕している種
- ・ 絶滅危惧ⅠA類 ：絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- ・ 絶滅危惧ⅠB類 ：絶滅の危機に瀕している種のうち、ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・ 絶滅危惧Ⅱ類 ：絶滅の危険が増大している種
- ・ 準絶滅危惧 ：存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ・ 情報不足 ：評価するだけの情報が不足している種
- ・ 地域個体群 ：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

④**沖縄県 RDB**：「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータおきなわ)－植物編－」（平成18年、沖縄県）もしくは「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータおきなわ)－動物編－、（沖縄県、2005年11月）」に記載されている種及び亜種

- ・ 絶滅危惧Ⅰ類 ：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
- ・ 絶滅危惧ⅠA類 ：沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- ・ 絶滅危惧ⅠB類 ：沖縄県ではⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・ 絶滅危惧Ⅱ類 ：沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- ・ 準絶滅危惧 ：沖縄県では存続基盤が脆弱な種
- ・ 情報不足 ：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
- ・ 絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの

付表－ 6.12.4 重要な種の一覧（環境省第4次レッドリスト対応：陸域動物）

No.	種名	既存の現地調査	現地調査	天然記念物	種の保存法	改訂版 沖縄県RDB	水産庁 RDB	環境省RL (第3次)	環境省RL (第4次)
1	ワタセジネズミ	○	○			準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
2	ジャコウネズミ		○			情報不足			
3	オキナワハツカネズミ	○				情報不足			
4	オリオオコウモリ		○			準絶滅危惧			
5	ヒナコウモリ科の一種		○			(絶滅危惧Ⅱ類)			
6	カツオドリ		○			準絶滅危惧			
7	ヨシゴイ	○	○					準絶滅危惧	準絶滅危惧
8	リュウキュウヨシゴイ		○			準絶滅危惧			
9	チュウサギ	○	○			準絶滅危惧	希少	準絶滅危惧	準絶滅危惧
10	ムラサキサギ		○			絶滅危惧Ⅱ類			
11	ヘラサギ		○					情報不足	情報不足
12	クロツラヘラサギ	○	○			絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧ⅠB類
13	ミサゴ	○	○			絶滅危惧Ⅱ類		準絶滅危惧	準絶滅危惧
14	オオタカ		○		国内希少			準絶滅危惧	準絶滅危惧
15	ツミ		○			準絶滅危惧		絶滅危惧IB類	
16	サシバ	○	○					絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
17	ハヤブサ	○	○		国内希少	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
18	ヒクイナ		○			準絶滅危惧		絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
19	オオバン		○			準絶滅危惧			
20	シロチドリ	○	○			準絶滅危惧			絶滅危惧Ⅱ類
21	ハマシギ	○	○						準絶滅危惧
22	アカアシシギ	○	○			絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
23	タカブシギ	○	○						絶滅危惧Ⅱ類
24	オオソリハシシギ	○	○						絶滅危惧Ⅱ類
25	ホウロクシギ	○	○					絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
26	セイタカシギ	○	○			絶滅危惧Ⅱ類	希少	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
27	ツバメチドリ	○	○			絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
28	ズグロカモメ		○			絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
29	オオアジサシ		○			絶滅危惧Ⅱ類	希少	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
30	ベニアジサシ		○			準絶滅危惧		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
31	エリグロアジサシ		○			準絶滅危惧	減少傾向	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
32	コアジサシ	○	○		国際希少	絶滅危惧Ⅱ類	減少傾向	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
33	ヒメアマツバメ	○	○			準絶滅危惧			
34	アカショウビン		○			準絶滅危惧			
35	カワセミ	○	○			準絶滅危惧			
36	サンショウウグイ		○			準絶滅危惧		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
37	サンコウチョウ		○			情報不足			
38	キノボリトカゲ	○	○			絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
39	オキナワトカゲ	○	○			準絶滅危惧		準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類
40	アマミタカチホヘビ	○	○			準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
41	ハイロイボサシガメ		○						準絶滅危惧
42	オキナワシロヘリハンミョウ		○						準絶滅危惧
43	コガタノゲンゴロウ		○					絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類
44	ヤマトアシナガバチ		○						情報不足
45	アオミオカタニシ	○	○					準絶滅危惧	準絶滅危惧
46	オイランカワザンショウ		○					準絶滅危惧	準絶滅危惧
47	ノミガイ		○					絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
48	イトマンケマイマイ	○	○			準絶滅危惧			
49	トウガタホソマイマイ	○	○			絶滅危惧ⅠB類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類
50	ヤシガニ		○			絶滅危惧Ⅱ類	希少	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
51	オオナキオカヤドカリ		○	国天		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
52	オカヤドカリ	○	○	国天			減少傾向		
53	ムラサキオカヤドカリ	○	○	国天					
54	ナキオカヤドカリ	○	○	国天					
55	コムラサキオカヤドカリ		○	国天		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
	種数	29	53	5	3	37	9	32	38

注：重要な種として追加される種を■で、除外される種を■で示す。

付表－ 6.12.5 重要な種の選定基準（陸域動物）

①～⑤のいずれかに該当しているものを「重要な種」として選定した。

①天然記念物：文化財保護法により、保護されている種及び亜種

- ・ 特天：国指定特別天然記念物
- ・ 国天：国指定天然記念物
- ・ 県天：沖縄県指定天然記念物

②種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において以下の項目に選定される種及び亜種

- ・ 国内希少：国内希少野生動植物種
- ・ 国際希少：国際希少野生動植物種

③環境省 RL：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」（平成19年10月5日記者発表、環境省）に記載されている種及び亜種
「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」（平成18年12月22日記者発表、環境省）に記載されている種及び亜種
「第4次レッドリストの公表について」（平成24年8月28日記者発表、環境省）に記載されている種及び亜種

- ・ 絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種
- ・ 絶滅危惧ⅠA類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- ・ 絶滅危惧ⅠB類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・ 絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種
- ・ 準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ・ 情報不足：評価するだけの情報が不足している種
- ・ 地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

④沖縄県 RDB：「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）－動物編－、（沖縄県、2005年11月）」に記載されている種及び亜種

- ・ 絶滅危惧Ⅰ類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
- ・ 絶滅危惧ⅠA類：沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- ・ 絶滅危惧ⅠB類：沖縄県ではⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・ 絶滅危惧Ⅱ類：沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- ・ 準絶滅危惧：沖縄県では存続基盤が脆弱な種
- ・ 情報不足：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
- ・ 絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの

⑤水産庁 RDB：「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」（水産庁、2000年）

- ・ 絶滅危惧種：絶滅の危機に瀕している種・亜種。
- ・ 危急種：絶滅の危険が増大している種・亜種。
- ・ 希少種：存続基盤が脆弱な種・亜種。
- ・ 減少種：明らかに減少しているもの。
- ・ 減少傾向：長期的に見て減少しつつあるもの。

付表－ 6.13.1 (1) 底生生物（メガロベントス）地点別調査結果概要（定点調査）

調査期日：冬季：平成23年 1月27日～ 2月 9日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月29日～ 8月18日
 秋季：平成23年10月 7日～11月 3日

項目 / 調査地点			礁池・礁縁域				
			B1	B2	B3	B4	B5
出現 種類数	季節別	冬季	14	31	26	18	30
		春季	13	51	26	24	37
		夏季	14	42	18	21	40
		秋季	10	48	23	24	36
	分類別	軟体動物門	8	23	29	19	39
		節足動物門	14	14	17	17	20
		棘皮動物門	4	24	5	8	12
		脊索動物門	3	10	2	2	3
		その他	9	29	9	6	11
	合計		38	100	62	52	85
主な出現種		オサカニ亜属 メカニカニ種群	タマイワシギンチャク ゼニシ属	ムカデガイ科	イワウチガイサ リュウキュウムカデガイ ムカデガイ科	イワウチガイサ ムカデガイ科	

項目 / 調査地点			礁池・礁縁域				
			B6	B7	B8	B9	B10
出現 種類数	季節別	冬季	13	9	25	22	29
		春季	20	9	17	28	37
		夏季	7	9	30	23	46
		秋季	9	13	38	40	52
	分類別	軟体動物門	13	10	41	37	44
		節足動物門	15	14	13	17	17
		棘皮動物門	1	1	2	1	12
		脊索動物門	2	3	7	10	9
		その他	4	3	12	9	15
	合計		35	31	75	74	97
主な出現種		-	ヨコエビ目	-	-	-	

項目 / 調査地点			礁池・礁縁域			
			B11	B12	B13	B14
出現 種類数	季節別	冬季	21	3	41	20
		春季	38	6	52	23
		夏季	11	4	34	14
		秋季	33	10	33	21
	分類別	軟体動物門	28	9	33	11
		節足動物門	18	4	23	15
		棘皮動物門	8	1	11	4
		脊索動物門	4	0	6	3
		その他	13	5	19	17
	合計		71	19	92	50
主な出現種		リュウキュウムカデガイ	-	ムカデガイ科		

付表－ 6.13.1 (2) 底生生物（メガロベントス）地点別調査結果概要（定点調査）

調査期日：冬季：平成23年 1月27日～ 2月 9日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月29日～ 8月18日
 秋季：平成23年10月 7日～11月 3日

項目 / 調査地点			干潟域				
			B15	B16	B17	B18	B19
出現 種類数	季節別	冬季	24	19	14	12	18
		春季	29	29	16	17	20
		夏季	15	22	16	19	14
		秋季	27	27	11	11	11
	分類別	軟体動物門	24	31	14	10	19
		節足動物門	13	16	13	19	16
		棘皮動物門	3	4	1	0	0
		脊索動物門	0	0	0	0	0
		その他	4	7	7	5	4
	合計		44	58	35	34	39
主な出現種		コマフニナ ヒバ ^レ リガ ^レ イ ^レ ト ^レ キ オキナワシタ ^レ タミ マダ ^レ ラヨコハ ^レ サミ ウキ ^レ ガニ	-	-	-	ニカ ^レ イ	ヘリリアオリ カリガ ^レ ネガ ^レ イ シロアオリ カイシアオリ

項目 / 調査地点			干潟域				
			B20	B21	B22	B23	B24
出現 種類数	季節別	冬季	7	8	20	16	5
		春季	5	12	24	13	7
		夏季	8	8	14	17	2
		秋季	10	8	24	16	4
	分類別	軟体動物門	4	7	27	11	4
		節足動物門	11	8	18	13	5
		棘皮動物門	0	0	3	0	0
		脊索動物門	0	0	0	0	0
		その他	4	4	7	2	2
	合計		19	19	55	26	11
主な出現種		リュウキュウコメツカ ^レ ニ	-	-	ヒメシオマネ	リュウキュウコメツカ ^レ ニ ミナミコメツカ ^レ ニ	

項目 / 調査地点			干潟域		計
			B25	B26	
出現 種類数	季節別	冬季	13	34	285
		春季	14	28	332
		夏季	11	25	276
		秋季	12	30	296
	分類別	軟体動物門	6	29	269
		節足動物門	12	22	159
		棘皮動物門	0	1	48
		脊索動物門	0	0	18
		その他	1	6	94
	合計		19	58	588
主な出現種		ハナタリ ゴカイ綱 ヒメヤマトオサガ ^レ ニ ツメナカ ^レ ヨコハ ^レ サミ ユビナガ ^レ ホヤト ^レ カリ	オハク ^レ ロガ ^レ キ属 カヤノミカニモリ シマヘ ^レ ツコウハイ ツマキヨコハ ^レ サミ キカイホヤト ^レ カリ		

注：1. 主な出現種は50個体以上（cc, c）確認された種のうち、出現頻度の上位5種を示す。
 2. 主な出現種の欄の-は50個体以上（cc, c）の種が確認されなかったことを示す。

付表－ 6.13.2 (1) 底生生物（メガロベントス）地点別調査結果概要（定性調査）

調査期日：冬季：平成23年 1月27日～ 2月 9日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月29日～ 8月18日
 秋季：平成23年10月 7日～11月 3日

項目 / 調査地点			干潟域				
			B15周辺	B16周辺	B17周辺	B18周辺	B19周辺
出現 種類数	季節別	冬季	61	54	39	42	47
		春季	68	59	53	49	57
		夏季	59	81	40	57	44
		秋季	63	40	35	40	45
	分類別	軟体動物門	51	55	37	36	43
		節足動物門	60	63	48	54	48
		棘皮動物門	3	6	3	2	3
		脊索動物門	0	1	0	0	0
		その他	15	13	14	14	15
	合計		129	138	102	106	109
主な出現種		ゴマフニナ ヒバ ^レ リカ ^イ イト ^レ キ オウキ ^レ ガ ^ニ ナキオヤト ^レ カ ^リ タテジ ^レ マヨコ ^レ ハ ^レ サ ^ミ	-	オキナワヒライソ ^レ ガ ^ニ	ニオカ ^レ イ イソハマク ^レ リ ヒツ ^レ メカ ^レ ニ ハリトリア ^レ オリ ヒメシオマ ^レ ネキ	ゴマフニナ ハリトリア ^レ オリ カリガ ^レ ネカ ^レ イ オハク ^レ ロカ ^レ キ タテジ ^レ マヨコ ^レ ハ ^レ サ ^ミ	

項目 / 調査地点			干潟域				
			B20周辺	B21周辺	B22周辺	B23周辺	B24周辺
出現 種類数	季節別	冬季	10	11	19	30	11
		春季	19	17	44	29	13
		夏季	25	15	43	41	12
		秋季	27	16	28	34	15
	分類別	軟体動物門	14	7	26	19	9
		節足動物門	36	24	37	35	18
		棘皮動物門	1	0	4	0	1
		脊索動物門	0	0	0	0	0
		その他	5	4	12	4	4
	合計		56	35	79	58	32
主な出現種		ブ ^レ ビ ^レ エスナモク ^レ リ リュウキュウコメツキ ^レ ガ ^ニ タテジ ^レ マヨコ ^レ ハ ^レ サ ^ミ エビ ^レ ナカ ^レ ホンヤト ^レ カ ^リ	ブ ^レ ビ ^レ エスナモク ^レ リ	ツマジ ^レ ロサンコ ^レ ヤト ^レ カ ^リ	リュウキュウウミ ^レ ニナ イホ ^レ ウミ ^レ ニナ ヒメシオマ ^レ ネキ タイワンアシハラ ^レ ガ ^ニ ツノメチコ ^レ ガ ^ニ	リュウキュウコメツキ ^レ ガ ^ニ ブ ^レ ビ ^レ エスナモク ^レ リ ミナミコメツキ ^レ ガ ^ニ	

項目 / 調査地点			干潟域				
			B25周辺	B26周辺	区域ア	区域イ	区域ウ
出現 種類数	季節別	冬季	22	42	41	18	47
		春季	19	51	84	50	67
		夏季	25	50	94	53	79
		秋季	22	39	69	37	59
	分類別	軟体動物門	12	35	77	52	54
		節足動物門	22	39	80	43	62
		棘皮動物門	0	0	4	2	5
		脊索動物門	0	0	0	0	0
		その他	3	10	11	6	15
	合計		37	84	172	103	136
主な出現種		リュウキュウウミ ^レ ニナ イホ ^レ ウミ ^レ ニナ ハナタリ ヒメヤマトオサ ^レ ガ ^ニ ヒメシオマ ^レ ネキ	カヤノミカニモリ カンキ ^レ ク シマハ ^レ ツコウ ^レ バイ アマオブ ^レ ネカ ^レ イ コウタ ^レ カハラマツ ^レ ガ ^レ イ	ゴマフニナ オキナワイシタ ^レ タミ ブ ^レ ビ ^レ エスナモク ^レ リ コブ ^レ シアナシ ^レ ヤコ キイロタ ^レ カラ	キハ ^レ アマカ ^レ イ イホ ^レ タマキ ^レ イソアワモチ	ハリトリア ^レ オリ イタホ ^レ カ ^レ キ科 ニオカ ^レ イ ミナミクロフシ ^レ ツホ ^レ ブ ^レ ビ ^レ エスナモク ^レ リ	

付表－ 6.13.2 (2) 底生生物（メガロベントス）地点別調査結果概要（定性調査）

調査期日：冬季：平成23年 1月27日～ 2月 9日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月29日～ 8月18日
 秋季：平成23年10月 7日～11月 3日

項目 / 調査地点		干潟域			計	
		区域エ	区域オ	区域カ		
出現 種類数	季節別	冬季	20	24	38	245
		春季	25	56	34	300
		夏季	33	73	53	312
		秋季	24	27	47	268
	分類別	軟体動物門	30	44	32	196
		節足動物門	19	58	40	220
		棘皮動物門	0	3	0	15
		脊索動物門	0	0	0	1
		その他	2	10	0	59
	合計		51	115	72	491
主な出現種		コマフニナ コウダカカラムツカイ ヘトリアオリ ヒバリカイトトキ オハグロガキ	タテジマヨコハサミ ブビエスナモグリ ヒツメガニ シメジメガオサガニ ヒラカキ	リュウキュウウミナ イボウミナ ヘナダリ ツノメチコガニ ヒメヤマトオサガニ		

注：1. 主な出現種は50個体以上 (cc, c) 確認された種のうち、出現頻度の上位5種を示す。
 2. 主な出現種の欄の-は50個体以上 (cc, c) の種が確認されなかったことを示す。

付表一 6.13.3 (1) サンゴ類の出現状況及び地点状況

調査地点		St. A			
調査時期	冬季	春季	夏季	秋季	
調査期日	2011/3/13	2011/5/26	2011/8/11	2011/11/3	
水深	6.0m				
底質概観	岩盤				
浮泥堆積状況	なし	なし	なし	なし	
サンゴ類総被度	30%	40%	20%	20%	
上位種	ハラジカハナヤシイソゴ : 10% イボハダハナヤシイソゴ : 5%未満 ミドリイソ属 (卓状) : 5%未満 モモンソゴ属 (被覆状) : 5%未満	ハラジカハナヤシイソゴ : 20% イボハダハナヤシイソゴ : 5%未満 ミドリイソ属 (卓状) : 5%未満 モモンソゴ属 (被覆状) : 5%未満	ハラジカハナヤシイソゴ : 10% イボハダハナヤシイソゴ : 5%未満 ミドリイソ属 (卓状) : 5%未満 モモンソゴ属 (被覆状) : 5%未満	ハラジカハナヤシイソゴ : 10% イボハダハナヤシイソゴ : 5%未満 ミドリイソ属 (卓状) : 5%未満 モモンソゴ属 (被覆状) : 5%未満	
成育型	特定類優占型：ハナヤシイソゴ属	特定類優占型：ハナヤシイソゴ属	特定類優占型：ハナヤシイソゴ属	特定類優占型：ハナヤシイソゴ属	
白化段階	なし	なし	なし	なし	
種サンゴ (5cm未満群体の加入度)	なし	なし	あり (優占種：ハナヤシイソゴ属)	あり (優占種：ハナヤシイソゴ属)	
卓状ミドリイソ類のサイズ 上位5群体 (cm)	50, 40, 40, 40, 30	50, 50, 40, 40, 30	30, 20, 10, 10, 10	30, 20, 50, 60, 50, 40, 40	
ソフトコーラル総被度	なし	5%未満	5%未満	5%未満	
上位種	ウキソコ属 : 5%未満 ウネケ属 : 5%未満	ウキソコ属 : 5%未満 ウネケ属 : 5%未満	ウキソコ属 : 5%未満 ウネケ属 : 5%未満 カタサカ属 : 5%未満		
オニヒトデ	なし	なし	なし	なし	
ソレイシウイダマシ	なし	なし	なし	なし	
特記事項	なし	なし	流れが強い	流れが強い	

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (2) サンゴ類の出現状況及び地点状況

調査地点				St. B			
調査時季	冬季	春季	夏季	秋季			
調査期日	2011/3/13	2011/6/1	2011/8/11	2011/11/3			
水深	0.5m			6.8m			
岩盤							
浮泥堆積状況	なし			なし			
サンゴ類総被度	30%	30%	20%	20%	なし		
上位種	シト ^レ リイ属 (卓状) イボ ^ハ ダ ^ハ ハヤイヤンゴ ^コ リュウ ^キ エウ ^カ ナサンゴ ^コ	シト ^レ リイ属 (卓状) イボ ^ハ ダ ^ハ ハヤイヤンゴ ^コ リュウ ^キ エウ ^カ ナサンゴ ^コ	シト ^レ リイ属 (卓状) イボ ^ハ ダ ^ハ ハヤイヤンゴ ^コ リュウ ^キ エウ ^カ ナサンゴ ^コ	シト ^レ リイ属 (卓状) イボ ^ハ ダ ^ハ ハヤイヤンゴ ^コ リュウ ^キ エウ ^カ ナサンゴ ^コ	シト ^レ リイ属 (卓状) イボ ^ハ ダ ^ハ ハヤイヤンゴ ^コ リュウ ^キ エウ ^カ ナサンゴ ^コ	なし	
成育型	多種混生型			特定種優占型：ハヤイヤンゴ ^コ 属			
白化段階	10～50%			なし			
種サンゴ ^コ (5cm未満群体の加入度)	なし			あり (優占種：ハヤイヤンゴ ^コ 属)			
卓状シト ^レ リイ類のサイズ 上位5群体 (cm)	40, 30, 30, 30, 30			30, 20, 10, 10, 10			
ソフトコーラル総被度	0%			5%未満			
上位種				ウキ ^コ 属 ウチ ^カ 属 カト ^カ 属	ウキ ^コ 属 ウチ ^カ 属 カト ^カ 属	5%未満 5%未満 5%未満	
ホト ^テ ダ ^テ	なし			なし			
シロ ^イ シ ^カ イ ^ダ マ ^ン	なし			なし			
特記事項	なし			流れが強い			
				台風による波砕跡あり			

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (3) サンゴ類の出現状況及び地点状況

St. C			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時季			秋季
調査期日	2011/3/13	2011/6/3	2011/8/11
水深	3.2m		4.6m
底質概観	岩盤		
浮泥堆積状況	なし	なし	なし
サンゴ類総被度	30%	30%	30%
上位種	アオサンゴ : 30% ミドリサンゴ属 (卓状) : 5%未満 キクメイソ属 : 5%未満	アオサンゴ : 30% ミドリサンゴ属 (卓状) : 5%未満 キクメイソ属 : 5%未満	アオサンゴ : 30% ハマサンゴ属 (塊状) : 5%未満 キクメイソ属 : 5%未満 ミドリサンゴ属 (卓状) : 5%未満
成育型	特定種優占型：アオサンゴ	特定種優占型：アオサンゴ	特定種優占型：アオサンゴ
白化段階	なし	なし	なし
種サンゴ (5cm未満群体の加入度)	なし	なし	なし
卓状ミドリサンゴ類のサイズ 上位5群体 (cm)	40, 30, 20, 20, 20	40, 40, 30, 20, 20	30, 20, 20, 20, 20
ソフトコーラル総被度	5%未満	5%未満	5%未満
上位種	ウネカ属 : 5%未満 ウミキノコ属 : 5%未満 ウトサカ属 : 5%未満	ウネカ属 : 5%未満 ウミキノコ属 : 5%未満 ウトサカ属 : 5%未満	ウネカ属 : 5%未満 ウミキノコ属 : 5%未満 ウトサカ属 : 5%未満
オートデ	なし	なし	なし
ソレイシガイダマシ	なし	なし	なし
特記事項	なし	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (4) サンゴ類の出現状況及び地点状況

St.D			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期	2011/3/13	2011/6/3	2011/8/11
調査期日	2011/3/13	2011/6/3	2011/8/11
水深	7.3m	2.2m	2.2m
底質概観	岩盤、サンゴ礫	岩盤、サンゴ礫	岩盤
浮泥堆積状況	なし	なし	なし
サンゴ類総被度	30%	30%	30%
上位種	アオサンゴ : 30% キクメイシ属 : 5%未満 ハマサンゴ属 (被覆状) : 5%未満	アオサンゴ : 30% キクメイシ属 : 5%未満 ハマサンゴ属 (被覆状) : 5%未満 アオサンゴモトギ属 : 5%未満	アオサンゴ : 30% キクメイシ属 : 5%未満 ハマサンゴ属 (被覆状) : 5%未満
成育型	特定種優占型：アオサンゴ	特定種優占型：アオサンゴ	特定種優占型：アオサンゴ
白化段階	なし	なし	なし
種サンゴ (5cm未満群体の加入度)	なし	なし	なし
卓状・リソ類のサイズ 上位5群体 (cm)	なし	なし	なし
ソフトコーラル総被度	5%未満	5%未満	5%未満
上位種	ウミキノコ属 : 5%未満 ウネケ属 : 5%未満 トゲトケ属 : 5%未満	ウミキノコ属 : 5%未満 ウネケ属 : 5%未満 トゲトケ属 : 5%未満	ウミキノコ属 : 5%未満 ウネケ属 : 5%未満 カトケ属 : 5%未満
オニイトビ	なし	なし	なし
ソレイシガイダマシ	なし	なし	なし
特記事項	なし	なし	アオサンゴに海藻の付着あり

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (5) サンゴ類の出現状況及び地点状況

St.E			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期			秋季
調査期日	2011/3/13	2011/6/18	2011/8/11
水深	2.0m		2011/11/1
底質概観	岩盤		
浮泥推積状況	なし	なし	なし
サンゴ類総被度	50%	30%	20%
上位種	ミドリイソ属 (卓状) : 45% キメイソ属 : 5%未満 イボハダハヤサイサンゴ : 5%未満	ミドリイソ属 (卓状) : 25% キメイソ属 : 5%未満 イボハダハヤサイサンゴ : 5%未満	ミドリイソ属 (卓状) : 15% ハヤサイサンゴ属 : 5%未満 コカモノコキメイソ属 : 5%未満
成育型	特定種優先型：ミドリイソ属 (卓状)	特定種優先型：ミドリイソ属 (卓状)	特定種優先型：ミドリイソ属 (卓状)
白化段階	10～50%	40%	20%
稚サンゴ (5cm未満群体の加入度)	5群体未満/1㎡	5群体未満/1㎡	なし
卓状ミドリイソ類のサイズ上位5群体 (cm)	100, 90, 90, 80, 80	100, 90, 90, 80, 80	90, 80, 50, 80, 100
ソフトコーラル総被度	5%未満	5%未満	5%未満
上位種	ウネケ属 : 5%未満 ウミキノコ属 : 5%未満	ウネケ属 : 5%未満 ウミキノコ属 : 5%未満	ウミキノコ属 : 5%未満
ホトテ	なし	なし	なし
シロレイガ イダマン	なし	なし	なし
特記事項	なし	台風の影響でくずれ白化 その上に海藻が付着	台風の影響でくずれ白化 その上に海藻が付着

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (6) サンゴ類の出現状況及び地点状況

St. F			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期			秋季
調査期日	2011/3/13	2011/6/18	2011/8/17
水深	0.3m	0.0m	
底質概観	岩盤		
浮泥堆積状況	なし	なし	なし
サンゴ類総被度	30%	20%	15%
上位種	ミドリイシ属 (卓状) : 25% ミドリイシ属 (枝状) : 5%未満 イボハダハヤサイソゴ : 5%未満	ミドリイシ属 (卓状) : 15% ミドリイシ属 (枝状) : 5%未満 イボハダハヤサイソゴ : 5%未満	ミドリイシ属 (卓状) : 10% ミドリイシ属 (枝状) : 5%未満 イボハダハヤサイソゴ : 5%未満
成育型	特定種優先型：ミドリイシ属 (卓状)	特定種優先型：ミドリイシ属 (卓状)	特定種優先型：ミドリイシ属 (卓状)
白化段階	なし	30%	40%
種サンゴ (5cm未満群体の加入度)	なし	なし	なし
卓状ミドリイシ類のサイズ 上位5群体 (cm)	80, 60, 50, 50, 50	100, 60, 50, 50, 50	60, 60, 50, 50, 50
ソフトコーラル総被度	5%未満	5%未満	5%未満
上位種	ウキソコ属 : 5%未満 ウネカ属 : 5%未満	ウキソコ属 : 5%未満 ウネカ属 : 5%未満	ウキソコ属 : 5%未満 ウネカ属 : 5%未満
オヒトデ	なし	なし	なし
シロレイガイダマ	なし	なし	なし
特記事項	なし	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (7) サンゴ類の出現状況及び地点状況

調査地点		St.G		
調査時期	冬季	春季	夏季	秋季
調査期日	2011/3/13	2011/6/18	2011/8/11	2011/11/1
水深	0.6m	1.4m		
底質概観	岩盤、転石、砂	岩盤、転石、砂	岩盤、転石、砂	岩盤、レキ
浮泥堆積状況	なし	なし	なし	なし
サンゴ類総被度	10%	10%	10%	10%
上位種	ハマサンゴ属 (塊状) : 10% ミドリイシ属 (卓状) : 5%未満 キクメイシ属 : 5%未満	ハマサンゴ属 (塊状) : 10% ミドリイシ属 (卓状) : 5%未満 キクメイシ属 : 5%未満	ハマサンゴ属 (塊状) : 10% ミドリイシ属 (卓状) : 5%未満 キクメイシ属 : 5%未満	ハマサンゴ属 (塊状) : 10% キクメイシ属 : 5%未満 ココノコキクメイシ属 : 5%未満
成育型	特定種優先型：ハマサンゴ属 (塊状)	特定種優先型：ハマサンゴ属 (塊状)	特定種優先型：ハマサンゴ属 (塊状)	特定種優先型：ハマサンゴ属 (塊状)
白化段階	0%	0%	1%	5%未満
種サンゴ (5cm未満群体の加入度)	1群体未満/1㎡	1群体未満/1㎡	1群体未満/1㎡	なし
卓状ミドリイシ類のサイズ 上位5群体 (cm)	30	30	10	-
ソフトコーラル総被度	5%未満	5%未満	5%未満	0%
上位種	ウツカカ属 : 5%未満	ウツカカ属 : 5%未満	ウツカカ属 : 5%未満	
オニイトビ	なし	なし	なし	なし
シロイシガイダマシ	なし	なし	なし	なし
特記事項	なし	なし	台風によりハマサンゴが移動	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (8) サンゴ類の出現状況及び地点状況

調査地点	St. H		
	春季	夏季	秋季
調査時期	2011/5/26	2011/8/18	2011/10/28
調査期日	1. 2m		
水深	1. 2m		
底質概観	岩盤、砂レキ	岩盤、砂レキ	岩盤、砂レキ
浮泥堆積状況	なし	なし	なし
サンゴ類総被度	5%	5%未満	5%未満
上位種	ミドリイソ (卓状) : 5%未満 ヤッコアミサンゴ : 5%未満 カンボクアサンゴモドキ : 5%未満	ミドリイソ (卓状) : 5%未満 ヤッコアミサンゴ : 5%未満 エダコモンサンゴ : 5%未満	ミドリイソ (卓状) : 5%未満 ヤッコアミサンゴ : 5%未満 エダコモンサンゴ : 5%未満 ハマサンゴ属 (塊状) : 5%未満 カンボクアサンゴモドキ : 5%未満
成育型	多種混生型	多種混生型	多種混生型
白化段階	なし	なし	1%
種サンゴ (5cm未満群体の加入度)	なし	なし	なし
卓状ミドリイソ類のサイズ 上位5群体 (cm)	80, 70, 50, 30, 30	35, 15, 20, 15	15, 20
ソフトコーラル総被度	5%未満	0%	0%
上位種	カタシカ属 : 5%未満		
オホヒトデ	なし	なし	なし
シロイソカゲイダマシ	なし	なし	なし
特記事項	なし	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.3 (9) サンゴ類の出現状況及び地点状況

St. I			
調査地点	春季	夏季	秋季
調査時季			
調査期日	2011/6/10	2011/8/18	2011/11/3
水深	-0.8m		
底質概観	サンゴレキ、砂	サンゴレキ、砂	サンゴレキ、砂
浮泥堆積状況	なし	なし	なし
サンゴ類総被度	10%	10%	なし
上位種	エダコモヤサンゴ : 10%	エダコモヤサンゴ : 10%	エダコモヤサンゴ : 10%
成育型	特定種優占型：エダコモヤサンゴ	特定種優占型：エダコモヤサンゴ	特定種優占型：エダコモヤサンゴ
白化段階	なし	なし	なし
稚サンゴ (5cm未満群体の加入度)	なし	なし	なし
草状ミドリソウ類のサイズ 上位5群体 (cm)	40, 40, 30, 20, 20	40, 40, 30, 20, 20	40, 40, 30, 20, 20
フトコロール総被度	0%	0%	0%
上位種			
ホトドブ	なし	なし	なし
ソレイシカ、イダマツ	なし	なし	なし
特記事項	なし	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とし、基準面より高い場所はマイナス表記で示した。

付表一 6.13.3 (10) サンゴ類の出現状況及び地点状況

調査地点	St. J	
	春季	夏季
調査時期	2011/6/18	2011/8/18
調査期日	2011/6/18	2011/8/18
水深	0.7m	
底質概観	岩盤、サンゴ礫	岩盤
浮泥堆積状況	なし	なし
サンゴ類総被度	35%	35%
上位種	ミドリイシ (卓状) : 30% ハナヤシサンゴ属 : 5%未満 キクメイシ属 : 5%未満	ミドリイシ (卓状) : 30% ハナヤシサンゴ属 : 5%未満 キクメイシ属 : 5%未満
成育型	特定種優占型：ミドリイシ (卓状)	特定種優占型：ミドリイシ (卓状)
白化段階	10%	なし
稚サンゴ (5cm未満群体の加入度)	なし	1群体/㎡
卓状ミドリイシ類のサイズ上位5群体 (cm)	100, 90, 90, 80, 80	80, 70, 60, 60, 60
ソフトコーラル総被度	0%	5%未満
上位種		カタサカ属 : 5%未満
オニヒトデ	なし	なし
シロイシカ、イダマシ	なし	なし
特記事項	なし	なし

注：水深是那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.4 (1) 海草類の出現状況及び地点状況

St. a			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期			秋季
調査期日	2011/3/11	2011/6/10	2011/8/20
水深	0.6m		-0.5m
底質概観	サンゴ礫、砂		
藻場被度	30%	30%	35%
上位種	リュウキュウスカトモ : 20% ウミズグサ : 10% ウミヒルヒ : 5%未満	リュウキュウスカトモ : 20% ウミズグサ : 10% ウミヒルヒ : 5%未満 マツバウミズグサ : 5%未満	リュウキュウスカトモ : 25% ウミズグサ : 10% ウミヒルヒ : 5%未満
浮泥堆積状況	被度 : 0% 堆積厚 : -	被度 : 0% 堆積厚 : -	被度 : 0% 堆積厚 : -
葉上の珪藻類付着状況	付着被度 : 0%	付着被度 : 0%	付着被度 : 0%
葉枯れの被度	10%	10%	5%未満
特記事項	なし	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とし、基準面より高い場所はマイナス表記で示した。

付表一 6.13.4 (2) 海草類の出現状況及び地点状況

St. b				
調査地点	冬季	春季	夏季	秋季
調査時期				
調査期日	2011/3/11	2011/6/10	2011/8/20	2011/11/3
水深	0.7m			
底質概観	サンゴ礫、砂			
藻場被度	30%	25%	35%	25%
上位種	リュウキュウスガモ ウミシジグサ マツバウミシジグサ ウミヒルヒ コアマテ	リュウキュウスガモ ウミシジグサ マツバウミシジグサ ウミヒルヒ コアマテ	リュウキュウスガモ ウミシジグサ マツバウミシジグサ ウミヒルヒ コアマテ	リュウキュウスガモ ウミシジグサ マツバウミシジグサ ウミヒルヒ
浮泥堆積状況	被度：0% 堆積厚：-	被度：0% 堆積厚：-	被度：0% 堆積厚：-	被度：0% 堆積厚：-
葉上の珪藻類付着状況	付着被度：0%	付着被度：10%	付着被度：5%	付着被度：0%
葉枯れの被度	30%	10%	10%	5%未満
特記事項	なし	葉枯れ部にシロカサが付着	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とし、基準面より高い場所はマイナス表記で示した。

付表一 6.13.4 (3) 海草類の出現状況及び地点状況

St. c			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期			秋季
調査期日	2011/3/11	2011/6/10	2011/8/20
水深	0.5m	0.6m	
底質概観	サンゴ礫、砂		
藻場被度	20%	40%	40%
上位種	リュウキユウスカサモ ウミシヅクサ ： 30% ： 5%未満	リュウキユウスカサモ ウミシヅクサ ウミヒトヒ ： 40% ： 5%未満 ： 5%未満	リュウキユウスカサモ ウミシヅクサ ： 35% ： 5%未満
浮泥堆積状況	被度：0% 堆積厚：-	被度：0% 堆積厚：-	被度：0% 堆積厚：-
葉上の珪藻類付着状況	付着被度：0%	付着被度：0%	付着被度：0%
葉枯れの被度	10%	10%	10%
特記事項	葉枯れ部にシオグサ属付着	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.4 (4) 海草類の出現状況及び地点状況

St.d			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期	2011/3/15	2011/6/10	2011/8/20
調査期日	2011/3/15	2011/6/10	2011/8/20
水深	0.8m	-0.6m	
底質概観	サンゴ礫、砂		
藻場被度	20%	40%	40%
上位種	リュウキュウカサゴモ : 20% ウミジググサ : 5%未満 ウミヒルヒ : 5%未満 マツバウミジググサ : 5%未満	リュウキュウカサゴモ : 35% ウミジググサ : 5%未満 ウミヒルヒ : 5%未満 マツバウミジググサ : 5%未満 ハニアマエ : 5%未満	リュウキュウカサゴモ : 35% ウミジググサ : 5%未満 ウミヒルヒ : 5%未満 マツバウミジググサ : 5%未満 ハニアマエ : 5%未満
浮泥・堆積状況	被度 : 20% 堆積厚 : 1~2mm	被度 : 0% 堆積厚 : 1~2mm	被度 : 0% 堆積厚 : -
葉上の珪藻類付着状況	付着被度 : 0%	付着被度 : 0%	付着被度 : 0%
葉枯れの被度	30%	10%	5%未満
特記事項	下げ潮時に流れが速く、海底が深く掘れ、水路状になっている箇所あり。	なし	なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とし、基準面より高い場所はマイナス表記で示した。

付表一 6.13.4 (5) 海草類の出現状況及び地点状況

St. e			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期			秋季
調査期日	2011/3/15	2011/6/10	2011/8/20
水深	0.2m		-0.6m
底質概観	サンゴ礫、砂		
藻場被度	30%	35%	30%
上位種	リュウキュウアマモ : 30% ウミズグサ : 5%未満	リュウキュウアマモ : 30% ウミズグサ : 5%	リュウキュウアマモ : 20% ウミズグサ : 5%未満 ウミヒルモ : 5%未満
浮泥堆積状況	被度 : 0% 堆積厚 : -	被度 : 0% 堆積厚 : -	被度 : 0% 堆積厚 : -
葉上の珪藻類付着状況	付着被度 : 0%未満	付着被度 : 5%未満	付着被度 : 0%
葉枯れの被度	10%	10%	5%未満
特記事項	なし	なし	底質がえぐれている なし

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とし、基準面より高い場所はマイナス表記で示した。

付表一 6.13.4 (6) 海草類の出現状況及び地点状況

St. f			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期	2011/3/15	2011/6/10	2011/8/20
調査日	2011/3/15	2011/6/10	2011/8/20
水深	0.2m	-0.3m	
底質概観	サンゴ礫、砂、岩盤、転石	サンゴ礫、砂、岩盤、転石	砂、岩盤、転石
藻場被度	20%	20%	30%
上位種	ウミズグサ : 10% リュウキユウソクモ : 5% オウシロモ : 5%未満 ウミヒルモ : 5%未満	ウミズグサ : 10% リュウキユウソクモ : 10% オウシロモ : 5%未満 ウミヒルモ : 5%未満	ウミズグサ : 15% リュウキユウソクモ : 15% オウシロモ : 5%未満 ウミヒルモ : 5%未満
浮泥堆積状況	被度：0% 堆積厚：-	被度：0% 堆積厚：-	被度：0% 堆積厚：-
葉上の珪藻類付着状況	付着被度：0%	付着被度：0%	付着被度：0%
葉枯れの被度	10%	10%	5%未満
特記事項	なし	なし	なし

注：水深は那覇港工事前基準面を基準とし、基準面より高い場所はマイナス表記で示した。

付表一 6.13.4 (7) 海草類の出現状況及び地点状況

St. g			
調査地点	冬季	春季	夏季
調査時期			秋季
調査期日	2011/3/18	2011/5/26	2011/8/20
水深	0.6m	0.2m	
底質概観	砂		
藻場被度	10%	10%	10%
上位種	リュウキュウスカモ マツバウミジグサ ウミジグサ ： 5% ： 5%未満 ： 5%未満	リュウキュウスカモ ウミジグサ ホウハブアモ ： 5% ： 5%未満 ： 5%未満	リュウキュウスカモ マツバウミジグサ ウミジグサ ホウハブアモ ： 5% ： 5%未満 ： 5%未満 ： 5%未満
浮泥・堆積状況	被度：10% 堆積厚：1mm未満	被度：10% 堆積厚：1mm未満	被度：5%未満 堆積厚：1mm未満
葉上の珪藻類付着状況	付着被度：5%	付着被度：10%	付着被度：5%未満
葉枯れの被度	5%	5%	5%未満
特記事項	なし	なし	砂 凸凹あり ワギノ属、イトグサ属等の藻類が葉上に付着 (5%未満)

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.4 (8) 海草類の出現状況及び地点状況

St. h			
調査地点	冬季	春季	秋季
調査時季		夏季	
調査期日	2011/3/18	2011/5/26	2011/10/23
水深	0.0m		
底質概観	砂		
藻場被度	砂	砂	砂、サンゴ礫
上位種	5%	5%	5%
	リュウキュウカサゴモ : 5%未満 マツバウミジグサ : 5%未満 ウミジグサ : 5%未満 ウミヒルヒ : 5%未満	リュウキュウカサゴモ : 5%未満 マツバウミジグサ : 5%未満 ウミジグサ : 5%未満 ウミヒルヒ : 5%未満	リュウキュウカサゴモ : 5%未満 マツバウミジグサ : 5%未満 ウミジグサ : 5%未満 ウミヒルヒ : 5%未満 リュウキュウアマモ : 5%未満
浮泥堆積状況	被度：10% 堆積厚：1mm未満	被度：10% 堆積厚：1mm未満	被度：20% 堆積厚：1mm未満
葉上の珪藻類付着状況	付着被度：5%未満	付着被度：5%未満	付着被度：5%未満
葉枯れの被度	5%未満	5%未満	5%未満
特記事項	なし	なし	生物マウント多い

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表一 6.13.4 (9) 海草類の出現状況及び地点状況

調査地点	St. i		
	春季	夏季	秋季
調査時季			
調査期日	2011/5/26	2011/8/20	2011/10/23
水深	0.3m		
底質概観	砂	砂	砂
藻場被度	25%	30%	30%
上位種	リュウキュウスカサモ ウミシグサ ベニアマモ ホウハアモモ マツバウミシグサ 被度：10% 堆積厚：1mm未満	リュウキュウスカサモ ウミシグサ ベニアマモ ホウハアモモ マツバウミシグサ 被度：5%未満 堆積厚：1mm未満	リュウキュウスカサモ ウミシグサ ベニアマモ ホウハアモモ マツバウミシグサ 被度：5%未満 堆積厚：1mm未満
浮泥堆積状況	被度：10% 堆積厚：1mm未満	被度：5%未満 堆積厚：1mm未満	被度：5%未満 堆積厚：1mm未満
葉上の珪藻類付着状況	付着被度：10%	付着被度：10%	付着被度：5%
葉枯れの被度	5%未満	5%未満	5%未満
特記事項	なし	なし	ヤギノリ属、イグサ属等の藻類が葉上に付着 (5%未満)

注：水深は那覇港工事用基準面を基準とした。

付表－ 6.13.5 サンゴ類調査結果概要（サンゴ類・海藻草類スポット調査）

調査期日：冬季：平成23年 2月 3日～ 3月 5日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月31日～ 8月16日
 秋季：平成23年10月 5日～11月 3日

項目 / 調査地点	C1	C2	C3	C4	C5	
種類数	ミドリイシ科	23	3	5	0	1
	ハマサンゴ科	5	7	6	2	9
	クサビライシ科	1	8	1	1	11
	オトゲサンゴ科	5	6	4	0	4
	キクメイシ科	31	43	27	2	16
	その他	18	27	21	12	21
	合計	83	94	64	17	62
主な出現種	アサミサンゴ ハナヤサイサンゴ ハラシカハナヤサイサンゴ	-	アオサンゴ	-	アオサンゴ	

項目 / 調査地点	C6	C7	C8	C9	
種類数	ミドリイシ科	4	13	1	18
	ハマサンゴ科	7	2	7	3
	クサビライシ科	5	1	0	0
	オトゲサンゴ科	3	0	3	0
	キクメイシ科	29	34	24	7
	その他	15	9	4	6
	合計	63	59	39	34
主な出現種	ハマサンゴ属(塊状)	ハマサンゴ属(塊状)	ハマサンゴ属(塊状)	エダコモンサンゴ	

項目 / 調査地点	S1	S2	S3	S4	
種類数	ミドリイシ科	1	1	0	0
	ハマサンゴ科	1	1	0	0
	クサビライシ科	0	0	0	0
	オトゲサンゴ科	0	0	0	0
	キクメイシ科	0	1	0	0
	その他	0	0	0	0
	合計	2	3	0	0
主な出現種	-	-	-	-	

項目 / 調査地点	S5	S6	S7	合計	
種類数	ミドリイシ科	0	0	0	42
	ハマサンゴ科	0	1	0	14
	クサビライシ科	0	0	0	14
	オトゲサンゴ科	0	0	0	11
	キクメイシ科	0	0	0	54
	その他	0	0	0	50
	合計	0	1	0	185
主な出現種	-	-	-		

注：1. 主な出現種は被度5%以上で確認された種を示す。
 2. 主な出現種の欄の-は被度5%以上の種が確認されなかったことを示す。

付表－ 6.13.6 海藻草類調査結果概要（サンゴ類・海藻草類スポット調査）

調査期日：冬季：平成23年 2月 3日～ 3月 5日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月31日～ 8月16日
 秋季：平成23年10月 5日～11月 3日

項目 / 調査地点	C1	C2	C3	C4	C5	
種類数	藍藻	1	1	1	1	1
	紅藻	16	18	23	20	33
	珪藻	1	1	1	0	1
	褐藻	6	3	4	9	8
	緑藻	14	14	17	21	26
	単子葉植物	0	0	0	1	0
	合計	38	37	46	52	69
主な出現種	珪藻綱		イワカワ科 カニテ属 ハイカニテ	アミシグサ属 藍藻綱 カコメノリ ムラチドリ		

項目 / 調査地点	C6	C7	C8	C9	
種類数	藍藻	1	1	1	1
	紅藻	26	15	18	19
	珪藻	1	0	0	0
	褐藻	8	6	9	10
	緑藻	26	15	18	21
	単子葉植物	0	0	0	0
	合計	62	37	46	51
主な出現種	アミシグサ属 イワカワ科 ハイアミシグサ モサスキ属	アミシグサ属 モサスキ属	アミシグサ属 タシグサ属 ヒメシグサ	キツネノオ シオミドロ科 ムラチドリ	

項目 / 調査地点	S1	S2	S3	S4	
種類数	藍藻	0	0	1	1
	紅藻	10	13	7	8
	珪藻	1	0	1	1
	褐藻	5	6	7	2
	緑藻	8	12	20	6
	単子葉植物	1	4	3	5
	合計	25	35	39	23
主な出現種	リュウキュウスカモ オキナワモスク ホソカコメノリ アオリ属 イバラノリ	リュウキュウスカモ アオリ属 シオミドロ科 ホソカコメノリ	アオリ属 シオミドロ科	ホウハアモ リュウキュウスカモ ウミシグサ マツバウミシグサ ウミシグサ属	

項目 / 調査地点	S5	S6	S7	合計	
種類数	藍藻	0	1	1	1
	紅藻	9	10	10	65
	珪藻	1	0	0	1
	褐藻	5	4	4	24
	緑藻	7	6	8	59
	単子葉植物	6	7	4	8
	合計	28	28	27	158
主な出現種	ハニアモ マツバウミシグサ シオミドロ科 珪藻綱	リュウキュウスカモ マツバウミシグサ シオミドロ科	リュウキュウスカモ		

注：1. 主な出現種は被度5%以上で確認された種のうち、出現頻度の上位5種を示す。
 2. 主な出現種の欄の-は被度5%以上の種が確認されなかったことを示す。

付表－ 6.13.7 魚類調査結果概要（サンゴ類・海藻草類スポット調査）

調査期日：冬季：平成23年 2月 3日～ 3月 5日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月31日～ 8月16日
 秋季：平成23年10月 5日～11月 3日

項目 / 調査地点	C1	C2	C3	C4	C5	
種類数	チョウチョウ科	19	15	11	2	11
	スズメダイ科	28	24	29	9	22
	ハナコ科	22	24	24	4	20
	ブダイ科	8	6	9	1	9
	ハセ科	6	14	16	18	13
	ニサダイ科	14	7	10	1	7
	その他	60	43	45	35	39
合計	157	133	144	70	121	
主な出現種	キホシスズメダイ アサトスズメダイ オキナクスズメダイ アマミスズメダイ イシカキスズメダイ	キホシスズメダイ アサトスズメダイ ナカサキスズメダイ	ナカニサ フィリピンスズメダイ アサトスズメダイ オキナクスズメダイ クラカオスズメダイ	テハスズメダイ ミスジリュウキュウスズメダイ	オキナクスズメダイ アサトスズメダイ アマミスズメダイ ナカサキスズメダイ ニセネットアイスズメダイ	

項目 / 調査地点	C6	C7	C8	C9	
種類数	チョウチョウ科	10	9	12	4
	スズメダイ科	34	32	26	12
	ハナコ科	29	24	20	12
	ブダイ科	11	6	8	2
	ハセ科	20	8	16	7
	ニサダイ科	14	11	11	1
	その他	55	44	51	24
合計	173	134	144	62	
主な出現種	ナカニサ アオブダイ属 アサトスズメダイ オキナクスズメダイ クラカオスズメダイ	オキナクスズメダイ ナカニサ アオブダイ属 キヒナコ属 キホシスズメダイ	-	-	

項目 / 調査地点	S1	S2	S3	S4	
種類数	チョウチョウ科	0	1	3	0
	スズメダイ科	0	5	8	4
	ハナコ科	4	6	4	5
	ブダイ科	0	0	0	0
	ハセ科	6	4	5	8
	ニサダイ科	0	0	2	0
	その他	11	9	12	24
合計	21	25	34	41	
主な出現種	-	-	ニシン科 ロクセンスズメダイ	ニシン科	

項目 / 調査地点	S5	S6	S7	合計	
種類数	チョウチョウ科	0	0	0	21
	スズメダイ科	3	0	0	54
	ハナコ科	4	2	2	57
	ブダイ科	0	0	0	19
	ハセ科	11	6	4	56
	ニサダイ科	1	0	0	22
	その他	23	8	8	163
合計	42	16	14	392	
主な出現種	-	-	-		

注：1. 主な出現種は50個体以上 (cc, c) 確認された種のうち、出現頻度の上位5種を示す。
 2. 主な出現種の欄の-は50個体以上 (cc, c) の種が確認されなかったことを示す。

付表－ 6.13.8 大型底生生物調査結果概要（サンゴ類・海藻草類スポット調査）

調査期日：冬季：平成23年 2月 3日～ 3月 5日
 春季：平成23年 5月 6～20日
 夏季：平成23年 7月31日～ 8月16日
 秋季：平成23年10月 5日～11月 3日

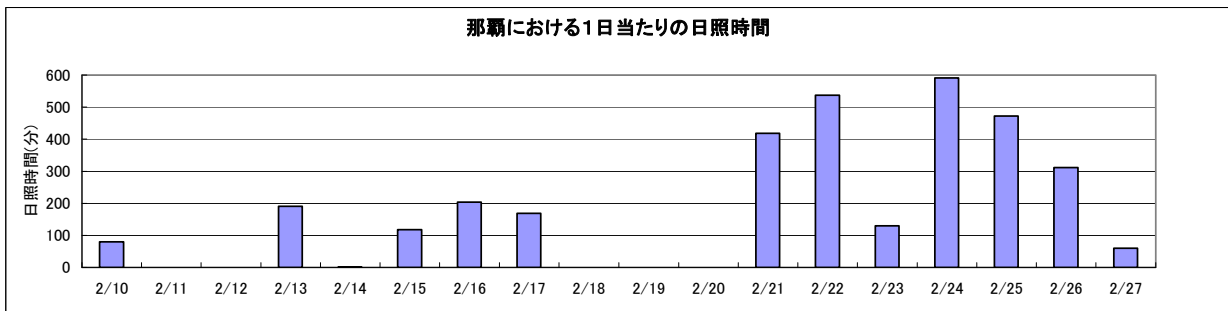
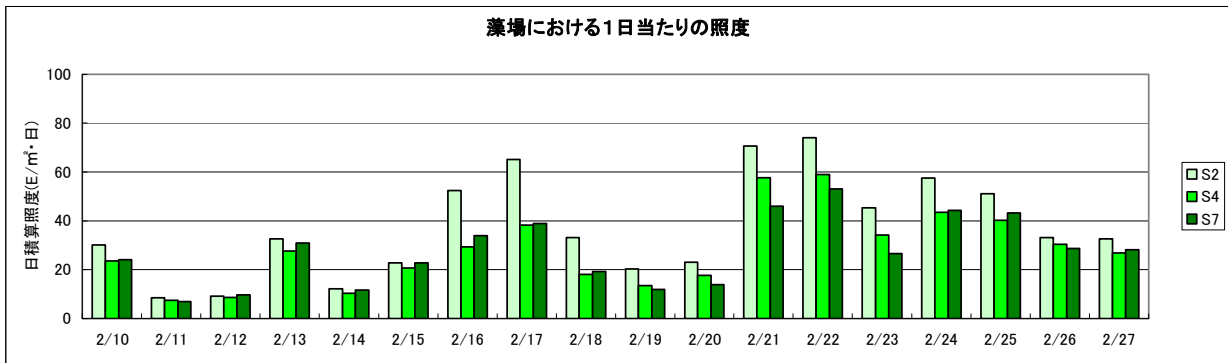
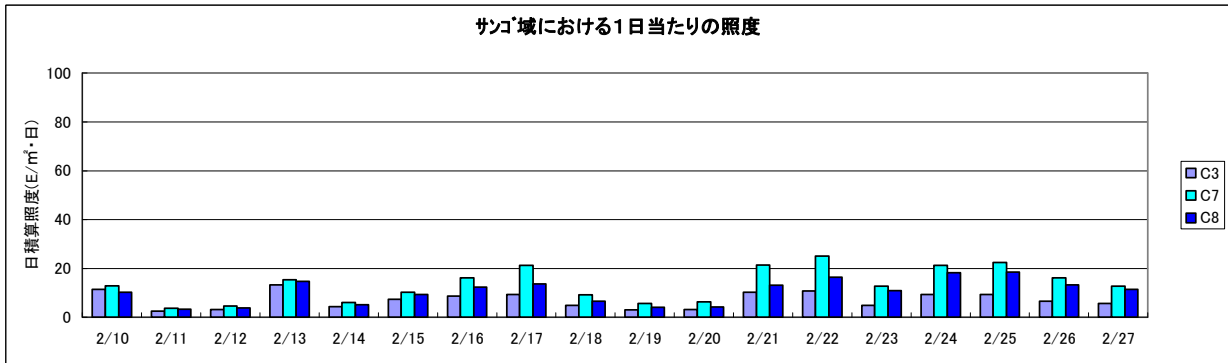
項目 / 調査地点	C1	C2	C3	C4	C5	
種類数	軟体動物門	41	32	24	26	36
	節足動物門	24	9	16	11	9
	棘皮動物門	10	13	13	8	17
	脊索動物門	19	19	13	10	20
	その他	20	36	33	10	38
	合計	114	109	99	65	120
主な出現種	サコフシツボ科 ヒドロサコフシツボ	-	タマワスギンチャク Calcarinidae マメスギンチャク属 マメギンチャク科 イソギンチャク目	-	タマワスギンチャク タチワスギンチャク マメギンチャク科	

項目 / 調査地点	C6	C7	C8	C9	
種類数	軟体動物門	46	47	47	32
	節足動物門	15	11	16	12
	棘皮動物門	21	12	26	15
	脊索動物門	19	16	17	13
	その他	33	22	27	13
	合計	134	108	133	85
主な出現種	ゼニイシ属 イハラカンザシコカイ サコフシツボ科 マメギンチャク科	ゼニイシ属 ミミタワシウニ	ゼニイシ属 Calcarinidae	ツマジロナガウニ	

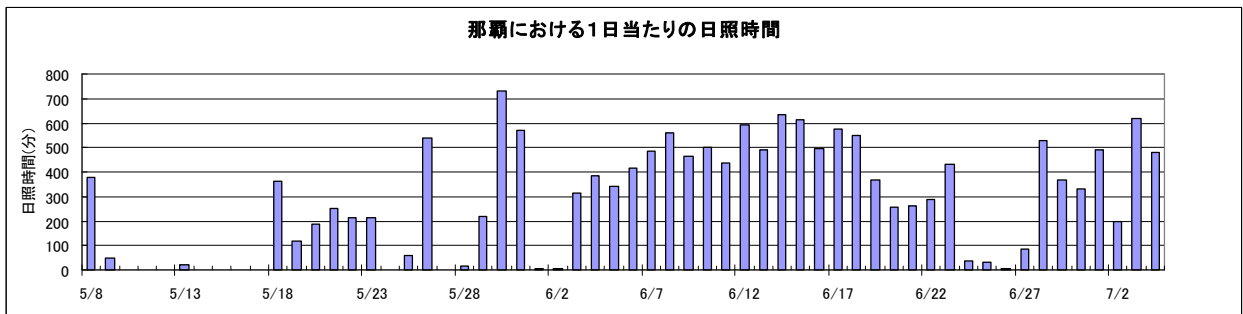
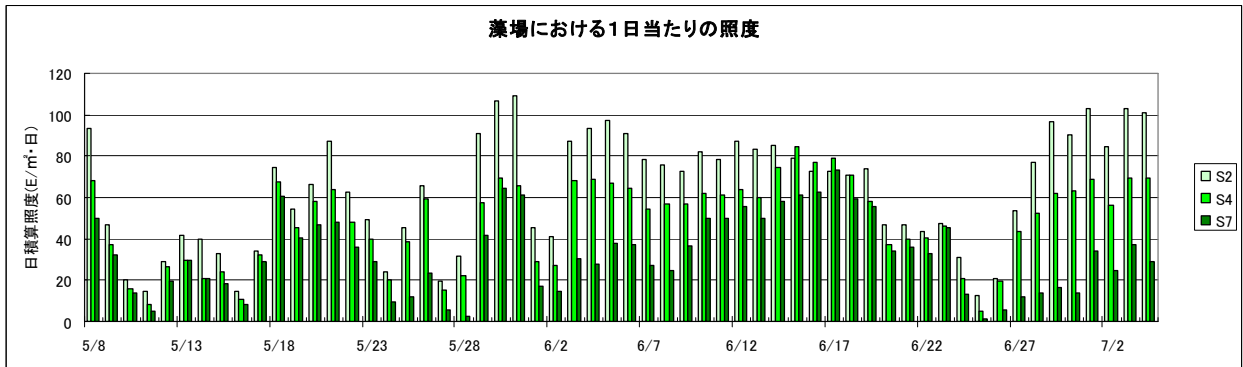
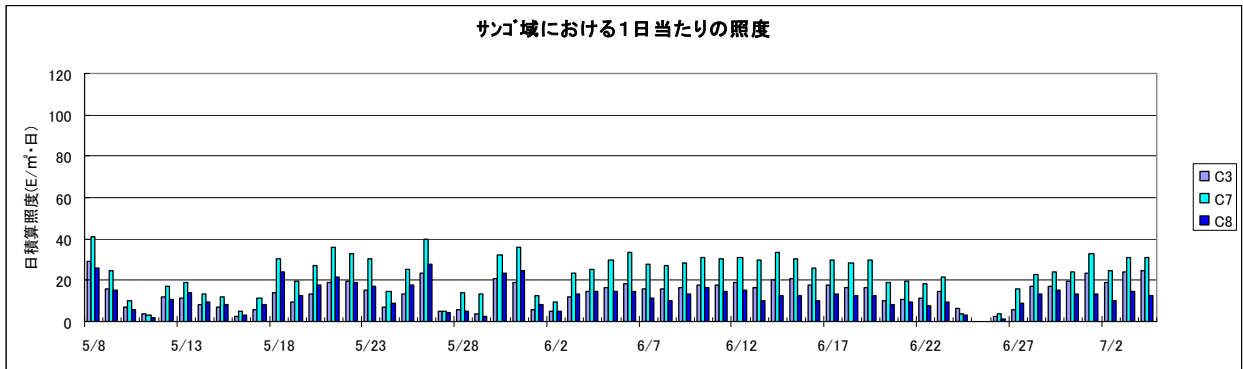
項目 / 調査地点	S1	S2	S3	S4	
種類数	軟体動物門	40	34	43	29
	節足動物門	20	17	14	16
	棘皮動物門	8	14	11	4
	脊索動物門	4	7	4	1
	その他	10	5	7	7
	合計	82	77	79	57
主な出現種	リュウキュウムカデカイ セイタカイソギンチャク ハタコイソギンチャク科 クワノミカモリ	リュウキュウムカデカイ フタモチヘビカイ属	-	イワカリゲサ	

項目 / 調査地点	S5	S6	S7	合計	
種類数	軟体動物門	34	16	28	266
	節足動物門	22	20	17	91
	棘皮動物門	7	2	6	59
	脊索動物門	6	3	0	31
	その他	8	9	3	85
	合計	77	50	54	532
主な出現種	イワカリゲサ	-	オヨギイソギンチャク イワカリゲサ		

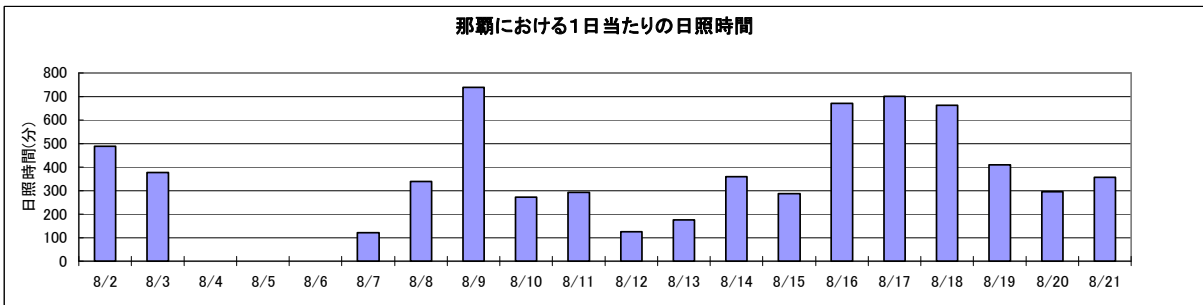
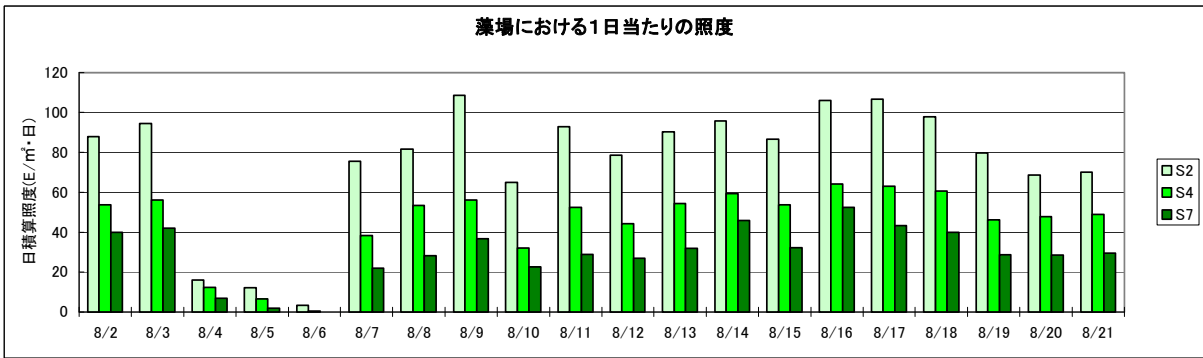
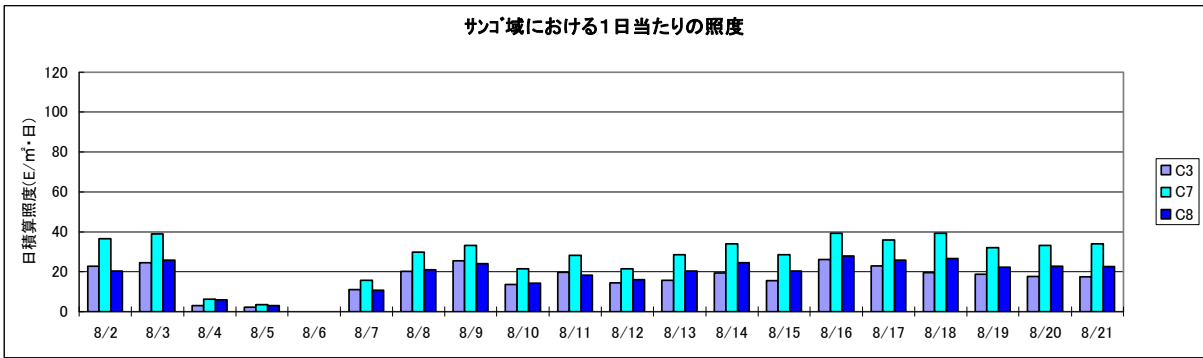
注：1. 主な出現種は50個体以上（cc, c）確認された種のうち、出現頻度の上位5種を示す。
 2. 主な出現種の欄の-は50個体以上（cc, c）の種が確認されなかったことを示す。



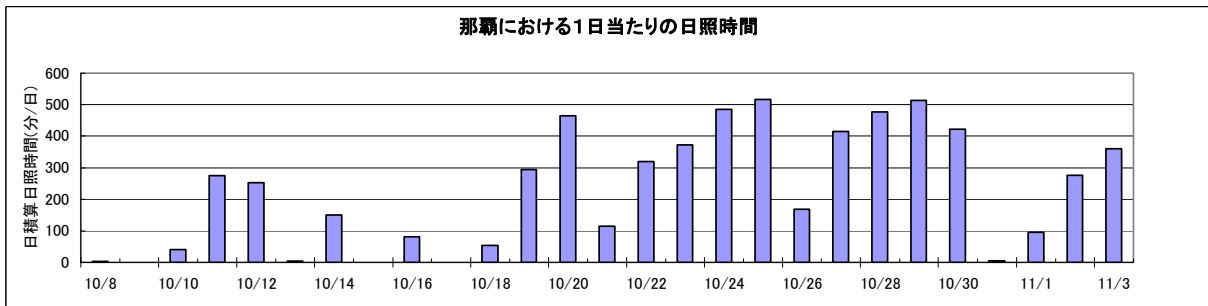
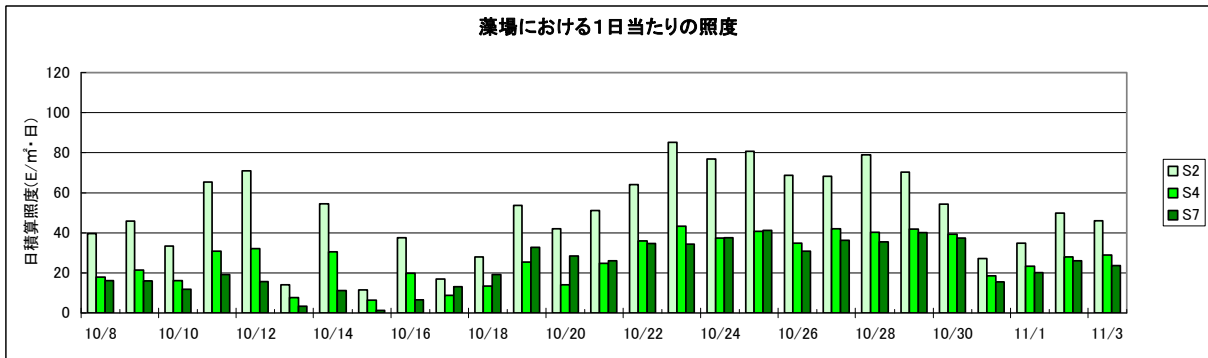
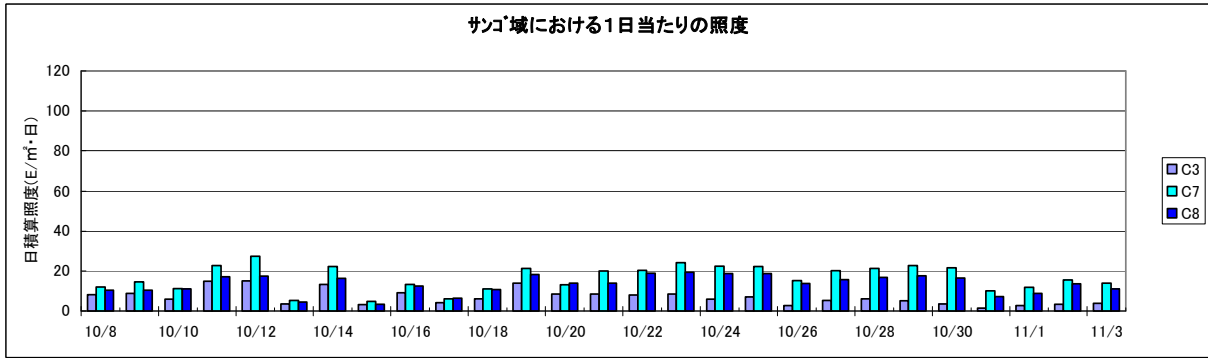
付図－ 6.13.1 (1) 照度連続測定結果 (冬季)



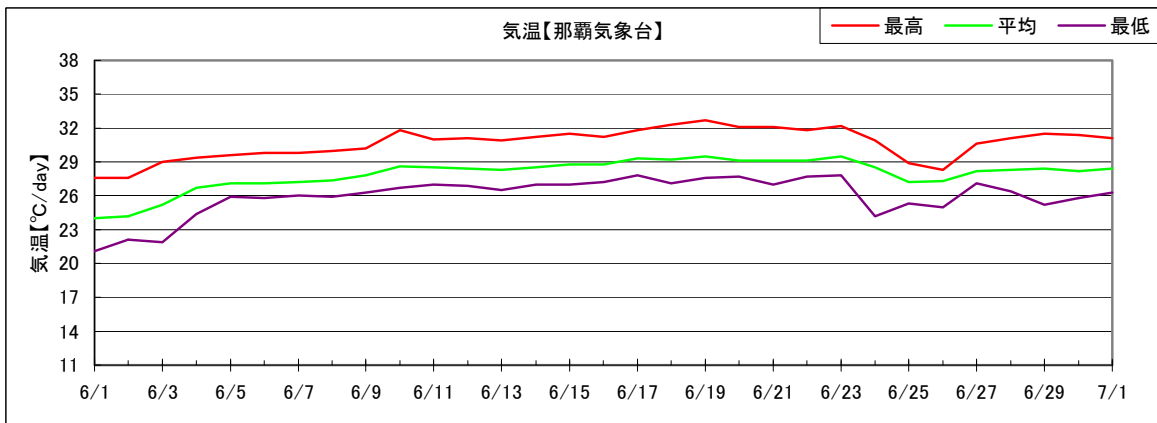
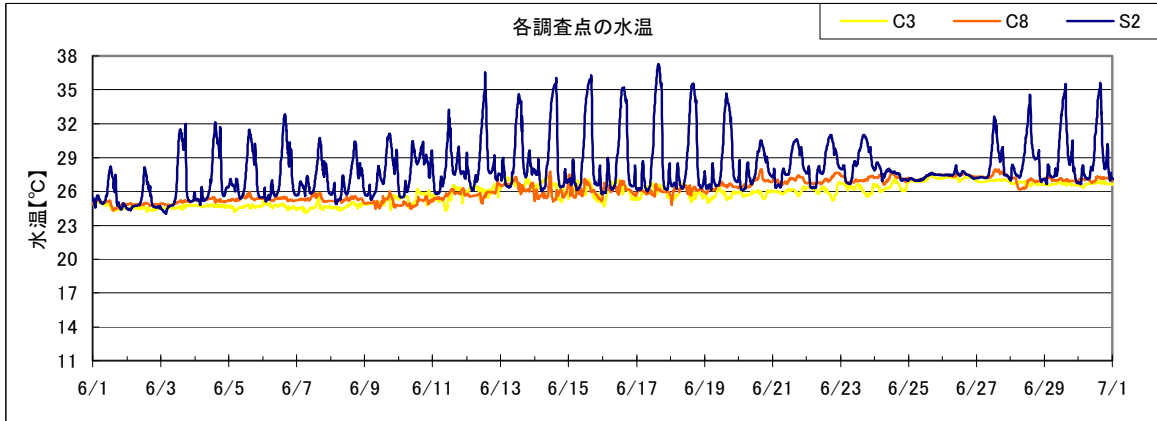
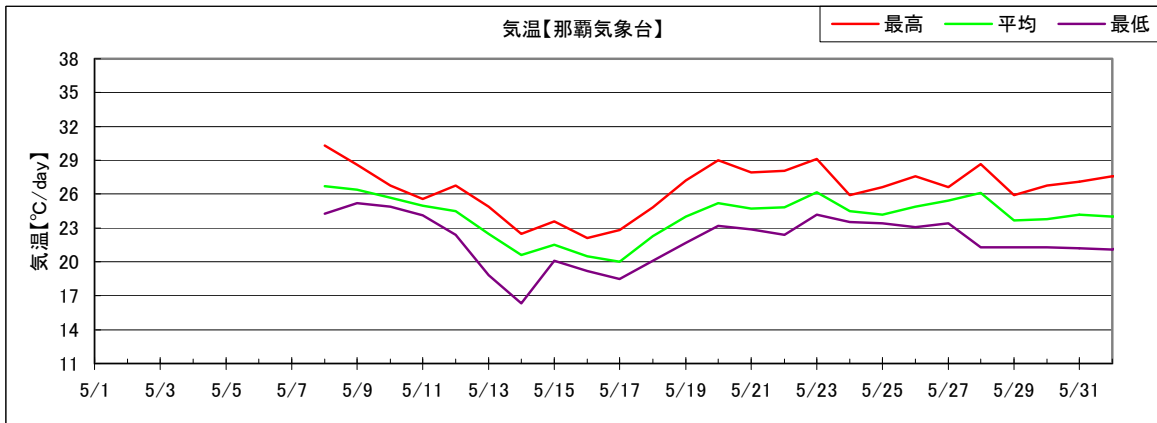
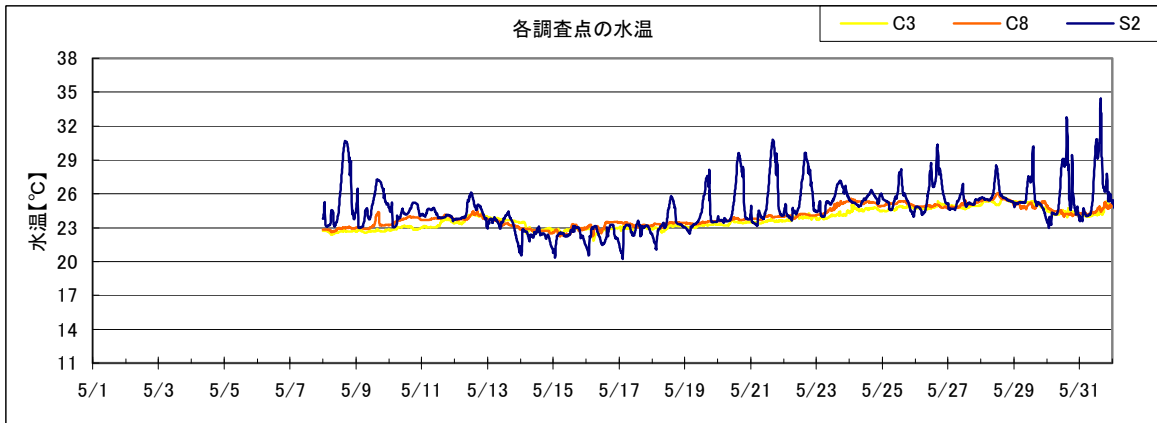
付図－ 6.13.1 (2) 照度連続測定結果 (春季)



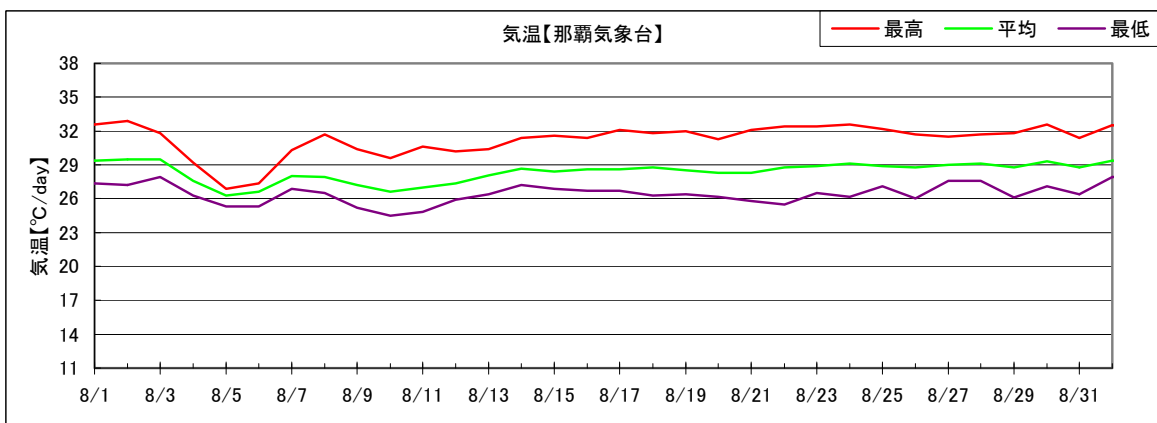
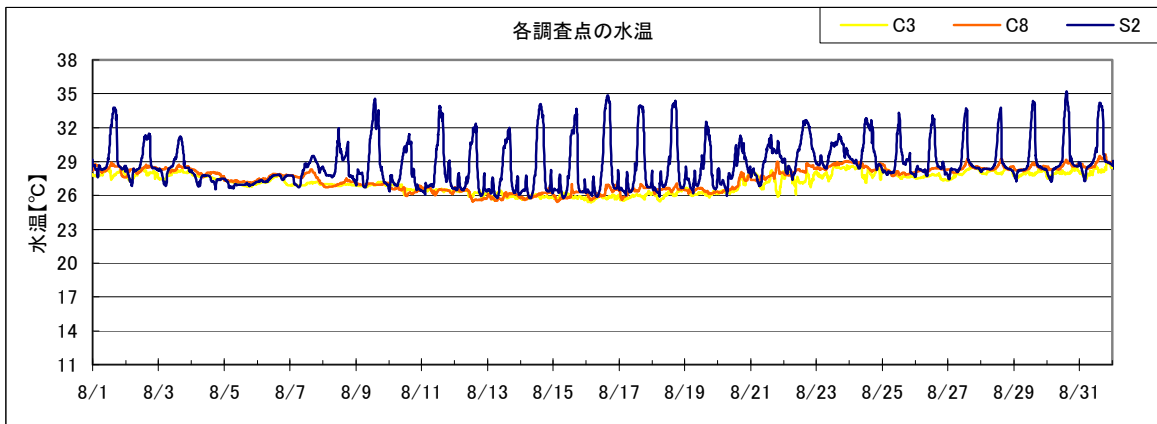
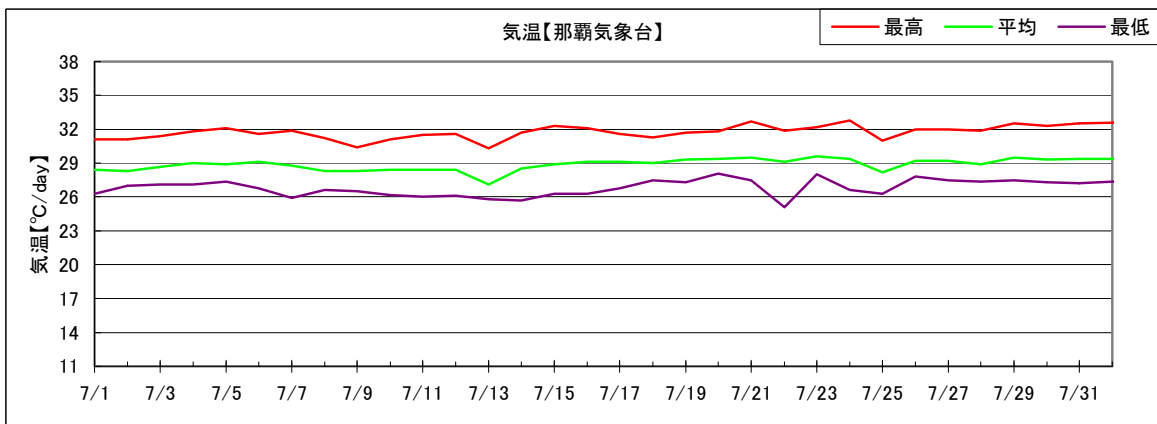
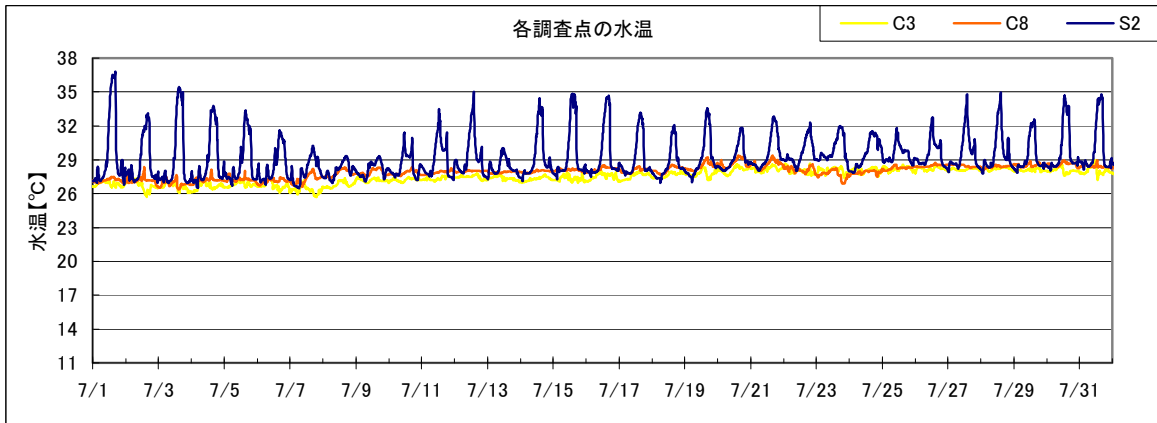
付図－ 6.13.1 (3) 照度連続測定結果 (夏季)



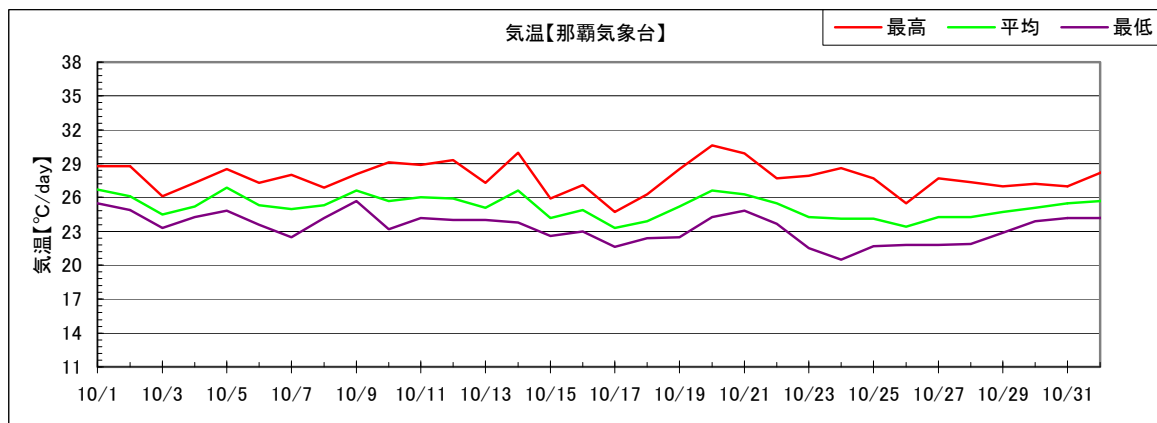
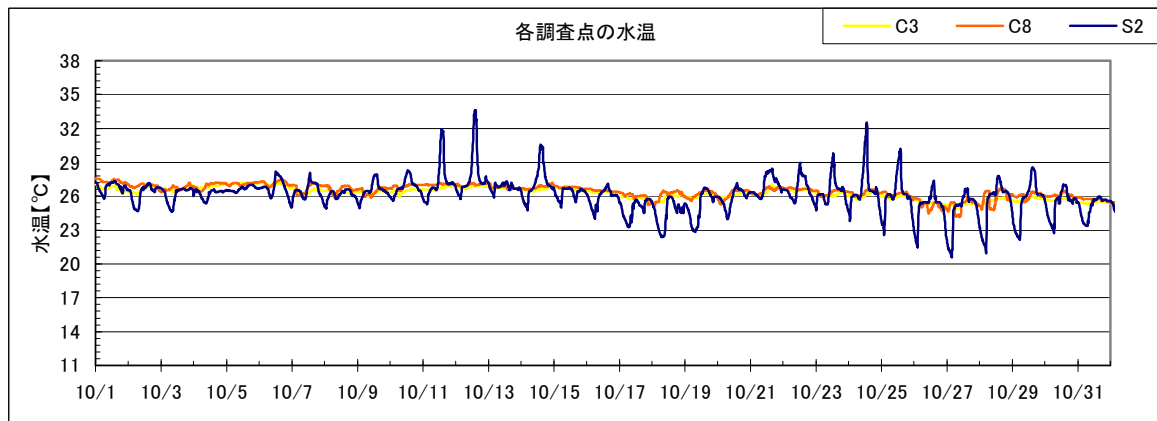
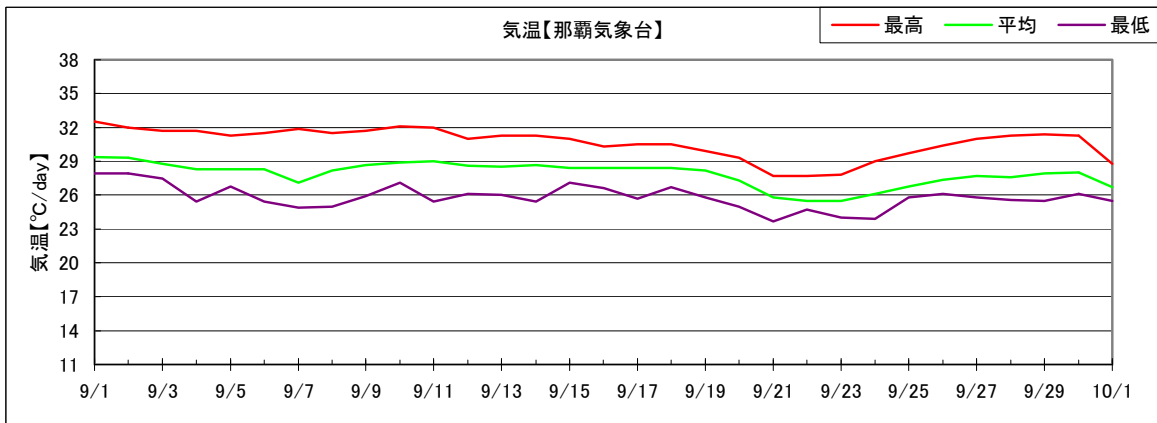
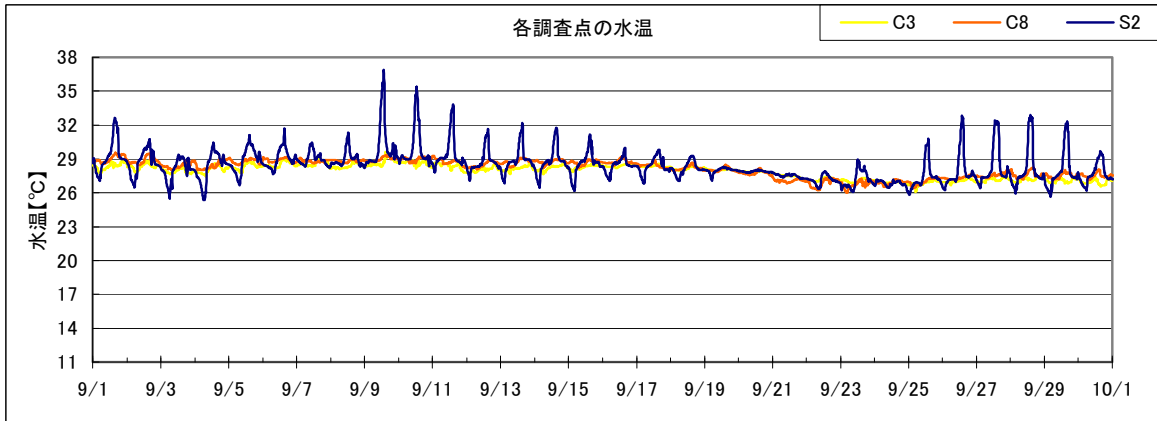
付図－ 6.13.1 (4) 照度連続測定結果 (秋季)



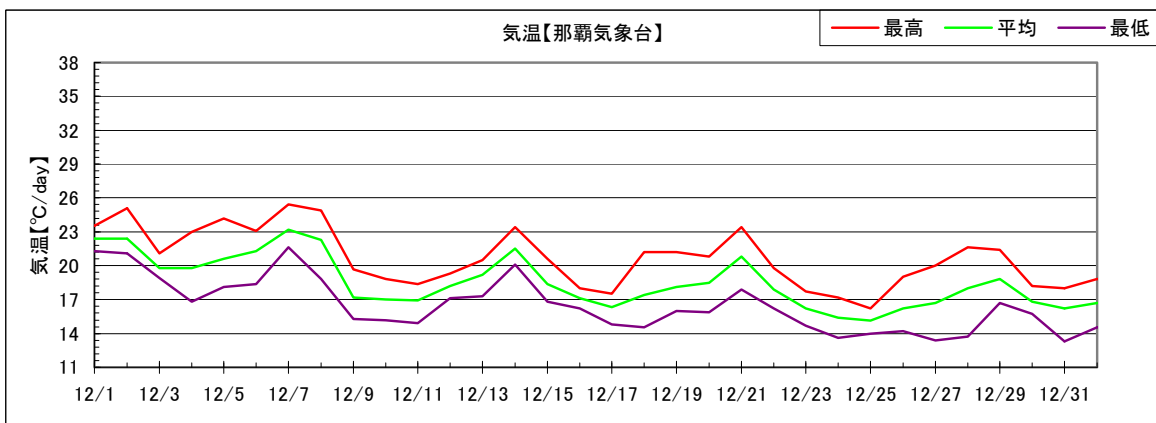
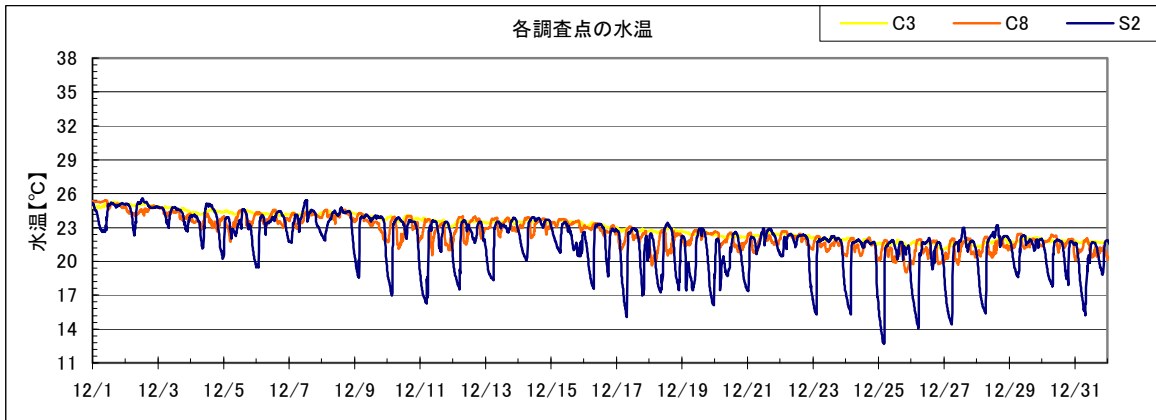
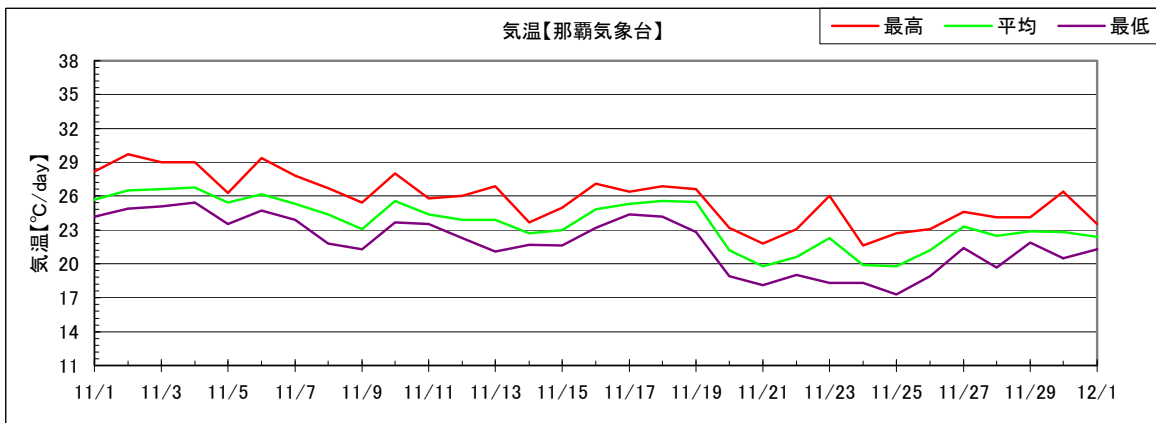
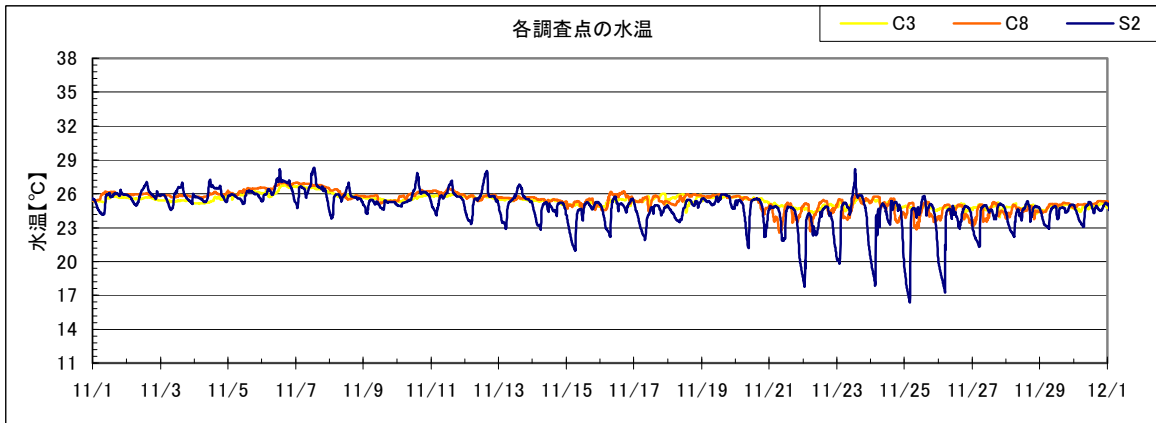
付図－ 6.13.2 (1) 水温連続測定結果 (5～6月)



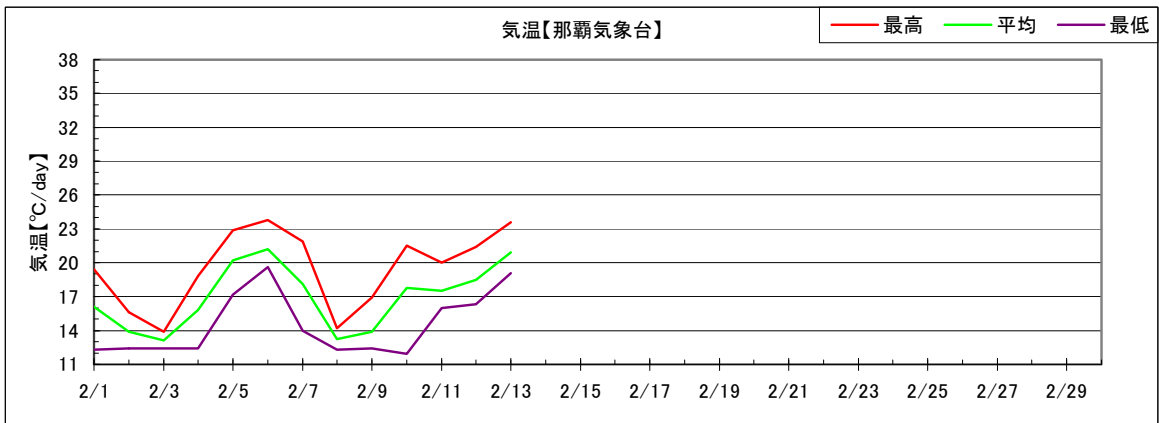
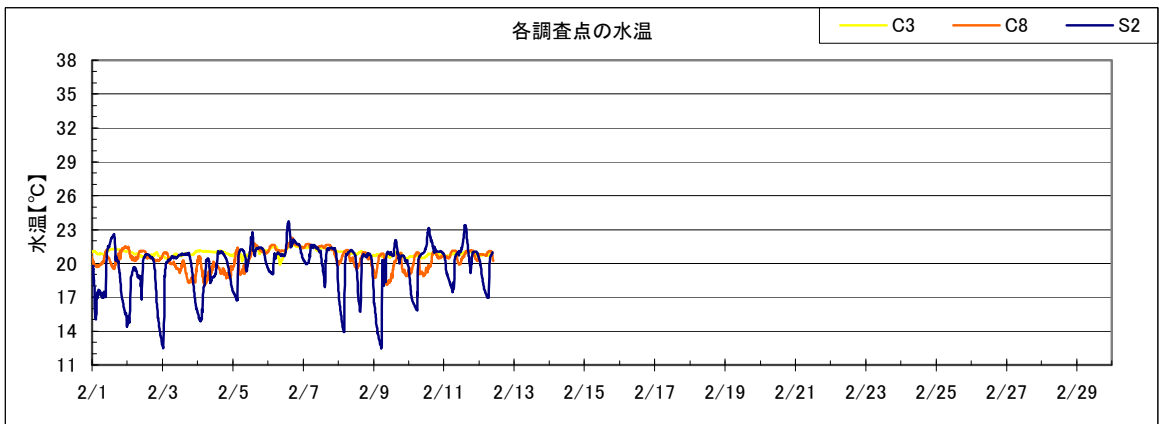
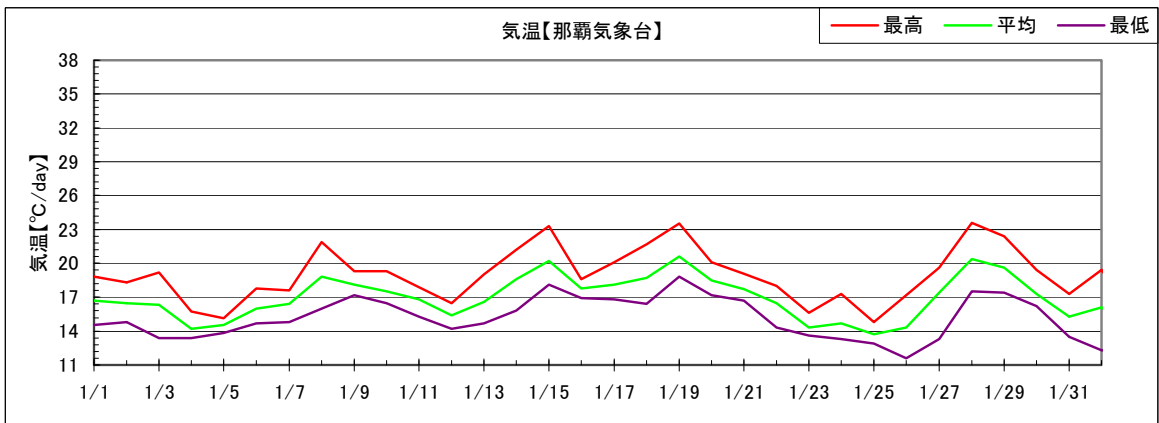
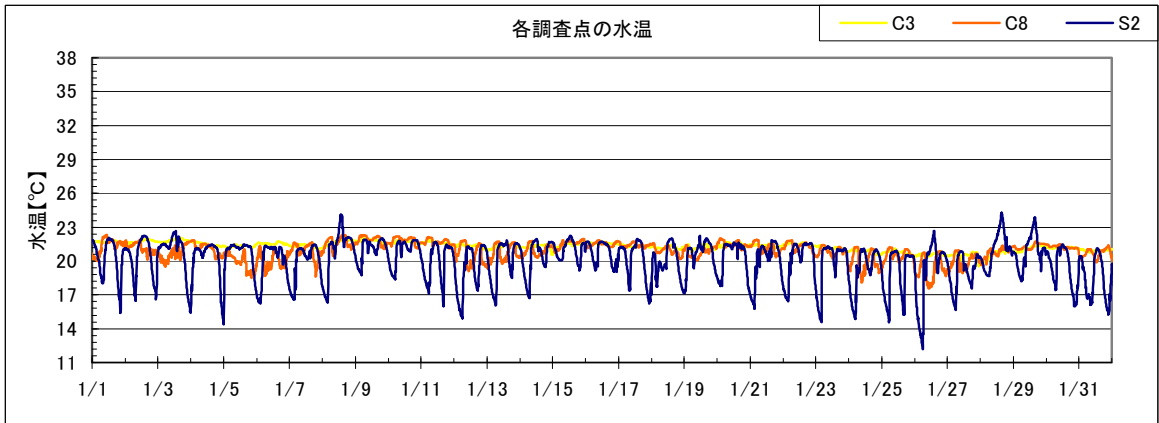
付図－ 6.13.2 (2) 水温連続測定結果 (7～8月)



付図－ 6.13.2 (3) 水温連続測定結果 (9～10月)



付図－ 6.13.2 (4) 水温連続測定結果 (11～12月)



付図－ 6.13.2 (5) 水温連続測定結果 (1～2月)

付表－ 6.13.9 (1) 重要な種の一覧（環境省第4次レッドリスト対応：海域動物）

No.	種名	既存の現地調査	現地調査	水産庁RDB	沖縄県RDB	WWF	環境省RL(第3次)	環境省RL(第4次)
1	アオサシコ	○	○	減少				
2	ムサシシコ	○	○	減少傾向				
3	クシハタミドリイシ	○	○	減少傾向				
4	クサビライシ	○	○	減少傾向				
5	オオササナミシコ	○	○	減少傾向				
6	ヤシリスカシカイ	○			準絶滅危惧			準絶滅危惧
7	ヤコウカイ		○	減少				
8	ヒロクチカノ		○	希少		絶滅寸前	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
9	クサイカノ	○	○		準絶滅危惧	危険		準絶滅危惧
10	キンランカノ	○	○			危険		準絶滅危惧
11	コケツノブエ	○	○		準絶滅危惧	危険	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
12	カヤノミカニモリ	○	○		準絶滅危惧	危険		準絶滅危惧
13	クチムラサキニモリ		○		情報不足			
14	トウカタカニモリ	○	○			危険		
15	ヌノメカワニナ		○					準絶滅危惧
16	イボウミニナ	○	○		準絶滅危惧	危険	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
17	イトカヘナタリ	○	○					準絶滅危惧
18	ヘナタリ	○	○		準絶滅危惧	危険	準絶滅危惧	準絶滅危惧
19	カラアイ	○	○		準絶滅危惧	危険	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
20	イロタマキヒ		○		準絶滅危惧	危険	準絶滅危惧	準絶滅危惧
21	ヒメウスラタマキヒ	○	○			危険		
22	マンガールツボ		○		準絶滅危惧	危険	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
23	ウラスシマイソテ	○				危険		
24	マルシロネズミ	○	○		準絶滅危惧			
25	リュウキュウダカラ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類			
26	ヘソアキトシカイ	○	○			希少		
27	リスカイ	○	○			希少		
28	アラクマフダマ	○	○		準絶滅危惧			絶滅危惧Ⅱ類
29	コガンセキ	○	○		準絶滅危惧			
30	ヨウラクレイダマシ	○	○		準絶滅危惧			
31	カニノテムシロ	○	○		準絶滅危惧	危険		準絶滅危惧
32	シロアラムシロ	○				現状不明		
33	ヒメオリレムシロ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類	危険		準絶滅危惧
34	リュウキュウムシロ	○			準絶滅危惧	希少		
35	オキナワナムシロ	○			情報不足	危険		
36	ヤチカカイ		○		準絶滅危惧			
37	ベニシホリミノムシ	○				希少		
38	ミノムシカイ		○		絶滅危惧Ⅱ類	危険		絶滅危惧Ⅱ類
39	ヒロクチモ	○	○		情報不足			
40	シチカカイ		○					準絶滅危惧
41	ヤナギシホリタケ		○		準絶滅危惧			
42	オオシノミクチケレ	○			準絶滅危惧			準絶滅危惧
43	ニライカナイゴウナ	○			情報不足			準絶滅危惧
44	マキシコミシカイ		○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
45	シイノミシカイ		○			絶滅寸前	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類
46	ナカオカミシカイ		○			危険	準絶滅危惧	
47	ホソハマシノミシカイ		○			危険	準絶滅危惧	
-	チビハマシノミシカイ		○				準絶滅危惧	
-	ヌノメハマシノミシカイ		○				準絶滅危惧	
48	リュウキュウサルボウ	○	○		準絶滅危惧			
49	ソメワケケリ	○	○		準絶滅危惧			
50	ウチワカイ		○		絶滅危惧ⅠB類			絶滅危惧Ⅱ類
51	ホソシヒバリカイ	○	○		準絶滅危惧	危険		準絶滅危惧
52	アコヤカイ	○	○	減少				
53	クロチョウカイ	○	○	減少				
54	ハボウシカイ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類	危険		準絶滅危惧
55	ユキミシカイ		○		絶滅危惧Ⅱ類			

付表－ 6.13.9 (2) 重要な種の一覧（環境省第4次レッドリスト対応：海域動物）

No.	種名	既存の現地調査	現地調査	水産庁RDB	沖縄県RDB	WWF	環境省RL(第3次)	環境省RL(第4次)
56	サコナテシコ		○		準絶滅危惧			
57	ツカイ		○		準絶滅危惧			
58	ウレキツカイ	○	○		準絶滅危惧			絶滅危惧Ⅱ類
59	チミウメノハナ	○			準絶滅危惧			
60	カブラツカイ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類	危険		
61	カコカイ	○			絶滅危惧Ⅱ類			絶滅危惧Ⅱ類
62	Cycladicama属		○		情報不足			情報不足
63	オオツヤウロコカイ		○		絶滅危惧Ⅱ類			絶滅危惧Ⅱ類
64	ユンタクシミ		○					準絶滅危惧
65	オサカニヤドリカイ	○	○		情報不足			準絶滅危惧
66	スジホシムシヤドリカイ	○	○					準絶滅危惧
67	イレスマサル	○			準絶滅危惧			絶滅危惧Ⅱ類
68	カラカイ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類			準絶滅危惧
69	オキナワヒシカイ	○	○		準絶滅危惧			準絶滅危惧
70	ハトカイ	○			絶滅危惧ⅠB類			絶滅危惧Ⅰ類
71	シヤウウカイ		○			危険		
72	ヒメシヤコカイ	○	○	減少				
73	リュウキュウアリソカイ	○			絶滅危惧Ⅱ類			絶滅危惧Ⅱ類
74	ユキカイ	○	○		準絶滅危惧	危険		準絶滅危惧
75	イノハマグリ	○	○	減少				準絶滅危惧
76	クチハカイ	○	○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
77	リュウキュウナミノ		○					準絶滅危惧
78	リュウキュウサラカイ	○			準絶滅危惧			
79	コッコウカイ	○	○		準絶滅危惧			
80	ヒノテカイ	○			絶滅危惧Ⅱ類			準絶滅危惧
81	ヒメッコウカイ	○	○		準絶滅危惧	危険		
82	ダイミョウカイ	○			絶滅危惧Ⅱ類			準絶滅危惧
83	ヒラセザクラ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類			準絶滅危惧
84	ウネイチョウシラトリ	○			情報不足			絶滅危惧Ⅱ類
85	シホリザクラ	○						準絶滅危惧
86	フルカイ	○						絶滅危惧Ⅰ類
87	アシカイ	○						準絶滅危惧
88	オチハカイ	○				危険		準絶滅危惧
89	マスオカイ	○	○		準絶滅危惧	危険		準絶滅危惧
90	アシハマスオ	○						情報不足
91	ホソスングリアケマキ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類			
92	タケソテモトキ		○			危険		準絶滅危惧
93	オオヌメカイ	○			準絶滅危惧			
94	チリメンカノアサリ	○			情報不足			
95	タイワンシラオカイ	○	○		絶滅危惧ⅠB類			絶滅危惧Ⅰ類
96	オミナエシハマグリ	○	○		準絶滅危惧	稀少		準絶滅危惧
97	マダライオウハマグリ		○		絶滅危惧ⅠB類			絶滅危惧Ⅰ類
98	オイノカガミ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類			準絶滅危惧
99	リュウキュウアサリ	○	○		絶滅危惧ⅠB類			絶滅危惧Ⅱ類
100	スリカハマ	○			絶滅危惧Ⅱ類			
101	ヒメリュウキュウアサリ	○	○		準絶滅危惧			
102	ヤエヤマスタレ	○	○		準絶滅危惧			
103	スタレハマグリ	○	○		準絶滅危惧			準絶滅危惧
104	フキアゲアサリ	○	○		情報不足			
105	オキシシミ	○	○		絶滅危惧ⅠB類			絶滅のおそれのある地域個体群
106	カミフスマ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類			準絶滅危惧
107	ハナクモリ		○		絶滅危惧ⅠB類	危険	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
108	クシケマスオ		○		準絶滅危惧	危険		準絶滅危惧
109	オキナワアナシヤコ	○	○	減少				
110	オオヒロハカニタマシ		○		準絶滅危惧			

付表－ 6.13.9 (3) 重要な種の一覧（環境省第4次レッドリスト対応：海域動物）

No.	種名	既存の現地調査	現地調査	水産庁RDB	沖縄県RDB	WWF	環境省RL(第3次)	環境省RL(第4次)
111	カノコセビ ^ロ カ ^ニ		○			稀少		
112	アマミメコブ ^シ カ ^ニ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類		情報不足	情報不足
113	オキナワヤラカ ^ニ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類			
114	アミノコキ ^リ カ ^サ ミ	○	○	減少				
115	ヤヤマヒメオカ ^カ ニ		○		準絶滅危惧			
116	ミノ ^テ アシハカ ^カ ニ		○		準絶滅危惧	稀少		
117	オキナワヒライソ ^カ ニ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
118	コウナカ ^イ ワ ^カ ニモト ^キ	○	○		準絶滅危惧			
119	ケフサヒライソモト ^キ	○	○			稀少		
120	ヒラモクス ^カ ニ		○		準絶滅危惧	稀少		
121	チコ ^イ ワ ^カ ニ	○	○		準絶滅危惧			
122	タイワンヒメオサ ^カ ニ		○		準絶滅危惧			
123	ヤヤマシオマネ ^キ	○	○			稀少		
124	ルリマタ ^ラ シオマネ ^キ	○	○		準絶滅危惧			
125	シラヒケ ^ウ ニ	○	○	減少				
126	ト ^ロ クイ		○		準絶滅危惧		絶滅危惧ⅠB類	
127	カムリフ ^ダ イ	○			絶滅危惧Ⅱ類			
128	クサフ ^ク		○		絶滅のおそれのある地域個体群		絶滅のおそれのある地域個体群	
種数		87	97	9	82	42	17	64

注：重要な種として追加される種を■で、除外される種を■で示す。

付表－ 6.13.10 重要な種の一覧（環境省第4次レッドリスト対応：海域植物）

No.	種名	既存の現地調査	現地調査	水産庁RDB	沖縄県RDB	WWF	環境省RL (第3次)	環境省RL (第4次)
1	ハイコナハダ		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
2	ケコナハダ	○			絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
3	ベニモズク		○		準絶滅危惧			
4	アケボノモズク		○		情報不足		情報不足	情報不足
5	ヌルハダ		○		情報不足		情報不足	情報不足
6	フクロフリ	○			準絶滅危惧			
7	フイリグサ	○	○		情報不足		情報不足	情報不足
8	カタメンキリンサイ		○		情報不足		情報不足	情報不足
9	キリンサイ	○	○		情報不足		準絶滅危惧	準絶滅危惧
10	トサカノ		○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
11	リュウキュウオゴノリ		○	希少	準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
12	ベニコウシ		○		情報不足		情報不足	情報不足
13	カラコロモ	○	○		情報不足			
14	ハナヤナギ	○			絶滅危惧Ⅰ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
15	ウミホッス		○		絶滅危惧Ⅰ類		絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類
16	ヤハネモク		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
17	カラクサモク		○		情報不足		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
18	コハモク		○		絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
19	クヒレミトロ	○	○	絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類		絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類
20	ホソハローニア		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
21	マカクマモ		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
22	タンボヤリ		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
23	クヒレスクタ		○				情報不足	情報不足
24	ヒナイワスタ		○		絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
25	キサミスタ		○		絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
26	イチイスタ		○		絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
27	リュウキュウスタ	○	○		情報不足			
28	コテンクノハウチリ		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
29	ソリハサホテンクサ		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
30	ヒロハサホテンクサ	○	○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
31	フササホテンクサ		○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
32	ハネモトキ		○		情報不足		情報不足	情報不足
33	ナカミスタマ	○	○		準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
34	ウスカサネ	○	○		絶滅危惧Ⅱ類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
35	ホソエカサ	○	○	絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類		絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類
36	カサノリ	○	○	危急	準絶滅危惧		準絶滅危惧	準絶滅危惧
37	リュウキュウカサモ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
38	ウミヒルモ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
39	トケウミヒルモ		○		絶滅危惧ⅠB類		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
40	コアマモ	○			絶滅危惧Ⅱ類			
41	ウミジグサ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
42	マツハウミジグサ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
43	ベニアマモ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
44	リュウキュウアマモ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
45	ホウハアマモ	○	○				準絶滅危惧	準絶滅危惧
出現種数		21	41	-	-	-	-	-

付表ー 6.13.11 重要な種の選定基準（環境省第4次レッドリスト対応：海域動物）

以下の①～⑤のいずれかに該当しているものを「重要な種」として選定した。

①**天然記念物**：文化財保護法により、保護されている種及び亜種

- ・ 特天：国指定特別天然記念物
- ・ 国天：国指定天然記念物
- ・ 県天：沖縄県指定天然記念物

②**環境省 RL（第4次）**：「第4次レッドリストの公表について」（平成24年8月28日記者発表、環境省）に記載されている種及び亜種

- ・ 絶滅危惧Ⅰ類：絶滅の危機に瀕している種
- ・ 絶滅危惧ⅠA類：絶滅の危機に瀕している種のうち、ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
- ・ 絶滅危惧ⅠB類：絶滅の危機に瀕している種のうち、A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・ 絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種
- ・ 準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- ・ 情報不足：評価するだけの情報が不足している種
- ・ 地域個体群：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

③**水産庁 RDB**：「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」（水産庁，2000年）

- ・ 絶滅危惧種：絶滅の危機に瀕している種・亜種。
- ・ 危急種：絶滅の危険が増大している種・亜種。
- ・ 希少種：存続基盤が脆弱な種・亜種。
- ・ 減少種：明らかに減少しているもの。
- ・ 減少傾向：長期的に見て減少しつつあるもの。

④**沖縄県 RDB**：「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）ー植物編ー」（平成18年、沖縄県）
もしくは「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）ー動物編ー、（沖縄県、2005年11月）」に記載されている種及び亜種

- ・ 絶滅危惧Ⅰ類：沖縄県では絶滅の危機に瀕している種
- ・ 絶滅危惧ⅠA類：沖縄県では、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
- ・ 絶滅危惧ⅠB類：沖縄県ではA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ・ 絶滅危惧Ⅱ類：沖縄県では絶滅の危機が増大している種
- ・ 準絶滅危惧：沖縄県では存続基盤が脆弱な種
- ・ 情報不足：沖縄県では評価するだけの情報が不足している種
- ・ 絶滅のおそれのある地域個体群：沖縄県で地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの

⑤**WWF**：「WWF Japan Science Report3 日本における干潟海岸とそこに生息する底生動物の現状」（和田ら、1996年）

- ・ 絶滅：野生状態でどこにも見あたらなくなった種
- ・ 絶滅寸前：人為の影響の如何に関わらず、個体数が異常に減少し、放置すればやがて絶滅すると推定される種。
- ・ 危険：絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。
- ・ 稀少：特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。
- ・ 普通：個体数が多く普通にみられる種。
- ・ 現状不明：最近の生息の状況が乏しい種。